

LV 7770

マルチラスターライザ

LV 7770 OP70

16CH デジタルオーディオアダプタ

LV 5770SER03A

3 値同期 / コンポジット

LV 5770SER08

SDI 入力

LV 5770SER09(A)

SDI 入力 / EYE

LV 5770SER42

アナログオーディオ

取扱説明書

**LEADER**

ELECTRONIC MEASURING INSTRUMENTS

目次

製品を安全にご使用いただくために	I
1. はじめに	1
1.1 保証範囲	1
1.2 使用上の注意	1
1.2.1 入力端子の最大許容電圧について	1
1.2.2 スタンバイについて	2
1.2.3 衝撃について	2
1.2.4 静電気破壊について	2
1.2.5 ラックへの取り付けについて	2
1.2.6 予熱について	2
1.2.7 バックアップ電池について	3
1.3 商標・ライセンスについて	3
1.4 LV 5770SER09A と LV 5770SER09 の違いについて	3
1.5 本書で使用する用語について	4
2. 仕様	5
2.1 概要	5
2.2 特長	5
2.3 規格	8
2.3.1 SDI ビデオ信号フォーマットと規格 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	8
2.3.2 エンベデッドオーディオ再生方式 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	11
2.3.3 アナログコンポジット信号フォーマットと規格 (LV 5770SER03A)	11
2.3.4 SDI 入出力端子 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	12
2.3.5 アナログビデオ入出力端子 (LV 5770SER03A)	12
2.3.6 外部同期信号入力端子 (LV 5770SER03A/LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	13
2.3.7 オーディオ入出力端子 (LV 5770SER42/LV 7770 OP70)	13
2.3.8 ビデオ出力端子	14
2.3.9 制御端子	15
2.3.10 スクリーンキャプチャ	15
2.3.11 フレームキャプチャ (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	15
2.3.12 プリセット	16
2.3.13 主な表示機能	16
2.3.14 SDI 信号ビデオ波形表示 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	17
2.3.15 アナログコンポジット信号波形表示 (LV 5770SER03A)	18
2.3.16 SDI 信号ベクトル波形表示 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	19
2.3.17 アナログコンポジット信号ベクトル波形表示 (LV 5770SER03A)	19
2.3.18 SDI 信号 5 バー表示 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	20
2.3.19 SDI 信号ピクチャー表示 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	20
2.3.20 アナログコンポジット信号ピクチャー表示 (LV 5770SER03A)	21
2.3.21 SDI 信号 3D アシスト表示 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	22
2.3.22 デジタルオーディオ表示	23
2.3.23 アナログオーディオ表示 (LV 5770SER42)	25
2.3.24 SDI ステータス表示 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	25

2.3.25	アナログコンポジット信号ステータス表示 (LV 5770SER03A)	27
2.3.26	イベントログ	27
2.3.27	SDI 解析機能 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	28
2.3.28	SDI アンシラリデータ一覧表示 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	29
2.3.29	リップシンク測定 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	29
2.3.30	SDI クローズドキャプション packets 表示 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	30
2.3.31	アイパターン表示 (LV 5770SER09A)	31
2.3.32	ジッタ表示 (LV 5770SER09A)	32
2.3.33	アイパターン、ジッタエラー検出 (LV 5770SER09A)	33
2.3.34	時間表示機能	33
2.3.35	アラーム出力機能	34
2.3.36	フロントパネル	34
2.3.37	一般仕様	34
3.	パネル面の説明	35
3.1	前面パネル	35
3.2	背面パネル	37
4.	測定を始める前に	39
4.1	カバーインレットストッパーについて	39
4.1.1	カバーインレットストッパーの取り付け	39
4.1.2	カバーインレットストッパーの取り外し	39
4.2	ディスプレイへの接続	40
4.3	電源のオンオフ	40
4.4	オプションユニットについて	40
4.5	信号の入出力	41
4.5.1	SDI 信号の入力 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	41
4.5.2	SDI 信号の出力 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	42
4.5.3	ピクチャーモニター出力 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	42
4.5.4	外部同期信号の入力 (LV 5770SER03A/LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	43
4.5.5	コンポジット信号の入出力 (LV 5770SER03A)	46
4.5.6	デジタルオーディオ信号の入出力	46
4.5.7	アナログオーディオ信号の入出力 (LV 5770SER42)	47
4.6	表示画面の説明	49
4.7	パネル操作の基本	50
4.7.1	ファンクションメニューの表示	50
4.7.2	ファンクションメニューの操作	51
4.7.3	タブメニューの操作	51
4.7.4	キーロックの設定	52
4.7.5	ショートカットキーの操作	53
5.	基本的な操作手順	54
5.1	表示形式の選択	55
5.2	表示エリアの選択	56
5.3	入力信号の選択	56
5.4	入力チャンネルの選択	57

5.5	表示モードの選択.....	57
6.	具体的な測定例	59
6.1	SDI 信号の測定	59
6.2	SDI 信号のアイパターン測定	60
6.3	コンポジット信号の測定.....	60
6.4	エンベデッドオーディオ信号の測定.....	61
6.5	外部デジタルオーディオ信号の測定.....	62
6.6	アナログオーディオ信号の測定.....	63
6.7	エンベデッドオーディオ信号の出力.....	64
6.8	アナログオーディオ信号の出力.....	65
7.	システム設定	66
7.1	入出力の設定.....	66
7.1.1	SDI 入力の設定 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	66
7.1.2	背面パネルの設定.....	69
7.2	本体の設定.....	71
7.2.1	一般的な設定.....	71
7.2.2	イーサネットの設定.....	73
7.2.3	リモートの設定.....	75
7.2.4	日時の設定.....	76
7.3	システム情報の表示.....	76
7.4	ショートカットキーの設定.....	77
7.5	ライセンスの設定.....	77
7.6	アスペクト比の選択.....	78
7.7	設定の初期化.....	78
8.	キャプチャ機能	80
8.1	スクリーンキャプチャ.....	81
8.1.1	表示画面の取り込み.....	81
8.1.2	キャプチャデータの表示.....	81
8.1.3	USB メモリーへの保存	82
8.1.4	USB メモリーのキャプチャデータ表示	83
8.1.5	USB メモリーのキャプチャデータ削除	84
8.2	フレームキャプチャ (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)	85
8.2.1	フレームデータの取り込み.....	85
8.2.2	フレームデータの表示.....	87
8.2.3	USB メモリーへの保存	87
8.2.4	USB メモリーのフレームデータ表示	89
8.2.5	USB メモリーのフレームデータ削除	90
9.	プリセット機能	91
9.1	プリセットの登録.....	91
9.2	プリセットの呼び出し.....	93
9.3	プリセットの削除.....	93

9.4	プリセットの一括コピー.....	94
9.4.1	本体から USB メモリーへの一括コピー.....	94
9.4.2	USB メモリーから本体への一括コピー	95
10.	リモートコントロール	96
11.	イーサネットコントロール	101
11.1	TELNET.....	101
11.1.1	使用方法.....	101
11.1.2	コマンドの入力方法.....	102
11.1.3	TELNET コマンド	103
11.2	FTP.....	124
11.2.1	使用方法.....	124
11.2.2	コマンドの入力方法.....	125
11.2.3	FTP コマンド	125
11.3	SNMP.....	126
11.3.1	SMI 定義	126
11.3.2	使用方法.....	126
11.3.3	標準 MIB	128
11.3.4	拡張 MIB	133
11.3.5	拡張 TRAP (Variable Binding List)	173
11.4	HTTP サーバー機能	176
11.4.1	動作環境.....	176
11.4.2	注意事項.....	176
11.4.3	使用方法.....	176
11.5	SNTP クライアント機能	179
11.5.1	使用方法.....	179
11.5.2	時刻補正值.....	180
12.	メニューツリー	182
12.1	システムメニュー.....	182
12.2	キャプチャメニュー.....	185
12.3	プリセット登録メニュー.....	186
12.4	プリセット呼び出しメニュー.....	187
13.	ファームウェアの変更履歴	188

製品を安全にご使用いただくために

■ ご使用になる前に

本製品は、電氣的知識(工業高校の電気、電子系の課程卒業程度以上)を有する方が、本取扱説明書の内容をご理解いただいた上で使用する計測器です。

一般家庭、消費者向けに設計、製造された製品ではありません。

電氣的知識のない方が使用する場合には、人身事故および製品に損害を生じるおそれがありますので、必ず電氣的知識を有する方の監督の下でご使用ください。

■ 取扱説明書をご覧になる際の注意

本取扱説明書で説明されている内容は、一部に専門用語も使用されていますので、もし、ご理解できない場合は、ご遠慮なく本社またはお近くの営業所までお問い合わせください。

■ 絵表示および文字表示について

本取扱説明書および製品には、製品を安全に使用する上での、必要な警告および注意事項を示す下記の絵表示と文字表示が使用されています。

〈絵表示〉 	本取扱説明書および製品にこの絵表示が表記されている箇所は、その部分で誤った使い方をすると、使用者の身体および製品に重大な危険を生じる可能性があるか、または製品および他の接続機器が意図しない動作となり、運用に支障をきたす可能性があることを表します。 この絵表示の部分を使用する際には、必ず本取扱説明書の記載事項を参照してください。
〈文字表示〉  警告	この表示を無視して誤った使い方をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、その危険を避けるための警告事項が記載されていることを表します。
〈文字表示〉  注意	この表示を無視して誤った使い方をすると、使用者が軽度の傷害を負うかまたは製品に損害を生じるおそれがあり、その危険を避けるための注意事項が記載されていることを表します。

製品を安全にご使用いただくために

下記に示す使用上の警告、注意事項は、使用者の身体、生命に対する危険および製品の損傷、劣化などを避けるためのものです。必ず下記の警告、注意事項を守ってご使用ください。



■ 製品のケースおよびパネルに関する警告事項

製品のケースおよびパネルは、いかなる目的があっても使用者は絶対に外さないでください。内部に手を触れると、感電および火災の危険があります。
また、内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属片などを入れたりしないでください。そのまま通電すると、火災、感電、故障、事故などの原因となります。

■ 設置環境に関する警告事項

●動作温度範囲について

製品は、0～40℃の温度範囲内でご使用ください。製品の通風孔をふさいだ状態や、周辺の温度が高い状態で使用すると、火災の危険があります。
また、温度差のある部屋への移動など急激な温度変化で、製品内部が結露し、製品破損の原因となる場合があります。結露のおそれのある場合には、電源を入れずに 30 分程度放置してください。

●動作湿度範囲について

製品は、85%RH 以下(ただし、結露のないこと)の湿度範囲内でご使用ください。
また、濡れた手で操作しないでください。感電および火災の危険があります。

●ガス中での使用について

可燃性ガス、爆発性ガスまたは蒸気が発生あるいは貯蔵されている場所、およびその周辺での使用は、爆発および火災の危険があります。このような環境下では、製品を動作させないでください。

●異物を入れないこと

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、水をこぼしたりしないでください。火災、感電、故障、事故などの原因となります。

■ 使用中の異常に関する警告事項

使用中に製品から発煙、発火、異臭などの異常が生じたときは、火災の危険がありますので、ただちに使用を中止してください。本体の電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。他への類焼がないことを確認した後、本社またはお近くの営業所までご連絡ください。

製品を安全にご使用いただくために



■ 電源に関する警告事項

製品に表示された定格電源電圧以外では使用しないでください。火災の危険があります。
電源コードを電源に接続する前に、その電圧を確認してください。
電源周波数は、必ず 50/60Hz でご使用ください。

電源電圧に応じた電源コードをご使用ください。また、ご使用になる国の安全規格に適合した電源コードをご使用ください。

適合した電源コード以外のものを使用すると、火災の危険があります。電源コードが損傷した場合は使用を中止し、本社またはお近くの営業所までご連絡ください。電源コードが損傷したままご使用になると、感電および火災の危険があります。

また、電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜いてください。

■ 接地に関する警告事項

製品には使用者の感電防止および製品保護のため、接地端子が設けてあります。安全に使用するために、必ず接地してからご使用ください。

■ パネルに関する警告事項

パネルには、強い衝撃を加えたり表面に鋭利な金属などで傷をつけたりしないでください。



■ 入力、出力端子に関する注意事項

入力端子には、製品を破損しないために本取扱説明書に記載された仕様以外の入力、供給しないでください。また、出力端子をショートしたり、外部から電力を供給したりしないでください。製品故障の原因となります。

■ イーサネット端子に関する注意事項

事業者用設備に接続する場合は、ご使用になる国で認定されたハブを介して接続してください。

製品を安全にご使用いただくために

■ 校正および修理について

製品は、工場出荷時、厳正な品質管理の下で仕様に基づいた性能の確認を実施していますが、製品の経年変化等により、性能に多少の変化が生じることがあります。製品の性能を安定した状態でお使いいただくため、定期的な校正をおすすめします。また、動作に不具合等があれば、修理が必要となります。製品校正および修理についてのご相談は、お買い上げになりました取扱代理店、本社または各営業所へご連絡ください。

■ 日常のお手入れについて

清掃のときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

製品のケース、パネル、つまみの汚れを清掃する場合は、シンナーやベンジンなどの溶剤は避けてください。塗装がはがれたり、樹脂面が侵されたりすることがあります。ケース、パネル、つまみ等を拭くときは、中性洗剤を含ませた柔らかい布で軽く拭き取ってください。また、清掃のときは、製品の中に水、洗剤、その他の異物が入らないようご注意ください。製品の中に液体、金属などが入ると、感電および火災の原因となります。

■ 欧州の WEEE 指令によるマークについて



本製品および付属品は、欧州の WEEE 指令の対象品です。

本製品および付属品を廃棄するときは、各国、各地域の法規制に従って処理してください。また、本製品から取り外した電池は、EU 電池指令に従って処理してください。

(WEEE 指令：廃電気電子機器指令, Waste Electrical and Electronic Equipment)

以上の警告、注意事項を順守し、正しく安全にご使用ください。また、取扱説明書には個々の項目でも注意事項が記載されていますので、それらの注意事項を順守し、正しくご使用ください。

取扱説明書の内容でご不審な点、またはお気づきの点がありましたら、本社またはお近くの営業所までご連絡いただきますよう、併せてお願いいたします。

1. はじめに

このたびは、リーダー電子株式会社の計測器をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。製品を安全にご使用いただくため、ご使用前に本取扱説明書を最後までお読みいただき、製品の正しい使い方をご理解の上、ご使用ください。

本取扱説明書をご覧になっても使い方がよくわからない場合は、取扱説明書の裏表紙に記載されている本社またはお近くの営業所までお問い合わせください。

本取扱説明書をお読みになった後は、いつでも必要なとき、ご覧になれるように保管してください。

1.1 保証範囲

この製品は、リーダー電子株式会社の厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。正常な使用状態で発生する故障について、お買い上げの日から1年間無償で修理をいたします。お買い上げ明細書(納品書、領収書など)は、保証書の代わりになりますので、大切に保管してください。

保証期間内でも、次の場合には有償で修理させていただきます。

1. 火災、天災、異常電圧などによる故障、損傷。
2. 不当な修理、調整、改造された場合。
3. 取り扱いが不適当なために生じる故障、損傷。
4. 故障が本製品以外の原因による場合。
5. お買い上げ明細書類のご提示がない場合。

この保証は日本国内で使用される場合に限り有効です。

This Warranty is valid only in Japan.

1.2 使用上の注意

1.2.1 入力端子の最大許容電圧について



注意

入力端子に加える信号電圧には、次のような制限があります。

制限を超える電圧を加えると、故障や損傷する場合がありますので、この値以上の電圧を加えないでください。

表 1-1 入力端子の最大許容電圧

入力端子		最大許容電圧
本体	REMOTE	0～+5V
本体	EXT REF	±5V (DC+ピーク AC)
本体/OP70	DIGITAL AUDIO IN	±5V (DC+ピーク AC)
LV 5770SER03A	TRI SYNC/COMPOSITE INPUT	±5V (DC+ピーク AC)
LV 5770SER08/LV 5770SER09	SDI INPUT	±2V (DC+ピーク AC)
LV 5770SER09A	SDI INPUT	0～+12V (DC) ±1V (AC)
LV 5770SER42	ANALOG AUDIO	+24dBu

1. はじめに

1.2.2 スタンバイについて



本器は、電源スイッチで電源を切っても、電源コードがコンセントに接続されている状態では、スタンバイ状態となります。スタンバイ状態では一部の内部回路が動作し、発熱することがあります。必要のないときは、電源コードをコンセントから外すようにしてください。

1.2.3 衝撃について

本器は精密な部品を使用していますので、落下などの強い衝撃が加えられた場合、故障の原因となることがあります。

1.2.4 静電気破壊について

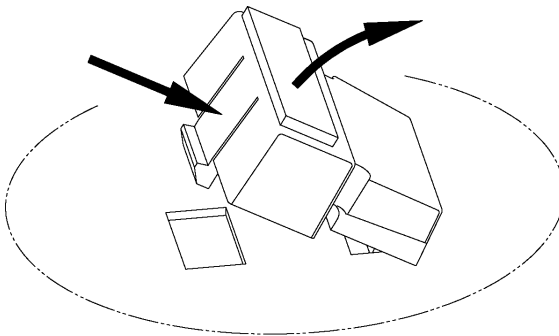
電子部品は、静電気放電によって故障、損傷するおそれがあります。同軸ケーブルの芯線には、静電気が帯電している可能性があります。両端とも接続されていない同軸ケーブルを本器の入出力端子に接続する際は、一度、同軸ケーブルの芯線と外部導体をショートさせてください。

1.2.5 ラックへの取り付けについて

本器は EIA 規格の 19 インチラックに対応しています。

本器をラックへ取り付けてご使用になる場合は、必ず本体部分を支える機構部品をご用意ください。前面パネルのフランジだけで取り付けた状態で使用しますと、筐体の変形や落下の危険があります。

また、ラックへ取り付ける前に、本体底面のスタンド足(4か所)を取り外してください。スタンド足は、ツメを押しながら引き上げることで取り外せます。



1.2.6 予熱について

より正確な動作を確保するため、使用の 30 分くらい前に電源を入れ、内部温度を安定させてください。

1. はじめに

1.2.7 バックアップ電池について

本器はラストメモリー機能を備え、電源を入れたときは前回電源を切ったときのパネル設定で起動します。バックアップ電池が切れた場合は、メッセージ「The last memory feature is disabled.」が表示され、ラストメモリー機能が動作しなくなります。

ラストメモリー機能を継続的に使用するために、ご購入後 5 年ごとにバックアップ電池を交換されることを推奨します。なお、バックアップ電池の交換は、お客様自身でできません。本社またはお近くの営業所までお問い合わせください。

1.3 商標・ライセンスについて

- ・ 記載されている会社名および各商品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・ 本器が使用している MD5 アルゴリズムは、米国 RSA 社が開発し、ライセンスフリーおよびパテントフリーとして公開されているものです。

1.4 LV 5770SER09A と LV 5770SER09 の違いについて

LV 5770SER09A は、LV 5770SER09 に対して、以下の仕様が追加されています。

- ・ 等価線長測定
- ・ DC オフセット測定

本書は LV 5770SER09A について説明したものです。LV 5770SER09 をお使いの方は、記載の一部が該当しないことがありますので、ご了承ください。

1.5 本書で使用する用語について

● 1 入力モード

SIM キーをオフにしたときの状態をいいます。SDI INPUT A に入力した信号と SDI INPUT B に入力した信号を、A/B キーで切り換えて測定します。

● サイマルモード

SIM キーをオンにしたときの状態をいいます。SDI INPUT A に入力した信号と SDI INPUT B に入力した信号を、同時に測定します。

● 1 画面表示

MULTI キーをオフにしたときの状態をいいます。1～4 キーで選択したエリアのみを表示します。

● マルチ画面表示（2 画面マルチ表示、4 画面マルチ表示）

MULTI キーをオンにしたときの状態をいいます。画面数(2 画面または 4 画面)はシステム設定で選択できます。

2 画面マルチ表示では、1、2 エリアまたは 3、4 エリアを表示します。

4 画面マルチ表示では、1～4 すべてのエリアを表示します。

● 入力フォーマットについて

一部を除いて、入力フォーマットを以下の名称で記載しています。

表 1-2 入力フォーマット

名称	説明
HD	HD-SDI
SD	SD-SDI
HD デュアルリンク	HD-SDI デュアルリンク
3G-A	3G-SDI レベル A
3G-B	3G-SDI レベル B
3G-B (2map)	3G-SDI レベル B 2 マッピング
3G	3G-A、3G-B、3G-B (2map) の総称

● アンダーバー()について

選択肢のなかでアンダーバーが付いている項目は、初期値を表しています。

2. 仕様

2.1 概要

本器は 3G-SDI、HD デュアルリンク、HD-SDI、SD-SDI 信号に対応した、ラスタライザです。2 入力の SDI 信号を同時監視する機能をはじめ、フレームキャプチャ機能、リップシンク測定機能、ANC データ解析機能などを備えています。

本器はこれらの機能を実現するために、各種オプションユニットを用意していますので、用途に応じて組み合わせてご使用いただけます。

LV 5770SER03A (TRI SYNC/COMPOSITE):	3 値同期/コンポジット入力
LV 5770SER08 (SDI INPUT):	SDI 入力 (※1)
LV 5770SER09A (SDI INPUT/EYE):	アイパターン表示機能付き SDI 入力 (※1)
LV 5770SER42 (ANALOG AUDIO):	アナログオーディオ入出力 (※2)
LV 7770 OP70 (16CH DIGITAL AUDIO ADAPTER):	16CH デジタルオーディオ入出力 (※2)

※1 LV 5770SER08 と LV 5770SER09A を同時に実装することはできません。

※2 LV 5770SER42 と LV 7770 OP70 を同時に実装することはできません。

※ 上記のほかに、Dolby E および Dolby Digital 信号を測定する Dolby オプションを実装できます。

2.2 特長

● 3G-SDI 対応 2 入力同時表示 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

3G-SDI、HD デュアルリンク、HD-SDI、SD-SDI に対応した 2 系統の SDI 入力端子を搭載し、2 入力信号の同時表示ができるとともに、表示していない間もバックグラウンドでエラーを監視します。また、それぞれの SDI 入力信号をシリアルリクロックした SDI 出力端子を備えており、A/Beh 出力端子からは、Ach に入力した SDI 信号と Beh に入力した SDI 信号を、入力キーに連動して出力できます。

● 充実した表示機能

映像信号の品質管理に欠かせない、ビデオ信号波形表示やベクトル表示をはじめ、ピクチャー表示、5 バー表示、各種ステータス表示など、充実した表示機能を備えています。(LV 5770SER03A/LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

オーディオ表示では、ITU 規格に基づくラウドネス表示機能を搭載しています。また、ラウドネスチャート、各チャンネルのレベル計、ピーク値の同時表示や、2 音声のラウドネス同時測定もできます。

● 多彩な表示形式 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

ビデオ信号波形表示、ベクトル表示、ピクチャー表示は、2 入力の SDI 信号を重ねて表示したり、並べて表示したりすることができますので、2 つの映像信号のゲイン調整、ブラックバランス調整に最適です。ビデオ信号波形表示とベクトル表示は、入力チャンネルごとに表示色を変えることで、それぞれの波形を容易に識別できます。

● 自由度の高い表示レイアウト

それぞれの表示を 1 画面に表示する 1 画面表示や、4 つに画面を分割した 4 画面マルチ表示が可能です。1 画面表示では、ビデオ信号波形表示、ピクチャー表示、オーディオレベル計表示、ヒストグラム表示をサムネイルとして表示できます。

● キャプチャ機能

表示画面を静止画データとして取り込むスクリーンキャプチャ機能、SDI 信号の 1 フレーム分を取り込むフレームキャプチャ機能、エラーフレームを自動検出して取り込むエラーキャプチャ機能を備えています。

取り込んだデータは本体での表示はもちろん、入力信号との比較もできます。また、USB メモリーに保存できますので、PC での確認が容易です。

● XGA 解像度の DVI-I 出力

測定画面は XGA(有効領域 1024×768)解像度で、Single Link T.M.D.S に対応した DVI-I 端子から出力されます。アスペクト比は 4:3 のほか、16:9 や 16:10 に変更することもできます。(ディスプレイ側に解像度変換機能が必要です)

● ピクチャーモニター出力 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

入力した SDI 信号を 8bit で出力できます。出力形式は SDI 入力信号にかかわらず、YCbCr 4:2:2、YCbCr 4:4:4、RGB 4:4:4 から選択できます。

● 3D アシスト表示 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

Ach に左目用映像信号、Bch に右目用映像信号を入力することによって、3D 映像信号の評価ができます。ピクチャーの表示形式には、アナグリフ表示、コンバージェンス表示、オーバーレイ表示、ワイプ表示、チェッカー表示、フリッカ表示があります。

● シネライト (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

カーソルで選択した任意の 3 点の輝度情報を、f Stop 表示、%表示、階調表示のいずれかで表示できます。また、測定サイズを 1 画素、9 画素平均、81 画素平均から選択でき、点から小面積での測定も可能となっています。

さらにシネライトアドバンス機能では、ビデオ信号波形表示やベクトル表示と連携した測定も可能です。

● シネゾーン (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

画面の明るさを色に変えて表示し、画面全体の明るさの分布を一目で確認できます。暗部の階調や白飛び黒つぶれの確認が容易にできます。

● SDI 信号データ解析機能 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

ステータス表示では、SDI 信号の伝送エラー検出をはじめエンベデッドオーディオ信号、アンシラリデータに関するさまざまなエラーを検出できます。また、イベントログ、データダンプ、外部同期信号と SDI 信号の位相差表示機能も備え、SDI 信号の解析が行えます。アンシラリデータについては、多重されているライン番号や対応規格番号と共に一覧表示され、詳細な解析表示ができます。

● タイムコード表示 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

SDI 信号に多重されている LTC や VITC、および SD-SDI に多重されている D-VITC を表示できます。タイムコードは、イベントログのタイムスタンプとしても使用できます。

● 英語字幕のスーパーインポーズ (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

SDI 信号に多重された英語字幕 (EIA-608、EIA-708、VBI) をピクチャー画面にスーパーインポーズできます。

● 外部制御端子

外部制御端子は、イーサネット端子とリモート端子を備えています。

イーサネット端子では、PC に接続することで、TELNET によるリモートコントロール、FTP によるファイル転送、SNMP によるリモートコントロールとエラー検出、HTTP による本器のコントロールができます。また、別売の LV 7770-01 (REMOTE CONTROLLER) にも接続できます。(TELNET と LV 7770-01 は同時に使用できません)

リモート端子では、プリセットの呼び出しや入力信号の切り換え、エラーの出力ができます。

● アイパターン表示 (LV 5770SER09A)

アイパターン表示オプションを追加することによって、3G-SDI、HD デュアルリンク、HD-SDI、SD-SDI のアイパターン波形やジッタ波形を表示できます。(A/Bch のうち、選択した 1 系統を表示)

また、自動測定できる項目には、アイパターンの振幅、立ち上がり時間、立ち下がり時間、DC オフセット、タイミングジッタ、カレントジッタ、立ち上がりエッジのオーバーシュート、立ち下がりエッジのオーバーシュートがあります。

● デジタルオーディオ入出力

エンベデッドオーディオに加えて、外部デジタルオーディオの表示が可能です。4 端子 8 チャンネルの入出力端子は入力/出力を切り換えることができるので、エンベデッドオーディオを分離したデジタルオーディオ出力としても使用できます。また、16CH デジタルオーディオ入出力オプション (LV 7770 0P70) を追加することによって、入出力端子を 8 端子 16 チャンネルに拡張できます。

(エンベデッドオーディオの測定には、LV 5770SER08/LV 5770SER09A が必要です)

● アナログオーディオ入出力 (LV 5770SER42)

アナログオーディオ入出力オプションを追加することによって、アナログオーディオの表示が可能となります。また、出力端子も備えており、設定を切り換えることによって、画面表示しているオーディオ信号のアナログオーディオ出力としても使用できます。

● Dolby オプション

Dolby オプションを追加することによって、エンベデッドオーディオやデジタルオーディオ信号中の、圧縮された Dolby E および Dolby Digital 信号をデコードして表示できます。

● アナログコンポジット入力 (LV 5770SER03A)

アナログコンポジット入力オプションを追加することによって、NTSC/PAL および HD3 値同期信号のビデオ信号波形表示、ベクトル表示 (NTSC/PAL のみ)、SCH 測定 (NTSC/PAL のみ)、外部同期信号との位相差測定ができます。(位相差測定には、入力信号と同期した、同一フォーマットの外部同期信号が必要です)

● リモートコントローラ (LV 7770-01、別売)

リモートコントローラのパネルは LV 7770 と同様のため、パネルが延長されたイメージで遠隔操作できます。(LV 7770-01 の使用中、TELNET は使用できません)

2. 仕様

2.3 規格

2.3.1 SDI ビデオ信号フォーマットと規格 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

ビットレート

3G-SDI 2.970Gbps または 2.970/1.001Gbps

HD-SDI 1.485Gbps または 1.485/1.001Gbps

SD-SDI 270Mbps

表 2-1 SD-SDI ビデオ信号フォーマットと規格

カラーシステム	量子化精度	スキャニング	フレーム(フィールド)周波数	対応規格
YCbCr 4:2:2	10bit	525i	59.94	SMPTE ST 259
		625i	50	

表 2-2 HD-SDI ビデオ信号フォーマットと規格

カラーシステム	量子化精度	スキャニング	フレーム(フィールド)周波数	対応規格
YCbCr 4:2:2	10bit	1080i	60/59.94/50	SMPTE ST 274
		1080p	30/29.97/25/24/23.98	SMPTE ST 292
		1080PsF	30/29.97/25/24/23.98	
		720p	60/59.94/50/30/29.97/25/24/23.98	SMPTE ST 296 SMPTE ST 292

表 2-3 HD デュアルリンクビデオ信号フォーマットと規格

カラーシステム	量子化精度	スキャニング	フレーム(フィールド)周波数	対応規格
YCbCr 4:2:2	10bit	1080p	60/59.94/50	SMPTE ST 372 (1920×1080)
	12bit	1080p	30/29.97/25/24/23.98	
		1080PsF	30/29.97/25/24/23.98	
		1080i	60/59.94/50	
YCbCr 4:4:4	10bit	1080p	30/29.97/25/24/23.98	
		1080PsF	30/29.97/25/24/23.98	
		1080i	60/59.94/50	
	12bit	1080p	30/29.97/25/24/23.98	
		1080PsF	30/29.97/25/24/23.98	
		1080i	60/59.94/50	
RGB 4:4:4	10bit	1080p	30/29.97/25/24/23.98	
		1080PsF	30/29.97/25/24/23.98	
		1080i	60/59.94/50	
	12bit	1080p	30/29.97/25/24/23.98	
		1080PsF	30/29.97/25/24/23.98	
		1080i	60/59.94/50	
		1080p	24/23.98	(2048×1080)
		1080PsF	24/23.98	

※ リンク A/B 間の位相差は 100 クロック(約 1.4 μ s)まで自動的に補正して表示します。
1080p/60、1080p/59.94、1080p/50 は、外部同期モードで動作しません。

2. 仕様

表 2-4 3G-SDI レベル A ビデオ信号フォーマットと規格

カラーシステム	量子化精度	スキャンニング	フレーム(フィールド)周波数	対応規格
YCbCr 4:2:2	10bit	1080p	60/59.94/50	SMPTE ST 424
	12bit	1080p	30/29.97/25/24/23.98	SMPTE ST 425
		1080PsF	30/29.97/25/24/23.98	
		1080i	60/59.94/50	
YCbCr 4:4:4	10bit	1080p	30/29.97/25/24/23.98	
		1080PsF	30/29.97/25/24/23.98	
		1080i	60/59.94/50	
		720p	60/59.94/50/30/29.97/25/24/23.98	
	12bit	1080p	30/29.97/25/24/23.98	
		1080PsF	30/29.97/25/24/23.98	
		1080i	60/59.94/50	
RGB 4:4:4	10bit	1080p	30/29.97/25/24/23.98	
		1080PsF	30/29.97/25/24/23.98	
		1080i	60/59.94/50	
		720p	60/59.94/50/30/29.97/25/24/23.98	
	12bit	1080p	30/29.97/25/24/23.98	
		1080PsF	30/29.97/25/24/23.98	
		1080i	60/59.94/50	
		1080p	24/23.98	(2048×1080)
		1080PsF	24/23.98	

※ 720p/30、720p/29.97、720p/25、720p/24、720p/23.98 は、外部同期モードで動作しません。
また、上記に加えて 1080p/60、1080p/59.94、1080p/50 は、ビデオ信号波形表示での 2H 表示はできません。

2. 仕様

表 2-5 3G-SDI レベル B ビデオ信号フォーマットと規格

カラーシステム	量子化精度	スキャニング	フレーム(フィールド)周波数	対応規格
YCbCr 4:2:2	10bit	1080p	60/59.94/50	SMPTE ST 424
	12bit	1080p	30/29.97/25/24/23.98	SMPTE ST 425
		1080PsF	30/29.97/25/24/23.98	
		1080i	60/59.94/50	
YCbCr 4:4:4	10bit	1080p	30/29.97/25/24/23.98	
		1080PsF	30/29.97/25/24/23.98	
		1080i	60/59.94/50	
	12bit	1080p	30/29.97/25/24/23.98	
		1080PsF	30/29.97/25/24/23.98	
		1080i	60/59.94/50	
RGB 4:4:4	10bit	1080p	30/29.97/25/24/23.98	
		1080PsF	30/29.97/25/24/23.98	
		1080i	60/59.94/50	
	12bit	1080p	30/29.97/25/24/23.98	
		1080PsF	30/29.97/25/24/23.98	
		1080i	60/59.94/50	
		1080p	24/23.98	(2048×1080)
		1080PsF	24/23.98	

※ 1080p/60、1080p/59.94、1080p/50 は、ビデオ信号波形表示での 2H 表示はできません。

表 2-6 3G-SDI レベル B (2map) ビデオ信号フォーマットと規格

カラーシステム	量子化精度	スキャニング	フレーム(フィールド)周波数	対応規格
YCbCr 4:2:2	10bit	1080i	60/59.94/50	SMPTE ST 424
		1080p	30/29.97/25/24/23.98	SMPTE ST 425
		1080PsF	30/29.97/25/24/23.98	
		720p	60/59.94/50/30/29.97/25/24/23.98	

※ 720p/30、720p/29.97、720p/25、720p/24、720p/23.98 は、外部同期モードで動作しません。

アンシラリデータ規格

SMPTE ST 291

フォーマット設定

自動設定 / 手動設定

自動設定

3G-SDI、HD デュアルリンク

ペイロード ID (SMPTE ST 352) のフォーマット情報を検出し、自動設定

HD-SDI、SD-SDI

入力信号の同期情報からフォーマットを判断し、自動設定

手動設定

ビデオ信号フォーマットを手動で設定

2. 仕様

2.3.2 エンベデッドオーディオ再生方式 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

対応規格

3G-SDI、HD-SDI、HD デュアルリンク	SMPTE ST 299
SD-SDI	SMPTE ST 272
フォーマット	LPCM / Dolby-E(オプション) / Dolby Digital(オプション)
量子化精度	24bit
クロック生成方式	ビデオクロックより生成
同期関係	ビデオクロックにすべて同期していること サイマルモード時は、A/Bch が同期していること
分離チャンネル	2 グループ 8 チャンネルを (A/Bch 混在可) / 4 グループ 16 チャンネル

2.3.3 アナログコンポジット信号フォーマットと規格 (LV 5770SER03A)

入力信号	NTSC/PAL コンポジットビデオ信号 HD3 値同期信号
------	-----------------------------------

対応規格

コンポジット信号	SMPTE ST 170、ITU-R BT. 470
HD3 値同期信号	SMPTE ST 274
HD3 値同期信号フォーマット (※1)	1080i/60、59.94、50 1080p/30、29.97、25、24、23.98 1080PsF/30、29.97、25、24、23.98

※1 1035i (非対応) を入力すると、1080i として検出されます。
1080PsF/30、29.97、25 を入力すると、それぞれ 1080i/60、59.94、50 として検出されます。

2. 仕様

2.3.4 SDI 入出力端子 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

SDI 入力端子

入力端子	BNC コネクタ 2 端子 2 系統
3G-SDI、HD-SDI、SD-SDI	A/Bch 2 系統
HD デュアルリンク	Link A/B 1 系統
入力インピーダンス	75 Ω
入力リターンロス	
5MHz~1.485GHz	15dB 以上
1.485~2.97GHz	10dB 以上
最大入力電圧	
LV 5770SER08/LV 5770SER09	$\pm 2V$ (DC+ピーク AC)
LV 5770SER09A	0~+12V (DC)、 $\pm 1V$ (AC)

SDI 出力端子

出力端子	BNC コネクタ 2 端子 2 系統
出力信号	SDI 入力信号をシリアルリクロックして出力
3G-SDI、HD-SDI、SD-SDI	A/Bch 切り換え 1 系統
	Bch 固定 1 系統
HD デュアルリンク	Link A/B 1 系統
出力インピーダンス	75 Ω
出力電圧	800mVp-p $\pm 10\%$ (75 Ω 終端時)
出力リターンロス	
5MHz~1.485GHz	15dB 以上
1.485~2.97GHz	10dB 以上

2.3.5 アナログビデオ入出力端子 (LV 5770SER03A)

アナログコンポジット入力端子

入力端子	BNC コネクタ 2 端子 (A/Bch 選択式)
入力インピーダンス	75 Ω
入力リターンロス	
~6MHz	30dB 以上
6~20MHz	18dB 以上
最大入力電圧	$\pm 5V$ (DC+ピーク AC)

アナログコンポジット出力端子

出力端子	BNC コネクタ 1 端子
出力信号	アナログコンポジット入力の A/Bch から選択出力 (アクティブ出力)
出力インピーダンス	75 Ω
出力振幅	1Vp-p $\pm 5\%$ (75 Ω 終端時)
周波数特性	
25Hz~5MHz	$\pm 5\%$
5~15MHz	-10~+5%
15~20MHz	$\pm 10\%$

2. 仕様

2.3.6 外部同期信号入力端子 (LV 5770SER03A/LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

入力端子	BNC コネクタ 1 系統 2 端子
入力信号	3 値同期信号または NTSC/PAL ブラックバースト信号
入力インピーダンス	15k Ω パッシブループスルー
入力リターンロス	30dB 以上 (50kHz~30MHz、75 Ω 終端時)
最大入力電圧	$\pm 5V$ (DC+ピーク AC)

- ※ 外部同期信号を基準としてビデオ信号波形表示させると、SDI 信号の抜き差しや電源のオンオフで、前後 1 クロック分の波形位相が確定しません。
- ※ 以下のフォーマットは、外部同期モードで動作しません。
- HD デュアルリンクの 1080p/60、1080p/59.94、1080p/50
 - 3G の 720p/30、720p/29.97、720p/25、720p/24、720p/23.98

2.3.7 オーディオ入出力端子 (LV 5770SER42/LV 7770 OP70)

デジタルオーディオ入出力端子

入出力端子	BNC コネクタ
A 系統	4 端子 8 チャンネル
B 系統 (LV 7770 OP70)	4 端子 8 チャンネル
入出力の切り換え	系統 (4 端子 8ch) ごとに切り換え
入出力インピーダンス	75 Ω
最大入力電圧	$\pm 5V$ (DC+ピーク AC)
出力電圧	1.0Vp-p $\pm 10\%$ (75 Ω 終端時)
対応規格	AES-3id
対応フォーマット	L-PCM / Dolby-E(オプション) / Dolby Digital(オプション)
サンプリング周波数	48kHz
出力信号	SDI エンベデッドオーディオのうち 1~8ch、 SDI エンベデッドオーディオのうち 9~16ch (LV 7770 OP70)、 画面表示されているオーディオ信号 8ch (Dolby 信号はデコードして出力)

アナログオーディオ入出力端子 (LV 5770SER42)

入出力端子	D サブ 37 ピン (メス)
嵌合固定ねじ	インチねじ (No. 4-40UNC)
入力信号形式	直流結合平衡入力
入力チャンネル数	8ch
入力インピーダンス	20k Ω 以上
最大入力電圧	24dBu
出力信号形式	直流結合平衡出力
出力チャンネル数	8ch
出力インピーダンス	公称 50 Ω
出力信号	画面表示されているオーディオ信号 8ch (Dolby 信号はデコードしてアナログ出力)
最大出力レベル	
負荷 100k Ω 以上のとき	24dBu
負荷 600 Ω 以上のとき	4dBu

2. 仕様

ヘッドホン出力端子

出力端子	標準ジャック 1 端子 (ステレオ)
出力信号	画面表示されているオーディオ信号のうち、任意の 2ch (ダウンミックスした LT、RT も可)
サンプリング周波数	48kHz のみ
音量調整	メニューにて調整
出力電力	最大 100mW (負荷抵抗 8Ω 時)

※ エンベデッドオーディオ信号の出力には、LV 5770SER08/LV 5770SER09A が必要です。

2.3.8 ビデオ出力端子

DVI-I 出力端子

出力端子	DVI-I 1 系統
出力信号	測定画面をデジタル信号で出力
解像度	XGA (1024×768)
アスペクト比 (※1)	4:3 / 16:9 / 16:10
信号形式	Single Link T.M.D.S、アナログ RGB
DDC 機能	非対応
HOT PLUG 検出機能	非対応

ピクチャーモニター出力端子 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A) (※2)

出力端子	1 端子
出力信号	選択された SDI 入力信号(A/Bch)をモニター出力
信号形式	Single Link T.M.D.S
色空間変換	YCbCr 4:2:2 / YCbCr 4:4:4 / RGB 4:4:4 (相互変換可能)
量子化精度変換	8bit / 10bit / 12bit
音声 (※3)	SDI エンベデッドオーディオの 1~8ch を多重 (LPCM のみ)

※1 ディスプレイ側に解像度変換機能が必要です。

※2 以下の信号には対応していません。

720p/24、23.98

1080PsF/30、29.97、25、24、23.98

1080p/24、23.98 (2048×1080)

1080PsF/24、23.98 (2048×1080)

※3 オーディオのチャンネルマッピングは固定です。

2. 仕様

2.3.9 制御端子

USB 端子

規格	USB 2.0
対応メディア	USB メモリーデバイス
機能	キャプチャデータ、イベントログ、プリセットデータ、データダンプ、ラウドネスログの保存

イーサネット端子 (※1)

対応規格	IEEE802.3
対応プロトコル	TELNET、FTP、SNMP、HTTP、SNTP
入出力端子	RJ-45
機能	外部 PC または LV 7770-01 による遠隔操作
種類	10Base-T / 100Base-TX

リモート端子

機能	プリセットの呼び出し、入力チャンネルの切り換え、アラーム出力、ラウドネスの開始/停止とクリア
制御信号	LV-TTL レベル (LOW アクティブ)
入力電圧範囲	DC 0～5V
制御端子	D サブ 15 ピン (メス)
嵌合固定ねじ	インチねじ (No. 4-40UNC)

※1 TELNET と LV 7770-01 は同時に使用できません。

2.3.10 スクリーンキャプチャ

機能	表示画面の取り込み
表示	取り込んだ画像のみ表示、または入力信号と重ねて表示
メディア	内蔵メモリー (RAM)、USB メモリー 内蔵メモリーには画面 1 枚分のみ記録
データ出力	USB メモリーにビットマップ形式、および本体に呼び出し可能なファイル形式で保存
データ入力	USB メモリーに保存したデータを呼び出して表示

2.3.11 フレームキャプチャ (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

機能	フレームデータの取り込み
表示	取り込んだフレームデータのみ表示、または入力信号と重ねて表示
メディア	内蔵メモリー (RAM)、USB メモリー 内蔵メモリーには 1 フレーム 1 系統のみ記録
データ出力	USB メモリーに DPX 形式、TIF 形式、本体に呼び出し可能なファイル形式で保存
データ入力	USB メモリーに保存したデータを呼び出して表示 (※1)
取り込みタイミング	手動 / 自動 (エラーキャプチャ)
エラーキャプチャ	エラーが発生した時点のフレームデータを自動で取り込み

※1 フレームデータと同一フォーマットの入力信号が必要です。

2. 仕様

2.3.12 プリセット

プリセット (※1)	パネル設定を保存
プリセット数	60 点
呼び出し方法	フロントパネル、リモート端子(※2)、イーサネット
コピー	プリセットデータを本器から USB に一括コピー、または USB から本器に一括コピー

※1 電源オンオフ、イーサネット、リモート端子、日付と時間に関する設定は保存されません。

※2 リモート端子からの呼び出しは、8 点(ラウドネスコントロール時 6 点)と 60 点の切り換え式です。

2.3.13 主な表示機能

入力系統	SDI 入力 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A) / コンポジット入力 (LV 5770SER03A)
入力モード	1 入力モード / サイマルモード / 3G-SDI 2 マッピング (HD デュアルリンク時、コンポジット入力時は 1 入力モードのみ)
1 入力モード	1 つの入力信号についてのみ表示
サイマルモード	最大 2 つの入力信号を同時表示
3G-SDI 2 マッピングモード	3G-SDI 信号を 2 つの HD-SDI に分離して同時表示
サイマルモード、3G-SDI 2 マッピングモード表示形式	ミックス / タイル / アライン (表示内容により異なる)
表示サイズ	1 画面表示 / 2 画面マルチ表示 / 4 画面マルチ表示
1 画面表示	1 画面に大きく表示 (サムネイルオンオフ可)
2 画面マルチ表示	左右 1/2 画面に表示
4 画面マルチ表示	1/4 画面に表示

2. 仕様

2.3.14 SDI 信号ビデオ波形表示 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

サイマルモード表示形式	ミックス / アライン
波形操作	
表示モード	
オーバーレイ表示	コンポーネント信号を重ねて表示
パレード表示	コンポーネント信号を並べて表示
ブランキング期間	H ブランク、V ブランクそれぞれマスク表示可能
RGB 変換	YCbCr 信号を RGB 信号に変換して表示
チャンネル割り当て	GBR 並び / RGB 並び
疑似コンポジット表示	コンポーネント信号を疑似的にコンポジット信号に変換して表示
ラインセレクト	選択されたラインを表示
スイープ切り換え	H / V
表示色	入力チャンネルごとに 7 色から選択
垂直軸	
ゲイン	×1 / ×5
可変ゲイン	×0.2～×2.0
振幅確度	±0.5%
×1	±0.5%
×5	±0.2%
3G-SDI、HD デュアルリンク (1080p/60、1080p/59.94、1080p/50)	
Y 信号	±0.5% (1～60MHz)
CbCr 信号	±0.5% (0.5～30MHz)
ローパス減衰量	20dB 以上 (40MHz にて)
3G-SDI、HD-SDI、HD デュアルリンク (1080p/60、1080p/59.94、1080p/50 を除く)	
Y 信号	±0.5% (1～30MHz)
CbCr 信号	±0.5% (0.5～15MHz)
ローパス減衰量	20dB 以上 (20MHz にて)
SD-SDI	
Y 信号	±0.5% (1～5.75MHz)
CbCr 信号	±0.5% (0.5～2.75MHz)
ローパス減衰量	20dB 以上 (3.8MHz にて)
水平軸	
ライン拡大	×1 / ×10 / ×20 / ACTIVE / BLANK
フィールド拡大	×1 / ×20 / ×40
カーソル測定	
構成	
水平カーソル	2 本 (REF、DELTA)
垂直カーソル	2 本 (REF、DELTA)
振幅測定	mV / % / R% / DEC / HEX
時間測定	sec 表示
周波数表示	カーソル間を 1 周期とする周波数表示
スケール	
種類	%スケール / V スケール / 10 進スケール / 16 進スケール
表示色	7 色から選択
サムネイル表示	ピクチャー、オーディオレベル計、ヒストグラム

2. 仕様

2.3.15 アナログコンポジット信号波形表示 (LV 5770SER03A)

波形操作

ラインセレクト	選択されたラインを表示
スイープ切り換え	H / V
表示色	7 色から選択

垂直軸

スケール	
コンポジット信号	
NTSC	-40～100IRE
PAL	-0.3～0.7V
HD3 値同期信号	-0.3～0.7V、-43～100% (V/%切り換え)
ゲイン	×1 / ×5
可変ゲイン	×0.2～×2
振幅確度	±1%
周波数特性	
コンポジット信号	
25Hz～5MHz	±2%
5～5.6MHz	-7～+3%
HD3 値同期信号	
25Hz～15MHz	±5%
15～20MHz	±10%

過渡特性 (1V フルスケール、フラット、2T パルス、2T バーに対して、コンポジット信号入力時)

オーバーシュート	±2%
プリシュート	±1%
リングング	±2%
パルス/バーレシオ	±1%
垂直チルト	±1%
フィルタ	ルミナンスフィルタ
DC リストア	バックポーチにクランプ

水平軸

動作モード	1 波形表示
表示方式	
ライン表示	1H / 2H
ライン拡大	×1 / ×10 / ×20
フィールド表示	1V / 2V
フィールド拡大	×1 / ×20 / ×40
時間確度	±1%

カーソル測定

水平カーソル	2 本 (REF、DELTA)
時間測定	sec 表示
周波数測定	カーソル間を 1 周期とする周波数表示
垂直カーソル	2 本 (REF、DELTA)
振幅測定	mV / % / R%
サムネイル表示	ピクチャー、オーディオレベル計、ヒストグラム

2. 仕様

2.3.16 SDI 信号ベクトル波形表示 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

サイマルモード表示形式	ミックス / タイル
表示色	入力チャンネルごとに 7 色から選択
ブランキング期間 (※1)	マスクして表示
疑似コンポジット表示	コンポーネント信号を疑似的にコンポジット信号に変換して表示
ラインセレクト	選択されたラインを表示
ゲイン	×1 / ×5 / IQ-MAG
可変ゲイン	×0.2～×2.0
振幅確度	±0.5%
スケール	
種類	ITU-R BT.601 / ITU-R BT.709 / AUTO
カラーバーの飽和度	75% / 100%
IQ 軸	表示 / 非表示
表示色	7 色から選択
サムネイル表示	ピクチャー、オーディオレベル計、ヒストグラム

※1 マルチ画面表示のときは、ビデオ信号波形のブランキング表示設定に依存します。

2.3.17 アナログコンポジット信号ベクトル波形表示 (LV 5770SER03A)

ラインセレクト	選択されたラインを表示
ゲイン	×1 / ×5 / IQ-MAG
可変ゲイン	×0.2～×2.0
振幅確度	±3%
位相確度	±2°
位相調整範囲	360°
スケール	
カラーバーの飽和度	75% / 100%
IQ 軸	表示 / 非表示
表示色	7 色から選択
セットアップ (NTSC)	0% / 7.5%
NTSC 表示 (PAL)	NTSC 表示 / PAL 表示
SCH 表示	SCH の値をデジタル値で表示
サムネイル表示	ピクチャー、オーディオレベル計、ヒストグラム

※ ベクトル表示は、コンポジット信号入力時のみ有効です。

2.3.18 SDI 信号 5 バー表示 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

サイマルモード表示形式	タイルのみ
機能	SDI 信号を Y、R、G、B、コンポジットに変換して、5 本のピークレベルで表示
チャンネル割り当て	RGB / GBR
スケール	mV / %
エラーレベル	ガマットエラー、コンポジットガマットエラー、ルミナンスエラーのしきい値設定による
ラインセレクト	選択されたラインを表示
ローパスフィルタ	ガマットエラーに同じ 過渡的なエラーを除去
サムネイル表示	ピクチャー、オーディオレベル計、ヒストグラム

2.3.19 SDI 信号ピクチャー表示 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

サイマルモード表示形式	ミックス / タイル
量子化精度	8bit
表示サイズ	縮小 / フルフレーム / 実サイズ / ×2
フレームレート	内部同期信号でフレームレート変換して表示
アスペクトマーカ表示	
HD-SDI	4:3 / 13:9 / 14:9 / 2.39:1 / AFD
SD-SDI	13:9 / 14:9 / 16:9 / AFD
アスペクトマーカ形式	ライン / シャドウ(99 段階) / ブラック
セーフティマーカサイズ	ARIB TR-B4 / SMPTE RP-218 / ユーザー設定
ラインセレクト	選択されたラインをマーカ表示
AFD 表示	SMPTE 2016-1-2007 に準拠した AFD の略称を表示
ガマットエラー表示	ガマットエラーの箇所をピクチャーに重ねて表示 (ガマット、コンポジットガマット、ルミナンスエラーの論理和)
スーパーインポーズ (※1)	英語字幕をピクチャーに重ねて表示
対応規格	
EIA-708	SMPTE ST 334
EIA/CEA-608-B(EIA-708-B)	
	SMPTE ST 334
EIA/CEA-608-B(EIA/CEA-608-B)	
	SMPTE ST 334
VBI(EIA/CEA-608-B Line21)	
	CIA/EIA-608-B
シネライト表示	ピクチャー画面上での輝度情報表示
機能	f Stop 表示、%表示、階調表示
f Stop 表示	基準ポイントに対する相対 f 値で表示
f Stop ガンマ補正	
基準ガンマ	0.45 (ITU-R BT709)
ユーザー補正テーブル	3 種類
外部補正テーブル	5 種類 (USB メモリーから読み込み)
%表示	輝度成分または RGB 成分を%で表示
階調表示	RGB 成分を 8 ビット 256 階調で表示

2. 仕様

測定点数	3 点
測定サイズ	1×1 画素 / 3×3 画素 / 9×9 画素
シネライトアドバンス表示機能	連携マーカー表示、ベクトルマーカー表示
連携マーカー表示	シネライト表示の f Stop 表示または % 表示の測定ポイントを、ベクトル表示や波形表示に連携してマーカー表示
ベクトルマーカー表示	ベクトル表示上の任意位置を数値表示
マーカー数	
連携マーカー	最大 4 点
ベクトルマーカー	1 点
ベクトル数値表示	アクティブなマーカー位置を数値表示
Cb	C _B の位置を % で表示
Cr	C _R の位置を % で表示
deg	色相を ° で表示
d	中心からの距離を % で表示
シネゾーン表示機能	輝度レベルに応じて着色して表示
表示色	
グラデーション	1024 色
ステップ	12 色
サーチ	モノクロ + 3 色
グラデーション、ステップ表示	
上限値設定	-6.3～109.4% (設定値以上を白で表示)
下限値設定	-7.3～108.4% (設定値未満を黒で表示)
サーチ表示機能	モノクロで表示されたピクチャーの上に、設定した輝度レベル±0.5%を緑色で表示
輝度レベル設定	-7.3～109.4%
上限値設定	-6.3～109.4% (設定値以上を赤で表示)
下限値設定	-7.3～108.4% (設定値未満を青で表示)
サムネイル表示	ビデオ信号波形、オーディオレベル計、ヒストグラム

※1 入力信号が 3G-SDI または HD デュアルリンクのときは非対応です。

2.3.20 アナログコンポジット信号ピクチャー表示 (LV 5770SER03A)

量子化精度	8bit
表示サイズ	縮小 / フルフレーム / 実サイズ / ×2
フレームレート	内部同期信号でフレームレート変換して表示
アスペクトマーカー表示	16:9 / 14:9 / 13:9
アスペクトマーカー形式	ライン / シャドウ (99 段階) / ブラック
セーフティマーカーサイズ	SMPTE RP-218 / ユーザー設定
ラインセレクト	選択されたラインをマーカー表示
サムネイル表示	ビデオ信号波形、オーディオレベル計、ヒストグラム

※ ピクチャー表示は、コンポジット信号入力時のみ有効です。

2.3.21 SDI 信号 3D アシスト表示 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

入力端子	
左目用映像信号	Ach または 3G-B(2map) のストリーム 1
右目用映像信号	Bch または 3G-B(2map) のストリーム 2
ピクチャー表示	
アナグリフ表示 (カラー)	左目用映像信号からグリーンとブルーをマスクし、右目用映像信号からレッドをマスクしたものを合成
アナグリフ表示 (モノクロ)	モノクロ左目用映像信号からグリーンとブルーをマスクし、モノクロ右目用映像信号からレッドをマスクしたものを合成
コンバージェンス表示	モノクロ左目用映像信号とモノクロ右目用映像信号の差に 50% オフセットを加算
オーバーレイ表示	左目用映像信号と右目用映像信号のレベルをそれぞれ半分にして合成
チェッカ表示	左目用映像信号と右目用映像信号を格子状に表示
境界線	上下左右に移動
ワイプ表示	左目用映像信号と右目用映像信号を境界線で分けて表示
境界線	上下、左右個別に移動
	表示 / 非表示
左右境界線	境界線の左側が左目用映像信号、右側が右目用映像信号
上下境界線	境界線の上側が左目用映像信号、下側が右目用映像信号
フリッカ表示	左目用映像信号と右目用映像信号を時分割表示
反転表示	
左右反転	ピクチャーとビデオ信号波形(※1)を反転
上下反転	ピクチャーを反転
反転チャンネル	左目用映像信号と右目用映像信号を個別に反転
グリッド表示	
機能	ピクチャーにグリッドを表示
グリッド種類	視差 / 水平 / 視差および水平
視差グリッド幅	6~192 ピクセル (0.3~10.0%) (※2)
水平グリッド幅	6~108 ライン (0.6~10.0%) (※2)
グリッドの移動	視差、水平個別に移動
ビデオ信号波形表示	
表示形式	並べて表示 / 重ねて表示
ワイプ機能	L/R ワイプ
視差測定機能	
機能	ピクチャー上にカーソルを合わせて、視差と輝度レベルを測定
アラーム	上限値を超えると NG 表示
測定項目	スクリーン視差(dot、cm、%)、立体像距離(m)、輻輳角(°)

※1 ビデオ信号波形は、映像期間のみを左右反転します。

※2 ピクセルおよびラインの範囲は入力信号によって異なります。ここでは入力信号が 1080i/59.94 のときの値を示しています。

2.3.22 デジタルオーディオ表示

サイマルモード表示形式 入力信号	タイルのみ (A/Bch のオーディオが同期していること) SDI エンベデッドオーディオ入力(要 LV 5770SER08/LV 5770SER09A) / デジタルオーディオ入力
表示チャンネル チャンネル選択	最大 16 チャンネル
SDI エンベデッドオーディオ	1、2、3、4 グループから任意の 2 グループ / 1、2、3、4 グループすべて
デジタルオーディオ	グループ A / グループ B(LV 7770 OP 70) / グループ A + グループ B(LV 7770 OP 70) (入力端子に設定していること)
表示種類	レベル計 / リサージュ、相関計 / サラウンド / ステータス / ラウドネス
レベル計表示	
表示チャンネル	2ch / 8ch / 16ch
表示ダイナミックレンジ	-60dBFS / -90dBFS / 基準レベル±3dB
メーターの応答モデル	TRUE PEAK / PPM type I / PPM type II / VU
ピークホールドの応答モデル	TRUE PEAK / PPM type I / PPM type II
ピークホールド時間	0.0~5.0sec (0.5sec ステップ) / HOLD
レベル設定	-40.0~0.0dBFS (基準レベル、ウォーニングレベル、オーバーレベル)
Non-PCM 検出(オプション)	Non-PCM 音声チャンネルをシアンでフラグ表示
リサージュ表示	
表示チャンネル	2ch(シングル) / 8ch(マルチ) / 16ch(マルチ)
表示方法	X-Y / MATRIX
相関計	2 チャンネル間の相関を-1~1 で表示
インジケータ表示(オプション)	Dolby-E のフレームロケーションをインジケータ表示
サラウンド表示	
機能	音場をグラフィック表示
サラウンド方式	5.1
チャンネルの割り当て	L / R / C / LFE / Ls(S) / Rs / LL / RR
センターチャンネル方式	NORMAL / PHANTOM CENTER
ゲイン	×1 / AUTO
相関表示	隣接チャンネルの逆相を検出
ステータス表示	
レベル値	オーディオレベルを数値で表示(dBFS)
エラー検出	チャンネルごとに発生回数をカウント
レベルオーバー	入力信号のレベルが設定値を超えたときにカウント
検出設定	-40.0~0.0dBFS
クリップ	設定されたサンプル数を超える最大値信号が、連続して入力されたときにカウント
検出設定	1~100sample
ミュート	設定された期間を超えるミュート信号が、連続して入力されたときにカウント
検出設定	1~5000ms
パリティエラー	入力信号のパリティビットと、LV 7770 で再計算された

2. 仕様

バリディティエラー CRC エラー	パリティビットの値が異なるときにカウント 入力信号のバリディティビットが 1 のときにカウント チャンネルステータスビットの CRC 値と、再計算した CRC 値が異なるときにカウント
コードバイオレーション	入力信号のバイフェーズ変調の状態が異常であるときにカウント
経過時間	リセットしてからの経過時間を表示
チャンネルステータスビット	ダンプ表示、テキスト表示
ユーザーデータビット	ダンプ表示
Dolby E メタデータ	テキスト表示 (オプション)
Dolby Digital メタデータ	テキスト表示 (オプション)
ラウドネス表示 機能	ラウドネスの長時間チャート表示、数値表示、ログ、レベルメーター表示、ピーク値表示
対応規格	ITU-R BS.1770、ARIB TR-B32、EBU R128、ATSC A/85
測定チャンネル	2 音声を同時測定可
モード (メイン)	モノラル / ステレオ / 5.1 / 任意チャンネル
モード (サブ)	オフ / モノラル / ステレオ
チャンネル選択	8 チャンネルを任意に割り当て
LFE ゲイン	0~10 倍
測定トリガ	手動(パネル) / リモート / タイムコード(要 LV 5770SER08/LV 5770SER09A) / ミュート
測定モード	BS1770-2 / ARIB / EBU / ATSC
ターゲットレベル	
BS1770-2	-24.0 LKFS
ARIB	-24.0 LKFS (±1 LK)
EBU	-23.0 LKFS (±1 LU)
ATSC	-24.0 LKFS (±2 LK)
アベレージタイム	
モーメンタリラウドネス	200~10000ms
ショートタームラウドネス	200~10000ms
チャート表示	
1 音声測定時	インテグレートドラウドネスと、モーメンタリまたはショートタームラウドネスを、グラフで表示
2 音声測定時	インテグレートド、モーメンタリ、ショートタームラウドネスのいずれかを、グラフで表示
測定時間	
標準品	2 分 / 10 分 / 30 分 / 1 時間 / 2 時間
オプション	6 時間 / 12 時間 / 24 時間 / 32 時間
MAG	ターゲットレベルの-18~+9(LK/LU)を拡大表示
数値表示	インテグレートドラウドネスと、モーメンタリまたはショートタームラウドネスを、絶対値と相対値で表示
インテグレートドラウドネス	ターゲットレベル範囲を超えた場合、赤色表示
モーメンタリ、ショートタームラウドネス	ターゲットレベルを超えた場合、赤色表示

2. 仕様

ログ	
ログ時間	最大 2 時間（オプション時、最大 32 時間）
ファイル	
ログ	CSV 形式で保存
サマリ	設定値をテキスト形式で保存
レベルメーター表示	8 チャンネルのレベルをメーター表示
ピーク値表示	測定チャンネルのピーク値を数値表示

2.3.23 アナログオーディオ表示 (LV 5770SER42)

入力信号	アナログオーディオ入力
表示チャンネル	最大 8 チャンネル
表示種類	レベル計 / リサージュ / サラウンド / ステータス / ラウドネス
レベル計表示	下記以外はデジタルオーディオと同じ
スケールリファレンスレベル	4dBu を-20dBFS としてスケーリング
レベル確度	±0.3dB (-50～0dBFS、1kHz、信号源のインピーダンス 40Ω 以下)
周波数特性	
30Hz～20kHz	±0.4dB (4dBu、1kHz 基準、TRUE PEAK 応答)
20Hz～20kHz	+0.4dB、-0.6dB (4dBu、1kHz 基準、TRUE PEAK 応答)
リサージュ表示	デジタルオーディオと同じ
サラウンド表示	デジタルオーディオと同じ
ステータス表示	レベル値、レベルオーバーのみ表示
ラウドネス表示	デジタルオーディオと同じ

2.3.24 SDI ステータス表示 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

信号検出	SDI 信号の有無を検出
フォーマット表示	ビデオ信号フォーマットを表示
エラーカウント	エラー項目毎に最大 999,999 エラー
カウント周期	1 秒 / 1 フィールド(フレーム)
等価線長測定 (LV 5770SER09A)	SDI 信号の信号減衰量をケーブルに換算して表示
対応ケーブル	
3G-SDI、HD-SDI	LS-5CFB / 1694A
SD-SDI	L-5C2V / 8281
表示範囲	
3G-SDI	< 10m、10～105m、> 105m
HD-SDI	< 5m、5～130m、> 130m
SD-SDI	< 50m、50～300m、> 300m
分解能	5m
確度	±20m
エンベデッドオーディオチャンネル表示 (※1)	多重されているオーディオチャンネル番号を表示
SDI 信号のエラー検出	
CRC エラー	3G-SDI、HD-SDI、HD デュアルリンク信号の伝送エラーを 検出
EDH エラー	SD-SDI 信号の伝送エラーを検出

2. 仕様

TRS ポジションエラー	TRS の多重位置エラーを検出
TRS コードエラー	TRS プロテクションビットのエラーを検出
ラインナンバーエラー	3G-SDI、HD-SDI、HD デュアルリンク信号に多重されたラインナンバーエラーを検出
イリーガルコードエラー	TRS、ADF 以外での 000h～003h、3FCh～3FFh のデータを検出
デュアルリンク位相差エラー	リンク A/B 間の位相差が 100 クロック以上のとき、エラーを検出
線長計エラー (LV 5770SER09A)	
	指定したケーブル長を超えたとき、エラーを検出
3G-SDI	10～105m、5m ステップ
HD-SDI	5～130m、5m ステップ
SD-SDI	50～300m、5m ステップ
アンシラリデータパケットのエラー検出	
チェックサムエラー	アンシラリデータの伝送エラーを検出
パリティエラー	アンシラリデータヘッダのパリティエラーを検出
エンベデッドオーディオパケットのエラー検出 (※1)	
BCH エラー	オーディオパケットの伝送エラーを検出
DBN エラー	オーディオパケットの連続性エラーを検出
パリティエラー	オーディオパケットのパリティエラーを検出
多重位置エラー	多重禁止ラインへのオーディオ多重を検出
サンプルカウントエラー	オーディオのサンプル数を計測し、非同期音声を検出
画質のエラー検出	
ガマットエラー	ガマットエラーを検出
検出範囲	
上限値	90.8～109.4%
下限値	-7.2～6.1%
ローパスフィルタ	
HD-SDI	約 1MHz LPF (IEEE STD 205) / 約 2.8MHz LPF / OFF
SD-SDI	約 1MHz LPF (EBU R103-2000) / OFF
面積指定	0.0～5.0%
時間指定	1～60 フレーム
コンポジットガマットエラー	コンポーネント信号をコンポジット信号に変換したときのレベルエラーを検出
検出範囲	
上限値	90.0～135.0%
下限値	-40.0～20.0%
ローパスフィルタ	ガマットエラーと共通
面積指定	0.0～5.0%
時間指定	1～60 フレーム
フリーズエラー (※2)	映像のフリーズを時間指定して検出
検出方法	映像期間のチェックサム
時間指定	2～300 フレーム
ブラックエラー (※2)	映像のブラックアウトを検出
黒レベル指定	0～100%
面積指定	1～100%
時間指定	1～300 フレーム

2. 仕様

レベルエラー (※2)	YCbCr のレベルエラーを検出
Y 上限値	-51～766mV
Y 下限値	-51～766mV
CbCr 上限値	-400～399mV
CbCr 下限値	-400～399mV
ローパスフィルタ	ガンマットエラーと共通

※1 入力信号が 3G-SDI レベル B のときはストリーム 1、HD デュアルリンクのときはリンク A のみに対応しています。

※2 入力信号が 3G-SDI または HD デュアルリンクのときは非対応です。

2.3.25 アナログコンポジット信号ステータス表示 (LV 5770SER03A)

位相差表示

機能	外部同期信号と入力信号の位相差を数値とグラフィックで表示
外部同期信号	NTSC/PAL ブラックバースト信号 HD3 値同期信号 (入力信号と同一フォーマットであること)
表示範囲	
V 方向	1 フレーム
H 方向	±1 ライン

2.3.26 イベントログ

機能	検出したエラーや入力信号の切り換えなどをタイムスタンプとともに記録
記録数	最大 1,000 イベント
動作	スタートしてからストップするまでのイベントを記録
データ出力	USB メモリーまたはイーサネット経由で、テキスト形式で保存可能

2.3.27 SDI 解析機能 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

データダンプ表示

HD-SDI、SD-SDI 表示形式	シリアルデータ列またはチャンネルごとに分離表示
3G-SDI 表示形式	ストリーム 1 / ストリーム 2 / ストリーム 1/2 同時表示
HD デュアルリンク表示形式	リンク A / リンク B / リンク A/B 同時表示
ライン選択	選択されたラインを表示
サンプル選択	選択されたサンプルから表示
ジャンプ機能	EAV または SAV へ移動
データ出力	USB メモリーまたはイーサネット経由で、テキスト形式で保存可能

位相差表示

機能	基準信号と SDI ビデオ信号の位相差を数値とグラフィックで表示
----	----------------------------------

基準信号

3G-SDI、HD-SDI、SD-SDI	外部同期信号 / SDI 信号の Ach
HD デュアルリンク	外部同期信号 / リンク A

表示範囲

V 方向	1 フレーム
H 方向	±1 ライン

音声制御パケット

表示内容	音声制御パケットを解析表示
HD デュアルリンク	リンク A
3G-SDI レベル B	ストリーム 1
3G-SDI レベル B (2map)	ストリーム 1 / ストリーム 2
表示形式	テキスト / 16 進数 / 2 進数
グループ選択	4 グループから 1 グループを選択

EDH 表示 (SD-SDI のみ)

対応規格	SMPTE RP-165
表示内容	EDH パケットを解析表示、受信した CRC エラーの表示
表示形式	テキスト / 16 進数 / 2 進数

ペイロード ID 表示

対応規格	SMPTE ST 352
表示内容	ペイロード情報を解析表示
表示形式	テキストおよび 2 進数

クローズドキャプション解析表示 (※1)

対応規格	ARIB STD-B37、EIA-708-B、EIA/CEA-608-B
表示内容	クローズドキャプション信号を解析表示
表示形式	テキスト / 16 進数 / 2 進数

放送局間制御信号 (NET-Q) 表示 (※1)

対応規格	ARIB STD-B39
表示内容	放送局間制御信号を解析表示
表示形式	テキスト / 16 進数 / 2 進数
ログ機能	Q 信号のロギング
フォーマット ID 表示機能	フォーマット ID を解析表示

2. 仕様

データ放送トリガ信号 (※1)

対応規格	ARIB STD-B35
表示形式	テキスト / 16 進数 / 2 進数

V-ANC ユーザーデータ表示 (※1)

対応規格	ARIB TR-B23
表示形式	16 進数 / 2 進数

任意 ANC パケット表示

ANC 指定方法	DID / SDID
表示内容	
HD、3G-SDI	Y / C
HD デュアルリンク	Y / C、リンク A / リンク B
3G-SDI レベル B、3G-SDI レベル B(2map)	Y / C、ストリーム 1 / ストリーム 2
表示形式	16 進数 / 2 進数

AFD パケット表示 (※1)

対応規格	SMPTE 2016-1-2007
表示形式	テキスト / 16 進数 / 2 進数

※1 入力信号が 3G-SDI または HD デュアルリンクのときは非対応です。

2.3.28 SDI アンシラリデータ一覧表示 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

一覧表示内容	アンシラリデータごとの検出の有無、多重ラインナンバー、1 フレーム当たりのパケット数
ダンプ表示	選択したアンシラリデータを 16 進数または 2 進数で表示

※ 入力信号が 3G-SDI または HD デュアルリンクのときは非対応です。

2.3.29 リップシンク測定 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

機能	SDI 信号とデジタルオーディオ信号の時間差を測定し、数値とグラフで表示
基準信号	当社リップシンク対応 TSG
測定方法	映像信号の輝度レベルが指定した値を超えたときと、音声信号のレベルが指定した値を超えたときの時間差を測定
映像信号輝度レベル	25～100%
音声信号レベル	-30～0dBFS
対応オーディオ信号	エンベデッドオーディオ信号、デジタルオーディオ信号
測定レンジ(バー表示)	±50ms / ±100ms / ±500ms / ±1.0s / ±2.5s
測定レンジ(数値表示)	±3999ms
測定分解能	1ms
サムネイル表示	ピクチャー、オーディオレベル計

2.3.30 SDI クローズドキャプション packets 表示 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

表 2-7 SD-SDI ビデオ信号フォーマットと規格

機能	対応規格	DID	SDID
EIA-708 CC デコード機能	SMPTE ST 334	161h	101h
EIA/CEA-608-B CC デコード機能 (EIA-708-B)	SMPTE ST 334	161h	101h
EIA/CEA-608-B CC デコード機能 (EIA/CEA-608-B)	SMPTE ST 334	161h	102h
VBI (EIA/CEA-608-B Line21) CC デコード機能	CIA/EIA-608-B		

CDP パケットの表示内容

CDP パケットのヘッダ情報

- ・ フレームレート
- ・ タイムコードパケットの有無
- ・ 字幕パケットの有無とその有効性
- ・ 字幕サービス情報パケットの有無とその有効性
- ・ FUTURE データパケットの有無

タイムコード (タイムコードパケットが存在するとき)

字幕データ (字幕パケットが存在し、有効であるとき)

CC1~4、TEXT1~4、XDS パケットの有無

XDS パケットの表示内容

コンテンツアドバイザー情報

コピーマネジメント情報

ProgramDescription パケットの表示内容

Stuffing Descriptor

AC3 Audio Descriptor

Caption Service Descriptor

Content Advisory Descriptor

Extended Channel Name Descriptor

Service Location Descriptor

Time-Shifted Service Descriptor

Component Name Descriptor

DCC Departing Request Descriptor

DCC Arriving Request Descriptor

Redistribution Control Descriptor

2. 仕様

2.3.31 アイパターン表示 (LV 5770SER09A)

表示	SDI 入力信号のイコライジング前の波形を表示
3G-SDI、HD-SDI、SD-SDI	A/Bch のうち選択した 1 系統を表示
HD デュアルリンク	リンク A/B のうち選択した 1 系統を表示
方式	等価サンプリング方式
周波数特性	7GHz -3dB (立ち上がり時間より換算)
振幅確度	800mV±5% (入力 800mV のとき)
時間軸	
2UI 表示	
3G-SDI	50ps/div
HD-SDI	100ps/div
SD-SDI	550ps/div
4UI 表示	
3G-SDI	100ps/div
HD-SDI	200ps/div
SD-SDI	1100ps/div
16UI 表示	
3G-SDI	400ps/div
HD-SDI	800ps/div
SD-SDI	4400ps/div
時間軸確度	±3%
ジッタフィルタ	
10Hz	HPF 10Hz
100Hz	HPF 100Hz
1kHz	HPF 1kHz
100kHz	HPF 100kHz
TIMING	HPF 10Hz
ALIGNMENT	
3G-SDI、HD-SDI	HPF 100kHz
SD-SDI	HPF 1kHz
カーソル測定	Y カーソルによる振幅測定 X カーソルによる時間測定 TrTf カーソルによる立ち上がり時間、立ち下がり時間測定
自動測定項目	アイパターンの振幅 立ち上がり時間 (振幅の 20%-80%の時間) 立ち下がり時間 (振幅の 80%-20%の時間) DC オフセット タイミングジッタ カレントジッタ 立ち上がりエッジのオーバーシュート 立ち下がりエッジのオーバーシュート
DC オフセット確度	(表示値の±5%)±20mV

2. 仕様

2.3.32 ジッタ表示 (LV 5770SER09A)

表示	SDI 信号のジッタ成分を表示
3G-SDI、HD-SDI、SD-SDI	A/Bch のうち選択した 1 系統を表示
HD デュアルリンク	リンク A/B のうち選択した 1 系統を表示
方式	位相検波方式
ゲイン	×8 / ×2 / ×1
測定範囲	
×8	0.00～1.20UI
×2	1.20～4.80UI
×1	4.80～9.60UI
周波数特性	
SD-SDI	600kHz 以上 (入力 0.2UI のとき)
HD-SDI	2MHz 以上 (入力 0.2UI のとき)
3G-SDI	2MHz 以上 (入力 0.3UI のとき)
時間軸	1H / 2H / 1V / 2V
時間軸確度	±3%
ジッタフィルタ	
10Hz	HPF 10Hz
100Hz	HPF 100Hz
1kHz	HPF 1kHz
100kHz	HPF 100kHz
TIMING	HPF 10Hz
ALIGNMENT	
3G-SDI、HD-SDI	HPF 100kHz
SD-SDI	HPF 1kHz
カーソル測定	カーソルによるジッタ値の測定
自動測定表示機能	ジッタ値を時間(sec)とユニットインターバル(UI)で表示
自動測定項目	タイミングジッタ、カレントジッタ
確度	入力ジッタ周波数：1kHz、フィルタ設定：10Hz、測定範囲内において
0UI < 自動測定値 ≤ 1UI	±10% + 0.05UI
1UI < 自動測定値 ≤ 7UI	±10%

2. 仕様

2.3.33 アイパターン、ジッタエラー検出 (LV 5770SER09A)

エラー検出	項目ごとにオンオフ可
エラーしきい値設定	3G-SDI、HD-SDI、SD-SDI それぞれに設定可能
イベントログ	アイパターンおよびジッタのエラーを記録
しきい値	SMPTE の規格値を 100%とする
アイパターンの振幅	
上限値	80～140% (640～1120mV)
下限値	40～100% (320～800mV)
立ち上がり時間	
3G-SDI	40～140% (54.0～189.0ps)
HD-SDI	40～140% (108.0～378.0ps)
SD-SDI	40～140% (0.60～2.10ns)
立ち下がり時間	
3G-SDI	40～140% (54.0～189.0ps)
HD-SDI	40～140% (108.0～378.0ps)
SD-SDI	40～140% (0.60～2.10ns)
立ち上がりと立ち下がりの差	
3G-SDI	40～140% (20～70ps)
HD-SDI	40～140% (40～140ps)
SD-SDI	40～140% (0.20～0.70ns)
タイミングジッタ	
3G-SDI	10～200% (0.20～4.00UI、67.4～1348.0ps)
HD-SDI	10～200% (0.10～2.00UI、67.4～1348.0ps)
SD-SDI	10～200% (0.02～0.40UI、0.07～1.48ns)
カレントジッタ	
3G-SDI	10～200% (0.03～0.60UI、10.1～202.5ps)
HD-SDI	10～200% (0.02～0.40UI、13.5～270.0ps)
SD-SDI	10～200% (0.02～0.40UI、0.07～1.48ns)
立ち上がりエッジのオーバーシュート	0～200% (0.0～20.0%)
立ち下がりエッジのオーバーシュート	0～200% (0.0～20.0%)
DC オフセット	
上限値	0～100% (0～500mV)
下限値	0～100% (0～-500mV)

2.3.34 時間表示機能

時間表示	現在時刻 / タイムコード (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)
現在時刻表示	内蔵の時計機能による時刻表示
タイムコード	LTC / VITC / D-VITC (SD-SDI のみ)
対応規格	
LTC、VITC	SMPTE ST 12-2
D-VITC	SMPTE ST 266

2. 仕様

2.3.35 アラーム出力機能

画面表示
リモート端子出力

各種エラー発生時やファン回転停止時に、アラーム表示
各種エラー発生時やファン回転停止時に、リモート端子から信号を出力して通知

2.3.36 フロントパネル

キーLED

パワースイッチ
ラストメモリー機能

すべてのキーを薄く点灯
選択しているキーは明るく点灯
電子スイッチオンオフの状態を記憶
パネル設定の状態をメモリーバックアップ

2.3.37 一般仕様

環境条件

動作温度範囲
動作湿度範囲
性能保証温度範囲
使用環境
使用高度
過電圧カテゴリ
汚染度

0～40℃
85%RH 以下（ただし、結露のないこと）
10～30℃
屋内
2,000m まで
II
2

電源

電圧
周波数
消費電力

AC 90～250V
50/60Hz
90W max.

寸法

426(W)×44(H)×460(D)mm（突起部分含まない）

質量

約 5kg（オプションおよび付属品含まない）

付属品

電源コード..... 1
カバーインレットストッパー..... 1
D サブ 15 ピンコネクタ 1
D サブ 15 ピンコネクタカバー 1
D サブ 37 ピンコネクタ (LV 5770SER42) 1
D サブ 37 ピンコネクタカバー (LV 5770SER42) 1
取扱説明書..... 1

3. パネル面の説明

3.1 前面パネル

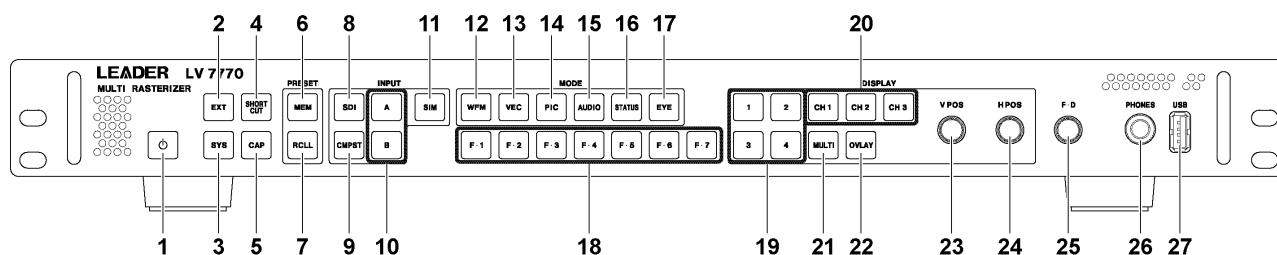


図 3-1 前面パネル

表 3-1 前面パネルの説明

番号	名称	説明
1	電源スイッチ	キーを押すと電源が入り、長押しすると電源が切れます。 【参照】「4.2 電源のオンオフ」
2	EXT	SDI 信号の同期信号を切り換えます。内部同期信号のときに消灯、外部同期信号のときに点灯します。 【参照】「4.5.4 外部同期信号の入力 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)」
3	SYS	本体やオプションユニットに関する設定をします。 【参照】「7 システム設定」
4	SHORTCUT	パネル設定の呼び出し、音量調整、表示画面の USB 保存、輝度調整、のいずれかを行います。 【参照】「4.7.5 ショートカットキーの操作」「7.4 ショートカットキーの設定」
5	CAP	表示画面やフレームデータの取り込みをします。 【参照】「8 キャプチャ機能」
6	MEM	プリセットの登録、削除、一括コピーをします。 【参照】「9 プリセット機能」
7	RCLL	プリセットの呼び出しをします。 【参照】「9 プリセット機能」
8	SDI	LV 5770SER08/LV 5770SER09A に入力した SDI 信号を測定します。
9	CMPST	LV 5770SER03A に入力したコンポジット信号、HD3 値同期信号を測定します。
10	A/B	SDI 信号の入力チャンネルを選択します。 【参照】「5.4 入力チャンネルの選択」
11	SIM	SDI 信号の入力モードを切り換えます。1 入力モードのときに消灯、サイマルモードのときに点灯します。 【参照】「5.4 入力チャンネルの選択」
12	WFM	ビデオ信号波形を表示します。LV 5770SER03A/LV 5770SER08/LV 5770SER09A が必要です。 【参照】「5.5 表示モードの選択」
13	VEC	ベクトル波形を表示します。LV 5770SER03A/LV 5770SER08/LV 5770SER09A が必要です。 【参照】「5.5 表示モードの選択」
14	PIC	ピクチャーを表示します。LV 5770SER03A/LV 5770SER08/LV 5770SER09A が必要です。 【参照】「5.5 表示モードの選択」

3. パネル面の説明

番号	名称	説明
15	AUDIO	オーディオを表示します。 【参照】「5.5 表示モードの選択」
16	STATUS	ステータスを表示します。LV 5770SER03A/LV 5770SER08/LV 5770SER09A が必要です。 【参照】「5.5 表示モードの選択」
17	EYE	アイパターンを表示します。LV 5770SER09A が必要です。 【参照】「5.5 表示モードの選択」
18	F・1～F・7	ファンクションメニューの操作をします。 【参照】「4.7.2 ファンクションメニューの操作」
19	1～4	表示エリアを選択します。 【参照】「5.2 表示エリアの選択」
20	CH 1～CH 3	ビデオ信号波形の各チャンネルをオンオフします。信号を表示しているときに点灯します。
21	MULTI	表示形式を切り換えます。マルチ画面表示(2画面または4画面)のときに点灯、1画面表示のときに消灯します。 【参照】「5.1 表示形式の選択」
22	OVLAY	ビデオ信号波形の表示形式を切り換えます。オーバーレイ表示(重ねて表示)のときに点灯、パレード表示(並べて表示)のときに消灯します。
23	V POS	ビデオ信号波形やアイパターン波形の垂直位置を調整します。押すと基準位置に戻ります。
24	H POS	ビデオ信号波形やアイパターン波形の水平位置を調整します。押すと基準位置に戻ります。
25	F・D	数値の設定や、カーソルの移動などに使用します。一部を除いて、押すと値が初期値に戻ります。
26	PHONES	標準プラグのヘッドホン端子です。ヘッドホンを接続することによって、SDI に多重された音声や、DIGITAL AUDIO IN/OUT に入力した音声が出力されます。
27	USB 端子	USB 端子です。USB メモリーを接続することによって、各種データの保存と呼び出しをします。

3. パネル面の説明

3.2 背面パネル

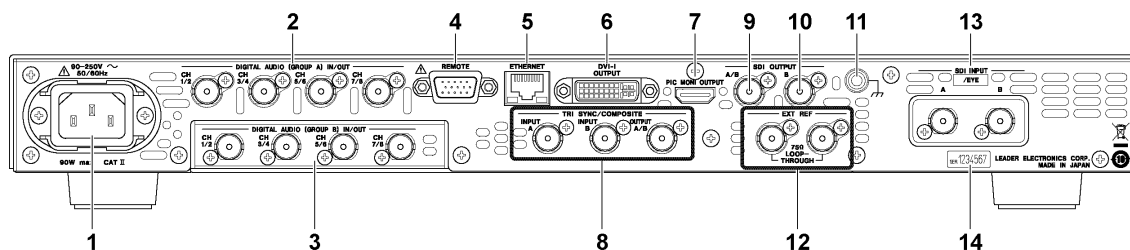


図 3-2 背面パネル (OP70 を実装した場合)

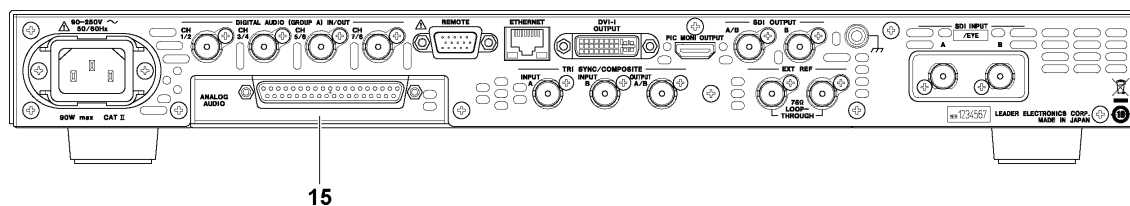


図 3-3 背面パネル (LV 5770SER42 を実装した場合)

表 3-2 背面パネルの説明

番号	名称	説明
1	電源入力端子	AC 電源の入力端子です。付属のカバーインレットストッパーを取り付けてください。 【参照】「4.1 カバーインレットストッパーについて」
2	DIGITAL AUDIO (GROUP A) IN/OUT	デジタルオーディオ信号を入出力します。 【参照】「4.5.5 デジタルオーディオ信号の入出力」
3	DIGITAL AUDIO (GROUP B) IN/OUT	OP70 の入出力端子です。デジタルオーディオ信号を入出力します。 【参照】「4.5.5 デジタルオーディオ信号の入出力」
4	REMOTE	D-Sub 15p のリモートコントロール端子です。プリセットの呼び出しなどができます。 【参照】「10 リモートコントロール」
5	ETHERNET	イーサネット端子です。 【参照】「11 イーサネットコントロール」
6	DVI-I OUTPUT	DVI-I 出力端子です。測定画面を出力します。 【参照】「4.2 ディスプレイへの接続」
7	PIC MONI OUTPUT	SDI INPUT に入力した SDI 信号を TMDS 方式に変換して出力します。 【参照】「4.5.3 ピクチャーモニター出力 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)」
8	TRI SYNC/COMPOSITE	LV 5770SER03A の入出力端子です。コンポジット信号、HD3 値同期信号を入出力します。 【参照】「4.5.5 コンポジット信号の入出力 (LV 5770SER03A)」
9	SDI OUTPUT A/B	SDI INPUT に入力した SDI 信号をリクロックして出力します。現在選択しているチャンネルを出力するモードと、Ach を固定で出力するモードがあります。 【参照】「4.5.2 SDI 信号の出力 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)」
10	SDI OUTPUT B	SDI INPUT B に入力した SDI 信号をリクロックして出力します。 【参照】「4.5.2 SDI 信号の出力 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)」
11	接地端子	外部のグラウンドと接続します。

3. パネル面の説明

番号	名称	説明
12	EXT REF	外部同期信号の入力端子です。ループスルーです。 【参照】「4.5.4 外部同期信号の入力 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)」
13	SDI INPUT	LV 5770SER08 または LV 5770SER09A の入力端子です。SDI 信号を入力します。 「/EYE」は、LV 5770SER09A を実装しているときに表示されます。 【参照】「4.5.1 SDI 信号の入力 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)」
14	シリアルシール	製造番号が印刷されています。
15	ANALOG AUDIO	LV 5770SER42 の入出力端子です。アナログオーディオ信号を入出力します。 【参照】「4.5.7 アナログオーディオ信号の入出力 (LV 5770SER42)」

4. 測定を始める前に

4.1 カバーインレットストッパーについて

電源コードが引っぱられて電源入力端子から抜けることを防ぐために、抜け防止用のカバーインレットストッパーが付属されています。

4.1.1 カバーインレットストッパーの取り付け

1. カバーインレットストッパーを電源コードにかぶせます。

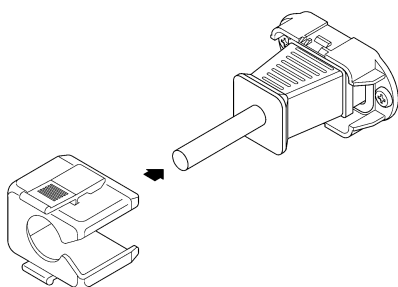


図 4-1 取り付け 1

2. カバーインレットストッパーを、電源入力端子にカチッと音がするまで押し込みます。

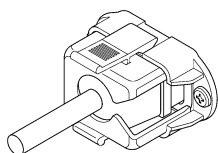


図 4-2 取り付け 2

3. カバーインレットストッパーが電源入力端子にロックされていることを確認します。

4.1.2 カバーインレットストッパーの取り外し

1. カバーインレットストッパーのレバーの部分を押して、ロックを外します。

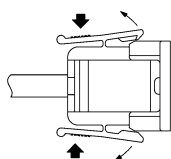


図 4-3 取り外し 1

2. カバーインレットストッパーを、電源入力端子から引き抜きます。

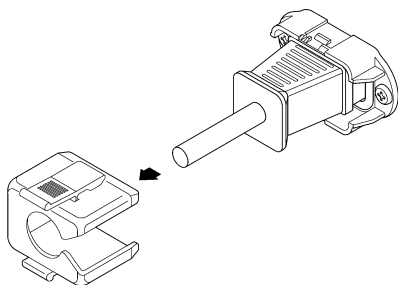


図 4-4 取り外し 2

4. 測定を始める前に

4.2 ディスプレイへの接続

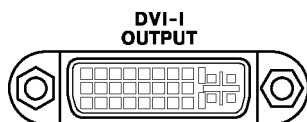


図 4-5 DVI-I 出力端子

本器は DVI-I 出力端子にディスプレイを接続することで、測定画面を表示できます。市販の DVI-I ケーブルを使用して、XGA(1024×768)対応のディスプレイに接続してください。アスペクト比は初期設定で 4:3 ですが、16:9 や 16:10 に変更することもできます。(ディスプレイ側に解像度変換機能が必要です)

【参照】 「7.1.2 背面パネルの設定」「7.6 アスペクト比の選択」

4.3 電源のオンオフ

電源を入れるには、電源スイッチを押してください。電源スイッチの LED が点灯して、電源が入ります。電源を入れると、前回電源を切ったときのパネル設定で起動します。

電源を切るには、電源スイッチを 1 秒以上長押ししてください。電源スイッチの LED が消灯して、電源が切れます。

4.4 オプションユニットについて

本器は、別売のオプションユニットを実装することで、測定機能の追加ができます。

ユニットの追加は工場オプションとなります。本社またはお近くの営業所までお問い合わせください。なお、お客様自身でユニットの取り付けや取り外しはできません。製品のケースおよびパネルは、いかなる目的があっても絶対に外さないでください。

表 4-1 ユニットの種類

ユニット	名称	おもな機能
LV 7770 0P70	16CH DIGITAL AUDIO ADAPTER	デジタルオーディオ入出力端子の追加
LV 5770SER03A	TRI SYNC/COMPOSITE	コンポジット信号、HD3 値同期信号の測定
LV 5770SER08	SDI INPUT	SDI 信号の測定
LV 5770SER09A	SDI INPUT/EYE	SDI 信号の測定、アイパターン表示
LV 5770SER42	ANALOG AUDIO	アナログオーディオ信号の測定 アナログオーディオ信号の出力

4. 測定を始める前に

4.5 信号の入出力

4.5.1 SDI 信号の入力 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

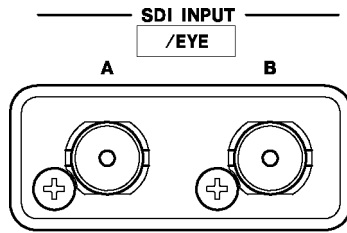


図 4-6 SDI 入力端子

※ 「/EYE」は、LV 5770SER09A を実装しているときに表示されます。

● 入力フォーマットについて

本器は 3G、HD、HD デュアルリンク、SD 信号に対応しています。対応する信号を、SDI 入力端子に入力してください。

エンベデッドオーディオをサイマルモードで測定する場合は、A/Bch に同期した信号を入力してください。

【参照】「2.3.1 SDI ビデオ信号フォーマットと規格 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)」

● 終端について

SDI 入力端子は内部で 75Ω に終端されていますので、ターミネータの接続は不要です。接続ケーブルは、特性インピーダンスが 75Ω のものを使用してください。

● 測定チャンネルについて

測定チャンネルの切り換えは、A/B キーで行います。また、SIM キーをオンにすることで、SDI INPUT A に入力した信号と SDI INPUT B に入力した信号を同時に測定できます。(ステータス表示とアイパターン表示を除く)

【参照】「5.4 入力チャンネルの選択」

● ケーブルについて

本器は、800mVp-p のストレスパターンを以下のケーブルで受信したときに、エラーが発生しないことを各チャンネルで検査しています。

3G: LS-5CFB ケーブル、70m

HD: LS-5CFB ケーブル、110m

SD: L-5C2V ケーブル、260m

● アイパターン測定について (LV 5770SER09A)

アイパターンの振幅やジッタ値を測定する場合は、カラーバー信号を使用してください。

測定値はケーブルによる影響を大きく受けるため、測定ケーブルは高品質・低損失な 5C-FB や Belden1694A を推奨します。ケーブルのコネクタに汚れ、変形等がないかを確認してから、ケーブルを接続してください。

特に送信機器のアイパターン振幅、立ち上がり、立ち下がり時間、立ち上がり、立ち下がりエッジのオーバーシュートを測定する場合は、上記のケーブル(1m)を使用してください。

ケーブルなどに帯電した静電気によって、入力回路が損傷することがあります。ケーブルを接続する前に、帯電している静電気を放電してください。

4. 測定を始める前に

4.5.2 SDI 信号の出力 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

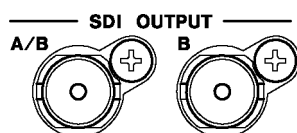


図 4-7 SDI 出力端子

SDI OUTPUT A/B からは、SDI INPUT A または SDI INPUT B に入力した信号のリクロック信号を、A/B キーで切り換えて出力します。1 入力モードのときは A/B キーの点灯しているチャンネル、サイマルモードのときは画面上■で選択されているチャンネルを出力します。(HD デュアルリンク時はリンク A 固定です) システム設定で設定を変更することによって、SDI INPUT A に入力した信号のリクロック信号を固定で出力することもできます。

SDI OUTPUT B からは、SDI INPUT B に入力した信号のリクロック信号を出力します。

いずれも、SDI 信号に対応したピクチャーモニターなどに接続してください。

【参照】 「7.1.2 背面パネルの設定」

4.5.3 ピクチャーモニター出力 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)



図 4-8 ピクチャーモニター出力端子

SDI INPUT A または SDI INPUT B に入力した SDI 信号を、TMDS 方式に変換して出力します。市販の HDMI ケーブルを使用して、液晶モニターに接続してください。

出力チャンネルは、A/B キーで選択したチャンネルとなります。HD デュアルリンク時は、リンク A とリンク B を合成した信号を出力します。また、3G-B(2map)時は、選択したストリーム(1/2)を出力します。

出力信号のフォーマット、量子化精度、ストリームは「7.1.2 背面パネルの設定」で選択できます。

以下の入力信号には、対応していません。

- ・ 720p/24、23.98
- ・ 1080PsF/30、29.97、25、24、23.98
- ・ 1080p/24、23.98 (2048×1080)
- ・ 1080PsF/24、23.98 (2048×1080)

出力オーディオ信号のチャンネルマッピングは、以下のとおり固定となります。

8ch	7ch	6ch	5ch	4ch	3ch	2ch	1ch
RRC	RLC	RR	RL	FC	LFE	FR	FL

4. 測定を始める前に

4.5.4 外部同期信号の入力 (LV 5770SER03A/LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

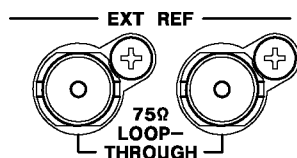


図 4-9 外部同期入力端子

ビデオ信号波形表示、ベクトル波形表示、ステータス表示(位相差表示)では、同期信号を外部から入力して表示できます。(※1) 外部同期入力端子に外部同期信号を入力して、EXT キーを押してください。外部同期信号のフォーマットは、自動で判別されます。

外部同期入力端子は、以下のとおりループスルーになっています。入力信号は2つの端子のどちらかに接続して、他方の端子は75Ω 終端するか、他の75Ω 系の機器に接続してください。他の機器に接続したときは、機器接続の末端で必ず75Ω 終端します。接続ケーブルは、特性インピーダンスが75Ω のものを使用してください。

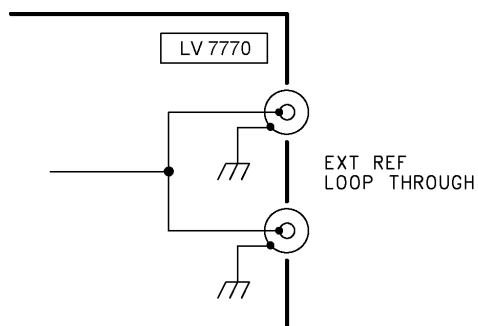


図 4-10 ループスルー

※1 以下のフォーマットは、外部同期モードで動作しません。

- HD デュアルリンクの 1080p/60、1080p/59.94、1080p/50
- 3G の 720p/30、720p/29.97、720p/25、720p/24、720p/23.98

4. 測定を始める前に

入力信号に対応する外部同期信号を○印で以下に示します。

表 4-2 外部同期信号フォーマット一覧表 (SD、HD、HD デュアルリンク)

		入力信号フォーマット																							
		SD		HD																					
				HD デュアルリンク																					
		525i/59.94	625i/50	1080i/60	1080i/59.94	1080i/50	1080PsF/30	1080PsF/29.97	1080PsF/25	1080PsF/24	1080PsF/23.98	1080p/30	1080p/29.97	1080p/25	1080p/24	1080p/23.98	720p/60	720p/59.94	720p/50	720p/30	720p/29.97	720p/25	720p/24	720p/23.98	
外部同期信号フォーマット	NTSC with 10 field ID (59.94Hz) (※1)	○			○			○		○		○			○			○				○			○
	NTSC (59.94Hz)	○			○			○				○						○				○			
	PAL (50Hz)		○			○			○					○					○				○		
	1080i/60			○			○																		
	1080i/59.94				○			○																	
	1080i/50					○			○																
	1080PsF/30						○																		
	1080PsF/29.97							○																	
	1080PsF/25								○																
	1080PsF/24									○															
	1080PsF/23.98										○														
	1080p/30											○													
	1080p/29.97												○												
	1080p/25													○											
	1080p/24														○										
	1080p/23.98															○									
	720p/60																	○							
	720p/59.94																		○						
	720p/50																			○					
	720p/30																				○				
	720p/29.97																					○			
	720p/25																						○		
	720p/24																							○	
	720p/23.98																								○

※1 入力信号が 1080PsF/23.98 または 1080p/23.98 のときは、自動で 10 フィールド ID を認識します。

※ LV 5770SER03A の位相差測定では、入力信号と同一フォーマットの外部同期信号を入力してください。

4. 測定を始める前に

表 4-3 外部同期信号フォーマット一覧表 (3G)

		入力信号フォーマット																		
		3G-A																		
		3G-B																		
			3G-B (2map)																	
		1080p/60	1080p/59.94	1080p/50	1080i/60	1080i/59.94	1080i/50	1080PsF/30	1080PsF/29.97	1080PsF/25	1080PsF/24	1080PsF/23.98	1080p/30	1080p/29.97	1080p/25	1080p/24	1080p/23.98	720p/60	720p/59.94	720p/50
外部同期信号フォーマット	NTSC with 10 field ID (59.94Hz) (※1)		○			○			○			○					○		○	
	NTSC (59.94Hz)		○			○			○				○						○	
	PAL (50Hz)			○			○			○				○						○
	1080i/60	○			○			○												
	1080i/59.94		○			○			○											
	1080i/50			○			○			○										
	1080PsF/30							○												
	1080PsF/29.97								○											
	1080PsF/25									○										
	1080PsF/24										○									
	1080PsF/23.98											○								
	1080p/30												○							
	1080p/29.97													○						
	1080p/25														○					
	1080p/24															○				
	1080p/23.98																○			
	720p/60																	○		
	720p/59.94																		○	
720p/50																			○	

※1 入力信号が 1080PsF/23.98 または 1080p/23.98 のときは、自動で 10 フィールド ID を認識します。

4.5.5 コンポジット信号の入出力 (LV 5770SER03A)

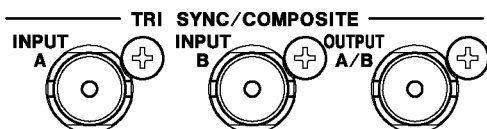


図 4-11 コンポジット入出力端子

● 信号の入力

INPUT A または INPUT B に、NTSC/PAL コンポジット信号あるいは HD3 値同期信号を入力します。

測定チャンネルの切り換えは、A/B キーで行います。なお、SIM キーは無効です。INPUT A に入力した信号と INPUT B に入力した信号を同時に測定することはできません。

● 信号の出力

INPUT A または INPUT B に入力した信号を、A/B キーで切り換えて出力します。コンポジット信号に対応したピクチャーモニターなどに接続してください。

4.5.6 デジタルオーディオ信号の入出力

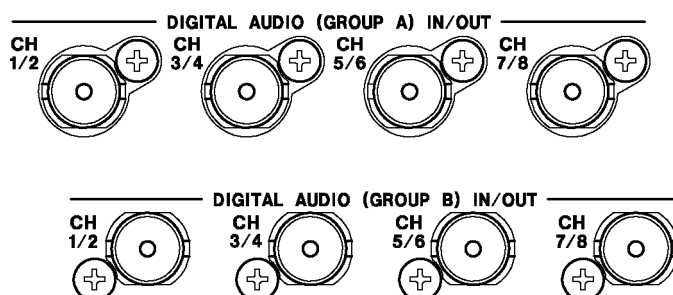


図 4-12 デジタルオーディオ入出力端子

※ GROUP B はオプション (OP70) です。

デジタルオーディオ入出力端子は、入力端子と出力端子をシステム設定で切り換えて使用します。製品故障の原因となるため、信号を入力するときは、入力端子の設定になっていることを確認してください。

なお、出力信号はモニター用として使用してください。

【参照】 「7.1.2 背面パネルの設定」

4. 測定を始める前に

4.5.7 アナログオーディオ信号の入出力（LV 5770SER42）

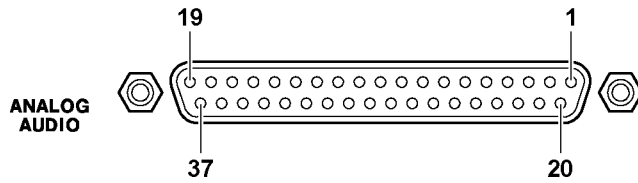


図 4-13 アナログオーディオ入出力端子（メス、インチねじ）

表 4-4 アナログオーディオ入出力端子のピン配列

ピン番号	名称	ピン番号	名称	I/O	機能
37	INPUT1+	19	INPUT1-	I	アナログオーディオ入力 1
36	INPUT2+	18	INPUT2-	I	アナログオーディオ入力 2
35	INPUT3+	17	INPUT3-	I	アナログオーディオ入力 3
-	-	16	GND	-	グラウンド
34	INPUT4+	15	INPUT4-	I	アナログオーディオ入力 4
33	INPUT5+	14	INPUT5-	I	アナログオーディオ入力 5
32	INPUT6+	13	INPUT6-	I	アナログオーディオ入力 6
31	GND	-	-	-	グラウンド
30	INPUT7+	12	INPUT7-	I	アナログオーディオ入力 7
29	INPUT8+	11	INPUT8-	I	アナログオーディオ入力 8
-	-	10	GND	-	グラウンド
28	OUTPUT1+	9	OUTPUT1-	O	アナログオーディオ出力 1
27	OUTPUT2+	8	OUTPUT2-	O	アナログオーディオ出力 2
26	OUTPUT3+	7	OUTPUT3-	O	アナログオーディオ出力 3
25	OUTPUT4+	6	OUTPUT4-	O	アナログオーディオ出力 4
24	OUTPUT5+	5	OUTPUT5-	O	アナログオーディオ出力 5
23	OUTPUT6+	4	OUTPUT6-	O	アナログオーディオ出力 6
22	OUTPUT7+	3	OUTPUT7-	O	アナログオーディオ出力 7
21	OUTPUT8+	2	OUTPUT8-	O	アナログオーディオ出力 8
20	GND	1	GND	-	グラウンド

4. 測定を始める前に

● 信号の入力

8ch までのアナログオーディオ信号を測定できます。

システム設定の ANALOG AUDIO を INPUT にしてください。OUTPUT にすると、測定できません。

【参照】 ANALOG AUDIO → 「7.1.2 背面パネルの設定」

● 信号の出力

8ch までのエンベデッドオーディオ信号、あるいは外部デジタルオーディオ信号を D/A 変換して出力できます。（入力したアナログオーディオ信号を出力することはできません）出力信号は、モニター用として使用してください。

システム設定の ANALOG AUDIO を OUTPUT にしてください。INPUT にすると、出力されません。

出力インピーダンスは公称 50Ω です。また、出力レベルは負荷インピーダンス $100k\Omega$ で最適化されています。

● 単位について

本器のオーディオ信号は、4dBu を -20dBFS にスケールリングして、dBFS 単位で表示します。dBu 単位との換算表は以下のとおりです。

表 4-5 dBu、dBFS 換算表

dBu	dBFS
+ 24	0
+ 18	- 6
+ 4	- 20
0	- 24
- 16	- 40
- 36	- 60
- 66	- 90

4. 測定を始める前に

4.6 表示画面の説明

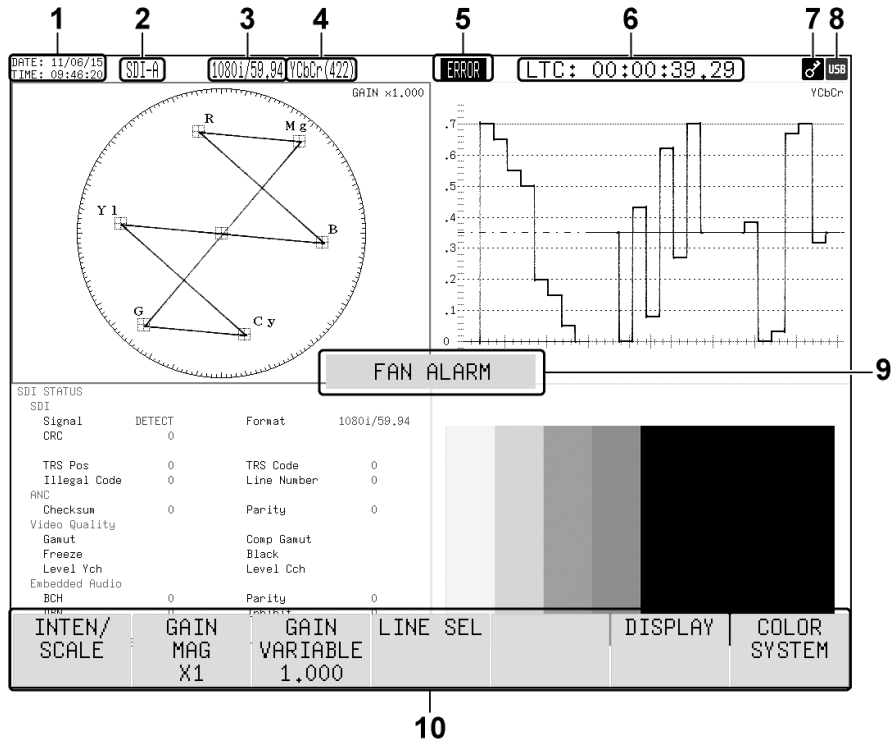


図 4-14 表示画面の説明

表 4-6 表示画面の説明

番号	名称	説明
1	日時表示	日付と時刻を表示します。 【参照】「7.2.1 一般的な設定」「7.2.4 日時の設定」
2	入力信号表示 (LV 5770SER03A/ LV 5770SER08/ LV 5770SER09A)	入力信号 (SDI/CMP) と測定チャンネルを表示します。 【参照】「7.2.1 一般的な設定」
3	フォーマット表示 (LV 5770SER03A/ LV 5770SER08/ LV 5770SER09A)	入力信号のフォーマットを表示します。 【参照】「7.2.1 一般的な設定」
4	カラーシステム表示 (LV 5770SER08/ LV 5770SER09A)	SDI 信号のカラーシステムを表示します。 【参照】「7.2.1 一般的な設定」
5	エラー表示 (LV 5770SER08/ LV 5770SER09A)	入力信号にエラーが発生したときに表示されます。 入力信号や入力チャンネルの切り換え時には、エラーが表示されることがあります。
6	タイムコード表示 (LV 5770SER08/ LV 5770SER09A)	SDI 信号のタイムコードを表示します。 【参照】「7.2.1 一般的な設定」
7	キーロック表示	キーロックが設定されているときに表示されます。 【参照】「4.7.4 キーロックの設定」
8	USB メモリー表示	USB メモリーが接続されているときに表示されます。通常は緑色です

4. 測定を始める前に

番号	名称	説明
		が、USB メモリーにアクセス中は赤色で表示されます。このとき、電源を切ったり USB メモリーを抜いたりしないでください。
9	アラーム表示	各種アラームを表示します。以下のアラームが表示された場合は、本社またはお近くの営業所までご連絡ください FAN ALARM : ファンに異常が起きたとき OVER HEAT : 内部温度が上昇したとき
10	ファンクションメニュー	各種設定を行うためのメニューを表示します。 【参照】「4.7.2 ファンクションメニューの操作」

4.7 パネル操作の基本

4.7.1 ファンクションメニューの表示

各項目についての設定をするにはファンクションメニューから行いますが、5 秒間操作をしないでいると、メニューは自動的に消えます。(システム設定で、メニューが消えるまでの時間を変更したり、自動で消えないようにしたりもできます)

なお、システムメニューなど、一部のメニューは自動的に消えません。

【参照】「7.2.1 一般的な設定」

メニューが消えたときは、以下の操作でメニューを再表示できます。なお、メニューが表示しているときに以下の操作を行うと、メニューを消すことができます。

● 表示モードキーを押してメニュー表示

現在選択している表示モードキー(WFM キー、VEC キー、PIC キー、AUDIO キー、STATUS キー、EYE キーのいずれか)を押すと、メニューが再表示します。このとき、メニュー階層はトップ階層に戻ります。

● ファンクションキーを押してメニュー表示

ファンクションキー、ファンクションダイヤル(F・D)、現在選択している表示エリアキー(1～4 キー)のいずれかを押すと、メニューが再表示します。このとき、メニュー階層は前回消えたときの階層を保持します。

4. 測定を始める前に

4.7.2 ファンクションメニューの操作

ファンクションメニューの操作方法について、ベクトルメニューを例に説明します。
なお、ファンクションメニューは **F・1** ～ **F・7** にそれぞれ対応しています。

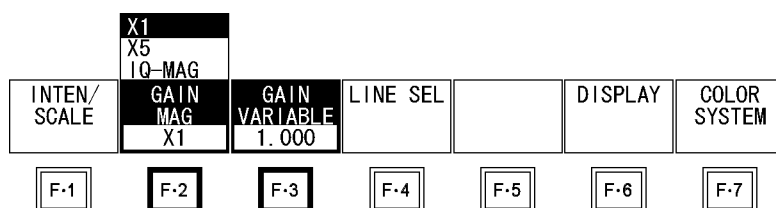


図 4-15 ファンクションメニューの操作

● 設定値を選択するには

上図の **F・2** GAIN MAG のように、いくつかの選択肢から設定値を選択するときは、**F・2** を数回押して値を選択します。**F・2** を押すごとに設定値が変わり、手を離したときに値が確定されてポップアップが消えます。

● 数値を変更するには

上図の **F・3** GAIN VARIABLE のように数値を設定するときは、**F・3** を押してからファンクションダイヤル(F・D)を回します。数値の設定では、一部を除いてファンクションダイヤル(F・D)を押すと値が初期値に戻ります。

4.7.3 タブメニューの操作

各項目についての設定は通常ファンクションメニューで行いますが、一部の設定では以下のようなタブメニューが表示されます。

タブメニューの操作方法について、GENERAL SETUP 画面を例に説明します。

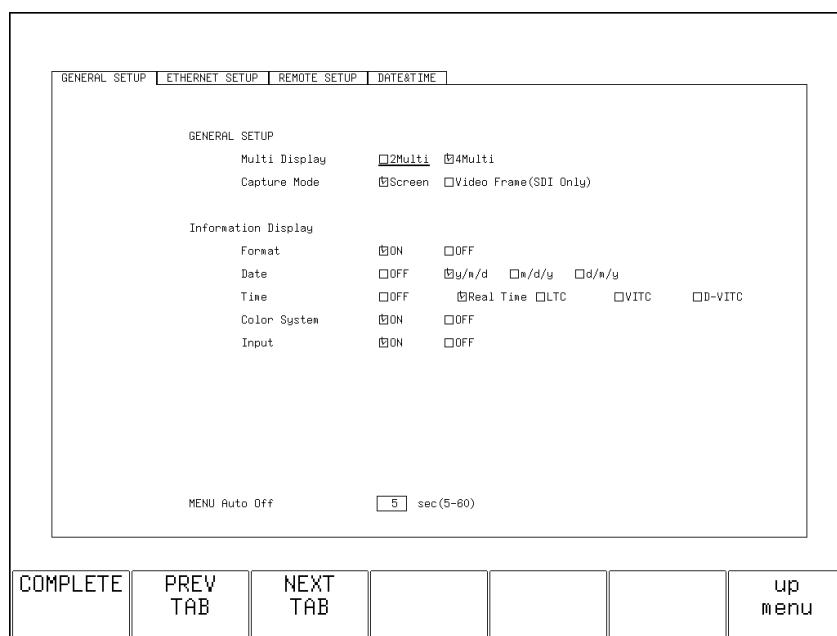


図 4-16 タブメニューの操作

4. 測定を始める前に

- **カーソルを移動するには**

カーソルを移動するにはファンクションダイヤル(F・D)を回します。設定によっては、カーソルを移動できない項目があります。

- **タブを移動するには**

上図のように複数のタブが存在する場合、**F・2** PREV TAB と **F・3** NEXT TAB でタブ間の移動をします。タブ間を移動しても、**F・1** COMPLETE を押すまでは設定が確定されません。

- **チェックボックスにチェックを入れるには**

チェックを入れる項目にカーソルを合わせて、ファンクションダイヤル(F・D)を押します。

- **数値を入力するには**

数値を入力する項目にカーソルを合わせて、ファンクションダイヤル(F・D)を押します。ファンクションダイヤル(F・D)を押すとカーソルが水色→黄色に変化し、数値を設定できるようになります。ファンクションダイヤル(F・D)を回して数値を設定してください。再度ファンクションダイヤル(F・D)を押すと、数値が確定されます。

- **設定を確定するには**

F・1 COMPLETE を押すと、すべてのタブについての設定が適用され、1 つ上の階層に戻ります。

- **設定を取り消すには**

F・7 CANCEL を押すと、すべてのタブについての設定がキャンセルされ、1 つ上の階層に戻ります。

4.7.4 キーロックの設定

本体の誤操作を防ぐために、キーロックを設定できます。キーロックを設定すると、電源スイッチを除くすべてのキー操作が無効になります。(リモートコントロールはキーロック中でも有効です)

- **キーロックの設定**

画面上にメッセージ「KEYLOCK」が表示されるまで、SYS キーを長押ししてください。キーロック設定中は、画面右上に鍵マークが表示されます。

- **キーロックの解除**

画面上にメッセージ「KEYLOCK Canceled.」が表示されるまで、SYS キーを長押ししてください。

4.7.5 ショートカットキーの操作

システム設定で割り当てた機能を、SHORTCUT キーを押すだけで行うことができます。あらかじめシステムメニューの **F・4** SHORTCUT KEY で、機能を割り当ててください。

【参照】 「7.4 ショートカットキーの設定」

- **DIRECT**

SHORTCUT キーに登録したパネル設定を呼び出します。

本器に登録したい状態に設定してから MEM キーを押し、続けて SHORTCUT キーを押すとパネル設定が登録できます。

- **VOLUME**

SHORTCUT キーを押してからファンクションダイヤル (F・D) を回すことで、ヘッドホンの音量を調整できます。元の画面に戻るには、再度 SHORTCUT キーを押してください。

- **CAP&WRIT**

表示画面を取り込んでから、USB メモリーに保存します。保存するファイル形式は、キャプチャメニューで設定してください。

【参照】 「8.1.3 USB メモリーへの保存」

- **INTEN**

波形表示画面を選択してから SHORTCUT キーを押し、ファンクションダイヤル (F・D) を回すことで、波形の輝度を調整できます。元の画面に戻るには、再度 SHORTCUT キーを押してください。

- **MENU OFF**

メニューを消します。システム設定の GENERAL SETUP で、Auto Off が OFF のときに選択できます。

【参照】 「7.2.1 一般的な設定」

5. 基本的な操作手順

ここでは、本器の基本的な操作手順について説明します。本器の操作概念を理解するまでは、この基本操作どおりに行うことをお勧めします。

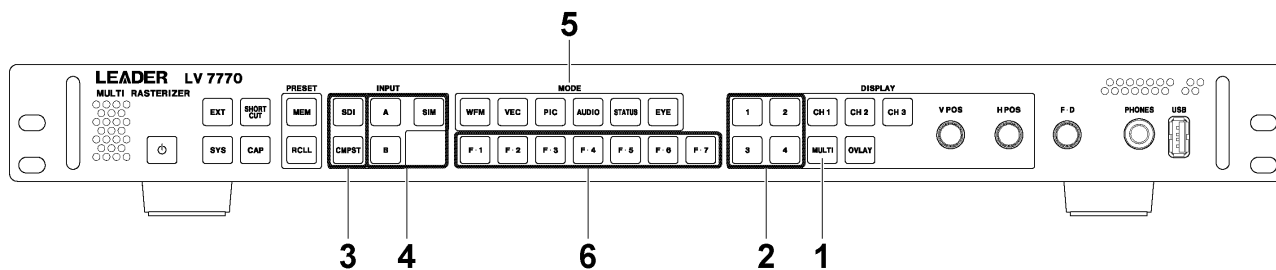


図 5-1 操作手順

1. 表示形式を選択します。

MULTI キーを押して、1 画面表示またはマルチ画面表示を選択します。

【参照】 「5.1 表示形式の選択」

2. 表示エリアを選択します。

1～4 キーを押して、表示エリアを選択します。

【参照】 「5.2 表示エリアの選択」

3. 入力信号を選択します。

SDI キーまたは CMPST キーを押して、入力信号を選択します。

【参照】 「5.3 入力信号の選択」

4. 入力チャンネルを選択します。

A キーまたは B キーを押して入力チャンネルを選択します。

SIM キーを押すことで、A/Bch を同時に測定することもできます。

【参照】 「5.4 入力チャンネルの選択」

5. 表示モードを選択します。

WFM キー、VEC キー、PIC キー、AUDIO キー、STATUS キー、EYE キーのいずれかを押して、表示モードを選択します。

【参照】 「5.5 表示モードの選択」

6. 表示モードについて設定します。

ファンクションキーなどで、各種設定をします。

【参照】 「4.7 パネル操作の基本」

7. 「手順 1」でマルチ画面表示を選択したときは「手順 2」～「手順 6」を繰り返して、すべてのエリアについて設定します。

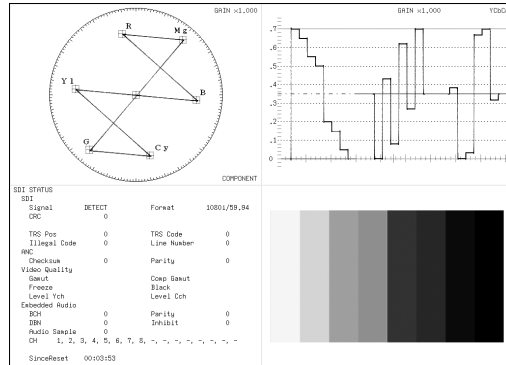
5. 基本的な操作手順

5.1 表示形式の選択

本器の表示形式には、マルチ画面表示と1画面表示があります。

1画面表示とマルチ画面表示を切り換えるには、MULTI キーを押します。キーLEDはマルチ画面表示のときに点灯します。

マルチ画面表示



1画面表示

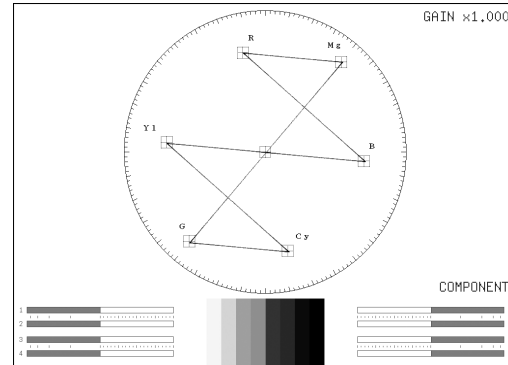
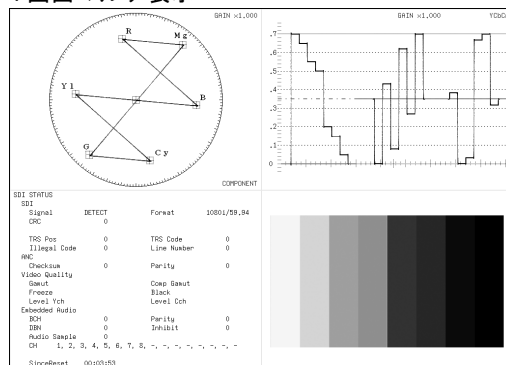


図 5-2 表示形式の選択

マルチ画面表示には、4画面マルチ表示と2画面マルチ表示があります。初期設定では4画面マルチ表示ですが、システム設定で2画面マルチ表示に変更することもできます。

【参照】 「7.2.1 一般的な設定」

4画面マルチ表示



2画面マルチ表示

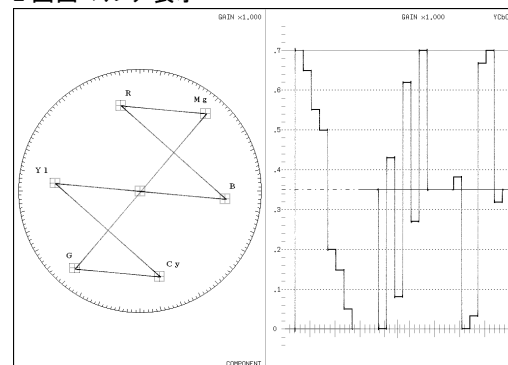


図 5-3 マルチ画面表示

5.2 表示エリアの選択

本器は、4つの画面から構成されています。

操作の対象となるエリアを、1～4キーで選択します。マルチ画面表示ではメニュー表示している間、選択したエリアが青枠で表示されます。

1～4キーの割り当ては以下のとおりです。

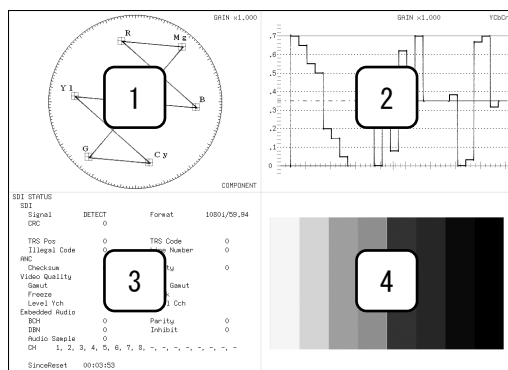


図 5-4 4画面マルチ表示

また、1～4キーを押したときの表示エリアは以下のとおりです。

● 4画面マルチ表示のとき

常にすべてのエリアが表示されます。

● 2画面マルチ表示のとき

1キーまたは2キーを押したときは1エリアと2エリア、3キーまたは4キーを押したときは3エリアと4エリアが表示されます。

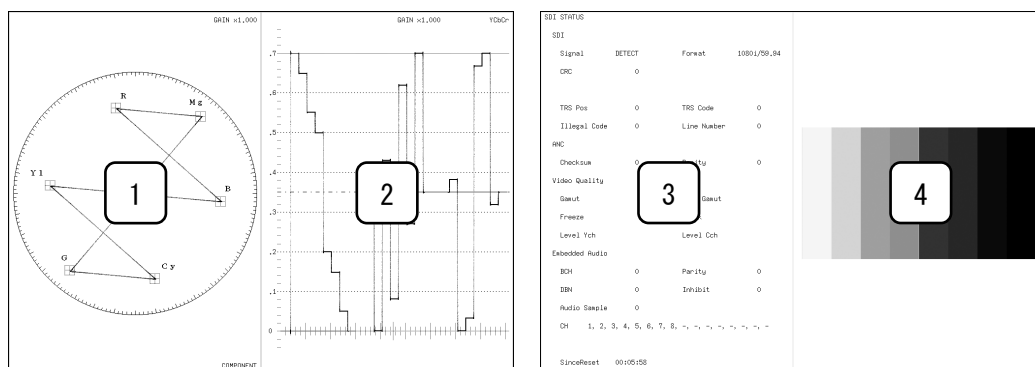


図 5-5 2画面マルチ表示

● 1画面表示のとき

1～4キーで選択したエリアのみが表示されます。

5.3 入力信号の選択

測定信号に応じて、SDIキーまたはCMPSTキーを押します。

オーディオ表示では、ここで選択した信号にかかわらず、オーディオメニューのINPUT SELECTで選択した信号を測定します。

入力信号の設定は、1～4エリアで共通です。個別に設定することはできません。

5. 基本的な操作手順

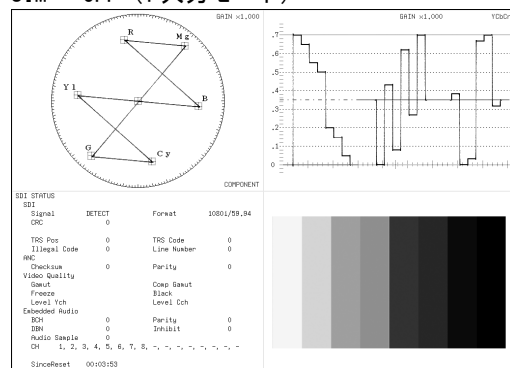
5.4 入力チャンネルの選択

SDI 信号またはコンポジット信号を測定する場合、A キーまたは B キーで入力チャンネルを選択します。SIM キーを押すことで、A/Bch を同時に測定することもできます。ただし、以下の場合は同時測定できません。

- SDI 信号測定時の、ステータス表示およびアイパターン表示
- SDI 信号測定時の、HD デュアルリンクまたは 3G-B(2map) 入力時
- コンポジット信号測定時

入力チャンネルの設定は、1~4 エリアで共通です。個別に設定することはできません。

SIM = OFF (1 入力モード)



SIM = ON (サイマルモード)

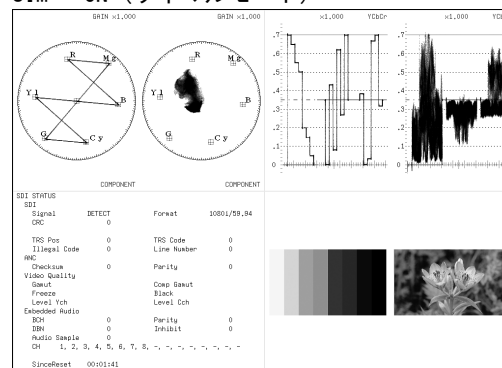


図 5-6 1 入力モードとサイマルモード

5.5 表示モードの選択

本器の表示モードは、WFM(ビデオ信号波形表示)、VEC(ベクトル波形表示)、PIC(ピクチャー表示)、AUDIO(オーディオ表示)、STATUS(ステータス表示)、EYE(アイパターン表示)の6種類です。前面パネルの MODE で選択してください。

マルチ表示時、異なるエリアに同じ表示モードを設定することはできません。後から設定した表示モードが有効となります。ただし、VEC はベクトル波形表示と 5 バー表示として、2 つのエリアに同時表示できます。

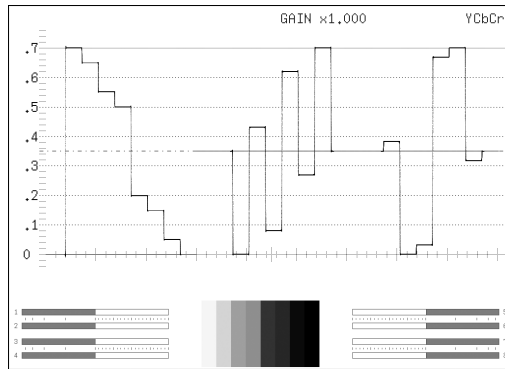
各表示モードに必要なオプションユニットは以下のとおりです。

表 5-1 表示モードに対するオプションユニット

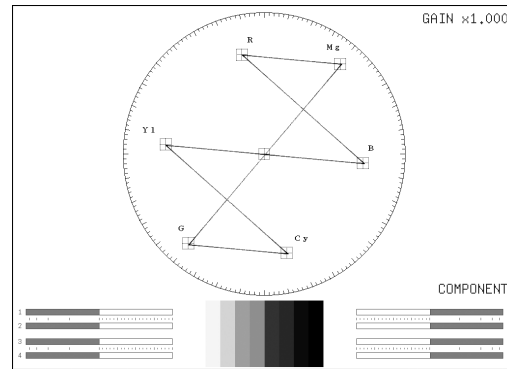
表示モード	必要なオプションユニット	備考
WFM	LV 5770SER03A/LV 5770SER08/LV 5770SER09A	
VEC	LV 5770SER03A/LV 5770SER08/LV 5770SER09A	HD3 値同期信号入力時は非対応
PIC	LV 5770SER03A/LV 5770SER08/LV 5770SER09A	HD3 値同期信号入力時は非対応
AUDIO	なし	
STATUS	LV 5770SER03A/LV 5770SER08/LV 5770SER09A	サイマルモード非対応
EYE	LV 5770SER09A	サイマルモード非対応

5. 基本的な操作手順

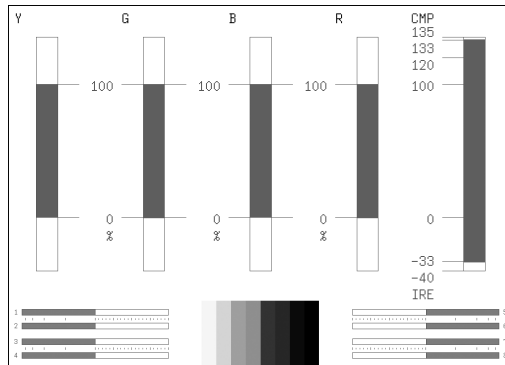
WFM (※1)



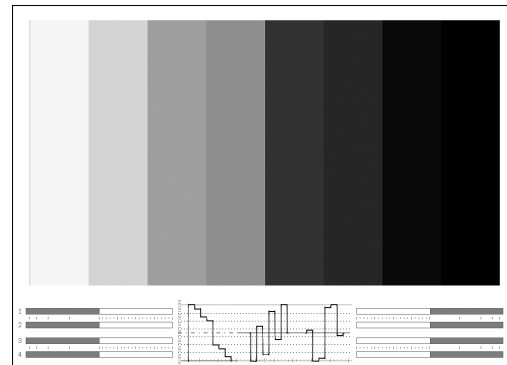
VEC (VECTOR) (※1)



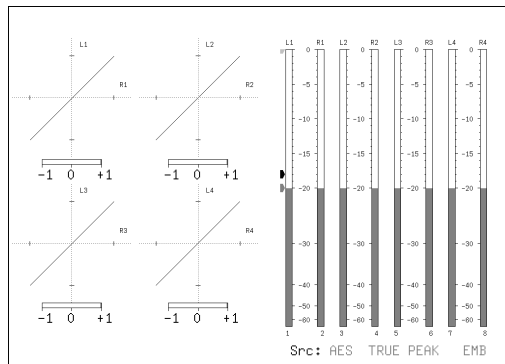
VEC (5BAR) (※1)



PIC (※1)



AUDIO



STATUS

SDI STATUS			
SDI			
Signal	DETECT	Format	1080i/59.94
CRC	0		
TRS Pos	0	TRS Code	0
Illegal Code	0	Line Number	0
Cable Length	< 5m		
ANC			
Checksum	0	Parity	0
Video Quality			
Gain		Comp Gain	
Freeze		Black	
Level Ych		Level Cch	
Embedded Audio			
BCH	0	Parity	0
DBN	0	Inhibit	0
Audio Sample	0		
CH	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16		
SinceReset 00:01:36			

EYE

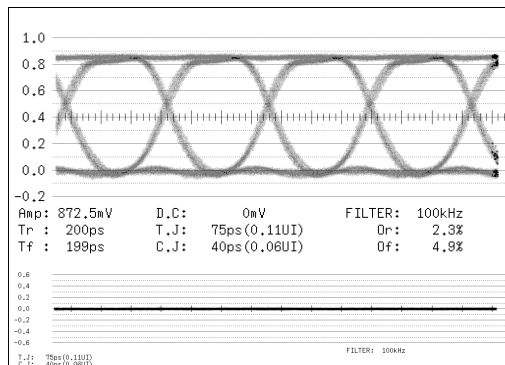


図 5-7 表示モードの選択

6. 具体的な測定例

ここでは、具体的な測定例について説明します。基本的な操作方法是「5 基本的な操作手順」を参照してください。

それぞれの測定は、設定の初期化を行った直後からの操作方法を示しています。

【参照】「7.7 設定の初期化」

6.1 SDI 信号の測定

● 必要なオプションユニット

LV 5770SER08 (SDI INPUT) または LV 5770SER09A (SDI INPUT/EYE)

1. 背面パネルの SDI INPUT A/B に SDI 信号を入力します。

SDI 信号が表示されます。

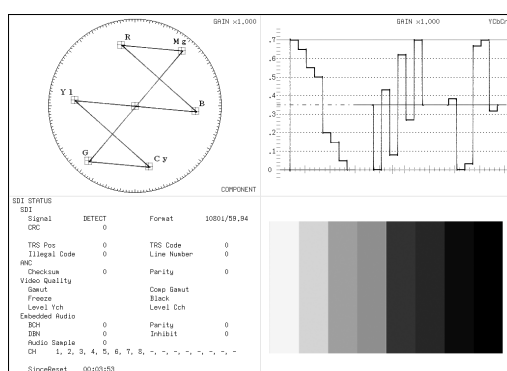


図 6-1 SDI 信号の測定

6.2 SDI 信号のアイパターン測定

● 必要なオプションユニット

LV 5770SER09A(SDI INPUT/EYE)

1. 背面パネルの SDI INPUT A/B に SDI 信号を入力します。

2. MULTI キーをオフにします。(任意)

1 画面表示になり、見やすくなります。

3. EYE キーを押します。

アイパターン波形とジッタ波形が表示されます。(マルチ画面表示時は、どちらか一方の表示となります) なお、サイマルモードや、3G-B(2map)のマルチ画面表示には対応していません。

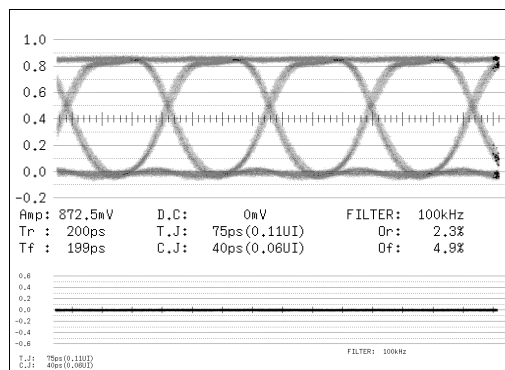


図 6-2 SDI 信号のアイパターン測定

6.3 コンポジット信号の測定

● 必要なオプションユニット

LV 5770SER03A(TRI SYNC/COMPOSITE)

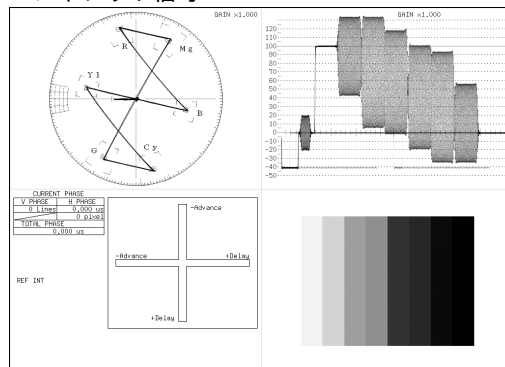
1. 背面パネルの TRI SYNC/COMPOSITE INPUT A/B にコンポジット信号または HD3 値同期信号を入力します。

2. CMPST キーを押します。

コンポジット信号または HD3 値同期信号が表示されます。

入力信号が HD3 値同期信号のとき、ベクトル波形とピクチャーは表示されません。

コンポジット信号



HD3 値同期信号

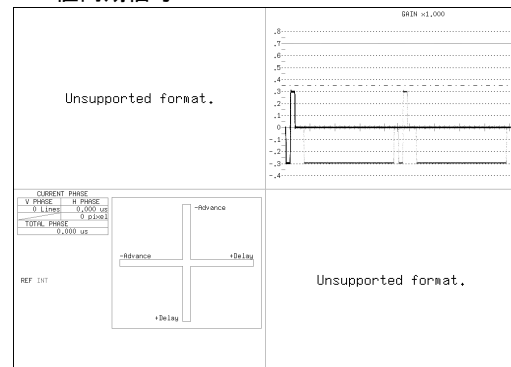


図 6-3 コンポジット信号の測定

6.4 エンベデッドオーディオ信号の測定

SDI 信号に多重されたオーディオ信号のうち、以下から選択した 2 グループの計 8ch を測定できます。(1~4 グループを同時に測定することもできます)

- ・ 1 グループ (1~4ch)
- ・ 2 グループ (5~8ch)
- ・ 3 グループ (9~12ch)
- ・ 4 グループ (13~16ch)

● 必要なオプションユニット

- ・ LV 5770SER08 (SDI INPUT) または LV 5770SER09A (SDI INPUT/EYE)

1. 背面パネルの SDI INPUT A/B に SDI 信号を入力します。
2. MULTI キーをオフにします。(任意)
1 画面表示になり、見やすくなります。
3. AUDIO キーを押します。
4. **F・1** SOURCE SELECT → **F・2** 1ST GRP SELECT / **F・3** 2ND GRP SELECT で、測定グループを選択します。

選択したグループのエンベデッドオーディオ信号が表示されます。

画面右下には、エンベデッドオーディオ信号を示す「EMB」が表示されます。

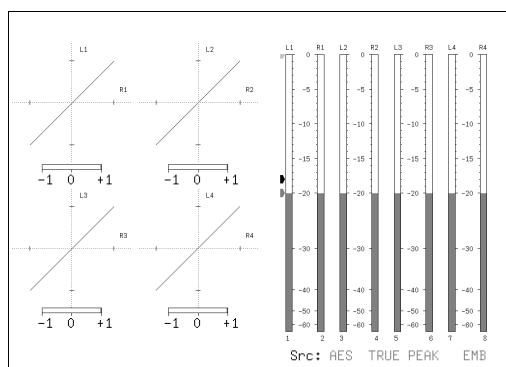


図 6-4 エンベデッドオーディオ信号の測定

6.5 外部デジタルオーディオ信号の測定

背面パネルに入力したオーディオ信号のうち、グループ A またはグループ B(OP70)の 8ch を測定できます。(グループ A とグループ B を同時に測定することもできます)
 サイマルモードには対応していません。SIM キーはオフの状態で測定してください。

1. 背面パネルの DIGITAL AUDIO IN/OUT にデジタルオーディオ信号を入力します。

システム設定の REAR PANEL SETUP で、Audio BNC が INPUT になっていることを確認してください。設定の初期化を行った直後は INPUT になっています。

【参照】「7.1.2 背面パネルの設定」

2. MULTI キーをオフにします。(任意)

1 画面表示になり、見やすくなります。

3. AUDIO キーを押します。

4. **F・1** SOURCE SELECT → **F・1** INPUT SELECT で EXT DIGI を選択します。

5. **F・2** CHANNEL SELECT で測定グループを選択します。

選択したグループの外部デジタルオーディオ信号が表示されます。

画面右下には、外部デジタルオーディオ信号を示す「AES」が表示されます。

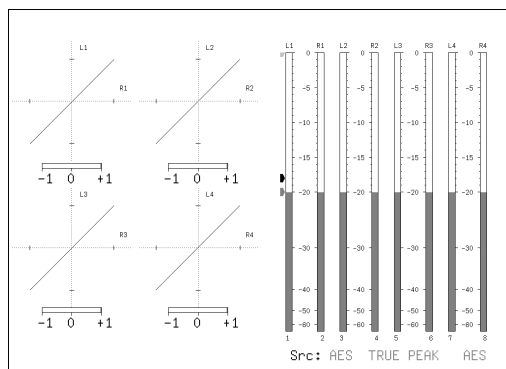


図 6-5 外部デジタルオーディオ信号の測定

6.6 アナログオーディオ信号の測定

背面パネルに入力したアナログオーディオ信号 8ch を測定できます。
サイマルモードには対応していません。SIM キーはオフの状態です。

● 必要なオプションユニット

・ LV 5770SER42 (ANALOG AUDIO)

1. 背面パネルの ANALOG AUDIO にアナログオーディオ信号を入力します。

システム設定の REAR PANEL SETUP で、ANALOG AUDIO が INPUT になっていることを確認してください。設定の初期化を行った直後は INPUT になっています。

【参照】「4.5.7 アナログオーディオ信号の入出力 (LV 5770SER42)」 「7.1.2 背面パネルの設定」

2. MULTI キーをオフにします。(任意)

1 画面表示になり、見やすくなります。

3. AUDIO キーを押します。

4. **F-1** SOURCE SELECT → **F-1** INPUT SELECT で EXT ANA を選択します。

アナログオーディオ信号 8ch が表示されます。

画面右下には、アナログオーディオ信号を示す「ANA」が表示されます。

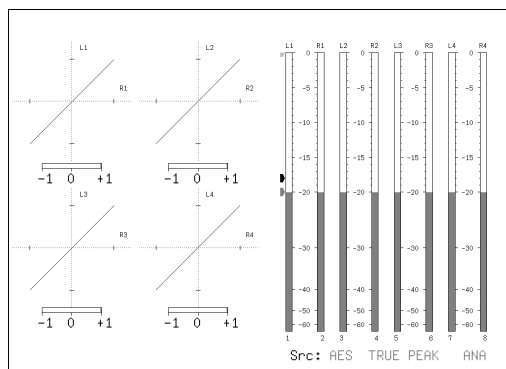


図 6-6 アナログオーディオ信号の測定

6.7 エンベデッドオーディオ信号の出力

SDI 信号に多重されたオーディオ信号 1～16ch を、背面パネルの DIGITAL AUDIO IN/OUT から出力できます。グループ A から 8ch、グループ B(OP70)から 8ch が出力されます。

● 必要なオプションユニット

・ LV 5770SER08(SDI INPUT)または LV 5770SER09A(SDI INPUT/EYE)

1. 背面パネルの SDI INPUT A/B に SDI 信号を入力します。
2. SYS キーを押します。
3. **F.1** FORMAT IN OUT → **F.3** NEXT TAB を押して、GROUP A/B を OUTPUT、GROUP A/B OUT SEL を SDI に設定します。

このとき、背面パネルの DIGITAL AUDIO IN/OUT に信号が入力されていないことを確認してください。

図 6-7 REAR PANEL SETUP 画面

4. **F.1** COMPLETE を押します。

グループ A から 1～8ch、グループ B から 9～16ch のエンベデッドオーディオ信号が出力されます。

● Display Source の説明

REAR PANEL SETUP 画面で Display Source を選択すると、現在測定しているオーディオ信号 8ch が出力されます。

16ch 測定時の出力信号は、「7.1.2 背面パネルの設定」を参照してください。

6.8 アナログオーディオ信号の出力

8ch までのエンベデッドオーディオ信号、あるいは外部デジタルオーディオ信号を D/A 変換して、背面パネルの ANALOG AUDIO からアナログオーディオ信号として出力できます。ここでは、エンベデッドオーディオ信号を出力する手順を示します。

● 必要なオプションユニット

- ・ LV 5770SER42 (ANALOG AUDIO)
- ・ LV 5770SER08 (SDI INPUT) または LV 5770SER09A (SDI INPUT/EYE)
(外部デジタルオーディオ信号を出力する場合は不要)

1. 背面パネルの SDI INPUT A/B に SDI 信号を入力します。
2. SYS キーを押します。
3. **F.1** FORMAT IN OUT → **F.3** NEXT TAB を押して、ANALOG AUDIO を OUTPUT に設定します。

The screenshot shows the 'REAR PANEL SETUP' menu with the following settings:

SDI Select Output	☒ Ach/Bch	☐ Ach
Audio BNC		
GROUP A	☒ INPUT	☐ OUTPUT
GROUP B	☒ INPUT	☐ OUTPUT
GROUP A OUT SEL	☒ Display Source	☐ SDI 1-8ch
GROUP B OUT SEL	☒ Display Source	☐ SDI 9-16ch
ANALOG AUDIO	☐ INPUT	☒ OUTPUT
DVI-I Aspect	☒ 4:3	☐ 16:9 ☐ 16:10
PIC MONI Output		
Color Format	☐ Auto	☐ YCbCr 422 ☐ YCbCr 444 ☒ RGB 444
Pixel Depth	☐ Auto	☒ 8bit ☐ 10bit ☐ 12bit
2MAPPING SDI	☒ STREAM1	☐ STREAM2

図 6-8 REAR PANEL SETUP 画面

4. **F.1** COMPLETE を押します。
5. AUDIO キーを押します。
6. **F.1** SOURCE SELECT → **F.2** 1ST GRP SELECT / **F.3** 2ND GRP SELECT で、測定グループを選択します。

選択したグループのエンベデッドオーディオ信号 8ch が出力されます。

16ch 測定時の出力信号は、「7.1.2 背面パネルの設定」を参照してください。

7. システム設定

システム設定では、システムメニューから本体とオプションユニットに関する設定ができます。システムメニューを表示するには、SYS キーを押してください。

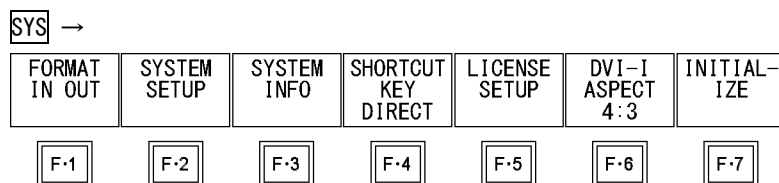


図 7-1 システムメニュー

7.1 入出力の設定

入出力の設定は、システムメニューの **F.1** FORMAT IN OUTで行います。FORMAT IN OUTはタブメニューになっています。タブメニューの操作方法については「4.7.3 タブメニューの操作」を参照してください。

7.1.1 SDI 入力の設定 (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

SDI FORMAT タブでは、入力 SDI 信号のフォーマットについて設定します。

SYS → **F.1** FORMAT IN OUT →

SDI FORMAT		REAR PANEL SETUP	
Auto/Manual	☒ Auto ☐ Manual		
I/PsF Select	☒ Interlace ☐ Segmented Frame(PsF)		
Format			
Link Format	☒ HD ☐ SD ☐ HD-DualLink ☐ 3G-A ☐ 3G-B ☐ 3G-B (2map)		
Color System	☒ YCbCr(4:2:2) ☐ YCbCr(4:4:4) ☐ RGB(4:4:4)		
Pixel Depth	☒ 10bit ☐ 12bit		
Scanning	☒ 1080P ☐ 1080I ☐ 1080PsF ☐ 720P ☐ 525i ☐ 625i		
Active Sample	☒ 1920 ☐ 2048 (2K)		
Frame Rate	☒ 60 ☐ 59.94 ☐ 50 ☐ 30 ☐ 59.94p : F.R.= 59.94 ☐ 29.97 ☐ 25 ☐ 24 ☐ 23.98 ☐ 59.94i : F.R.= 29.97		

図 7-2 SDI FORMAT 画面

● Auto/Manual

入力信号のフォーマットを自動で検出するかどうか選択します。

Auto を選択した場合、3G および HD デュアルリンクの検出には、入力信号にペイロード ID パケットが正しく多重されていることが必要です。

Auto / Manual

7. システム設定

● i/PsF Select

Auto/Manual が Auto のとき、以下のフォーマットをインタレースとセグメントフレームのどちらで表示するか、選択します。

- 1080i/60 と 1080PsF/30
- 1080i/59.94 と 1080PsF/29.97
- 1080i/50 と 1080PsF/25

Interlace / Segmented Frame(PsF)

● Format

Auto/Manual が Manual のときに、入力フォーマットを設定します。

選択できるフォーマットは、以下の組み合わせとなります。それ以外のフォーマットを設定すると、「ILLEGAL FORMAT」と表示されます。正しいフォーマットを設定しなおしてください。

フォーマットの切り換えには、10 秒程度の時間がかかることがあります。

表 7-1 入力フォーマットの設定

Link Format	Color System	Pixel Depth	Scanning	Active Sample	Frame Rate (※1)
HD	YCbCr (4:2:2)	10bit	1080P	1920	30/29.97/25/24/23.98
			1080i	1920	30/29.97/25
			1080PsF	1920	30/29.97/25/24/23.98
			720P	1920	60/59.94/50/ 30/29.97/25/24/23.98
SD	YCbCr (4:2:2)	10bit	525i	—	29.97
			625i	—	25
HD-DualLink	YCbCr (4:2:2)	10bit	1080P	1920	60/59.94/50
		12bit	1080P	1920	30/29.97/25/24/23.98
			1080i	1920	30/29.97/25
			1080PsF	1920	30/29.97/25/24/23.98
	YCbCr (4:4:4)	10bit	1080P	1920	30/29.97/25/24/23.98
			1080i	1920	30/29.97/25
			1080PsF	1920	30/29.97/25/24/23.98
		12bit	1080P	1920	30/29.97/25/24/23.98
			1080i	1920	30/29.97/25
			1080PsF	1920	30/29.97/25/24/23.98
	RGB (4:4:4)	10bit	1080P	1920	30/29.97/25/24/23.98
			1080i	1920	30/29.97/25
			1080PsF	1920	30/29.97/25/24/23.98
		12bit	1080P	1920	30/29.97/25/24/23.98
			1080i	1920	30/29.97/25
			1080PsF	1920	30/29.97/25/24/23.98
			1080P	2048 (2K)	24/23.98
			1080PsF	2048 (2K)	24/23.98

7. システム設定

Link Format	Color System	Pixel Depth	Scanning	Active Sample	Frame Rate (※1)
3G-A	YCbCr (4:2:2)	10bit	1080P	1920	60/59.94/50
			1080P	1920	30/29.97/25/24/23.98
		12bit	1080i	1920	30/29.97/25
			1080PsF	1920	30/29.97/25/24/23.98
	YCbCr (4:4:4)	10bit	1080P	1920	30/29.97/25/24/23.98
			1080i	1920	30/29.97/25
			1080PsF	1920	30/29.97/25/24/23.98
			720P	1920	60/59.94/50/ 30/29.97/25/24/23.98
		12bit	1080P	1920	30/29.97/25/24/23.98
			1080i	1920	30/29.97/25
			1080PsF	1920	30/29.97/25/24/23.98
			1080P	2048 (2K)	24/23.98
	RGB (4:4:4)	10bit	1080P	1920	30/29.97/25/24/23.98
			1080i	1920	30/29.97/25
			1080PsF	1920	30/29.97/25/24/23.98
			720P	1920	60/59.94/50/ 30/29.97/25/24/23.98
		12bit	1080P	1920	30/29.97/25/24/23.98
			1080i	1920	30/29.97/25
			1080PsF	1920	30/29.97/25/24/23.98
			1080P	2048 (2K)	24/23.98
3G-B	YCbCr (4:2:2)	10bit	1080P	1920	60/59.94/50
			1080P	1920	30/29.97/25/24/23.98
		12bit	1080i	1920	30/29.97/25
			1080PsF	1920	30/29.97/25/24/23.98
	YCbCr (4:4:4)	10bit	1080P	1920	30/29.97/25/24/23.98
			1080i	1920	30/29.97/25
			1080PsF	1920	30/29.97/25/24/23.98
		12bit	1080P	1920	30/29.97/25/24/23.98
			1080i	1920	30/29.97/25
			1080PsF	1920	30/29.97/25/24/23.98
	RGB (4:4:4)	10bit	1080P	1920	30/29.97/25/24/23.98
			1080i	1920	30/29.97/25
			1080PsF	1920	30/29.97/25/24/23.98
		12bit	1080P	1920	30/29.97/25/24/23.98
			1080i	1920	30/29.97/25
			1080PsF	1920	30/29.97/25/24/23.98
			1080P	2048 (2K)	24/23.98
			1080PsF	2048 (2K)	24/23.98

7. システム設定

Link Format	Color System	Pixel Depth	Scanning	Active Sample	Frame Rate (※1)
3G-B (2map)	YCbCr (4:2:2)	10bit	1080P	1920	30/29.97/25/24/23.98
			1080i	1920	30/29.97/25
			1080PsF	1920	30/29.97/25/24/23.98
			720P	1920	60/59.94/50/ 30/29.97/25/24/23.98

※1 インタレース設定時、フレームレート表記であることに注意してください。たとえばフィールドレートが 59.94Hz の場合、フレームレートは 29.97 に設定します。

7.1.2 背面パネルの設定

REAR PANEL SETUP タブでは、背面パネルの入出力端子について設定します。

SYS → **F.1** FORMAT IN OUT → **F.3** NEXT TAB →

図 7-3 REAR PANEL SETUP 画面

● SDI Select Output (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

SDI OUTPUT A/B から出力する信号を選択します。HD デュアルリンク時はこの設定にかかわらず、リンク A 固定です。

<u>Ach/Bch</u> :	SDI INPUT A または SDI INPUT B に入力された信号のリクロック信号を、A/B キーに連動して出力します。
Ach:	SDI INPUT A に入力された信号のリクロック信号を出力します。

● GROUP A / GROUP B (OP70)

DIGITAL AUDIO 端子を入力端子とするか出力端子とするか、グループごとに選択します。出力端子としたときは、オーディオ信号を入力しないでください。

INPUT / OUTPUT

7. システム設定

● GROUP A OUT SEL / GROUP B OUT SEL (OP70)

GROUP A または GROUP B が OUTPUT のとき、出力信号を選択します。
エンベデッドオーディオの出力には、LV 5770SER08/LV 5770SER09A が必要です。

Display Source: 現在測定しているオーディオ信号 8ch を出力します。

SDI 1~8ch: エンベデッドオーディオの 1~8ch を出力します。

SDI 9~16ch: エンベデッドオーディオの 9~16ch を出力します。

16ch 測定時に Display Source を選択したときの出力信号は以下のとおりです。

表 7-2 16ch 測定時の出力信号

INPUT SELECT	DECODE MODE	MIX MODE	グループ A 出力	グループ B 出力 (OP70)
SDI	OFF	-	1~8ch	9~16ch
	DOLBY E / DOLBY D	ON	D1~D8ch	1~16ch (※1)
EXT DIGI	DOLBY E / DOLBY D	ON	D1~D8ch	- (INPUT)
			- (INPUT)	D1~D8ch

※1 1ST GRP PCM、2ND GRP PCM で選択した 8ch を出力します。

● ANALOG AUDIO (LV 5770SER42)

ANALOG AUDIO 端子の入力端子と出力端子、どちらを有効にするか選択します。
選択されていない方の端子は無効となります。

INPUT: 入力端子を有効にします。

OUTPUT: 出力端子を有効にします。

現在測定しているオーディオ信号 8ch を出力します。

16ch 測定時に OUTPUT を選択したときの出力信号は以下のとおりです。

表 7-3 16ch 測定時の出力信号

INPUT SELECT	DECODE MODE	MIX MODE	アナログ出力
SDI	OFF	-	1~8ch
	DOLBY E / DOLBY D	ON	D1~D8ch
EXT DIGI	OFF	-	A1~A8ch
	DOLBY E / DOLBY D	ON	D1~D8ch

● DVI-I Aspect

DVI-I 端子から出力される信号のアスペクト比を選択します。
この設定は、システム設定の「7.6 アスペクト比の選択」でも同様にできます。

4:3: 4:3 のディスプレイに対応した信号を出力します。

16:9: ベクトル波形、ピクチャー、オーディオ波形について、16:9 のディスプレイに対応した信号を出力します。

16:10: ベクトル波形、ピクチャー、オーディオ波形について、16:10 のディスプレイに対応した信号を出力します。

7. システム設定

● Color Format (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

ピクチャーモニター出力のフォーマットを選択します。
Auto を選択すると、入力信号と同じフォーマットで出力します。

Auto / YCbCr 422 / YCbCr 444 / RGB 444

● Pixel Depth (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

ピクチャーモニター出力の量子化精度を選択します。
Auto を選択すると、入力信号と同じ量子化精度で出力します。

Auto / 8bit / 10bit / 12bit

● 2MAPPING SDI (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

入力信号が 3G-B(2map) のときの、ピクチャーモニター出力信号を選択します。

STREAM1 / STREAM2

7.2 本体の設定

本体の設定は、システムメニューの **F・2** SYSTEM SETUP で行います。SYSTEM SETUP はタブメニューになっています。タブメニューの操作方法については「4.7.3 タブメニューの操作」を参照してください。

7.2.1 一般的な設定

GENERAL SETUP タブでは、本体についての一般的な設定をします。

SYS → **F・2** SYSTEM SETUP →

GENERAL SETUP		ETHERNET SETUP		REMOTE SETUP		DATE&TIME	
GENERAL SETUP							
Multi Display	☐ 2Multi	☒ 4Multi					
Capture Mode	☒ Screen	☐ Video Frame(SDI Only)					
Memory Store Mode	☐ Loudness 2h ☒ Loudness 32h (No TIF/DPX Frame Capture)						
Information Display							
Format	☒ ON	☐ OFF					
Date	☐ OFF	☒ y/m/d	☐ m/d/y	☐ d/m/y			
Time	☐ OFF	☒ Real Time	☐ LTC	☐ VITC	☐ D-VITC		
Color System	☒ ON	☐ OFF					
Input	☒ ON	☐ OFF					
MENU Setup							
Auto Off	☐ OFF	☒ ON					
Time	5	sec(1-60)					

図 7-4 GENERAL SETUP 画面

● Multi Display

MULTI キーをオンにしたときのマルチ画面数を選択します。

【参照】 「5.1 表示形式の選択」

2Multi / 4Multi

7. システム設定

● Capture Mode (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

CAP キーを押したときの動作モードを選択します。

【参照】 「8 キャプチャ機能」

Screen:	表示画面を静止画として取り込みます。
Video Frame(SDI Only):	1 フレーム分のデータを取り込みます。 LV 5770SER08/LV 5770SER09A が必要です。

● Memory Store Mode (オプション)

Capture Mode を Video Frame にしてから **F・1** COMPLETE を押し、再び **F・2** SYSTEM SETUP を押したときに表示されます。ラウドネスの最大測定時間を選択します。

Loudness 2h:	最大 2 時間分のラウドネス測定ができます。
Loudness 32h:	最大 32 時間分のラウドネス測定ができます。 フレームキャプチャデータを TIF 形式および DPX 形式で保存することはできません。

● Format (LV 5770SER03A/LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

画面上部のフォーマット表示(1080i/59.94、NTSC など)のオンオフを選択します。

ON / OFF

● Date

画面左上に表示される日付の表示形式を選択します。

y = 西暦、m = 月、d = 日となります。

OFF / y/m/d / m/d/y / d/m/y

● Time

画面上部に表示される時刻の表示形式を選択します。

OFF:	時刻を表示しません。
<u>Real Time</u> :	DATE&TIME タブで設定した時刻を表示します。
LTC:	DATE&TIME タブで設定した時刻と、LTC タイムコードを表示します。
VITC:	DATE&TIME タブで設定した時刻と、VITC タイムコードを表示します。
D-VITC:	DATE&TIME タブで設定した時刻と、D-VITC タイムコード(SD)を表示します。

● Color System (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

画面上部の SDI カラーシステム表示(YCbCr(422) など)のオンオフを選択します。

ON / OFF

● Input (LV 5770SER03A/LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

画面上部の入力信号表示(SDI-A、DUAL など)のオンオフを選択します。

ON / OFF

7. システム設定

● Auto Off

ファンクションメニューを自動で消すかどうか選択します。

OFF:	自動で消えません。メニューを一時的に消すには、たとえば測定メニューであれば、1～4 キー、MODE キー、MENU OFF を設定した SHORT キーを押します。
ON:	最終キー操作から Time で設定した時間が経過した後、自動で消えます。システムメニューなど一部のメニューは自動で消えません。

● Time

Auto Off が ON のとき、最終キー操作から自動でメニューが消えるまでの時間を設定します。

1 - 5 - 60 sec

7.2.2 イーサネットの設定

ETHERNET SETUP タブでは、イーサネットの設定をします。

ここで設定した内容は、設定の初期化を行っても初期化されません。また、プリセットにも登録されません。

【参照】 「11 イーサネットコントロール」

SYS → F.2 SYSTEM SETUP → F.3 NEXT TAB →

GENERAL SETUP		ETHERNET SETUP		REMOTE SETUP		DATE&TIME	
Ethernet Select	☐ DHCP ☒ IP						
TCP / IP							
IP Address	192	168	0	1			
Subnet Mask	255	255	255	0			
Default Gateway	0	0	0	0			
SNTP Client Select	☒ OFF ☐ ON						
Server IP Address	0	0	0	0			
Time Zone Adjust	+	9	:	0	[+/- hour : minutes]		
TELNET Server Select	☒ OFF ☐ ON			☐ LV7770-01			
FTP Server Select	☒ OFF ☐ ON						
HTTP Server Select	☒ OFF ☐ ON						
SNMP READ	☒ OFF ☐ ONLY ☐ WRITE						
SNMP TRAP	☒ OFF ☐ ON						
MAC ADDRESS:	00:00:00:00:00:00						

図 7-5 ETHERNET SETUP 画面

● Ethernet Select

IP アドレスの設定方法を選択します。

ここで設定した内容は、本体を再起動したときに有効となります。

DHCP:	IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを自動で設定します。
IP:	IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で設定します。

7. システム設定

● SNTP Client Select

SNTP クライアント機能を有効にするかどうか選択します。

ON にしたときは、Server IP Address に NTP サーバーの IP アドレス、Time Zone Adjust に時刻補正值を入力します。

OFF / ON

● TELNET Server Select

TELNET サーバー機能、および LV 7770-01 (REMOTE CONTROLLER) を有効にするかどうか選択します。TELNET と LV 7770-01 は同時に使用できません。

OFF / ON / LV7770-01

● FTP Server Select

FTP サーバー機能を有効にするかどうか選択します。

OFF / ON

● HTTP Server Select

HTTP サーバー機能を有効にするかどうか選択します。

OFF / ON

● SNMP READ

SNMP のアクセスモードを選択します。

<u>OFF</u> :	SNMP を使用できません。
ONLY:	設定の読み込みができます。
WRITE:	設定の読み書きができます。

● SNMP TRAP

TRAP 出力のオンオフを選択します。

OFF / ON

● MAC ADDRESS

本器の MAC アドレスが表示されます。

7.2.3 リモートの設定

REMOTE SETUP タブでは、リモートコントロールの設定をします。

ここで設定した内容は、設定の初期化を行っても初期化されません。また、プリセットにも登録されません。

【参照】 「10 リモートコントロール」

SYS → F.2 SYSTEM SETUP → F.3 NEXT TAB → F.3 NEXT TAB →

図 7-6 REMOTE SETUP 画面

● Remote Mode

プリセットの呼び出し方法を選択します。

<u>BIT</u> :	2p (/P1)～9p (/P8)を使用して、プリセット番号 1～8 を呼び出します。(Remote Select が Recall のとき)
	2p (/P1)～7p (/P6)を使用して、プリセット番号 1～6 を呼び出します。(Remote Select が Recall and Loudness のとき)
<u>BINARY</u> :	2p (/P1)を LSB、7p (/P6)を MSB として、バイナリーコードでプリセット番号 1～60 を呼び出します。

● Remote Select

リモート端子の 8p (/P7)、9p (/P8)に割り当てる機能を選択します。

<u>Recall</u> :	プリセットの呼び出しに割り当てます。
Recall and Loudness:	ラウドネスのコントロールに割り当てます。

● Alarm Polarity

アラーム出力の極性を選択します。

<u>POSITIVE</u> :	エラー検出時、High を出力します。
<u>NEGATIVE</u> :	エラー検出時、Low を出力します。

● Alarm Select

アラーム出力の対象となるチャンネルを選択します。

A / B / AB

7. システム設定

7.2.4 日時の設定

DATE&TIME タブでは、日時の設定をします。

ETHERNET SETUP 画面の SNTP Client Select が ON のときは設定できません。日時を手動で設定するには、SNTP Client Select を OFF にしてから **F・1** COMPLETE を押し、再度 **F・2** SYSTEM SETUP を押してください。

ここで設定した内容は、設定の初期化を行っても初期化されません。また、プリセットにも登録されません。

SYS → **F・2** SYSTEM SETUP → **F・2** PREV TAB →

DATE ADJUST	
DAY	9
MONTH	6
YEAR	2011

TIME ADJUST	
HOUR	9
MINUTE	59
SECOND	56

図 7-7 DATE&TIME 画面

7.3 システム情報の表示

システム情報の表示は、システムメニューの **F・3** SYSTEM INFO で行います。

ここでは、本器のファームウェアバージョンと、実装されているオプションユニットの種類を確認できます。

SYS → **F・3** SYSTEM INFO →

```
LV7770      : MULTI RASTERIZER
BOARD: 1: 0,1: 2,3:   FIRMWARE: 1.0

LV5770SER09A : SDI INPUT/EYE
BOARD: 0

LV5770SER03A : TRI SYNC/COMPOSITE
BOARD: 0

OP70 : 16CH DIGITAL AUDIO ADAPTER
```

図 7-8 INFORMATION 画面

7.4 ショートカットキーの設定

ショートカットキーの設定は、システムメニューの **F.4** SHORTCUT KEY で行います。SHORTCUT キーを押すと、ここで割り当てた機能を実行します。

【参照】 「4.7.5 ショートカットキーの操作」

設定項目の説明

DIRECT:	あらかじめ登録したパネル設定を呼び出します。パネル設定を登録するには、本器を登録したい状態に設定してから MEM キーを押し、続けて SHORTCUT キーを押します。
VOLUME:	ヘッドホンの音量を調整します。
CAP&WAIT:	表示画面を取り込んでから、USB メモリーに保存します。
INTEN:	波形の輝度を調整します。
MENU OFF:	メニューを消します。システム設定の GENERAL SETUP で、Auto Off が OFF のときに選択できます。

7.5 ライセンスの設定

ライセンスの設定は、システムメニューの **F.5** LICENSE SETUP で行います。ここでは、MAC アドレスの確認と、オプションのインストールができます。オプションのインストールについては、オプションの取扱説明書を参照してください。

SYS → **F.5** LICENSE SETUP →

MAC ADDRESS: 00:00:00:00:00:00						
LICENSE LIST: 1. 2. 3. 4. 5.						
0	1	2	3	4	5	6 7 8 9
[F.D_NOB] = CHAR SELECT , [F.D_PUSH] = CHAR SET & Function Key EDIT						
OPTION LICENSE KEY				-----		
CLEAR	CHAR SET	REGISTER	REMOVE			up menu

図 7-9 LICENSE SETUP 画面

7.6 アスペクト比の選択

アスペクト比の選択は、システムメニューの **F・6** DVI-I ASPECT で行います。
DVI-I 端子から出力される信号のアスペクト比を選択します。
この設定は、システム設定の「7.1.2 背面パネルの設定」でも同様にできます。

設定項目の説明

4:3:	4:3 のディスプレイに対応した信号を出力します。
16:9:	ベクトル波形、ピクチャー、オーディオ波形について、16:9 のディスプレイに対応した信号を出力します。
16:10:	ベクトル波形、ピクチャー、オーディオ波形について、16:10 のディスプレイに対応した信号を出力します。

7.7 設定の初期化

設定の初期化は、システムメニューの **F・7** INITIALIZE で行います。
初期化を行うときは **F・1** INIT YES、キャンセルするときは **F・3** INIT NO を押してください。

SYS → **F・7** INITIALIZE →

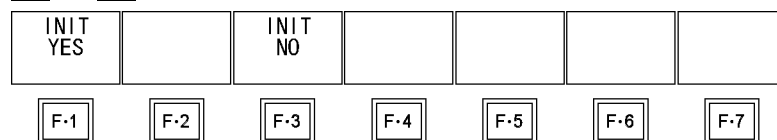


図 7-10 INITIALIZE メニュー

設定の初期化を行うと、以下の項目を除いてすべての設定が初期化されます。初期設定については「12 メニューツリー」を参照してください。

なお、以下の項目も初期化したい場合は、次項の工場出荷時設定を参照してください。

- ・イーサネットの設定 (ETHERNET SETUP)
- ・リモートの設定 (REMOTE SETUP)
- ・日時の設定 (DATE&TIME)
- ・プリセットの内容
- ・SHORTCUT キーに登録したパネル設定
- ・シネライトのユーザー補正テーブル

7. システム設定

●工場出荷時設定

V POS ツマミと H POS ツマミを押しながら電源を入れることで、日時以外の全項目を初期化できます。以下の画面が表示されたら、**F・1** YES を押してください。

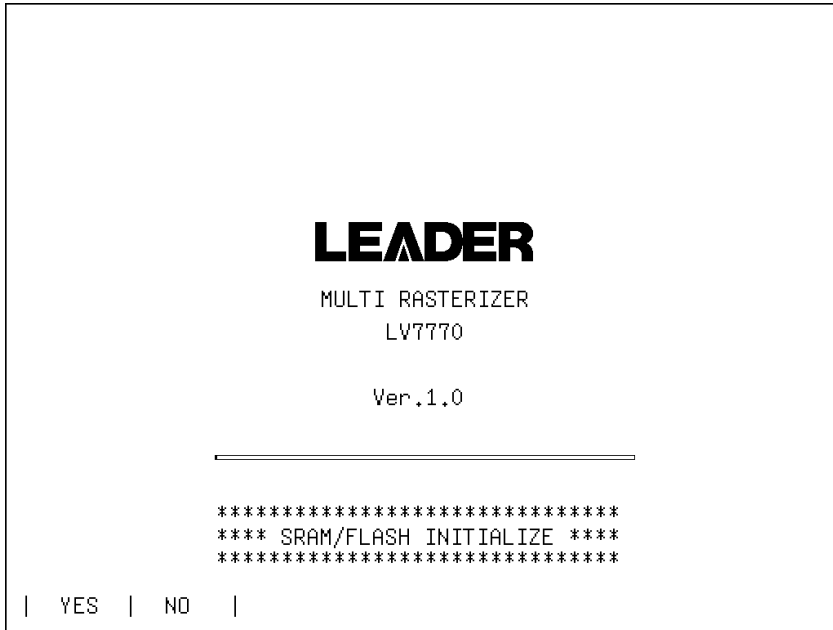


図 7-11 工場出荷時設定

8. キャプチャ機能

キャプチャ機能には、スクリーンキャプチャとフレームキャプチャの2種類があります。
このうち、フレームキャプチャには LV 5770SER08/LV 5770SER09A が必要です。

●スクリーンキャプチャ

表示画面を静止画データとして本体に取り込む機能です。取り込んだキャプチャデータは USB メモリーに保存したり、入力信号に重ねて本体に表示したりすることができます。

●フレームキャプチャ (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

SDI 信号の1フレーム分のデータを本体に取り込む機能です。取り込んだフレームデータは USB メモリーに保存したり、入力信号に重ねて本体に表示したりすることができます。

フレームデータとして本体に取り込むため、表示モードを変えて本体に表示できます。対応する表示モードは、ビデオ信号波形表示、ベクトル波形表示、ピクチャー表示、ステータス表示 (データダンプ表示) です。データダンプ表示については、LV 5770SER08/LV 5770SER09A の取扱説明書を参照してください。

●スクリーンキャプチャとフレームキャプチャの切り換え

GENERAL SETUP 画面の Capture Mode で切り換えます。

SYS → **F-2** SYSTEM SETUP →

GENERAL SETUP		ETHERNET SETUP		REMOTE SETUP		DATE&TIME	
GENERAL SETUP							
Multi Display	☒ 2Multi	☒ 4Multi					
Capture Mode	☒ Screen	☐ Video Frame(SDI Only)					
Information Display							
Format	☒ ON	☐ OFF					
Date	☐ OFF	☒ y/m/d	☐ m/d/y	☐ d/m/y			
Time	☐ OFF	☒ Real Time	☐ LTC	☐ VITC	☐ D-VITC		
Color System	☒ ON	☐ OFF					
Input	☒ ON	☐ OFF					
MENU Auto Off		5	sec(5-60)				

図 8-1 GENERAL SETUP 画面

8.1 スクリーンキャプチャ

8.1.1 表示画面の取り込み

表示画面をキャプチャするには、以下の手順で操作を行います。
タブメニューやファイルリスト画面など、一部の画面はキャプチャできません。

1. 本体をキャプチャしたい画面に設定します。
2. CAP キーを押します。

CAP キーを押した時点で、表示画面が内部メモリーにキャプチャされます。キャプチャメニューが表示されているときは、**F・2** REFRESH を押してもキャプチャできます。

なお、表示画面をキャプチャした後に以下の操作を行った場合、キャプチャデータがクリアされますので注意してください。

- ・表示モードを変更した場合
- ・SDI キー、CMPST キー、SIM キー、SYS キー、1～4 キー、MULTI キー、MEM キー、RCLL キーを押した場合
- ・電源を切った場合

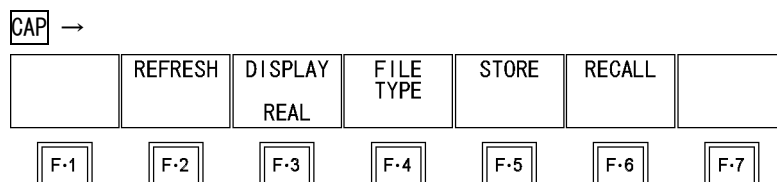


図 8-2 キャプチャメニュー

8.1.2 キャプチャデータの表示

CAP キーを押して本体に取り込んだキャプチャデータは、本体に表示したり、現在の入力信号と重ねて表示したりすることができます。

本体に表示できるキャプチャデータは、ビデオ信号波形、ベクトル波形、オーディオ波形、オーディオメーター、アイパターン波形、ピクチャーです。これら以外のデータ(ステータス、スケールなど)は表示できません。ただし、BMP 形式で USB メモリーに保存することはできます。

以下の操作で、表示形式を選択できます。

操作

CAP → **F・3** DISPLAY : REAL / HOLD / BOTH

設定項目の説明

REAL: 現在の入力信号を表示します。
HOLD: キャプチャデータを表示します。波形色はシアンとなります。
BOTH: 現在の入力信号とキャプチャデータの輝度を半分にして、重ねて表示します。

8.1.3 USB メモリーへの保存

CAP キーを押して本体に取り込んだキャプチャデータは、表示モードを変更するなどで消去されますが、BSG 形式で USB メモリーに保存することで、電源を切った後でも本体に表示できます。

また、BMP 形式で保存することで、キャプチャデータを PC で確認することもできます。

1. キャプチャメニューの **F.4** FILE TYPE を押します。

ファイル形式選択メニューが表示されます。

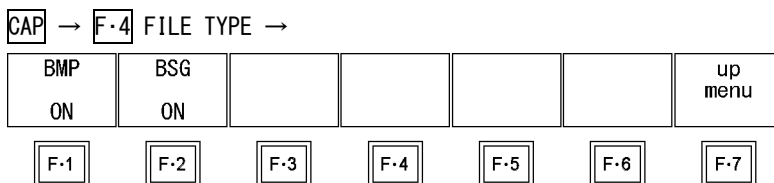


図 8-3 ファイル形式選択メニュー

2. ファイル形式を選択します。

F.1 BMP を ON にすると、USB メモリーに BMP 形式で保存します。保存したデータは、PC で確認できます。

F.2 BSG を ON にすると、USB メモリーに BSG 形式で保存します。保存したデータは、再度本体に表示できます。

初期設定は **F.1** BMP、**F.2** BSG とともに ON です。両方の設定を OFF にすることはできません。

3. **F.7** up menu を押します。

キャプチャメニューが表示されます。

4. **F.5** STORE を押します。

画面上にメッセージ「Saving file - Please Wait.」が表示され、USB メモリーにキャプチャデータが保存されます。

USB メモリーが接続されていないとき、このメニューは表示されません。

設定した波形色にかかわらず、波形は白で保存されます。

保存にかかる時間は1ファイルにつき約5秒、ファイルサイズはBMP、BSGともに約2.4MBです。

ファイル名はシステム設定で設定した日時が、西暦、月、日、時間、分、秒の順に自動で付きます。(例：20090501100859. bmp)

キャプチャデータの保存先は以下のとおりです。

- 📁 USB メモリー
 - └ 📁 LV7770_USER
 - └ 📁 BMP
 - └ 📄 yyyyymmddhhmmss. bmp
 - └ 📄 yyyyymmddhhmmss. bsg

8.1.4 USB メモリーのキャプチャデータ表示

USB メモリーに BSG 形式で保存したキャプチャデータは、以下の手順で本体に表示したり、現在の入力信号と重ねて表示したりすることができます。

(BMP 形式で保存したキャプチャデータや、他機種で保存した BSG 形式のキャプチャデータを本体に表示することはできません)

1. CAP キーを押します。

キャプチャメニューが表示されます。

2. **F・6** RECALL を押します。

ファイルリスト画面が表示されます。

USB メモリーが接続されていないとき、このメニューは表示されません。

External		USB FLASH DRIVE		BitMap FILE LIST	
No.	File Name	Date	Time	Size(BYTE)	
1	20110609132029.bsg	11/06/09	13:20	2,367,370	
2	20110609132029.bmp	11/06/09	13:20	2,359,350	
3	20110609132310.bsg	11/06/09	13:23	2,367,370	
4	20110609132310.bmp	11/06/09	13:23	2,359,350	
SIZE: 4,001,894,400byte					
FREE: 3,963,789,312byte					
RECALL		DELETE FILE		up menu	

図 8-4 ファイルリスト画面

3. ファンクションダイヤル(F・D)を回して、表示する BSG 形式のファイルを選択します。

4. **F・1** RECALL を押します。

ファイルリスト画面から抜けて、キャプチャメニューが表示されます。

5. **F・3** DISPLAY を押して、表示形式を選択します。

F・1 RECALL を押した直後の表示形式は BOTH になります。

8.1.5 USBメモリーのキャプチャデータ削除

USBメモリーに保存したキャプチャデータは、以下の手順で削除できます。(PCでも削除できます)

1. CAPキーを押します。

キャプチャメニューが表示されます。

2. **F・6** RECALL を押します。

ファイルリスト画面が表示されます。

USBメモリーが接続されていないとき、このメニューは表示されません。

External		USB FLASH DRIVE		BitMap FILE LIST	
No.	File Name	Date	Time	Size(BYTE)	
1	20110609132029.bsg	11/06/09	13:20	2,367,370	
2	20110609132029.bmp	11/06/09	13:20	2,359,350	
3	20110609132310.bsg	11/06/09	13:23	2,367,370	
4	20110609132310.bmp	11/06/09	13:23	2,359,350	
SIZE: 4,001,894,400byte					
FREE: 3,963,789,312byte					
RECALL		DELETE FILE		up menu	

図 8-5 ファイルリスト画面

3. ファンクションダイヤル(F・D)を回して、削除するファイルを選択します。

4. **F・3** DELETE FILE を押します。

削除確認メニューが表示されます。

DELETE YES		DELETE NO				
F・1	F・2	F・3	F・4	F・5	F・6	F・7

図 8-6 削除確認メニュー

5. **F・1** DELETE YES を押します。

削除をキャンセルするときは **F・3** DELETE NO を押してください。

8.2 フレームキャプチャ (LV 5770SER08/LV 5770SER09A)

8.2.1 フレームデータの取り込み

フレームデータの取り込みには、手動で取り込む方法と、エラーが発生したときに自動で取り込む方法(エラーキャプチャ)の2種類があります。

1. SDI キーを押します。
2. WFM キー、VEC キー、PIC キーのいずれかを押します。

VEC キーを押したときは、**F・6** DISPLAY → **F・1** MODE を VECTOR にしてください。5 バー表示には対応していません。

3. CAP キーを押します。

キャプチャメニューが表示されます。エラーメッセージが表示されたときは、手順1、2を再確認してください。

スクリーンキャプチャとは異なり、CAP キーを押した時点では取り込まれません。

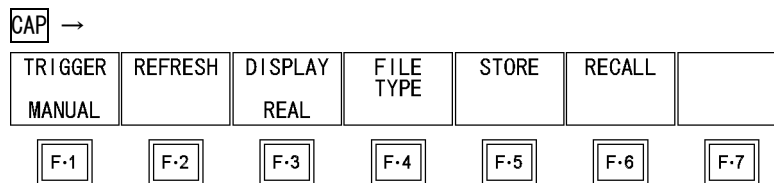


図 8-7 キャプチャメニュー

●手動で取り込む場合

4. **F・1** TRIGGER を MANUAL にします。
5. **F・2** REFRESH を押します。

1 フレーム分のデータを本体に取り込みます。(サイマルモードのときは、A/B 両チャンネルのデータを取り込みます)

取り込んだフレームデータは、入力チャンネルの変更等でクリアされます。

●自動で取り込む場合（エラーキャプチャ）

4. **F・1** TRIGGER を ERROR にします。5. **F・2** REFRESH を押します。

エラーの待機状態となり、画面上部に「ERR CAP」と表示されます。入力チャンネルの変更等で、待機状態は解除されます。

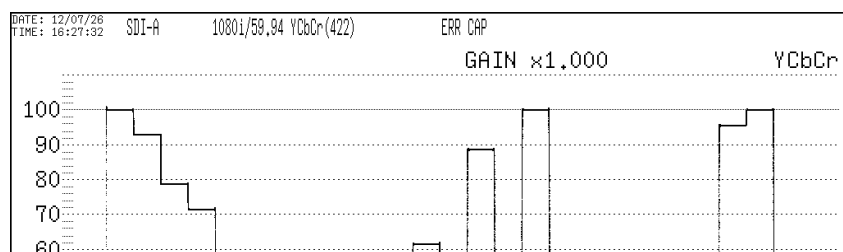


図 8-8 エラー待機中

6. 以下のメッセージが表示されたら、電源キー以外のいずれかのキーを押します。

エラーの待機中にエラーが発生すると、その時点のフレームデータを本体に取り込み、停止します。（サイマルモードのときは、A/Bch のどちらかにエラーが発生した時点で、エラー発生チャンネルのデータを取り込み、停止します）

対象となるエラーは、以下の「対象となるエラー」のうち、ステータスメニューの **F・6** ERROR SETUP で検出設定を ON にしたエラーです。

表 8-1 エラーキャプチャの対象となるエラー

	対象となるエラー	対象とならないエラー
SDI Error	TRS、Line Number、CRC、EDH、Illegal Code	Cable
Ancillary Data Error	Parity、Checksum	-
Embedded Audio Error	BCH、DBN、Parity、Inhibit Line	Sample Count
Video Error	Gamut、Composite Gamut、Level	Freeze、Black

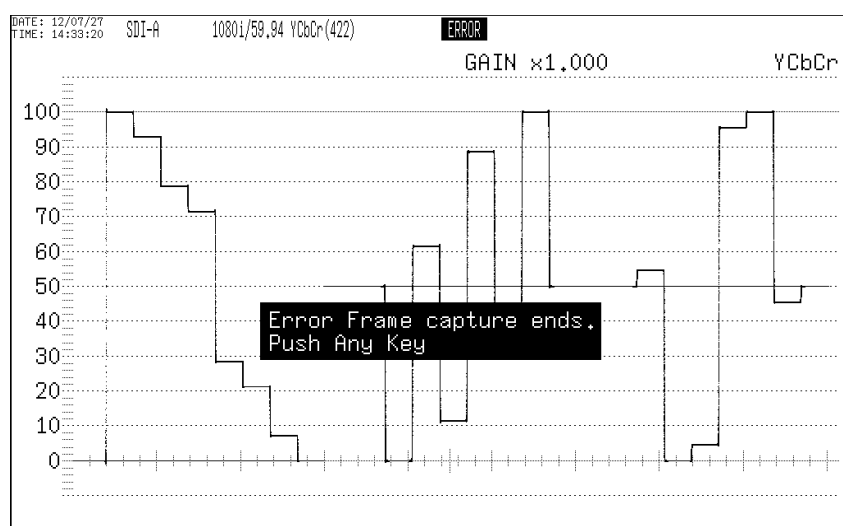


図 8-9 エラーキャプチャ終了

8.2.2 フレームデータの表示

本体に取り込んだフレームデータは、本体に表示したり、現在の入力信号と重ねて表示したりすることができます。また、表示モードを切り換えての表示も可能です。以下の操作で、表示形式を選択できます。

- あらかじめ、表示モードをビデオ信号波形表示、ベクトル波形表示(5バー表示を除く)、ピクチャー表示のいずれかにしておいてください。
- フレームデータの表示には、取り込んだデータと同一フォーマットの信号が入力されている必要があります。
- 表示エリアの変更や、V POS ツマミ、H POS ツマミ、ファンクションダイヤル(F・D)の操作で、画面が点滅することがあります。
- スケールや測定値は、取り込んだデータのものではなく、現在の情報を表示します。

操作

CAP → **F・3** DISPLAY : REAL / HOLD / BOTH

設定項目の説明

REAL: 現在の入力信号を表示します。
 HOLD: フレームデータを表示します。波形色はシアンとなります。
 BOTH: 現在の入力信号とフレームデータの輝度を半分にして、重ねて表示します。

8.2.3 USB メモリーへの保存

本体に取り込んだフレームデータは電源を切るなどでクリアされますが、以下の操作でUSBメモリーに保存することで、電源を切った後でも本体に表示できます。(保存形式をFRMにしたとき) また、PCでデータを確認することもできます。

1. キャプチャメニューの **F・4** FILE TYPE を押します。

ファイル形式選択メニューが表示されます。

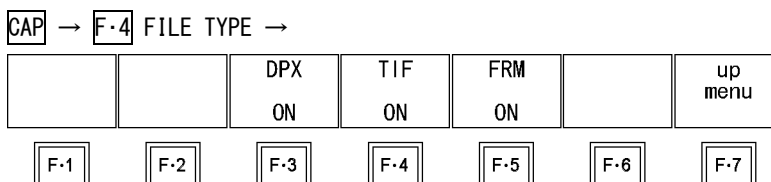


図 8-10 ファイル形式選択メニュー

2. ファイル形式を選択します。

保存するファイル形式をONにします。初期設定はすべてONです。

- F・3** DPX: ピクチャー部分のみを 10bit の DPX 形式で保存します。
 入力信号が 12bit であっても、10bit に丸めて保存します。
- F・4** TIF: ピクチャー部分のみを TIF 形式で保存します。
 このデータは、DPX を TIF に変換したものです。
- F・5** FRM: 1 フレーム分のデータを保存します。

3. **F・7** up menu を押します。

キャプチャメニューが表示されます。

4. **F・5** STORE を押します。

画面上にメッセージ「Saving file - Please Wait.」が表示され、USB メモリーにフレームデータが保存されます。

USB メモリーが接続されていないとき、**F・4** FILE TYPE がすべて OFF のとき、フレームデータが本体に取り込まれていないとき、このメニューは表示されません。

入力信号が 1080i/59.94 で、**F・4** FILE TYPE がすべて ON のとき、保存にかかる時間は約 50 秒です。また、ファイルサイズは DPX が約 8.3MB、TIF が約 12.5MB、FRM が約 9.9MB です。

ファイル名はシステム設定で設定した日時が、西暦、月、日、時間、分、秒の順に自動で付きます。(例：20090501100859.bmp)

フレームデータの保存先は以下のとおりです。

📁 USB メモリー

└ 📁 LV7770_USER

└ └ 📁 BMP

└ └ └ 📄 yyyyymmddhhmmss.dpx

└ └ └ 📄 yyyyymmddhhmmss.frm

└ └ └ 📄 yyyyymmddhhmmss.tif

8.2.4 USB メモリーのフレームデータ表示

USB メモリーに FRM 形式で保存したフレームデータは、以下の手順で本体に表示したり、現在の入力信号と重ねて表示したりすることができます。

(他機種で保存した FRM 形式のフレームデータを本体に表示することはできません)

1. キャプチャメニューの **F・6** RECALL を押します。

ファイルリスト画面が表示されます。

USB メモリーが接続されていないとき、このメニューは表示されません。

External USB FLASH DRIVE FRAME FILE LIST				
No.	File Name	Date	Time	Size(BYTE)
1	20120725145804.frm	12/07/25	14:58	9,900,064
2	20120725145804.dpx	12/07/25	14:58	8,296,480
3	20120725145804.tif	12/07/25	14:58	12,450,544
4	20120727110201.dpx	12/07/27	11:02	8,296,480
5	20120727110242.tif	12/07/27	11:02	12,450,544
6	20120727110327.frm	12/07/27	11:03	9,900,064
7	20120727110355.frm	12/07/27	11:04	9,900,064
8	20120727110441.frm	12/07/27	11:04	9,900,064
9	20120727110441.dpx	12/07/27	11:05	8,296,480
10	20120727110441.tif	12/07/27	11:05	12,450,544
SIZE: 4,001,894,400byte				
FREE: 3,753,431,040byte				
FORMAT: HD, 1080I, 59.94, YCBCR_422, 10BIT, 1920				
RECALL		DELETE FILE		up menu

図 8-11 ファイルリスト画面

2. ファンクションダイヤル(F・D)を回して、表示する FRM 形式のファイルを選択します。

3. **F・1** RECALL を押します。

フレームデータの表示には、保存したデータと同一フォーマットの信号が入力されている必要があります。画面下部の FORMAT には保存したデータのフォーマットが表示され、現在のフォーマットと同一のときは緑色、異なるときは赤色になります。FORMAT が赤色のとき、**F・1** RECALL は表示されません。

4. **F・3** DISPLAY を押して、表示形式を選択します。

F・1 RECALL を押した直後の表示形式は BOTH になります。

8.2.5 USB メモリーのフレームデータ削除

USB メモリーに保存したフレームデータは、以下の手順で削除できます。(PC でも削除できます)

1. キャプチャメニューの **F・6** RECALL を押します。

ファイルリスト画面が表示されます。

USB メモリーが接続されていないとき、このメニューは表示されません。

External		USB FLASH DRIVE		FRAME FILE LIST	
No.	File Name	Date	Time	Size(BYTE)	
1	20120725145804.frm	12/07/25	14:58	9,900,064	
2	20120725145804.dpx	12/07/25	14:58	8,296,480	
3	20120725145804.tif	12/07/25	14:58	12,450,544	
4	20120727110201.dpx	12/07/27	11:02	8,296,480	
5	20120727110242.tif	12/07/27	11:02	12,450,544	
6	20120727110327.frm	12/07/27	11:03	9,900,064	
7	20120727110355.frm	12/07/27	11:04	9,900,064	
8	20120727110441.frm	12/07/27	11:04	9,900,064	
9	20120727110441.dpx	12/07/27	11:05	8,296,480	
10	20120727110441.tif	12/07/27	11:05	12,450,544	
SIZE: 4,001,894,400byte					
FREE: 3,753,431,040byte					
FORMAT: HD, 1080I, 59.94, YCBCR_422, 10BIT, 1920					
RECALL		DELETE FILE		up menu	

図 8-12 ファイルリスト画面

2. ファンクションダイヤル(F・D)を回して、削除するファイルを選択します。
3. **F・3** DELETE FILE を押します。

削除確認メニューが表示されます。

DELETE YES		DELETE NO				
F・1	F・2	F・3	F・4	F・5	F・6	F・7

図 8-13 削除確認メニュー

4. **F・1** DELETE YES を押します。

削除をキャンセルするときは **F・3** DELETE NO を押してください。

9. プリセット機能

プリセット機能では、60 点までのパネル設定を登録できます。また、登録したプリセットデータは USB メモリーに一括コピーできるため、複数の本体を同一の設定で使用できます。

プリセットの内容は、設定の初期化を行っても消去されません。

また、以下の項目はプリセットに登録できません。

- ・イーサネットの設定 (ETHERNET SETUP)
- ・リモートの設定 (REMOTE SETUP)
- ・日付と時刻 (DATE&TIME)

9.1 プリセットの登録

プリセットを登録するには、以下の手順で操作を行います。

1. 本器を登録したい状態に設定します。
2. MEM キーを押します。

プリセット登録画面が表示されます。

Internal Memory		FILE LIST		
No.	File COMMENT	Date	Time	Size(BYTE)
1	5BAR	11/06/09	14:08	8,020
2	JITTER	11/06/09	14:08	8,020
3	AUDIO STATUS	11/06/09	14:08	8,020
4	-----	-----	-----	-----
5	-----	-----	-----	-----
6	-----	-----	-----	-----
7	-----	-----	-----	-----
8	-----	-----	-----	-----
9	-----	-----	-----	-----
10	-----	-----	-----	-----
11	-----	-----	-----	-----
12	-----	-----	-----	-----

SETUP MEMORY COMMENT					
COMMENT INPUT	STORE	DELETE		ALL COPY USB->INT	ALL COPY INT->USB

図 9-1 プリセット登録画面

3. **F・1** COMMENT INPUT を押します。

コメント入力画面が表示されます。

コメントはすでに保存してあるプリセットのコメントからコピーすることもできます。コメントをコピーするには、プリセット登録画面でコピーしたいプリセットにカーソルを合わせてから、ファンクションダイヤル(F・D)を押してください。

[SPC]	!	"	#	\$	%	&	'	(	)
*	+	,	-	.	/	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	:	;	<	=
>	?	@	A	B	C	D	E	F	G
H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[
\	]	^	_	`	a	b	c	d	e
f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
z	{		}	~					

[F・D_NOB] = CHAR SELECT , [F・D_PUSH] = CHAR SET
& Function Key EDIT

SETUP MEMORY COMMENT

CLEAR ALL	DELETE		<=	=>	CHAR SET	up menu
-----------	--------	--	----	----	----------	---------

図 9-2 コメント入力画面

4. 16 文字以内でコメントを入力します。

コメント入力画面でのキー動作は以下のとおりです。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| F・1 CLEAR ALL | :すべての文字列を消去します。 |
| F・2 DELETE | :カーソル上の文字を消去します。 |
| F・4 <= | :カーソルを左に移動します。 |
| F・5 => | :カーソルを右に移動します。 |
| F・6 CHAR SET | :文字を入力します。 |
| ファンクションダイヤル(F・D) | :回して文字を選択、押して文字を入力します。 |

5. **F・7** up menu を押します。

6. ファンクションダイヤル(F・D)を回して、登録するプリセット番号を選択します。

7. **F・2** STORE を押します。

メッセージ「Saving data - Please Wait.」が消えたら登録完了です。

選択した番号にすでにプリセットが登録してあるときは、上書き確認メニューが表示されます。上書きするときには **F・1** OVER WR YES、登録をキャンセルするときには **F・3** OVER WR NO を押してください。

DELETE YES		DELETE NO				
F・1	F・2	F・3	F・4	F・5	F・6	F・7

図 9-3 上書き確認メニュー

9.2 プリセットの呼び出し

プリセットを呼び出すには、以下の手順で操作を行います。

1. RCLL キーを押します。

プリセット呼び出しメニューが表示されます。

NO. 1 5BAR	NO. 2 JITTER	NO. 3 AUDIO STATUS	NO. 4	NO. 5	NO. 6	more
F-1	F-2	F-3	F-4	F-5	F-6	F-7

図 9-4 プリセット呼び出しメニュー

2. **F-1** NO. 1 ~ **F-6** NO. 6 を押します。

呼び出すプリセットが NO. 7 以降のときは、**F-7** more を押すか、ファンクションダイヤル (F・D) を回してください。

9.3 プリセットの削除

プリセットを削除するには、以下の手順で操作を行います。

1. MEM キーを押します。

プリセット登録画面が表示されます。

Internal Memory			FILE LIST		
No.	File	COMMENT	Date	Time	Size(BYTE)
1	5BAR		11/06/09	14:08	8,020
2	JITTER		11/06/09	14:08	8,020
3	AUDIO	STATUS	11/06/09	14:08	8,020
4	-----		-----	-----	-----
5	-----		-----	-----	-----
6	-----		-----	-----	-----
7	-----		-----	-----	-----
8	-----		-----	-----	-----
9	-----		-----	-----	-----
10	-----		-----	-----	-----
11	-----		-----	-----	-----
12	-----		-----	-----	-----

SETUP MEMORY COMMENT					
COMMENT INPUT	STORE	DELETE		ALL COPY USB->INT	ALL COPY INT->USB

図 9-5 プリセット登録画面

2. ファンクションダイヤル (F・D) を回して、削除するファイルを選択します。
3. **F-3** DELETE を押します。

削除確認メニューが表示されます。

DELETE YES		DELETE NO				
F-1	F-2	F-3	F-4	F-5	F-6	F-7

図 9-6 削除確認メニュー

4. **F・1** DELETE YES を押します。

削除をキャンセルするときは、**F・3** DELETE NO を押してください。

9.4 プリセットの一括コピー

9.4.1 本体から USB メモリーへの一括コピー

本体のプリセットを USB メモリーに一括コピーするには、以下の手順で操作を行います。

1. MEM キーを押します。

プリセット登録画面が表示されます。

Internal Memory				FILE LIST	
No.	File	COMMENT	Date	Time	Size(BYTE)
1	5BAR		11/08/09	14:08	8,020
2	JITTER		11/08/09	14:08	8,020
3	AUDIO	STATUS	11/08/09	14:08	8,020
4	-----		-----	-----	-----
5	-----		-----	-----	-----
6	-----		-----	-----	-----
7	-----		-----	-----	-----
8	-----		-----	-----	-----
9	-----		-----	-----	-----
10	-----		-----	-----	-----
11	-----		-----	-----	-----
12	-----		-----	-----	-----

SETUP MEMORY COMMENT					
COMMENT INPUT	STORE	DELETE		ALL COPY USB->INT	ALL COPY INT->USB

図 9-7 プリセット登録画面

2. **F・6** ALL COPY INT->USB を押します。

コピー確認メニューが表示されます。

USB メモリーが接続されていないとき、このメニューは表示されません。

COPY YES		COPY NO				
F・1	F・2	F・3	F・4	F・5	F・6	F・7

図 9-8 コピー確認メニュー

3. **F・1** COPY YES を押します。

コピーをキャンセルするときは、**F・3** COPY NO を押してください。USB メモリーにすでにプリセットが存在するときは、上書きされます。

9. プリセット機能

プリセットの保存先は以下のとおりです。

USB メモリー内のファイル番号と、本体のプリセット番号が1つずれていますので注意してください。また、USB メモリーのファイル名をPCで変更すると、USB メモリーのプリセットを本体にコピーできなくなります。

📁 USB メモリー

└ 📁 LV7770_USER

└ └ 📁 PSET

└ └ └ 📄 PRESET_00.PRE (～PRESET_59.PRE) プリセット No. 1～60

9.4.2 USB メモリーから本体への一括コピー

USB メモリーのプリセットを本体に一括コピーするには、以下の手順で操作を行います。

1. **MEM** を押します。

プリセット登録画面が表示されます。

Internal Memory			FILE LIST		
No.	File COMMENT	Date	Time	Size(BYTE)	
1	5BAR	11/06/09	14:06	8,020	
2	JITTER	11/06/09	14:06	8,020	
3	AUDIO STATUS	11/06/09	14:08	8,020	
4	-----	-----	-----	-----	
5	-----	-----	-----	-----	
6	-----	-----	-----	-----	
7	-----	-----	-----	-----	
8	-----	-----	-----	-----	
9	-----	-----	-----	-----	
10	-----	-----	-----	-----	
11	-----	-----	-----	-----	
12	-----	-----	-----	-----	

SETUP MEMORY COMMENT

COMMENT INPUT	STORE	DELETE		ALL COPY USB->INT	ALL COPY INT->USB	
------------------	-------	--------	--	----------------------	----------------------	--

図 9-9 プリセット登録画面

2. **F-5** ALL COPY USB->INT を押します。

コピー確認メニューが表示されます。

USB メモリーが接続されていないとき、このメニューは表示されません。

COPY YES		COPY NO				
F-1	F-2	F-3	F-4	F-5	F-6	F-7

図 9-10 コピー確認メニュー

3. **F-1** COPY YES を押します。

コピーをキャンセルするときは、**F-3** COPY NO を押してください。本体にすでにプリセットが存在するときは、上書きされます。

10. リモートコントロール

背面パネルのリモート端子を介して、プリセットの呼び出しやアラームの出力などができます。付属の D サブ 15 ピンコネクタを使用して、コントロールしてください。

● ピン配列

背面パネルから見たリモート端子図と、ピン配列を以下に示します。

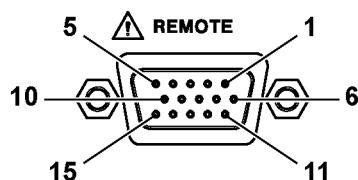


図 10-1 リモート端子図（メス、インチねじ）

表 10-1 リモート端子のピン配列

ピン番号	名称	I/O	機能
1	GND	–	グラウンド
2	/P1	I	プリセットリコール 1
3	/P2	I	プリセットリコール 2
4	/P3	I	プリセットリコール 3
5	/P4	I	プリセットリコール 4
6	/P5	I	プリセットリコール 5
7	/P6	I	プリセットリコール 6
8	/P7	I	プリセットリコール 7 / ラウドネスのクリア（※1）
9	/P8	I	プリセットリコール 8 / ラウドネスの開始/停止（※1）
10	/ACH	I	Ach 選択
11	/BCH	I	Bch 選択
12	RESERVE	–	予備
13	RESERVE	–	予備
14	ALARM	O	アラーム出力
15	GND	–	グラウンド

※1 Remote Select が Recall のときはプリセットリコール、Recall and Loudness のときはラウドネスコントロールが有効となります。

● 本体の設定

リモート端子の設定はシステム設定で行います。「7.2.3 リモートの設定」を参照してください。

SYS → **F.2** SYSTEM SETUP → **F.3** NEXT TAB → **F.3** NEXT TAB →

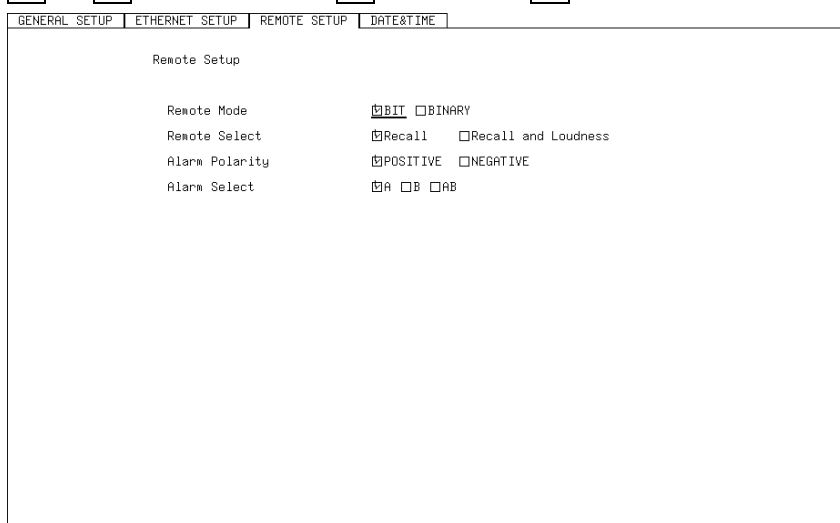


図 10-2 REMOTE SETUP 画面

● コントロール

入力端子の制御は Low アクティブです。+5V を超える電圧やマイナスの電圧を加えないでください。また、設定は 350ms 以上の安定した状態を保ち、一度設定した後は 1 秒以上の間隔を空けてから次の設定をしてください。

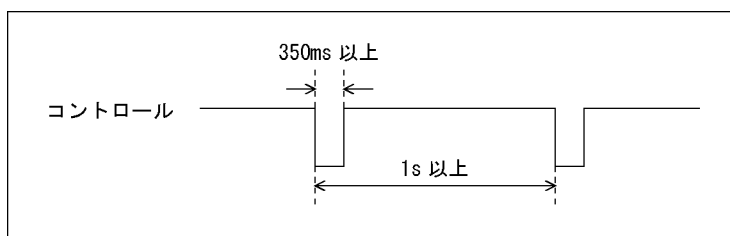


図 10-3 コントロールタイミング 1

なお、設定から動作完了まで 3 秒程度かかることがあります。動作完了前に次の設定を続けに行うと最後の設定のみが有効となり、途中の設定は無効になりますので注意してください。(以下の場合、コントロール 2 が無効となります)

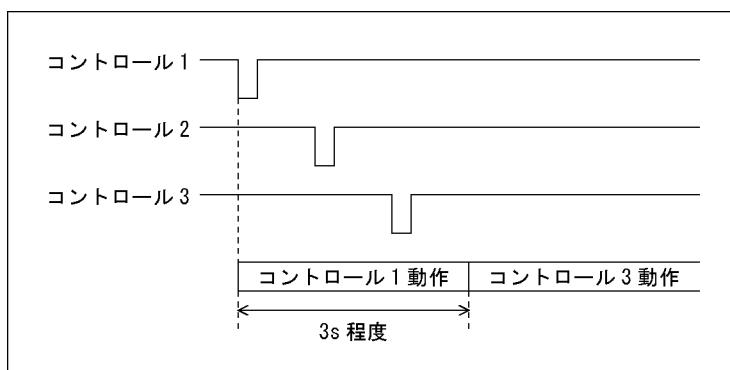


図 10-4 コントロールタイミング 2

● プリセットの呼び出し

Remote Mode が BIT のときのコントロール表を以下に示します。

Remote Select が Recall and Loudness のとき、プリセット No. 7、8 の呼び出しはできません。

表 10-2 プリセットの呼び出し (BIT)

呼び出し No.	9p /P8	8p /P7	7p /P6	6p /P5	5p /P4	4p /P3	3p /P2	2p /P1
1	H	H	H	H	H	H	H	L
2	H	H	H	H	H	H	L	H
3	H	H	H	H	H	L	H	H
4	H	H	H	H	L	H	H	H
5	H	H	H	L	H	H	H	H
6	H	H	L	H	H	H	H	H
7	H	L	H	H	H	H	H	H
8	L	H	H	H	H	H	H	H

Remote Mode が BINARY のときのコントロール表を以下に示します。

表 10-3 プリセットの呼び出し (BINARY)

呼び出し No.	7p /P6	6p /P5	5p /P4	4p /P3	3p /P2	2p /P1
1	H	H	H	H	H	L
2	H	H	H	H	L	H
3	H	H	H	H	L	L
4	H	H	H	L	H	H
5	H	H	H	L	H	L
6	H	H	H	L	L	H
7	H	H	H	L	L	L
8	H	H	L	H	H	H
9	H	H	L	H	H	L
10	H	H	L	H	L	H
11	H	H	L	H	L	L
12	H	H	L	L	H	H
13	H	H	L	L	H	L
14	H	H	L	L	L	H
15	H	H	L	L	L	L
16	H	L	H	H	H	H
17	H	L	H	H	H	L
18	H	L	H	H	L	H
19	H	L	H	H	L	L
20	H	L	H	L	H	H
21	H	L	H	L	H	L
22	H	L	H	L	L	H
23	H	L	H	L	L	L
24	H	L	L	H	H	H

10. リモートコントロール

呼び出し No.	7p /P6	6p /P5	5p /P4	4p /P3	3p /P2	2p /P1
25	H	L	L	H	H	L
26	H	L	L	H	L	H
27	H	L	L	H	L	L
28	H	L	L	L	H	H
29	H	L	L	L	H	L
30	H	L	L	L	L	H
31	H	L	L	L	L	L
32	L	H	H	H	H	H
33	L	H	H	H	H	L
34	L	H	H	H	L	H
35	L	H	H	H	L	L
36	L	H	H	L	H	H
37	L	H	H	L	H	L
38	L	H	H	L	L	H
39	L	H	H	L	L	L
40	L	H	L	H	H	H
41	L	H	L	H	H	L
42	L	H	L	H	L	H
43	L	H	L	H	L	L
44	L	H	L	L	H	H
45	L	H	L	L	H	L
46	L	H	L	L	L	H
47	L	H	L	L	L	L
48	L	L	H	H	H	H
49	L	L	H	H	H	L
50	L	L	H	H	L	H
51	L	L	H	H	L	L
52	L	L	H	L	H	H
53	L	L	H	L	H	L
54	L	L	H	L	L	H
55	L	L	H	L	L	L
56	L	L	L	H	H	H
57	L	L	L	H	H	L
58	L	L	L	H	L	H
59	L	L	L	H	L	L
60	L	L	L	L	H	H

● ラウドネスのコントロール

Remote Select が Recall and Loudness のときのコントロール表を以下に示します。

表 10-4 ラウドネスのコントロール

	9p (/P8)	8p (/P7)
ラウドネスのクリア	-	L
ラウドネスの開始	L	-
ラウドネスの停止	H	-

11. イーサネットコントロール

背面パネルのイーサネット端子を介して、本器のリモートコントロールができます。
 なお、イーサネットによるリモートコントロールは、ローカルネットワーク環境でのみ動作確認しています。いかなるネットワーク環境での動作を保証するものではありません。

11.1 TELNET

ネットワークに接続された PC から、パネル操作とほぼ同等の操作をリモートコントロールできます。

11.1.1 使用方法

1. LV 7770 の ETHERNET SETUP 画面で、イーサネットの設定をします。

IP Address を設定し、TELNET Server Select を ON にします。

TELNET の使用中、LV 7770-01 (REMOTE CONTROLLER) は使用できません。また、LV7770-01 を ON にすると、TELNET は使用できません。

【参照】 「7.2.2 イーサネットの設定」

SYS → F.2 SYSTEM SETUP → F.3 NEXT TAB →

GENERAL SETUP	ETHERNET SETUP	REMOTE SETUP	DATE&TIME
Ethernet Select		☐ DHCP ☒ IP	
TCP / IP			
IP Address		192 168 0 1	
Subnet Mask		255 255 255 0	
Default Gateway		0 0 0 0	
SNMP Client Select		☒ OFF ☐ ON	
Server IP Address		0 0 0 0	
Time Zone Adjust		+ 9 : 0 [+/- hour : minutes]	
TELNET Server Select		☐ OFF ☒ ON ☐ LV7770-01	
FTP Server Select		☒ OFF ☐ ON	
HTTP Server Select		☒ OFF ☐ ON	
SNMP READ		☒ OFF ☐ ONLY ☐ WRITE	
SNMP TRAP		☒ OFF ☐ ON	
MAC ADDRESS:		00:00:00:00:00:00	

図 11-1 ETHERNET SETUP 画面

2. F.1 COMPLETE を押します。
 メッセージ「Saving data - Please Wait.」が表示されます。
3. IP Address を変更した場合は、メッセージが消えてから LV 7770 を再起動します。
 IP アドレスの値が有効になります。
4. LV 7770 のイーサネット端子と外部ネットワーク機器を接続します。
 UTP ケーブル(カテゴリ 5)で接続してください。

5. PC 上で TELNET を起動します。

たとえば Windows 7 の場合、「スタートメニュー」→「ファイル名を指定して実行」→「TELNET (手順 1 で設定した IP アドレス)」→「OK」で起動できます。
(TELNET を使用するには、「コントロール パネル」→「プログラムと機能」→「Windows の機能の有効化または無効化」→「Telnet クライアント」をオンにする必要があります)

6. ログイン名とパスワードを入力します。

ログイン名とパスワードは「LV7770」です。大文字で入力してください。
ログイン名とパスワードが正しく入力されると、「LV7770>」が表示されます。

```
login: LV7770
Password: *****
LV7770>
```

7. TELNET コマンドを入力します。

「11.1.2 コマンドの入力方法」「11.1.3 TELNET コマンド」を参照して、コマンドを入力してください。

TELNET を終了するときは、小文字で「bye」を入力します。

```
LV7770> bye
```

11.1.2 コマンドの入力方法

コマンドの書式は以下のとおりです。(パラメータはない場合もあります)
現在の値を問い合わせる場合は、パラメータを「?」としてください。

```
LV7770> [コマンド] + [半角スペース] + [パラメータ]
```

コマンドの入力例を以下に示します。出荷時設定では、問い合わせ以外の戻り値は出力されません。出力するには、「REMOTE:REPLY」コマンドを ON にしてください。

```
LV7770> STATUS:ERROR:CLEAR..... ステータス画面のエラーをリセット
OK..... 戻り値
LV7770> WFM:GAIN:MAG X5..... ビデオ信号波形のゲインを 5 倍に設定
OK..... 戻り値
LV7770> VECTOR:INTEN:SCALE ?..... ベクトル用スケールの輝度を問い合わせ
4..... 戻り値
LV7770>
```

- ※ コマンドは大文字、小文字のどちらでも使用できます。
- ※ 「WFM」、「VECTOR」、「PICTURE」、「STATUS」、「EYE」、「AUDIO」で始まるコマンドは、DISPLAY コマンドで指定されているエリア(1~4)に対してのみ有効です。また、現在の表示モードと異なる表示モードのコマンドは、無効となります。
- ※ TELNET を使用する場合は、フロー制御を有効にしてください。
フロー制御に対応していない場合は、コマンドの高速転送時に本器が正しく動作しない場合があります。このときはコマンドの転送に 1 秒程度の間隔をあけるか、「REMOTE:REPLY」コマンドで戻り値を有効にし、ソフトウェア上でハンドシェイクしてください。

11.1.3 TELNET コマンド

TELNET コマンドは、本体またはユニットのメニュー構成に準じています。各項目についての説明は、本書またはユニットの取扱説明書を参照してください。現在の設定によっては、記載の一部が無効となることがあります。

表 11-1 LV 7770 のコマンド

コマンド	パラメータ
INPUT:UNIT	SDI / CMP / ?
INPUT:CH	A / B / AB / ?
INPUT:SIMUL	ON / OFF / ?
INPUT:STREAM	1 / 2 / ?
EXT	INT / EXT / ?
DISPLAY	1 / 2 / 3 / 4 / ?
MULTI	ON / OFF / ?
MODE	WFM / VECTOR / PICTURE / AUDIO / STATUS / EYE / ?
RCLL	1~60
CAP:TRIGGER	MANUAL / ERROR / ?
SYS:FORMAT:MANUAL_SELECT	AUTO / MANUAL / ?
SYS:FORMAT:I_PSF	INTERLACE / SEGMENTED_FRAME / ?
SYS:FORMAT:LINK_FORMAT	HD / SD / HD_DUAL / 3GA / 3GB / 3GB_2MAP / ?
SYS:FORMAT:COLOR_SYSTEM	YCBCR_422 / YCBCR_444 / RGB_444 / ?
SYS:FORMAT:PIXEL_DEPTH	10BIT / 12BIT / ?
SYS:FORMAT:SCANNING	1080P / 1080I / 1080PSF / 720P / 525I / 625I / ?
SYS:FORMAT:ACTIVE_SAMPLE	1920 / 2048 / ?
SYS:FORMAT:FRAME_RATE	60 / 59.94 / 50 / 30 / 29.97 / 25 / 24 / 23.98 / ?
SYS:FORMAT:INPUT:A	? (戻り値: Link Format, Scanning, Frame Rate, Color System, Pixel Depth, Active Sample / NO_SIGNAL / UNKNOWN) ※ Scanning が I の場合、Frame Rate はフィールド周波数に変換されます。 ※ Scanning が 720P、525I、625I の場合、Pixel Depth 以下は出力されません。 ※ 入力信号が COMPOSITE の場合、Link Format は NTSC または PAL となり、Color System 以下は出力されません。
SYS:FORMAT:INPUT:B	? (戻り値: 同上)
SYS:REAR:SDI_OUTPUT	A_B / A / ?
SYS:REAR:AUDIO_BNC:GRP_A	INPUT / OUTPUT / ?
SYS:REAR:AUDIO_BNC:GRP_B	INPUT / OUTPUT / ?
SYS:REAR:AUDIO_BNC:GRP_A:OUT_SEL	DISP_SRC / SDI_1_8 / ?
SYS:REAR:AUDIO_BNC:GRP_B:OUT_SEL	DISP_SRC / SDI_9_16 / ?
SYS:REAR:ANALOG_AUDIO	INPUT / OUTPUT
SYS:REAR:DVI_I:ASPECT	4_3 / 16_9 / 16_10 / ?
SYS:REAR:PIC_MONI_OUT:COLOR	AUTO / YCBCR_422 / YCBCR_444 / RGB_444 / ?
SYS:REAR:PIC_MONI_OUT:PIXEL_DEPTH	AUTO / 8BIT / 10BIT / 12BIT / ?
SYS:REAR:PIC_MONI_OUT:2MAPPING	STREAM1 / STREAM2 / ?
SYS:GENERAL:MULTI_DISPLAY	2MULTI / 4MULTI / ?

11. イーサネットコントロール

コマンド	パラメータ
SYS:GENERAL:CAPTURE_MODE	SCREEN / VIDEO_FRAME / ?
SYS:GENERAL:MEM_STR_MODE	LOUD2H / LOUD32H / ?
SYS:GENERAL:INFO:FORMAT	ON / OFF / ?
SYS:GENERAL:INFO:DATE	OFF / YMD / MDY / DMY / ?
SYS:GENERAL:INFO:TIME	OFF / REAL / LTC / VITC / D_VITC / ?
SYS:GENERAL:INFO:COLOR_SYSTEM	ON / OFF / ?
SYS:GENERAL:INFO:INPUT	ON / OFF / ?
SYS:GENERAL:MENU:AUTO_OFF_CTR	OFF / ON / ?
SYS:GENERAL:MENU:AUTO_OFF	1~60 / ?
SYS:ETHERNET:SELECT	? (戻り値: DHCP / IP)
SYS:ETHERNET:ADDRESS	? (戻り値: IP Address)
SYS:ETHERNET:SUBNET	? (戻り値: Subnet Mask)
SYS:ETHERNET:GATEWAY	? (戻り値: Default Gateway)
SYS:ETHERNET:SNTP:SELECT	OFF / ON / ?
SYS:ETHERNET:SNTP:ADR:1	0~255 / ? (aaa. bbb. ccc. ddd の aaa)
SYS:ETHERNET:SNTP:ADR:2	0~255 / ? (aaa. bbb. ccc. ddd の bbb)
SYS:ETHERNET:SNTP:ADR:3	0~255 / ? (aaa. bbb. ccc. ddd の ccc)
SYS:ETHERNET:SNTP:ADR:4	0~255 / ? (aaa. bbb. ccc. ddd の ddd)
SYS:ETHERNET:SNTP:ADDRESS	? (戻り値: Server IP Address)
SYS:ETHERNET:SNTP:TZ:POLE	+ / - / ?
SYS:ETHERNET:SNTP:TZ:HOURL	0~23 / ?
SYS:ETHERNET:SNTP:TZ:MINUTE	0~59 / ?
SYS:ETHERNET:SNTP:TIMEZONE	? (戻り値: ±0:0~±23:59)
SYS:ETHERNET:SNTP:SET	なし (SNTP の再設定)
SYS:ETHERNET:FTP:SELECT	OFF / ON / ?
SYS:ETHERNET:HTTP:SELECT	OFF / ON / ?
SYS:ETHERNET:MAC	? (戻り値: MAC ADDRESS)
SYS:REMOTE:MODE	BIT / BINARY / ?
SYS:REMOTE:SELECT	RECALL / RECALL_LOUDNESS / ?
SYS:REMOTE:ALARM:POLARITY	POSITIVE / NEGATIVE / ?
SYS:REMOTE:ALARM:SELECT	A / B / AB / ?
SYS:DATE:YEAR	1970~2099 / ?
SYS:DATE:MONTH	1~12 / ?
SYS:DATE:DAY	1~31 / ?
SYS:TIME:HOURL	0~23 / ?
SYS:TIME:MINUTE	0~59 / ?
SYS:TIME:SECOND	0~59 / ?
SYS:DATE_TIME:SET	なし (日時の再設定)
SYS:DATE_TIME	? (戻り値: YYYY/MM/DD hh:mm:ss)
SYS:INFO:FIRMWARE	? (戻り値: FIRMWARE)
SYS:INFO:BOARD:SDI_INPUT	? (戻り値: 0(なし) / 1(あり))
SYS:INFO:BOARD:EYE_PATTERN	? (戻り値: 0(なし) / 1(あり))
SYS:INFO:BOARD:COMPOSITE_VIDEO	? (戻り値: 0(なし) / 1(あり))
SYS:INFO:BOARD:AUDIO_ANALOG	? (戻り値: 0(なし) / 1(あり))
SYS:INFO:BOARD:AUDIO_OP70	? (戻り値: 0(なし) / 1(あり))

11. イーサネットコントロール

コマンド	パラメータ
SYS:SHORTCUT	DIRECT / VOLUME / CAP&WRIT / INTEN / MENU_OFF / ?
SYS:INIT	なし
SYS:KEYLOCK	OFF / ON / ?
REMOTE:REPLY	OFF / ON / ? (戻り値のオンオフ、出荷時はオフ) ※ ON にすると、以下のとおり戻り値を出力します。 OK: コマンドが正しく処理された場合 ERR1: パラメータの値が範囲外の場合 ERR2: 現在の状態では無効となる場合

表 11-2 LV 5770SER08/LV 5770SER09A のコマンド

コマンド	パラメータ
WFM	なし
WFM:CH1	ON / OFF / ?
WFM:CH2	ON / OFF / ?
WFM:CH3	ON / OFF / ?
WFM:OVLAY	ON / OFF / ?
WFM:INTEN:WFM	-128~127 / ?
WFM:COLOR	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / MULTI / ?
WFM:COLOR:2MAP_S1	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / MULTI / ?
WFM:COLOR:2MAP_S2	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / MULTI / ?
WFM:INTEN:SCALE	-8 ~7 / ?
WFM:SCALE:COLOR	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / ?
WFM:SCALE:UNIT	HDV_SDP / HDV_SDV / HDP_SDP / 150P / 1023 / 3FF / 1023_255 / ?
WFM:SCALE:COLOR75P	ON / OFF / ?
WFM:GAIN:VAR	CAL / VAR / ?
WFM:GAIN:VAL	0.200~10.000 / ?
WFM:GAIN:MAG	X1 / X5 / ?
WFM:FILTER:NORMAL	FLAT / LOWPASS / ?
WFM:FILTER:COMPOSITE	FLAT / LUM / FLAT_LUM / LUM_CRMA / ?
WFM:SWEEP:SWEEP	H / V / ?
WFM:SWEEP:H_SWEEP	1H / 2H / ?
WFM:SWEEP:V_SWEEP	1V / 2V / ?
WFM:SWEEP:H_MAG	X1 / X10 / X20 / ACTIVE / BLANK / ?
WFM:SWEEP:V_MAG	X1 / X20 / X40 / ?
WFM:SWEEP:FIELD	FIELD1 / FIELD2 / ?
WFM:BLANKING:NORMAL	REMOVE / H_VIEW / V_VIEW / ALL_VIEW / ?
WFM:BLANKING:COMPOSITE	REMOVE / V_VIEW / ?
WFM:LINE_SELECT	ON / ACH / BCH / BOTH / 2MAP_S1 / 2MAP_S2 / OFF / CINELITE / ?
WFM:LINE_SELECT:FIELD	FIELD1 / FIELD2 / FRAME / ?

11. イーサネットコントロール

コマンド	パラメータ
WFM:LINE_NUMBER	1~1125 / ?
WFM:DISPLAY:SIMUL	MIX / ALIGN / ?
WFM:DISPLAY:2MAP	STREAM1 / STREAM2 / MIX / ALIGN / ?
WFM:DISPLAY:THUMBNAI:AUDIO	ON / OFF / ?
WFM:DISPLAY:THUMBNAI:PICTURE	ON / OFF / ?
WFM:DISPLAY:THUMBNAI:HISTO	ON / OFF / ?
WFM:DISPLAY:THUMBNAI:HISTO:FORM	LUMA / ALIGN / MIX / ?
WFM:DISPLAY:THUMBNAI:HISTO:Y	ON / OFF / ?
WFM:DISPLAY:THUMBNAI:HISTO:R	ON / OFF / ?
WFM:DISPLAY:THUMBNAI:HISTO:G	ON / OFF / ?
WFM:DISPLAY:THUMBNAI:HISTO:B	ON / OFF / ?
WFM:MATRIX	YCBCR / GBR / RGB / COMPOSITE / ?
WFM:MATRIX:YGBR	ON / OFF / ?
WFM:MATRIX:YRGB	ON / OFF / ?
WFM:MATRIX:COMPOSITE:FORMAT	AUTO / NTSC / PAL / ?
WFM:MATRIX:SETUP	OP / 7.5P / ?
VECTOR	なし
VECTOR:INTEN:VECTOR	-128~127 / ?
VECTOR:COLOR	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / ?
VECTOR:COLOR:2MAP_S1	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / ?
VECTOR:COLOR:2MAP_S2	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / ?
VECTOR:INTEN:SCALE	-8 ~7 / ?
VECTOR:SCALE:COLOR	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / ?
VECTOR:SCALE:IQ	ON / OFF / ?
VECTOR:SCALE:VEC	AUTO / BT_601 / BT_709 / ?
VECTOR:GAIN:MAG	X1 / X5 / IQ / ?
VECTOR:GAIN:VAL	0.200~10.000 / ?
VECTOR:GAIN:VAR	CAL / VAR / ?
VECTOR:LINE_SELECT	ON / ACH / BCH / BOTH / 2MAP_S1 / 2MAP_S2 / OFF / CINELITE / ?
VECTOR:LINE_SELECT:FIELD	FIELD1 / FIELD2 / FRAME / ?
VECTOR:LINE_NUMBER	1~1125 / ?
VECTOR:MARKER	ON / OFF / ?
VECTOR:MODE	VECTOR / 5BAR / ?
VECTOR:5BAR:SCALE	P / MV / ?
VECTOR:5BAR:SEQUENCE	GBR / RGB / ?
VECTOR:5BAR:Y:DATA	? (戻り値: Y 最大値, Y 最小値) ※ 3G-B(2map)時は「INPUT:STREAM」コマンドでストリームを選択します。
VECTOR:5BAR:G:DATA	? (戻り値: G 最大値, G 最小値) ※ 3G-B(2map)時は「INPUT:STREAM」コマンドでストリー

11. イーサネットコントロール

コマンド	パラメータ
	ムを選択します。
VECTOR:5BAR:B:DATA	? (戻り値: B 最大値, B 最小値) ※ 3G-B(2map) 時は「INPUT:STREAM」コマンドでストリームを選択します。
VECTOR:5BAR:R:DATA	? (戻り値: R 最大値, R 最小値) ※ 3G-B(2map) 時は「INPUT:STREAM」コマンドでストリームを選択します。
VECTOR:5BAR:CMF:DATA	? (戻り値: CMF 最大値, CMF 最小値) ※ 3G-B(2map) 時は「INPUT:STREAM」コマンドでストリームを選択します。
VECTOR:DISPLAY:SIMUL	MIX / TILE / ?
VECTOR:DISPLAY:2MAP	STREAM1 / STREAM2 / MIX / TILE / ?
VECTOR:DISPLAY:THUMBNAIL:AUDIO	ON / OFF / ?
VECTOR:DISPLAY:THUMBNAIL:PICTURE	ON / OFF / ?
VECTOR:DISPLAY:THUMBNAIL:HISTO	ON / OFF / ?
VECTOR:DISPLAY:THUMBNAIL:HISTO:FORM	LUMA / ALIGN / MIX / ?
VECTOR:DISPLAY:THUMBNAIL:HISTO:Y	ON / OFF / ?
VECTOR:DISPLAY:THUMBNAIL:HISTO:R	ON / OFF / ?
VECTOR:DISPLAY:THUMBNAIL:HISTO:G	ON / OFF / ?
VECTOR:DISPLAY:THUMBNAIL:HISTO:B	ON / OFF / ?
VECTOR:MATRIX	COMPONENT / COMPOSITE / ?
VECTOR:MATRIX:COMPOSITE:FORMAT	AUTO / NTSC / PAL / ?
VECTOR:MATRIX:COMPOSITE:SETUP	0P / 7.5P / ?
VECTOR:MATRIX:COLORBAR	100P / 75P / ?
PICTURE	なし
PICTURE:MONO_COLOR	MONO / COLOR / ?
PICTURE:CHROMA_UP	NORMAL / UP / ?
PICTURE:BRIGHTNESS	-50.0~50.0 / ?
PICTURE:CONTRAST	0.0~200.0 / ?
PICTURE:GAIN:R	0.0~200.0 / ?
PICTURE:GAIN:G	0.0~200.0 / ?
PICTURE:GAIN:B	0.0~200.0 / ?
PICTURE:GAIN:CHROMA	0.0~200.0 / ?
PICTURE:BIAS:R	-50.0~50.0 / ?
PICTURE:BIAS:G	-50.0~50.0 / ?
PICTURE:BIAS:B	-50.0~50.0 / ?
PICTURE:MARKER:FRAME	ON / OFF / ?
PICTURE:MARKER:CENTER	ON / OFF / ?
PICTURE:MARKER:ASPECT	OFF / 14_9 / 13_9 / 16_9 / 4_3 / 2.39_1 / AFD / ?
PICTURE:MARKER:ASPECT:SHADOW	0~100 / ?
PICTURE:MARKER:SAFETY:ACTION	ARIB / SMPTE / USER1 / OFF / ?
PICTURE:MARKER:SAFETY:TITLE	ARIB / SMPTE / USER2 / OFF / ?
PICTURE:MARKER:SAFETY:USER1_W	0~100 / ?
PICTURE:MARKER:SAFETY:USER1_H	0~100 / ?
PICTURE:MARKER:SAFETY:USER2_W	0~100 / ?

11. イーサネットコントロール

コマンド	パラメータ
PICTURE:MARKER:SAFETY:USER2_H	0~100 / ?
PICTURE:LINE_SELECT	ON / ACH / BCH / BOTH / 2MAP_S1 / 2MAP_S2 / OFF / ?
PICTURE:LINE_SELECT:FIELD	FIELD1 / FIELD2 / FRAME / ?
PICTURE:LINE_NUMBER	1~1125 / ?
PICTURE:CINELITE:MODE	OFF / FSTOP / PERCENT / CINEZONE
PICTURE:CINELITE:FD_FUNC	LINE / SAMPLE / ?
PICTURE:CINELITE:MEAS_POS	P1 / P2 / P3 / ?
PICTURE:CINELITE:MEAS_SIZE	1X1 / 3X3 / 9X9 / ?
PICTURE:CINELITE:LINE	1~1125 / ?
PICTURE:CINELITE:SAMPLE	0~2749 / ?
PICTURE:CINELITE:FSTOP:18P_REFSET	なし
PICTURE:CINELITE:FSTOP:GAMMA_SEL	0.45 / USER1 / USER2 / USER3 / USER_A / USER_B / USER_C / USER_D / USER_E / ?
PICTURE:CINELITE:PERCENT:UNIT	Y_P / RGB_P / RGB_255 / ?
PICTURE:CINELITE:DATA	? (戻り値: 現在位置のデータ)
PICTURE:CINELITE:CINEZONE:FORM	GRADATE / STEP / SEARCH / ?
PICTURE:CINELITE:CINEZONE:UPPER	-6.3~109.4 / ?
PICTURE:CINELITE:CINEZONE:LOWER	-7.3~108.4 / ?
PICTURE:CINELITE:CINEZONE:LEVEL	-7.3~109.4 / ?
PICTURE:CINELITE:ADVANCE	OFF / P_V / P_W / P_V_W / ?
PICTURE:DISPLAY:SIZE	FIT / REAL / X2 / FULL_FRM / ?
PICTURE:DISPLAY:GAMUT_ERR	OFF / WHITE / RED / MESH / ?
PICTURE:DISPLAY:MODE	2D / 3D_ASIST / ?
PICTURE:DISPLAY:SIMUL_DISP	MIX / TILE / ?
PICTURE:DISPLAY:2MAP_DISP	STREAM1 / STREAM2 / MIX / TILE / ?
PICTURE:DISPLAY:THUMBNAİL:AUDIO	ON / OFF / ?
PICTURE:DISPLAY:THUMBNAİL:WFM	ON / OFF / ?
PICTURE:DISPLAY:THUMBNAİL:HISTO	ON / OFF / ?
PICTURE:DISPLAY:THUMBNAİL:HISTO:FORM	LUMA / ALIGN / MIX / ?
PICTURE:DISPLAY:THUMBNAİL:HISTO:Y	ON / OFF / ?
PICTURE:DISPLAY:THUMBNAİL:HISTO:R	ON / OFF / ?
PICTURE:DISPLAY:THUMBNAİL:HISTO:G	ON / OFF / ?
PICTURE:DISPLAY:THUMBNAİL:HISTO:B	ON / OFF / ?
PICTURE:DISPLAY:SD	4_3 / 16_9 / ?
PICTURE:S_IMPOSE:SMPTE	ON / OFF / ?
PICTURE:S_IMPOSE:FORMAT	FMT_608_708 / FMT_608_608 / FMT_VBI / FMT_708 / ?
PICTURE:S_IMPOSE:LANGUAGE_608	CC1 / CC2 / CC3 / CC4 / TEXT1 / TEXT2 / TEXT3 / TEXT4 / ?
PICTURE:S_IMPOSE:SERVICE_708	1~63 / ?
STATUS	なし
STATUS:SIGNAL:DATA	? (戻り値: DETECT / NO_SIGNAL)
STATUS:LINK:DATA	? (戻り値: HD / SD / HD_DUAL / 3GA / 3GB / 3GB_2MAP / -)
STATUS:FORMAT:DATA	? (戻り値: フォーマット / -)
STATUS:EMB_CH:DATA	? (戻り値: オーディオチャンネル / -)

11. イーサネットコントロール

コマンド	パラメータ
	※ 3G-B(2map)時は「INPUT:STREAM」コマンドでストリームを選択します。
STATUS:LOG	なし
STATUS:LOG:LOG	START / STOP / ?
STATUS:LOG:CLEAR	なし
STATUS:LOG:LOG_MODE	OVER_WR / STOP / ?
STATUS:DUMP	なし
STATUS:DUMP:MODE	RUN / HOLD / ?
STATUS:DUMP:DISPLAY	SERIAL / COMPONENT / BINARY / LINK_A / LINK_B / LINK_AB / S1_SERIAL / S1_COMPONENT / S1_BINARY / S2_SERIAL / S2_COMPONENT / S2_BINARY / ?
STATUS:DUMP:JUMP	EAV / SAV / ?
STATUS:DUMP:LINE_NUMBER	1~1125 / ?
STATUS:DUMP:SAMPLE	0~2749 / ?
STATUS:EXT_REF	なし
STATUS:EXT_REF:USER_REF	なし
STATUS:EXT_REF:DEFAULT	なし
STATUS:EXT_REF:SELECT	EXT / CH_A / LINK_A / ?
STATUS:EXT_REF:REF:DATA	? (戻り値: USER_REF / DEFAULT)
STATUS:EXT_REF:STAT:DATA	? (戻り値: INT / ACH / LINK_A / HD / BB / NO_SIGNAL)
STATUS:EXT_REF:H_TIME:DATA	? (戻り値: H PHASE[us])
STATUS:EXT_REF:H_PIX:DATA	? (戻り値: H PHASE[pixel/dot])
STATUS:EXT_REF:V_LINE:DATA	? (戻り値: V PHASE)
STATUS:EXT_REF:TOTAL:DATA	? (戻り値: TOTAL PHASE)
STATUS:AV_PHASE	なし
STATUS:AV_PHASE:CH1:DATA	? (戻り値: データ / MISSING / UNLOCK / NO_SIGNAL / -)
STATUS:AV_PHASE:CH2:DATA	? (戻り値: データ / MISSING / UNLOCK / NO_SIGNAL / -)
STATUS:AV_PHASE:CH3:DATA	? (戻り値: データ / MISSING / UNLOCK / NO_SIGNAL / -)
STATUS:AV_PHASE:CH4:DATA	? (戻り値: データ / MISSING / UNLOCK / NO_SIGNAL / -)
STATUS:AV_PHASE:CH5:DATA	? (戻り値: データ / MISSING / UNLOCK / NO_SIGNAL / -)
STATUS:AV_PHASE:CH6:DATA	? (戻り値: データ / MISSING / UNLOCK / NO_SIGNAL / -)
STATUS:AV_PHASE:CH7:DATA	? (戻り値: データ / MISSING / UNLOCK / NO_SIGNAL / -)
STATUS:AV_PHASE:CH8:DATA	? (戻り値: データ / MISSING / UNLOCK / NO_SIGNAL / -)
STATUS:AV_PHASE:SCALE	50 / 100 / 500 / 1000 / 2500 / ?
STATUS:AV_PHASE:THUMB:AUDIO	ON / OFF / ?
STATUS:AV_PHASE:THUMB:PICTURE	ON / OFF / ?
STATUS:AV_PHASE:LINE	0~100 / ?
STATUS:AV_PHASE:LEFT	0~99 / ?
STATUS:AV_PHASE:RIGHT	0~99 / ?
STATUS:AV_PHASE:VIDEO	25~100 / ?
STATUS:AV_PHASE:AUDIO	-30~0 / ?
STATUS:AV_PHASE:MES:GATE	OFF / ON / ?
STATUS:AV_PHASE:MES:GATE:TIME	100~1500 / ?
STATUS:ANC_PACKET	なし
STATUS:ANC_PACKET:AUDIO_CTRL:DATA	? (戻り値: DETECT / MISSING / -)

11. イーサネットコントロール

コマンド	パラメータ
STATUS:ANC_PACKET:EDH:DATA	? (戻り値: DETECT / MISSING / -)
STATUS:ANC_PACKET:LTC:DATA	? (戻り値: DETECT / MISSING / -)
STATUS:ANC_PACKET:VITC:DATA	? (戻り値: DETECT / MISSING / -)
STATUS:ANC_PACKET:PAYLOAD1:DATA	? (戻り値: DETECT / MISSING / -) ※ HD デュアルリンク時は LINK A、3G-B (2map) 時は STREAM 1 に対応します。
STATUS:ANC_PACKET:PAYLOAD2:DATA	? (戻り値: DETECT / MISSING / -) ※ HD デュアルリンク時の LINK B、3G-B (2map) 時の STREAM 2 に対応します。
STATUS:ANC_PACKET:EIA708_708:DATA	? (戻り値: DETECT / MISSING / -)
STATUS:ANC_PACKET:EIA708_608:DATA	? (戻り値: DETECT / MISSING / -)
STATUS:ANC_PACKET:EIA608:DATA	? (戻り値: DETECT / MISSING / -)
STATUS:ANC_PACKET:PROGRAM:DATA	? (戻り値: DETECT / MISSING / -)
STATUS:ANC_PACKET:DATA_BROADCAST:DATA	? (戻り値: DETECT / MISSING / -)
STATUS:ANC_PACKET:VBI:DATA	? (戻り値: DETECT / MISSING / -)
STATUS:ANC_PACKET:AFD:DATA	? (戻り値: DETECT / MISSING / -)
STATUS:ANC_PACKET:JPN_CC1:DATA	? (戻り値: DETECT / MISSING / -)
STATUS:ANC_PACKET:JPN_CC2:DATA	? (戻り値: DETECT / MISSING / -)
STATUS:ANC_PACKET:JPN_CC3:DATA	? (戻り値: DETECT / MISSING / -)
STATUS:ANC_PACKET:NET_Q:DATA	? (戻り値: DETECT / MISSING / -)
STATUS:ANC_PACKET:TRIGGER:DATA	? (戻り値: DETECT / MISSING / -)
STATUS:ANC_PACKET:USER1:DATA	? (戻り値: DETECT / MISSING / -)
STATUS:ANC_PACKET:USER2:DATA	? (戻り値: DETECT / MISSING / -)
STATUS:ANC:PKT:PAYLOAD_ID	なし
STATUS:ANC:PKT:PAYLOAD_ID:STREAM	STRERAM1 / STREAM2 / ?
STATUS:ANC:PKT:PAYLOAD_ID:LINK	LINK_A / LINK_B / ?
STATUS:ANC:PKT:PAYLOAD_ID:DATA	? (戻り値: 16 進数データ 4 バイト / --, --, --, --)
STATUS:ANC:PKT:AUDIO_CTRL	なし
STATUS:ANC:PKT:AUDIO_CTRL:DISPLAY	TEXT / DUMP / ?
STATUS:ANC:PKT:AUDIO_CTRL:MODE	HEX / BINARY / ?
STATUS:ANC:PKT:AUDIO_CTRL:GROUP	1 / 2 / 3 / 4 / ?
STATUS:ANC:PKT:AUDIO_CTRL:STREAM	STRERAM1 / STREAM2 / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ	なし
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q1	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q2	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q3	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q4	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q5	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q6	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q7	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q8	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q9	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q10	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q11	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q12	ON / OFF / ?

11. イーサーネットコントロール

コマンド	パラメータ
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q13	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q14	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q15	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q16	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q17	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q18	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q19	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q20	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q21	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q22	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q23	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q24	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q25	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q26	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q27	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q28	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q29	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q30	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q31	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:Q32	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:S1	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:S2	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:S3	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:S4	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:S5	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:S6	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:S7	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:S8	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:S9	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:S10	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:S11	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:S12	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:S13	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:S14	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:S15	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:BIT:S16	ON / OFF / ?
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:STATION:DATA	? (戻り値: STATION CODE / -)
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:V_CURR:DATA	? (戻り値: VIDEO CURRENT / -)
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:V_NEXT:DATA	? (戻り値: VIDEO NEXT / -)
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:A_CURR:DATA	? (戻り値: AUDIO CURRENT / -)
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:A_NEXT:DATA	? (戻り値: AUDIO NEXT / -)
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:D_CURR:DATA	? (戻り値: DOWN MIX CURRENT / -)
STATUS:ANC:PKT:ARIB:NETQ:D_NEXT:DATA	? (戻り値: DOWN MIX NEXT / -)
STATUS:ANC:PKT:SMPTE:AFD	なし
STATUS:ANC:PKT:SMPTE:AFD:CODE:DATA	? (戻り値: AFD CODE / -)

11. イーサーネットコントロール

コマンド	パラメータ
STATUS:ANC:PKT:SMPTE:AFD:FRAME:DATA	? (戻り値: CODED FRAME / -)
STATUS:ANC:PKT:SMPTE:AFD:BAR_FLG:DATA	? (戻り値: BAR DATA FLAGS / -)
STATUS:ANC:PKT:SMPTE:AFD:BAR_VAL1:DATA	? (戻り値: BAR DATA VALUE1 / -)
STATUS:ANC:PKT:SMPTE:AFD:BAR_VAL2:DATA	? (戻り値: BAR DATA VALUE2 / -)
STATUS:ERROR:SDI:COUNTER	SEC / FIELD / ?
STATUS:ERROR:SDI:TRS	ON / OFF / ?
STATUS:ERROR:SDI:HD_LINE	ON / OFF / ?
STATUS:ERROR:SDI:HD_CRC	ON / OFF / ?
STATUS:ERROR:SDI:SD_EDH	ON / OFF / ?
STATUS:ERROR:SDI:ILLEGAL_CODE	ON / OFF / ?
STATUS:ERROR:SDI:GAMUT_DETAILS	ON / OFF / ?
STATUS:ERROR:ANC:PARITY	ON / OFF / ?
STATUS:ERROR:ANC:CHECKSUM	ON / OFF / ?
STATUS:ERROR:AUDIO:BCH	ON / OFF / ?
STATUS:ERROR:AUDIO:DBN	ON / OFF / ?
STATUS:ERROR:AUDIO:PARITY	ON / OFF / ?
STATUS:ERROR:AUDIO:INHIBIT	ON / OFF / ?
STATUS:ERROR:AUDIO:SAMPLE	ON / OFF / ?
STATUS:ERROR:GAMUT:LPF	HD1M_SD1M / HD2.8M_SD1M / OFF / ?
STATUS:ERROR:GAMUT	ON / OFF / ?
STATUS:ERROR:GAMUT:UPPER	90.8~109.4 / ?
STATUS:ERROR:GAMUT:LOWER	-7.2~6.1 / ?
STATUS:ERROR:GAMUT:AREA	0.0~5.0 / ?
STATUS:ERROR:GAMUT:DURATION	1~60 / ?
STATUS:ERROR:C_GAMUT	ON / OFF / ?
STATUS:ERROR:C_GAMUT:SETUP	0% / 7.5% / ?
STATUS:ERROR:C_GAMUT:UPPER	90.0~135.0 / ?
STATUS:ERROR:C_GAMUT:LOWER	-40.0~20.0 / ?
STATUS:ERROR:C_GAMUT:AREA	0.0~5.0 / ?
STATUS:ERROR:C_GAMUT:DURATION	1~60 / ?
STATUS:ERROR:FREEZE	ON / OFF / ?
STATUS:ERROR:FREEZE:UPPER	0~100 / ?
STATUS:ERROR:FREEZE:LOWER	0~100 / ?
STATUS:ERROR:FREEZE:LEFT	0~100 / ?
STATUS:ERROR:FREEZE:RIGHT	0~100 / ?
STATUS:ERROR:FREEZE:DURATION	2~300 / ?
STATUS:ERROR:BLACK	ON / OFF / ?
STATUS:ERROR:BLACK:LEVEL	0~100 / ?
STATUS:ERROR:BLACK:AREA	1~100 / ?
STATUS:ERROR:BLACK:DURATION	1~300 / ?
STATUS:ERROR:LEVEL	ON / OFF / ?
STATUS:ERROR:LEVEL:RUMA:UPPER	-51~766 / ?
STATUS:ERROR:LEVEL:RUMA:LOWER	-51~766 / ?
STATUS:ERROR:LEVEL:CHROMA:UPPER	-400~399 / ?
STATUS:ERROR:LEVEL:CHROMA:LOWER	-400~399 / ?

11. イーサネットコントロール

コマンド	パラメータ
STATUS:ERROR:LEVEL:AREA	0.0~5.0 / ?
STATUS:ERROR:LEVEL:DURATION	1~60 / ?
STATUS:ERROR:CLEAR	なし

表 11-3 LV 5770SER09A のコマンド

コマンド	パラメータ
STATUS:ERROR:SDI:CABLE	ON / OFF / ?
STATUS:ERROR:SDI:CABLE_3G	LS-5CFB / 1694A / ?
STATUS:ERROR:SDI:CABLE_HD	LS-5CFB / 1694A / ?
STATUS:ERROR:SDI:CABLE_SD	L-5C2V / 8281 / ?
STATUS:ERROR:SDI:CABLE_ERR_3G	10~105 / ?
STATUS:ERROR:SDI:CABLE_WAR_3G	10~105 / ?
STATUS:ERROR:SDI:CABLE_ERR_HD	5~130 / ?
STATUS:ERROR:SDI:CABLE_WAR_HD	5~130 / ?
STATUS:ERROR:SDI:CABLE_ERR_SD	50~300 / ?
STATUS:ERROR:SDI:CABLE_WAR_SD	50~300 / ?
EYE	なし
EYE:MODE	EYE / JITTER / ?
EYE:INTEN:EYE	-128~127 / ?
EYE:INTEN:SCALE	-8~7 / ?
EYE:COLOR:EYE	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / ?
EYE:COLOR:SCALE	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / ?
EYE:GAIN:VAR	CAL / VARIABLE / ?
EYE:GAIN:VAL	0.50~2.00 / ?
EYE:SWEEP:SWEEP	2UI / 4UI / 16UI / ?
EYE:FILTER	100KHZ / 1KHZ / 100HZ / 10HZ / TIMING / ALIGNMENT / ?
EYE:SUB_ITEM	JITTER / OFF / ?
EYE:LINK_SELECT	LINK_A / LINK_B / ?
EYE:JITTER:INTEN	-8~7 / ?
EYE:JITTER:INTEN:SCALE	-8~7 / ?
EYE:JITTER:COLOR	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / ?
EYE:JITTER:COLOR:SCALE	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / ?
EYE:JITTER:GAIN	X1 / X2 / X8 / ?
EYE:JITTER:SWEEP	1H / 2H / 1V / 2V / ?
EYE:JITTER:FILTER	100KHZ / 1KHZ / 100HZ / 10HZ / TIMING / ALIGNMENT / ?
EYE:JITTER:PEAK_HOLD	ON / OFF / ?
EYE:JITTER:PEAK_HOLD_CLEAR	なし
EYE:JITTER:SUB_ITEM	EYE / OFF / ?
EYE:ERROR:3G:AMP	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:3G:AMP:UPPER	80~140 / ?
EYE:ERROR:3G:AMP:LOWER	40~100 / ?
EYE:ERROR:3G:RISE	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:3G:RISE:MAX	40~140 / ?
EYE:ERROR:3G:FALL	ON / OFF / ?

11. イーサネットコントロール

コマンド	パラメータ
EYE:ERROR:3G:FALL:MAX	40~140 / ?
EYE:ERROR:3G:DELTA	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:3G:DELTA:MAX	40~140 / ?
EYE:ERROR:3G:TIMING_JIT	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:3G:TIMING_JIT:MAX	10~200 / ?
EYE:ERROR:3G:CURRENT_JIT	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:3G:CURRENT_JIT:MAX	10~200 / ?
EYE:ERROR:3G:OVERSHOOT_RISE	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:3G:OVERSHOOT_RISE:MAX	0~200 / ?
EYE:ERROR:3G:OVERSHOOT_FALL	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:3G:OVERSHOOT_FALL:MAX	0~200 / ?
EYE:ERROR:HD:AMPLITUDE	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:HD:AMPLITUDE:UPPER	80~140 / ?
EYE:ERROR:HD:AMPLITUDE:LOWER	40~100 / ?
EYE:ERROR:HD:RISETIME	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:HD:RISETIME:MAX	40~140 / ?
EYE:ERROR:HD:FALLTIME	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:HD:FALLTIME:MAX	40~140 / ?
EYE:ERROR:HD:DELTATIME	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:HD:DELTATIME:MAX	40~140 / ?
EYE:ERROR:HD:TIMING_JITTER	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:HD:TIMING_JITTER:MAX	10~200 / ?
EYE:ERROR:HD:CURRENT_JITTER	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:HD:CURRENT_JITTER:MAX	10~200 / ?
EYE:ERROR:HD:OVERSHOOT:RISE	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:HD:OVERSHOOT:RISE:MAX	0~200 / ?
EYE:ERROR:HD:OVERSHOOT:FALL	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:HD:OVERSHOOT:FALL:MAX	0~200 / ?
EYE:ERROR:SD:AMPLITUDE	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:SD:AMPLITUDE:UPPER	80~140 / ?
EYE:ERROR:SD:AMPLITUDE:LOWER	40~100 / ?
EYE:ERROR:SD:RISETIME	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:SD:RISETIME:MAX	40~140 / ?
EYE:ERROR:SD:FALLTIME	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:SD:FALLTIME:MAX	40~140 / ?
EYE:ERROR:SD:DELTATIME	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:SD:DELTATIME:MAX	40~140 / ?
EYE:ERROR:SD:TIMING_JITTER	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:SD:TIMING_JITTER:MAX	10~200 / ?
EYE:ERROR:SD:CURRENT_JITTER	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:SD:CURRENT_JITTER:MAX	10~200 / ?
EYE:ERROR:SD:OVERSHOOT:RISE	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:SD:OVERSHOOT:RISE:MAX	0~200 / ?
EYE:ERROR:SD:OVERSHOOT:FALL	ON / OFF / ?
EYE:ERROR:SD:OVERSHOOT:FALL:MAX	0~200 / ?

11. イーサーネットコントロール

コマンド	パラメータ
EYE:DC:OFFSET	ON / OFF / ?
EYE:DC:UPPER	0~100 / ?
EYE:DC:LOWER	0~100 / ?
EYE:AMP:DATA	? (戻り値: Amp)
EYE:TR:DATA	? (戻り値: Tr)
EYE:TF:DATA	? (戻り値: Tf)
EYE:TJ:DATA	? (戻り値: T. J)
EYE:CJ:DATA	? (戻り値: C. J)
EYE:OR:DATA	? (戻り値: Or)
EYE:OF:DATA	? (戻り値: Of)

表 11-4 LV 5770SER03A のコマンド

コマンド	パラメータ
WFM	なし
WFM:INTEN:WFM	-128~127 / ?
WFM:COLOR	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / MULTI / ?
WFM:INTEN:SCALE	-8 ~7 / ?
WFM:SCALE:COLOR	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / ?
WFM:GAIN:VAR	CAL / VAR / ?
WFM:GAIN:VAL	0.200~2.000 / ?
WFM:GAIN:MAG	X1 / X5 / ?
WFM:FILTER	FLAT / LOWPASS / ?
WFM:SWEEP:SWEEP	H / V / ?
WFM:SWEEP:H_SWEEP	1H / 2H / ?
WFM:SWEEP:V_SWEEP	1V / 2V / ?
WFM:SWEEP:H_MAG	X1 / X10 / X20 / ?
WFM:SWEEP:V_MAG	X1 / X20 / X40 / ?
WFM:SWEEP:FIELD	FIELD1 / FIELD2 / ?
WFM:LINE_SELECT	ON / OFF / ?
WFM:LINE_SELECT:FIELD	FIELD1 / FIELD2 / FRAME / ?
WFM:LINE_NUMBER	1~1125 / ?
WFM:DISPLAY:THUMBNAI:AUDIO	ON / OFF / ?
WFM:DISPLAY:THUMBNAI:PICTURE	ON / OFF / ?
WFM:DISPLAY:THUMBNAI:HISTO	ON / OFF / ?
WFM:DISPLAY:THUMBNAI:HISTO:FORM	LUMA / ALIGN / MIX / ?
WFM:DISPLAY:THUMBNAI:HISTO:Y	ON / OFF / ?
WFM:DISPLAY:THUMBNAI:HISTO:R	ON / OFF / ?
WFM:DISPLAY:THUMBNAI:HISTO:G	ON / OFF / ?
WFM:DISPLAY:THUMBNAI:HISTO:B	ON / OFF / ?
VECTOR	なし
VECTOR:INTEN:VECTOR	-128~127 / ?
VECTOR:COLOR	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / ?
VECTOR:INTEN:SCALE	-8 ~7 / ?
VECTOR:SCALE:COLOR	WHITE / YELLOW / CYAN / GREEN / MAGENTA / RED / BLUE / ?

11. イーサネットコントロール

コマンド	パラメータ
VECTOR:SCALE:IQ	ON / OFF / ?
VECTOR:GAIN:MAG	X1 / X5 / IQ / ?
VECTOR:GAIN:VAL	0.200~10.000 / ?
VECTOR:GAIN:VAR	CAL / VAR / ?
VECTOR:LINE_SELECT	ON / OFF / ?
VECTOR:LINE_SELECT:FIELD	FIELD1 / FIELD2 / FRAME / ?
VECTOR:LINE_NUMBER	1~625 / ?
VECTOR:DISPLAY:SCH	ON / OFF / ?
VECTOR:DISPLAY:SCH:DATA	? (戻り値: SCH)
VECTOR:DISPLAY:THUMBNAIL:AUDIO	ON / OFF / ?
VECTOR:DISPLAY:THUMBNAIL:PICTURE	ON / OFF / ?
VECTOR:DISPLAY:THUMBNAIL:HISTO	ON / OFF / ?
VECTOR:DISPLAY:THUMBNAIL:HISTO:FORM	LUMA / ALIGN / MIX / ?
VECTOR:DISPLAY:THUMBNAIL:HISTO:Y	ON / OFF / ?
VECTOR:DISPLAY:THUMBNAIL:HISTO:R	ON / OFF / ?
VECTOR:DISPLAY:THUMBNAIL:HISTO:G	ON / OFF / ?
VECTOR:DISPLAY:THUMBNAIL:HISTO:B	ON / OFF / ?
VECTOR:MATRIX:SETUP	0P / 7.5P / ?
VECTOR:MATRIX:COLORBAR	100P / 75P / ?
VECTOR:MATRIX:NTSC_DISP	ON / OFF / ?
VECTOR:PHASE	0.0~359.9
VECTOR:POS:H	-130~+130
VECTOR:POS:V	-130~+130
PICTURE	なし
PICTURE:MONO_COLOR	MONO / COLOR / ?
PICTURE:CHROMA_UP	NORMAL / UP / ?
PICTURE:BRIGHTNESS	-50.0~50.0 / ?
PICTURE:CONTRAST	0.0~200.0 / ?
PICTURE:GAIN:R	0.0~200.0 / ?
PICTURE:GAIN:G	0.0~200.0 / ?
PICTURE:GAIN:B	0.0~200.0 / ?
PICTURE:GAIN:CHROMA	0.0~200.0 / ?
PICTURE:BIAS:R	-50.0~50.0 / ?
PICTURE:BIAS:G	-50.0~50.0 / ?
PICTURE:BIAS:B	-50.0~50.0 / ?
PICTURE:MARKER:FRAME	ON / OFF / ?
PICTURE:MARKER:CENTER	ON / OFF / ?
PICTURE:MARKER:ASPECT	OFF / 16_9 / 14_9 / 13_9 / ?
PICTURE:MARKER:ASPECT:SHADOW	0~100 / ?
PICTURE:MARKER:SAFETY:ACTION	SMPTE / USER1 / OFF / ?
PICTURE:MARKER:SAFETY:TITLE	SMPTE / USER2 / OFF / ?
PICTURE:MARKER:SAFETY:USER1_W	0~100 / ?
PICTURE:MARKER:SAFETY:USER1_H	0~100 / ?
PICTURE:MARKER:SAFETY:USER2_W	0~100 / ?
PICTURE:MARKER:SAFETY:USER2_H	0~100 / ?

11. イーサーネットコントロール

コマンド	パラメータ
PICTURE:LINE_SELECT	ON / OFF / ?
PICTURE:LINE_SELECT:FIELD	FIELD1 / FIELD2 / FRAME / ?
PICTURE:LINE_NUMBER	1～625 / ?
PICTURE:DISPLAY:SIZE	FIT / REAL / X2 / FULL_FRM / ?
PICTURE:DISPLAY:THUMBNAI:AUDIO	ON / OFF / ?
PICTURE:DISPLAY:THUMBNAI:WFM	ON / OFF / ?
PICTURE:DISPLAY:THUMBNAI:HISTO	ON / OFF / ?
PICTURE:DISPLAY:THUMBNAI:HISTO:FORM	LUMA / ALIGN / MIX / ?
PICTURE:DISPLAY:THUMBNAI:HISTO:Y	ON / OFF / ?
PICTURE:DISPLAY:THUMBNAI:HISTO:R	ON / OFF / ?
PICTURE:DISPLAY:THUMBNAI:HISTO:G	ON / OFF / ?
PICTURE:DISPLAY:THUMBNAI:HISTO:B	ON / OFF / ?
STATUS	なし
STATUS:EXT_REF	なし
STATUS:EXT_REF:USER_REF	なし
STATUS:EXT_REF:DEFAULT	なし
STATUS:EXT_REF:REF:DATA	? (戻り値: USER_REF / DEFAULT)
STATUS:EXT_REF:STAT:DATA	? (戻り値: INT / HD / BB / NO_SIGNAL)
STATUS:EXT_REF:H_TIME:DATA	? (戻り値: H PHASE[us])
STATUS:EXT_REF:H_PIX:DATA	? (戻り値: H PHASE[pixel])
STATUS:EXT_REF:V_LINE:DATA	? (戻り値: V PHASE)
STATUS:EXT_REF:TOTAL:DATA	? (戻り値: TOTAL PHASE)

表 11-5 LV 7770(オーディオ部)/OP70/LV 5770SER42 のコマンド

コマンド	パラメータ
AUDIO:SOURCE:INPUT	SDI / EXT_DIGI / EXT_ANA / ?
AUDIO:SOURCE:SDI:1ST_GRP	1 / 2 / 3 / 4 / ?
AUDIO:SOURCE:SDI:2ND_GRP	1 / 2 / 3 / 4 / ?
AUDIO:SOURCE:EXT_DIGI:CH_SEL	GRP_A / GRP_B / ?
AUDIO:NUMBER	8CH / 16CH / ?
AUDIO:DISPLAY_MODE	LISSAJOU / METER / SURROUND / STATUS / LOUDNESS / ?
AUDIO:METER:D_RANGE	M60DBFS / M90DBFS / MAG / ?
AUDIO:METER:RESPONSE	TRUE_PEAK / PPM / VU / ?
AUDIO:METER:RESPONSE:PPM	PPM1 / PPM2 / ?
AUDIO:METER:RESPONSE:VU	TRUE / PPM1 / PPM2 / ?
AUDIO:METER:PEAK_HOLD	0.5 / 1.0 / 1.5 / 2.0 / 2.5 / 3.0 / 3.5 / 4.0 / 4.5 / 5.0 / HOLD / ?
AUDIO:METER:OVER_LEVEL	-40.0～0.0 / ?
AUDIO:METER:WARNING_LEVEL	-40.0～0.0 / ?
AUDIO:METER:REF_LEVEL	-40.0～0.0 / ?
AUDIO:LISSAJOU:INTEN:LISSAJOU	-8～7 / ?
AUDIO:LISSAJOU:INTEN:SCALE	-8～7 / ?
AUDIO:LISSAJOU:DISPLAY	MULTI / SINGLE / ?
AUDIO:LISSAJOU:FORM	X-Y / MATRIX / ?
AUDIO:LISSAJOU:AUTO_GAIN	ON / OFF / ?

11. イーサネットコントロール

コマンド	パラメータ
AUDIO:LISAJOU:MAP:SINGLE:L	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / LT / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:SINGLE:R	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / RT / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:SINGLE_16_L	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / LT / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:SINGLE_16_R	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / RT / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:SINGLE_MIX_L	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / LT / D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:SINGLE_MIX_R	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / RT / D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI:L1	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI:R1	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI:L2	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI:R2	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI:L3	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI:R3	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI:L4	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI:R4	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI16_L1	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI16_R1	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI16_L2	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI16_R2	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI16_L3	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI16_R3	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI16_L4	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI16_R4	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI16_L5	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 /

11. イーサネットコントロール

コマンド	パラメータ
	CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI16_R5	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI16_L6	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI16_R6	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI16_L7	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI16_R7	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI16_L8	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:MULTI16_R8	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:DOLBY:MIX_L5	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:DOLBY:MIX_R5	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:DOLBY:MIX_L6	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:DOLBY:MIX_R6	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:DOLBY:MIX_L7	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:DOLBY:MIX_R7	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:DOLBY:MIX_L8	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
AUDIO:LISAJOU:MAP:DOLBY:MIX_R8	D1 / D2 / D3 / D4 / D5 / D6 / D7 / D8 / ?
AUDIO:SURROUND:INTEN:SURROUND	-8~7 / ?
AUDIO:SURROUND:INTEN:SCALE	-8~7 / ?
AUDIO:SURROUND:5.1	NORMAL / PHANTOM / ?
AUDIO:SURROUND:AUTO_GAIN	ON / OFF / ?
AUDIO:SURROUND:MAP:L	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:SURROUND:MAP:R	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:SURROUND:MAP:C	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:SURROUND:MAP:LFE	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:SURROUND:MAP:LS	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:SURROUND:MAP:RS	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:SURROUND:MAP:LL	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:SURROUND:MAP:RR	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:STATUS:LOG	なし
AUDIO:STATUS:LOG:LOG	START / STOP / ?

11. イーサネットコントロール

コマンド	パラメータ
AUDIO:STATUS:LOG:CLEAR	なし
AUDIO:STATUS:LOG:LOG_MODE	OVER_WR / STOP / ?
AUDIO:STATUS:DISPLAY:CH_STATUS	なし
AUDIO:STATUS:CH_STATUS	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / A1 / A2 / A3 / A4 / A5 / A6 / A7 / A8 / A9 / A10 / A11 / A12 / A13 / A14 / A15 / A16 / B1 / B2 / B3 / B4 / B5 / B6 / B7 / B8 / B9 / B10 / B11 / B12 / B13 / B14 / B15 / B16 / ?
AUDIO:STATUS:CH_STATUS:ALIGN	LSB / MSB / ?
AUDIO:STATUS:DISPLAY:USER_BIT	なし
AUDIO:STATUS:USER_BIT	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / A1 / A2 / A3 / A4 / A5 / A6 / A7 / A8 / A9 / A10 / A11 / A12 / A13 / A14 / A15 / A16 / B1 / B2 / B3 / B4 / B5 / B6 / B7 / B8 / B9 / B10 / B11 / B12 / B13 / B14 / B15 / B16 / ?
AUDIO:STATUS:USER_BIT:ALIGN	LSB / MSB / ?
AUDIO:STATUS:ERROR:LEVEL_OVER	ON / OFF / ?
AUDIO:STATUS:ERROR:CLIP	ON / OFF / ?
AUDIO:STATUS:ERROR:CLIP:DURATION	1~100 / ?
AUDIO:STATUS:ERROR:MUTE	ON / OFF / ?
AUDIO:STATUS:ERROR:MUTE:DURATION	1~5000 / ?
AUDIO:STATUS:ERROR:PARITY	ON / OFF / ?
AUDIO:STATUS:ERROR:VALIDITY	ON / OFF / ?
AUDIO:STATUS:ERROR:CRC	ON / OFF / ?
AUDIO:STATUS:ERROR:CODE_VIOLATION	ON / OFF / ?
AUDIO:STATUS:ERROR_RESET	なし
AUDIO:STATUS:LEVEL:CH1:DATA	? (戻り値: レベル / -) ※ 表示していないチャンネルのレベルは出力しません。
AUDIO:STATUS:LEVEL:CH2:DATA	? (戻り値: レベル / -)
AUDIO:STATUS:LEVEL:CH3:DATA	? (戻り値: レベル / -)
AUDIO:STATUS:LEVEL:CH4:DATA	? (戻り値: レベル / -)
AUDIO:STATUS:LEVEL:CH5:DATA	? (戻り値: レベル / -)
AUDIO:STATUS:LEVEL:CH6:DATA	? (戻り値: レベル / -)
AUDIO:STATUS:LEVEL:CH7:DATA	? (戻り値: レベル / -)
AUDIO:STATUS:LEVEL:CH8:DATA	? (戻り値: レベル / -)
AUDIO:STATUS:LEVEL:CH9:DATA	? (戻り値: レベル / -)
AUDIO:STATUS:LEVEL:CH10:DATA	? (戻り値: レベル / -)
AUDIO:STATUS:LEVEL:CH11:DATA	? (戻り値: レベル / -)
AUDIO:STATUS:LEVEL:CH12:DATA	? (戻り値: レベル / -)
AUDIO:STATUS:LEVEL:CH13:DATA	? (戻り値: レベル / -)
AUDIO:STATUS:LEVEL:CH14:DATA	? (戻り値: レベル / -)
AUDIO:STATUS:LEVEL:CH15:DATA	? (戻り値: レベル / -)
AUDIO:STATUS:LEVEL:CH16:DATA	? (戻り値: レベル / -)

11. イーサネットコントロール

コマンド	パラメータ
AUDIO:STATUS:DOLBY:LOCATION_H:DATA	? (戻り値: EMB Frame Location H)
AUDIO:STATUS:DOLBY:LOCATION_V:DATA	? (戻り値: EMB Frame Location V)
AUDIO:STATUS:DOLBY:LOCATION_MODE:DATA	? (戻り値: EMB Frame Location mode)
AUDIO:STATUS:DOLBY:LOCATION_E:DATA	? (戻り値: AES Frame Location V)
AUDIO:LOUD:PERIOD	2MIN / 10MIN / 30MIN / 1HOUR / 2HOUR / 6HOUR / 12HOUR / 24HOUR / 32HOUR / ?
AUDIO:LOUD:CHART_CLEAR	なし
AUDIO:LOUD:MEASURE	START / STOP / ?
AUDIO:LOUD:MAG	OFF / ON / ?
AUDIO:LOUD:INTEG:MODE	BS1770_2 / ARIB / EBU / ATSC / ?
AUDIO:LOUD:INTEG:LEVEL	? (戻り値: TARGET LV)
AUDIO:LOUD:INTEG:BLK_SIZE	? (戻り値: Block Size)
AUDIO:LOUD:INTEG:ABS_GATE	? (戻り値: Abs Gating)
AUDIO:LOUD:INTEG:OVL_P_SIZE	? (戻り値: Overlap Size)
AUDIO:LOUD:INTEG:REL_GATE	? (戻り値: Rel Gating)
AUDIO:LOUD:INTEG:LFE_GAIN	ON / OFF / ?
AUDIO:LOUD:INTEG:LFE_GAIN:VALUE	0~10 / ?
AUDIO:LOUD:SHORT:AVRG_TIME	200~10000 / ? (100ms ステップ)
AUDIO:LOUD:MOMENT:AVRG_TIME	200~10000 / ? (100ms ステップ)
AUDIO:LOUD:RESPONSE	SHORTTERM / MOMENTARY / ?
AUDIO:LOUD:CHART	INTEGRATED / SHORTTERM / MOMENTARY / ?
AUDIO:LOUD:AUTO:TRIGGER	OFF / REMOTE / TIMECODE / MUTE / ?
AUDIO:LOUD:AUTO_START:H	0~23 / ?
AUDIO:LOUD:AUTO_START:M	0~59 / ?
AUDIO:LOUD:AUTO_START:S	0~59 / ?
AUDIO:LOUD:AUTO_END:H	0~23 / ?
AUDIO:LOUD:AUTO_END:M	0~59 / ?
AUDIO:LOUD:AUTO_END:S	0~59 / ?
AUDIO:LOUD:OVER	ON / OFF / ?
AUDIO:LOUD:RELATIVE	ON / OFF / ?
AUDIO:LOUD:MAP:MODE	MONO / STEREO / 5_1 / CUSTOM / ?
AUDIO:LOUD:MAP:MONO:L_R	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LOUD:MAP:STEREO:L	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LOUD:MAP:STEREO:R	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LOUD:MAP:5_1:L	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LOUD:MAP:5_1:R	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LOUD:MAP:5_1:C	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LOUD:MAP:5_1:LFE	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?

11. イーサネットコントロール

コマンド	パラメータ
AUDIO:LOUD:MAP:5_1:LS	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LOUD:MAP:5_1:RS	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LOUD:MAP:CUSTOM:L	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / NC / ?
AUDIO:LOUD:MAP:CUSTOM:R	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / NC / ?
AUDIO:LOUD:MAP:CUSTOM:C	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / NC / ?
AUDIO:LOUD:MAP:CUSTOM:LFE	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / NC / ?
AUDIO:LOUD:MAP:CUSTOM:LS	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / NC / ?
AUDIO:LOUD:MAP:CUSTOM:RS	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / NC / ?
AUDIO:LOUD:SHORTTERM:DATA:MAIN	? (戻り値: SHORTTERM / -)
AUDIO:LOUD:INTEGRATED:DATA:MAIN	? (戻り値: INTEGRATED / -)
AUDIO:LOUD:MOMENTARY:DATA:MAIN	? (戻り値: MOMENTARY / -)
AUDIO:LOUD:SHORTTERM:DATA:SUB	? (戻り値: SHORTTERM / -)
AUDIO:LOUD:INTEGRATED:DATA:SUB	? (戻り値: INTEGRATED / -)
AUDIO:LOUD:MOMENTARY:DATA:SUB	? (戻り値: MOMENTARY / -)
AUDIO:LOUD:MAP:SUB:MODE	OFF / MONO / STEREO / ?
AUDIO:LOUD:MAP:SUB:MONO:L_R	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LOUD:MAP:SUB:STEREO:L	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LOUD:MAP:SUB:STEREO:R	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / ?
AUDIO:LOUD:PEAKHOLD:DATA:L	? (戻り値: PEAK L / -)
AUDIO:LOUD:PEAKHOLD:DATA:R	? (戻り値: PEAK R / -)
AUDIO:LOUD:PEAKHOLD:DATA:C	? (戻り値: PEAK C / -)
AUDIO:LOUD:PEAKHOLD:DATA:LFE	? (戻り値: PEAK LFE / -)
AUDIO:LOUD:PEAKHOLD:DATA:LS	? (戻り値: PEAK Ls / -)
AUDIO:LOUD:PEAKHOLD:DATA:RS	? (戻り値: PEAK Rs / -)
AUDIO:LOUD:PEAKHOLD:DATA:SL	? (戻り値: PEAK S-L / -)
AUDIO:LOUD:PEAKHOLD:DATA:SR	? (戻り値: PEAK S-R / -)
AUDIO:DOLBY	OFF / E / D / ?
AUDIO:DOLBY:GROUP	CH_1_2 / CH_3_4 / CH_5_6 / CH_7_8 / CH_9_10 / CH11_12 / CH13_14 / CH15_16 / ?
AUDIO:DOLBY:E_DIALNORM	ON / OFF / ?
AUDIO:DOLBY:E_PULLDOWN	ON / OFF / ?
AUDIO:DOLBY:E_META_PRM	PRM1 / PRM2 / PRM3 / PRM4 / PRM5 / PRM6 / PRM7 / PRM8 / ?
AUDIO:DOLBY:EBI_META_PRM	PRM1 / PRM2 / PRM3 / PRM4 / PRM5 / PRM6 / PRM7 /

11. イーサネットコントロール

コマンド	パラメータ
	PRM8 / ?
AUDIO:DOLBY:D_LISTENING	FULL / EX / 3STEREO / PHANTOM / STEREO / MONO / ?
AUDIO:DOLBY:D_PROLOGIC	ON / OFF / ?
AUDIO:DOLBY:D_DRC	BYPASS / LINE / RF / ?
AUDIO:DOLBYMIX	OFF / ON / ?
AUDIO:PHONES:VOLUME	0~63 / ?
AUDIO:PHONES:L_CH	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / A1 / A2 / A3 / A4 / A5 / A6 / A7 / A8 / A9 / A10 / A11 / A12 / A13 / A14 / A15 / A16 / B1 / B2 / B3 / B4 / B5 / B6 / B7 / B8 / B9 / B10 / B11 / B12 / B13 / B14 / B15 / B16 / LT / DAUX / ?
AUDIO:PHONES:R_CH	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH5 / CH6 / CH7 / CH8 / CH9 / CH10 / CH11 / CH12 / CH13 / CH14 / CH15 / CH16 / A1 / A2 / A3 / A4 / A5 / A6 / A7 / A8 / A9 / A10 / A11 / A12 / A13 / A14 / A15 / A16 / B1 / B2 / B3 / B4 / B5 / B6 / B7 / B8 / B9 / B10 / B11 / B12 / B13 / B14 / B15 / B16 / RT / DAUX / ?
AUDIO:PHONES:DOLBY:DAUX:CH	LTRT / LORO / MONO / MUTE / ?
AUDIO:PHONES:DOLBY:DAUX:DRC	LINE / RF / ?

表 11-6 ファイル生成コマンド

コマンド	パラメータ
MAKE	LOG / DUMP / CAPTURE / CAP_FRM / CAP_DPX / CAP_TIF / CAP_FRM_B / CAP_DPX_B / CAP_TIF_B / CAP_FRM_S2 / CAP_DPX_S2 / CAP_TIF_S2 / LOUDNESS ※ ファイル生成後の取り出しは、FTP で行います。 ※ DUMP は、データダンプ画面が表示されているときのみ有効です。 ※ CAPTURE は、スクリーンキャプチャのときのみ有効です。 ※ CAP_***は、フレームキャプチャのときのみ有効です。 ※ CAP_***_B は、サイマルモード時の Bch を生成します。 ※ CAP_***_S2 は、3G-B(2map) 時のストリーム 2 を生成します。 ※ LOUDNESS は、csv と txt の 2 ファイルを生成します。 測定中の場合は、測定を停止します。

11.2 FTP

本器で生成したファイルを、ネットワークに接続された PC へ転送できます。

11.2.1 使用方法

1. LV 7770 の ETHERNET SETUP 画面で、イーサネットの設定をします。

IP Address を設定し、FTP Server Select を ON にします。

【参照】 「7.2.2 イーサネットの設定」

SYS → F.2 SYSTEM SETUP → F.3 NEXT TAB →

GENERAL SETUP	ETHERNET SETUP	REMOTE SETUP	DATE&TIME
Ethernet Select ☐ DHCP ☒ IP			
TCP / IP			
IP Address		192 168 0 1	
Subnet Mask		255 255 255 0	
Default Gateway		0 0 0 0	
SNTP Client Select ☒ OFF ☐ ON			
Server IP Address		0 0 0 0	
Time Zone Adjust		+ 9 : 0 [+/- hour : minutes]	
TELNET Server Select ☒ OFF ☐ ON ☐ LV7770-01			
FTP Server Select ☐ OFF ☒ ON			
HTTP Server Select ☒ OFF ☐ ON			
SNMP READ ☒ OFF ☐ ONLY ☐ WRITE			
SNMP TRAP ☒ OFF ☐ ON			
MAC ADDRESS:		00:00:00:00:00:00	

図 11-2 ETHERNET SETUP 画面

2. F.1 COMPLETE を押します。
メッセージ「Saving data - Please Wait.」が表示されます。
3. IP Address を変更した場合は、メッセージが消えてから LV 7770 を再起動します。
IP アドレスの値が有効になります。
4. LV 7770 のイーサネット端子と外部ネットワーク機器を接続します。
UTP ケーブル(カテゴリ 5)で接続してください。
5. PC 上で FTP を起動します。

たとえば Windows 7 の場合、「スタートメニュー」→「ファイル名を指定して実行」→「FTP (手順 1 で設定した IP アドレス)」→「OK」で起動できます。

6. ユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名とパスワードは「LV7770」です。大文字で入力してください。

ユーザー名とパスワードが正しく入力されると、「ftp>」が表示されます。

```
Connected to ***.***.***.***.
220 FTP Server ready
User (***.***.***.***: (none)): LV7770 ..... ユーザー名
331 Password required
Password: LV7770 ..... パスワード (実際には表示されません)
230 Logged in
ftp>
```

7. FTP コマンドを入力します。

「11.2.2 コマンドの入力方法」「11.2.3 FTP コマンド」を参照して、コマンドを入力してください。コマンドを入力する前に、あらかじめ TELNET の「MAKE」コマンドでファイルを作成する必要があります。

FTP を終了するときは、「bye」を入力します。

```
ftp> bye
```

11.2.2 コマンドの入力方法

コマンドの書式は以下のとおりです。

```
ftp> [コマンド] + [半角スペース] + [パラメータ 1] + [半角スペース] + [パラメータ 2]
```

コマンドの入力例を以下に示します。

```
ftp> GET LOG.TXT D:\LOG.TXT ..... イベントログファイルを PC に転送
200 PORT Command successful ..... 戻り値
:
ftp>
```

11.2.3 FTP コマンド

表 11-7 FTP コマンド

コマンド	パラメータ 1	パラメータ 2
GET	LOG.TXT	PC の保存場所とファイル名 (例: D:\LOG.TXT)
	DUMP.TXT	PC の保存場所とファイル名 (例: D:\DUMP.TXT)
	CAPTURE.BMP	PC の保存場所とファイル名 (例: D:\CAPTURE.BMP)
	CAP_***.FRM	PC の保存場所とファイル名 (例: D:\CAP_FRM.FRM)
	CAP_***.DPX	PC の保存場所とファイル名 (例: D:\CAP_DPX.DPX)
	CAP_***.TIF	PC の保存場所とファイル名 (例: D:\CAP_TIF.TIF)
	LOUDNESS.CSV	PC の保存場所とファイル名 (例: D:\LOUDNESS.CSV)
	LOUDNESS.TXT	PC の保存場所とファイル名 (例: D:\LOUDNESS.TXT)

11.3 SNMP

SNMP(Simple Network Management Protocol)を使用して、SNMP マネージャから本器のコントロールができます。また、本器で発生したエラーを SNMP マネージャに通知することもできます。

本製品は SNMPv1 に対応しています。

11.3.1 SMI 定義

IMPORTS

MODULE-IDENTITY, OBJECT-TYPE, NOTIFICATION-TYPE, enterprises

FROM SNMPv2-SMI

DisplayString

FROM SNMPv2-TC

OBJECT-GROUP, MODULE-COMPLIANCE

FROM SNMPv2-CONF;

11.3.2 使用方法

1. LV 7770 の ETHERNET SETUP 画面で、イーサネットの設定をします。

IP Address を設定し、SNMP READ を WRITE、SNMP TRAP を ON にします。

【参照】 「7.2.2 イーサネットの設定」

SYS → **F.2** SYSTEM SETUP → **F.3** NEXT TAB →

GENERAL SETUP	ETHERNET SETUP	REMOTE SETUP	DATE&TIME
Ethernet Select ☐ DHCP ☒ IP			
TCP / IP			
IP Address	192 168 0 1		
Subnet Mask	255 255 255 0		
Default Gateway	0 0 0 0		
SNTP Client Select ☒ OFF ☐ ON			
Server IP Address	0 0 0 0		
Time Zone Adjust	+ 9 : 0 [+/- hour : minutes]		
TELNET Server Select ☒ OFF ☐ ON ☐ LV7770-01			
FTP Server Select ☒ OFF ☐ ON			
HTTP Server Select ☒ OFF ☐ ON			
SNMP READ ☐ OFF ☐ ONLY ☒ WRITE			
SNMP TRAP ☐ OFF ☒ ON			
MAC ADDRESS: 00:00:00:00:00:00			

図 11-3 ETHERNET SETUP 画面

2. **F.1** COMPLETE を押します。
メッセージ「Saving data - Please Wait.」が表示されます。
3. IP Address を変更した場合は、メッセージが消えてから LV 7770 を再起動します。
IP アドレスの値が有効になります。
4. LV 7770 のイーサネット端子と外部ネットワーク機器を接続します。
UTP ケーブル(カテゴリ 5)で接続してください。

5. PC 上で SNMP マネージャを起動します。

SNMP マネージャはお客様自身でご用意ください。

コミュニティ名は以下のとおりです。

Read community : LDRUser

Write community : LDRAdm

TRAP community : LDRUser

6. SNMP マネージャから GET、SET 操作ができることを確認します。

7. SNMP マネージャから以下の MIB 項目へ、SNMP マネージャの IP アドレスを設定します。

4 か所まで設定できます。

[TRAP 送信先 1 の IP アドレス]

```
1. 3. 6. 1. 4. 1. leader(20111). lv7770(26). lv7770ST1(1). l26trapTBL(9). l26trapIpTBL(
2). l26trapIp1TBL(1). l26trapManagerIp1(1). 0
```

[TRAP 送信先 2 の IP アドレス]

```
1. 3. 6. 1. 4. 1. leader(20111). 1v7770(26). 1v7770ST1(1). 126trapTBL(9). 126trapIpTBL(
2). 126trapIp2TBL(2). 126trapManagerIp2(1). 0
```

[TRAP 送信先 3 の IP アドレス]

```
1. 3. 6. 1. 4. 1. leader(20111). 1v7770(26). 1v7770ST1(1). 126trapTBL(9). 126trapIpTBL(
2). 126trapIp3TBL(3). 126trapManagerIp3(1). 0
```

[TRAP 送信先 4 の IP アドレス]

```
1. 3. 6. 1. 4. 1. leader(20111). 1v7770(26). 1v7770ST1(1). 126trapTBL(9). 126trapIpTBL(
2). 126trapIp4TBL(4). 126trapManagerIp4(1). 0
```

8. TRAP 送信先を有効にします。

通信負荷の原因となるため、使用しない送信先は無効にしてください。出荷時は無効に設定されています。

「TRAP 送信先 1 の有効(1)/無効(2)」

```
1. 3. 6. 1. 4. 1. leader(20111). 1v7770(26). 1v7770ST1(1). 126trapTBL(9). 126trapIpTBL(
2). 126trapIp1TBL(1). 126trapManagerIp1Act(2). 0
```

「TRAP 送信先 2 の有効(1)/無効(2)」

```
1. 3. 6. 1. 4. 1. leader(20111). 1v7770(26). 1v7770ST1(1). 126trapTBL(9). 126trapIpTBL(
2). 126trapIp2TBL(2). 126trapManagerIp2Act(2). 0
```

「TRAP 送信先 3 の有効(1)/無効(2)」

```
1. 3. 6. 1. 4. 1. leader(20111). 1v7770(26). 1v7770ST1(1). 126trapTBL(9). 126trapIpTBL(
2). 126trapIp3TBL(3). 126trapManagerIp3Act(2). 0
```

[TRAP 送信先 4 の有効(1)/無効(2)]

```
1.3.6.1.4.1. leader(20111).lv7770(26).lv7770ST1(1).l26trapTBL(9).l26trapIpTBL(
2).l26trapIp4TBL(4).l26trapManagerIp4Act(2).0
```

9. LV 7770 を再起動します。

10. 本体起動時に SNMP マネージャで、標準 TRAP「coldStart(0)」の受信を確認します。

11.3.3 標準 MIB

本器は下記の標準 MIB を使用しています。

- RFC1213 (MIB-II)
- RFC1354 (IP Forwarding Table MIB)

表中の「ACCESS」、「SUPPORT」の意味は以下のとおりです。

	表示	説明
ACCESS	R/O	SNMP マネージャから読み込み可能な情報
	R/W	SNMP マネージャから読み書きが可能な情報
SUPPORT	○	本来の定義のままサポート
	△	本来は読み書き可能だが、本器では読み込みのみサポート
	×	サポートしていない

表 11-8 system グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
sysDescr	system. 1	DisplayString	R/O	○
sysObjectID	system. 2	ObjectID	R/O	○
sysUpTime	system. 3	TimeTicks	R/O	○
sysContact (※1)	system. 4	DisplayString	R/W	○
sysName (※1)	system. 5	DisplayString	R/W	○
sysLocation (※1)	system. 6	DisplayString	R/W	○
sysServices	system. 7	INTEGER	R/O	○

※1 40 バイト以下に設定してください。

表 11-9 interface グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
ifNumber	interfaces. 1	INTEGER	R/O	○
ifTable	interfaces. 2	Aggregate	-	○
ifEntry	ifTable. 1	Aggregate	-	○
ifIndex	ifEntry. 1	INTEGER	R/O	○
ifDescr	ifEntry. 2	DisplayString	R/O	○
ifType	ifEntry. 3	INTEGER	R/O	○
ifMtu	ifEntry. 4	INTEGER	R/O	○
ifSpeed	ifEntry. 5	Gauge	R/O	○
ifPhysAddress	ifEntry. 6	DisplayString	R/O	○
ifAdminStatus	ifEntry. 7	INTEGER	R/O	△
ifOperStatus	ifEntry. 8	INTEGER	R/O	△
ifLastChange	ifEntry. 9	TimeTicks	R/O	○
ifInOctets	ifEntry. 10	Counter	R/O	○
ifInUcastPkts	ifEntry. 11	Counter	R/O	○
ifInNUcastPkts	ifEntry. 12	Counter	R/O	○
ifInDiscards	ifEntry. 13	Counter	R/O	○
ifInErrors	ifEntry. 14	Counter	R/O	○
ifInUnknownProtos	ifEntry. 15	Counter	R/O	○

11. イーサネットコントロール

ifOutOctets	ifEntry. 16	Counter	R/0	○
ifOutUcastPkts	ifEntry. 17	Counter	R/0	○
ifOutNUcastPkts	ifEntry. 18	Counter	R/0	○
ifOutDiscards	ifEntry. 19	Counter	R/0	○
ifOutErrors	ifEntry. 20	Counter	R/0	○
ifOutQLen	ifEntry. 21	Gauge	R/0	○
ifSpecific	ifEntry. 22	ObjectID	R/0	○

表 11-10 ip グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
ipForwarding	ip. 1	INTEGER	R/0	○
ipDefaultTTL	ip. 2	INTEGER	R/0	○
ipInReceives	ip. 3	Counter	R/0	○
ipInHdrErrors	ip. 4	Counter	R/0	○
ipInAddrErrors	ip. 5	Counter	R/0	○
ipForwDatagrams	ip. 6	Counter	R/0	○
ipInUnknownProtos	ip. 7	Counter	R/0	○
ipInDiscards	ip. 8	Counter	R/0	○
ipInDelivers	ip. 9	Counter	R/0	○
ipOutRequests	ip. 10	Counter	R/0	○
ipOutDiscards	ip. 11	Counter	R/0	○
ipOutNoRoutes	ip. 12	Counter	R/0	○
ipReasmTimeout	ip. 13	INTEGER	R/0	○
ipReasmReqds	ip. 14	Counter	R/0	○
ipReasmOKs	ip. 15	Counter	R/0	○
ipReasmFails	ip. 16	Counter	R/0	○
ipFragOKs	ip. 17	Counter	R/0	○
ipFragFails	ip. 18	Counter	R/0	○
ipFragCreates	ip. 19	Counter	R/0	○
ipAddrTable	ip. 20	Aggregate	–	○
ipAddrEntry	ipAddrTable. 1	Aggregate	–	○
ipAdEntAddr	ipAddrEntry. 1	IpAddress	R/0	○
ipAdEntIfIndex	ipAddrEntry. 2	INTEGER	R/0	○
ipAdEntNetMask	ipAddrEntry. 3	IpAddress	R/0	○
ipAdEntBcastAddr	ipAddrEntry. 4	INTEGER	R/0	○
ipAdEntReasmMaxSize	ipAddrEntry. 5	INTEGER	R/0	○
ipNetToMediaTable	ip. 22	Aggregate	–	○
ipNetToMediaEntry	ipNetToMediaTable. 1	Aggregate	–	○
ipNetToMediaIfIndex	ipNetToMediaEntry. 1	INTEGER	R/0	△
ipNetToMediaPhysAddress	ipNetToMediaEntry. 2	DisplayString	R/0	△
ipNetToMediaNetAddress	ipNetToMediaEntry. 3	IpAddress	R/0	△
ipNetToMediaType	ipNetToMediaEntry. 4	INTEGER	R/0	△
ipRoutingDiscards	ip. 23	Counter	R/0	○
ipForward	ip. 24	Aggregate	–	○
ipForwardNumber	ipForward . 1	Gauge	R/0	○
ipForwardTable	ipForward . 2	Aggregate	–	○

11. イーサネットコントロール

ipForwardDest	ipForwardTable. 1	IpAddress	R/0	○
ipForwardMask	ipForwardTable. 1	IpAddress	R/0	○
ipForwardPolicy	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	×
ipForwardNextHop	ipForwardTable. 1	IpAddress	R/0	○
ipForwardIfIndex	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	○
ipForwardType	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	×
ipForwardProto	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	×
ipForwardAge	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	×
ipForwardInfo	ipForwardTable. 1	ObjectID	R/0	×
ipForwardNextHopAS	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	×
ipForwardMetric1	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	×
ipForwardMetric2	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	×
ipForwardMetric3	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	×
ipForwardMetric4	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	×
ipForwardMetric5	ipForwardTable. 1	INTEGER	R/0	×

表 11-11 icmp グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
icmpInMsgs	icmp. 1	Counter	R/0	○
icmpInErrors	icmp. 2	Counter	R/0	○
icmpInDestUnreachs	icmp. 3	Counter	R/0	○
icmpInTimeExcds	icmp. 4	Counter	R/0	○
icmpInParmProbs	icmp. 5	Counter	R/0	○
icmpInSrcQuenchs	icmp. 6	Counter	R/0	○
icmpInRedirects	icmp. 7	Counter	R/0	○
icmpInEchos	icmp. 8	Counter	R/0	○
icmpInEchoReps	icmp. 9	Counter	R/0	○
icmpInTimestamps	icmp. 10	Counter	R/0	○
icmpInTimestampReps	icmp. 11	Counter	R/0	○
icmpInAddrMasks	icmp. 12	Counter	R/0	○
icmpInAddrMaskReps	icmp. 13	Counter	R/0	○
icmpOutMsgs	icmp. 14	Counter	R/0	○
icmpOutErrors	icmp. 15	Counter	R/0	○
icmpOutDestUnreachs	icmp. 16	Counter	R/0	○
icmpOutTimeExcds	icmp. 17	Counter	R/0	○
icmpOutParmProbs	icmp. 18	Counter	R/0	○
icmpOutSrcQuenchs	icmp. 19	Counter	R/0	○
icmpOutRedirects	icmp. 20	Counter	R/0	○
icmpOutEchos	icmp. 21	Counter	R/0	○
icmpOutEchoReps	icmp. 22	Counter	R/0	○
icmpOutTimestamps	icmp. 23	Counter	R/0	○
icmpOutTimestampReps	icmp. 24	Counter	R/0	○
icmpOutAddrMasks	icmp. 25	Counter	R/0	○
icmpOutAddrMaskReps	icmp. 26	Counter	R/0	○

11. イーサネットコントロール

表 11-12 tcp グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
tcpRtoAlgorithm	tcp. 1	INTEGER	R/0	○
tcpRtoMin	tcp. 2	INTEGER	R/0	○
tcpRtoMax	tcp. 3	INTEGER	R/0	○
tcpMaxConn	tcp. 4	INTEGER	R/0	○
tcpActiveOpens	tcp. 5	Counter	R/0	○
tcpPassiveOpens	tcp. 6	Counter	R/0	○
tcpAttemptFails	tcp. 7	Counter	R/0	○
tcpEstabResets	tcp. 8	Counter	R/0	○
tcpCurrEstab	tcp. 9	Gauge	R/0	○
tcpInSegs	tcp. 10	Counter	R/0	○
tcpOutSegs	tcp. 11	Counter	R/0	○
tcpRetransSegs	tcp. 12	Counter	R/0	○
tcpConnTable	tcp. 13	Aggregate	–	○
tcpConnEntry	tcpConnTable. 1	Aggregate	–	○
tcpConnState	tcpConnEntry. 1	INTEGER	R/0	△
tcpConnLocalAddress	tcpConnEntry. 2	IpAddress	R/0	○
tcpConnLocalPort	tcpConnEntry. 3	INTEGER	R/0	○
tcpConnRemAddress	tcpConnEntry. 4	IpAddress	R/0	○
tcpConnRemPort	tcpConnEntry. 5	INTEGER	R/0	○
tcpInErrs	tcp. 14	Counter	R/0	○
tcpOutRsts	tcp. 15	Counter	R/0	○

表 11-13 udp グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
udpInDatagrams	udp. 1	Counter	R/0	○
udpNoPorts	udp. 2	Counter	R/0	○
udpInErrors	udp. 3	Counter	R/0	○
udpOutDatagrams	udp. 4	Counter	R/0	○
udpTable	udp. 5	Aggregate	–	○
udpEntry	udpTable. 1	Aggregate	–	○
udpLocalAddress	udpEntry. 1	IpAddress	R/0	○
udpLocalPort	udpEntry. 2	INTEGER	R/0	○

表 11-14 snmp グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	SUPPORT
snmpInPkts	snmp. 1	Counter	R/0	○
snmpOutPkts	snmp. 2	Counter	R/0	○
snmpInBadVersions	snmp. 3	Counter	R/0	○
snmpInBadCommunityNames	snmp. 4	Counter	R/0	○
snmpInBadCommunityUses	snmp. 5	Counter	R/0	○
snmpInASNParseErrs	snmp. 6	Counter	R/0	○
snmpInTooBigs	snmp. 8	Counter	R/0	○

11. イーサネットコントロール

snmpInNoSuchNames	snmp. 9	Counter	R/O	○
snmpInBadValues	snmp. 10	Counter	R/O	○
snmpInReadOnlys	snmp. 11	Counter	R/O	○
snmpInGenErrs	snmp. 12	Counter	R/O	○
snmpInTotalReqVars	snmp. 13	Counter	R/O	○
snmpInTotalSetVars	snmp. 14	Counter	R/O	○
snmpInGetRequests	snmp. 15	Counter	R/O	○
snmpInGetNexts	snmp. 16	Counter	R/O	○
snmpInSetRequests	snmp. 17	Counter	R/O	○
snmpInGetResponses	snmp. 18	Counter	R/O	○
snmpInTraps	snmp. 19	Counter	R/O	○
snmpOutTooBigs	snmp. 20	Counter	R/O	○
snmpOutNoSuchNames	snmp. 21	Counter	R/O	○
snmpOutBadValues	snmp. 22	Counter	R/O	○
snmpOutGenErrs	snmp. 24	Counter	R/O	○
snmpOutGetRequests	snmp. 25	Counter	R/O	○
snmpOutGetNexts	snmp. 26	Counter	R/O	○
snmpOutSetRequests	snmp. 27	Counter	R/O	○
snmpOutGetResponses	snmp. 28	Counter	R/O	○
snmpOutTraps	snmp. 29	Counter	R/O	○
snmpEnableAuthenTraps	snmp. 30	IpAddress	R/W	○

11.3.4 拡張 MIB

● 企業番号

リーダー電子の企業番号(Enterprise Number)は「20111」です。
`iso(1).org(3).dod(6).internet(1).private(4).enterprises(1).leader(20111)`

● 拡張 MIB ファイル

FTP を使用して、本体からダウンロードしてください。
 ファイル名は「lv7770.my」です。
 (例: GET LV7770.MY D:¥LV7770.MY)

● 拡張 MIB 構造

拡張 MIB 構造を以下に示します。各ユニットが実装されていない製品では、ユニット用の MIB は制御できません。

```

leader    OBJECT IDENTIFIER ::= { enterprises 20111 }
lv7770    OBJECT IDENTIFIER ::= { leader 26 }
lv7770ST1 OBJECT IDENTIFIER ::= { lv7770 1 }
basic     OBJECT IDENTIFIER ::= { lv7770ST1 1 }    <-- 基本操作
system    OBJECT IDENTIFIER ::= { lv7770ST1 2 }    <-- SYSTEM メニュー
wfm       OBJECT IDENTIFIER ::= { lv7770ST1 3 }    <-- WFM メニュー
vector    OBJECT IDENTIFIER ::= { lv7770ST1 4 }    <-- VECTOR メニュー
picture   OBJECT IDENTIFIER ::= { lv7770ST1 5 }    <-- PICTURE メニュー
status    OBJECT IDENTIFIER ::= { lv7770ST1 6 }    <-- STATUS メニュー
eye       OBJECT IDENTIFIER ::= { lv7770ST1 7 }    <-- EYE メニュー
audio     OBJECT IDENTIFIER ::= { lv7770ST1 8 }    <-- AUDIO メニュー
trap      OBJECT IDENTIFIER ::= { lv7770ST1 9 }    <-- Trap 情報
  
```

● ACCESS について

表中「ACCESS」の意味は以下のとおりです。

	表示	説明
ACCESS	R/O	SNMP マネージャから読み込み可能な情報
	R/W	SNMP マネージャから読み書きが可能な情報
	R/WO	SNMP マネージャから読み書きが可能な情報 (ただし、取得データは意味のない固定値)

表 11-15 I26basicTBL (1) グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I26basInputTBL	I26basicTBL. 1	Aggregate	-	-
I26basInputUnit	I26basInputTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = Sdi 2 = Analog Composite
I26basInputCh	I26basInputTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = A 2 = B 3 = AB
I26basInputSimul	I26basInputTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
I26basInputStream	I26basInputTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = Stream1 2 = Stream2
I26basExt	I26basicTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Ext 2 = Int
I26basDisplay	I26basicTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = Display1 2 = Display2 3 = Display3 4 = Display4
I26basMulti	I26basicTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
I26basMode	I26basicTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = WFM 2 = Vector 3 = Picture 4 = Audio 5 = Status 6 = Eye
I26basRecall	I26basicTBL. 6	INTEGER	R/WO	1~60
I26basFileTBL	I26basicTBL. 7	Aggregate	-	-
I26basFileMakeLog	I26basFileTBL. 1	INTEGER	R/WO	1 = Meke Log
I26basFileMakeDump	I26basFileTBL. 2	INTEGER	R/WO	1 = Make Dump
I26basFileMakeCapture	I26basFileTBL. 3	INTEGER	R/WO	1 = Make Capture
I26basFileMakeCapFrm	I26basFileTBL. 4	INTEGER	R/WO	1 = Make Cap Frm
I26basFileMakeCapDpx	I26basFileTBL. 5	INTEGER	R/WO	1 = Make Cap DPX
I26basFileMakeCapTif	I26basFileTBL. 6	INTEGER	R/WO	1 = Make Cap TIF
I26basFileMakeCapFrmB	I26basFileTBL. 7	INTEGER	R/WO	1 = Make Cap Frm SIMUL-B
I26basFileMakeCapDpxB	I26basFileTBL. 8	INTEGER	R/WO	1 = Make Cap DPX SIMUL-B
I26basFileMakeCapTifB	I26basFileTBL. 9	INTEGER	R/WO	1 = Make Cap TIF SIMUL-B
I26basFileMakeCapDpxS2	I26basFileTBL. 10	INTEGER	R/WO	1 = Make Cap DPX STREAM-2
I26basFileMakeCapTifS2	I26basFileTBL. 11	INTEGER	R/WO	1 = Make Cap TIF STREAM-2
I21basFileMakeLoudness	I21basFileTBL. 12	INTEGER	R/WO	1 = Make Loudness Log
I26basCaptureTBL	I26basicTBL. 8	Aggregate	-	-
I26basCaptureTrigger	I26basCaptureTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = Manual 2 = Error

表 11-16 I26systemTBL (2) グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I26sysFormatTBL	I26systemTBL. 1	Aggregate	-	-
I26sysFormatManualSelect	I26sysFormatTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = Auto 2 = Manual
I26sysFormatIPSF	I26sysFormatTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Interlace 2 = Segmented Frame
I26sysFormatLinkFormat	I26sysFormatTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = HD 2 = SD 3 = HD-Dual 4 = 3G-A 5 = 3G-B 6 = 3G-B 2Mapping
I26sysFormatColorSystem	I26sysFormatTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = YCbCr-422 2 = YCbCr-444 3 = RGB-444
I26sysFormatPixelDepth	I26sysFormatTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = 10Bit 2 = 12Bit
I26sysFormatScanning	I26sysFormatTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = 1080p 2 = 1080i 3 = 1080psf 4 = 720p 5 = 525i 6 = 625i
I26sysFormatActiveSample	I26sysFormatTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = 1920 2 = 2048
I26sysFormatFrameRate	I26sysFormatTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = 60Hz 2 = 59.94Hz 3 = 50Hz 4 = 30Hz 5 = 29.97Hz 6 = 25Hz 7 = 24Hz 8 = 23.98Hz
I26sysFormatInputA	I26sysFormatTBL. 9	INTEGER	R/O	Input A Format
I26sysFormatInputB	I26sysFormatTBL. 10	INTEGER	R/O	Input B Format
I26sysRearTBL	I26systemTBL. 2	Aggregate	-	-
I26sysRearSdiOutput	I26sysRearTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = AB 2 = A
I26sysRearAudioBncGrpA	I26sysRearTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Input 2 = Output
I26sysRearAudioBncGrpB	I26sysRearTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = Input 2 = Output
I26sysRearAudioBncGrpAOutSel	I26sysRearTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = Display Source 2 = SDI 1-8
I26sysRearAudioBncGrpBOutSel	I26sysRearTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = Display Source

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				2 = SDI 9-16
l26sysRearAnalogAudio	l26sysRearTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = Input 2 = Output
l26sysRearDvi_IAspect	l26sysRearTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = 4:3 2 = 16:9 3 = 16:10
l26sysRearPicMoniOutColor	l26sysRearTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = Auto 2 = YCbCr-422 3 = YCbCr-444 4 = RGB-444
l26sysRearPicMoniOutPixelDepth	l26sysRearTBL. 9	INTEGER	R/W	1 = Auto 2 = 8Bit 3 = 10Bit 4 = 12Bit
l26sysRearPicMoniOut2Mapping	l26sysRearTBL. 10	INTEGER	R/W	1 = Stream1 2 = Stream2
l26sysGeneralTBL	l26systemTBL. 3	Aggregate	-	-
l26sysGeneralMultiDisplay	l26sysGeneralTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = 2Multi 2 = 4Multi
l26sysGeneralCaptureMode	l26sysGeneralTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Screen 2 = Video-Frame
l26sysGeneralInfoFormat	l26sysGeneralTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26sysGeneralInfoDate	l26sysGeneralTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = YMD 3 = MDY 4 = DMY
l26sysGeneralInfoTime	l26sysGeneralTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = Real 3 = LTC 4 = VITC 5 = D-VITC
l26sysGeneralInfoColorSystem	l26sysGeneralTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26sysGeneralInfoInput	l26sysGeneralTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26sysGeneralReserved1	l26sysGeneralTBL. 8	-	-	-
l26sysGeneralReserved2	l26sysGeneralTBL. 9	-	-	-
l26sysGeneralMenuAutoOff	l26sysGeneralTBL. 10	DisplayString	R/W	1~60
l26sysGeneralMenuAutoOffCtr	l26sysGeneralTBL. 11	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26sysGeneralMemStrMode	l26sysGeneralTBL. 13	INTEGER	R/W	1 = Loudness 2Hour 2 = Loudness 32Hour
l26sysEthernetTBL	l26systemTBL. 4	Aggregate	-	-
l26sysEthernetSelect	l26sysEthernetTBL. 1	INTEGER	R/O	1 = DHCP 2 = IP

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l26sysEthernetAddress	l26sysEthernetTBL. 2	DisplayString	R/O	IP Address
l26sysEthernetSubnet	l26sysEthernetTBL. 3	DisplayString	R/O	Subnet Mask
l26sysEthernetGateway	l26sysEthernetTBL. 4	DisplayString	R/O	Default Gateway
l26sysEthernetSntpSelect	l26sysEthernetTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26sysEthernetSntpAdr1	l26sysEthernetTBL. 6	INTEGER	R/W	0~255 (1st Seg.)
l26sysEthernetSntpAdr2	l26sysEthernetTBL. 7	INTEGER	R/W	0~255 (2nd Seg.)
l26sysEthernetSntpAdr3	l26sysEthernetTBL. 8	INTEGER	R/W	0~255 (3rd Srg.)
l26sysEthernetSntpAdr4	l26sysEthernetTBL. 9	INTEGER	R/W	0~255 (4th Seg.)
l26sysEthernetSntpAddress	l26sysEthernetTBL. 10	DisplayString	R/O	SNTP Server Address
l26sysEthernetSntpTzPole	l26sysEthernetTBL. 11	INTEGER	R/W	1 = - 2 = +
l26sysEthernetSntpTzHour	l26sysEthernetTBL. 12	INTEGER	R/W	0~23
l26sysEthernetSntpTzMinute	l26sysEthernetTBL. 13	INTEGER	R/W	0~59
l26sysEthernetSntpTimezone	l26sysEthernetTBL. 14	DisplayString	R/O	SNTP TimeZone Adjust
l26sysEthernetSntpSet	l26sysEthernetTBL. 15	INTEGER	R/WO	1 = SNTP Reset
l26sysEthernetTelnetSelect	l26sysEthernetTBL. 16	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On 3 = LV7770-01
l26sysEthernetFtpSelect	l26sysEthernetTBL. 17	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26sysEthernetHttpSelect	l26sysEthernetTBL. 18	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26sysEthernetMac	l26sysEthernetTBL. 19	DisplayString	R/O	MAC Address
l26sysRemoteTBL	l26systemTBL. 5	Aggregate	-	-
l26sysRemoteMode	l26sysRemoteTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = Bit 2 = Binary
l26sysRemoteSelect	l26sysRemoteTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Recall 2 = Recall/Loudness
l26sysRemoteAlarmPolarity	l26sysRemoteTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = Positive 2 = Negative
l26sysRemoteAlarmSelect	l26sysRemoteTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = A 2 = B 3 = AB
l26sysOtherTBL	l26systemTBL. 6	Aggregate	-	-
l26sysOtherDateYear	l26sysOtherTBL. 1	INTEGER	R/W	1970~2099
l26sysOtherDateMonth	l26sysOtherTBL. 2	INTEGER	R/W	1~12
l26sysOtherDateDate	l26sysOtherTBL. 3	INTEGER	R/W	1~31
l26sysOtherDateHour	l26sysOtherTBL. 4	INTEGER	R/W	0~23
l26sysOtherDateMinute	l26sysOtherTBL. 5	INTEGER	R/W	0~59
l26sysOtherDateSecond	l26sysOtherTBL. 6	INTEGER	R/W	0~59
l26sysOtherDateTimeSet	l26sysOtherTBL. 7	INTEGER	R/WO	1 = Date & Time Set
l26sysOtherDateTime	l26sysOtherTBL. 8	DisplayString	R/O	Date & Time
l26sysOtherFirmware	l26sysOtherTBL. 9	DisplayString	R/O	Firmware Version
l26sysOtherBoardSdi	l26sysOtherTBL. 10	INTEGER	R/O	1 = なし

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				2 = あり
l26sys0therBoardEye	l26sys0therTBL. 11	INTEGER	R/O	1 = なし 2 = あり
l26sys0therBoardCmp	l26sys0therTBL. 12	INTEGER	R/O	1 = なし 2 = あり
l26sys0therReserved1	l26sys0therTBL. 13	-	-	-
l26sys0therBoardAudAna	l26sys0therTBL. 14	INTEGER	R/O	1 = なし 2 = あり
l26sys0therBoardAudOp70	l26sys0therTBL. 15	INTEGER	R/O	1 = なし 2 = あり
l26sys0therShortcut	l26sys0therTBL. 16	INTEGER	R/W	1 = Direct 2 = Volume 3 = Capture & Write 4 = Inten 5 = Menu Off
l26sys0therReserved2	l26sys0therTBL. 17	-	-	-
l26sys0therReserved3	l26sys0therTBL. 18	-	-	-
l26sys0therInit	l26sys0therTBL. 19	INTEGER	R/WO	1 = Initialize
l26sys0therKey lock	l26sys0therTBL. 20	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26sys0therReply	l26sys0therTBL. 21	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On

表 11-17 l26wfmTBL (3) グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l26wfmDispTBL	l26wfmTBL. 1	Aggregate	-	-
l26wfmDispCh1	l26wfmDispTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26wfmDispCh2	l26wfmDispTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26wfmDispCh3	l26wfmDispTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26wfmDispOvlay	l26wfmDispTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26wfmIntenTBL	l26wfmTBL. 2	Aggregate	-	-
l26wfmIntenWfm	l26wfmIntenTBL. 1	INTEGER	R/W	-128~127
l26wfmColor	l26wfmIntenTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = White 2 = Yellow 3 = Cyan 4 = Green 5 = Magenta 6 = Red 7 = Blue 8 = Multi
l26wfmColor2MapS1	l26wfmIntenTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = White

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				2 = Yellow 3 = Cyan 4 = Green 5 = Magenta 6 = Red 7 = Blue 8 = Multi
l26wfmColor2MapS2	l26wfmIntenTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = White 2 = Yellow 3 = Cyan 4 = Green 5 = Magenta 6 = Red 7 = Blue 8 = Multi
l26wfmIntenScale	l26wfmIntenTBL. 5	INTEGER	R/W	-8~7
l26wfmScaleTBL	l26wfmTBL. 3	Aggregate	-	-
l26wfmScaleColor	l26wfmScaleTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = White 2 = Yellow 3 = Cyan 4 = Green 5 = Magenta 6 = Red 7 = Blue
l26wfmScaleUnit	l26wfmScaleTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = HDV-SDP 2 = HDV-SDV 3 = HDP-SDP 4 = 150% 5 = 1023 6 = 3FF 7 = 1023_255
l26wfmScaleColor75per	l26wfmScaleTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26wfmGainTBL	l26wfmTBL. 4	Aggregate	-	-
l26wfmGainVar	l26wfmGainTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = Cal 2 = Var
l26wfmGainVal	l26wfmGainTBL. 2	DisplayString	R/W	0.200~2.000
l26wfmGainMag	l26wfmGainTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = X1 2 = X5
l26wfmFilterTBL	l26wfmTBL. 5	Aggregate	-	-
l26wfmFilterNormal	l26wfmFilterTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = Flat 2 = Lowpass
l26wfmFilterComposite	l26wfmFilterTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Flat 2 = Lum 2 = Flat-Lum 3 = Lum-Chroma

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I26wfmSweepTBL	I26wfmTBL. 6	Aggregate	–	–
I26wfmSweepSweep	I26wfmSweepTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = H 2 = V
I26wfmSweepHSweep	I26wfmSweepTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = 1H 2 = 2H
I26wfmSweepVSweep	I26wfmSweepTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = 1V 2 = 2V
I26wfmSweepHMag	I26wfmSweepTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = X1 2 = X10 3 = X20 4 = Active 5 = Blank
I26wfmSweepVMag	I26wfmSweepTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = X1 2 = X20 3 = X40
I26wfmSweepField	I26wfmSweepTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = Field1 2 = Field2
I26wfmBlankingTBL	I26wfmTBL. 7	Aggregate	–	–
I26wfmBlankingNormal	I26wfmBlankingTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = Remove 2 = H-View 3 = V-View 4 = ALL-View
I26wfmBlankingComposite	I26wfmBlankingTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Remove 2 = V-View
I26wfmLineSelTBL	I26wfmTBL. 8	Aggregate	–	–
I26wfmLineSelect	I26wfmLineSelTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = On 2 = A-Ch 3 = B-Ch 4 = Both 5 = 3G-B 2Map Stream1 6 = 3G-B 2Map Stream2 7 = Off 8 = CINELITE
I26wfmLineField	I26wfmLineSelTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Field1 2 = Field2 3 = Frame
I26wfmLineNumber	I26wfmLineSelTBL. 3	INTEGER	R/W	1~1125
I26wfmDisplayTBL	I26wfmTBL. 9	Aggregate	–	–
I26wfmDisplaySimul	I26wfmDisplayTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = Mix 2 = Align
I26wfmDisplay2Map	I26wfmDisplayTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Stream1 2 = Stream2 3 = Mix 4 = Align
I26wfmDisplayThumbnailAudio	I26wfmDisplayTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l26wfmDisplayThumbnailPicture	l26wfmDisplayTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26wfmDisplayThumbHisto	l26wfmDisplayTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26wfmDisplayThumbHistoForm	l26wfmDisplayTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = Luma 2 = Align 3 = Mix
l26wfmDisplayThumbHistoMixY	l26wfmDisplayTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26wfmDisplayThumbHistoMixR	l26wfmDisplayTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26wfmDisplayThumbHistoMixG	l26wfmDisplayTBL. 9	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26wfmDisplayThumbHistoMixB	l26wfmDisplayTBL. 10	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26wfmMatrixTBL	l26wfmTBL. 10	Aggregate	--	--
l26wfmMatrix	l26wfmMatrixTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = YCbCr 2 = GBR 3 = RGB 4 = Composite
l26wfmMatrixYgbr	l26wfmMatrixTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26wfmMatrixYrgb	l26wfmMatrixTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26wfmMatrixCompositeFormat	l26wfmMatrixTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = Auto 2 = NTSC 3 = PAL
l26wfmMatrixSetup	l26wfmMatrixTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = 0% 2 = 7.5%

表 11-18 l26vectorTBL (4) グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l26vecIntenTBL	l26vectorTBL. 1	Aggregate	-	-
l26vecIntenVector	l26vecIntenTBL. 1	INTEGER	R/W	-128~127
l26vecColor	l26vecIntenTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = White 2 = Yellow 3 = Cyan 4 = Green 5 = Magenta 6 = Red 7 = Blue
l26vecColor2MapS1	l26vecIntenTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = White 2 = Yellow 3 = Cyan 4 = Green

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				5 = Magenta 6 = Red 7 = Blue
l26vecColor2MapS2	l26vecIntentTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = White 2 = Yellow 3 = Cyan 4 = Green 5 = Magenta 6 = Red 7 = Blue
l26vecIntenScale	l26vecIntentTBL. 5	INTEGER	R/W	-8~7
l26vecScaleTBL	l26vectorTBL. 2	Aggregate	-	-
l26vecScaleColor	l26vecScaleTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = White 2 = Yellow 3 = Cyan 4 = Green 5 = Magenta 6 = Red 7 = Blue
l26vecScaleIq	l26vecScaleTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26vecScaleVec	l26vecScaleTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = Auto 2 = BT-601 3 = BT-709
l26vecGainTBL	l26vectorTBL. 3	Aggregate	-	-
l26vecGainMag	l26vecGainTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = X1 2 = X5 3 = IQ
l26vecGainVal	l26vecGainTBL. 2	DisplayString	R/W	0.200~2.000
l26vecGainVar	l26vecGainTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = CAL 2 = VAR
l26vecLineSelTBL	l26vectorTBL. 4	Aggregate	-	-
l26vecLineSelect	l26vecLineSelTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = On 2 = A-Ch 3 = B-Ch 4 = Both 5 = 3G-B 2Map Stream1 6 = 3G-B 2Map Stream2 7 = Off 8 = CINELITE
l26vecLineField	l26vecLineSelTBL. 2	INTEGER INTEGER	R/W	1 = Field1 2 = Field2 3 = Frame
l26vecLineNumber	l26vecLineSelTBL. 3	INTEGER	R/W	1~1125
l26vecMode	l26vectorTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = Vector 2 = 5Bar

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l26vec5BarTBL	l26vectorTBL. 6	Aggregate	–	–
l26vec5BarScale	l26vec5BarTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = % 2 = mV
l26vec5BarSeaqueence	l26vec5BarTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = GBR 2 = RGB
l26vec5BarYData	l26vec5BarTBL. 3	DisplayString	R/O	Y 最大値, Y 最小値
l26vec5BarGData	l26vec5BarTBL. 4	DisplayString	R/O	G 最大値, G 最小値
l26vec5BarBData	l26vec5BarTBL. 5	DisplayString	R/O	B 最大値, B 最小値
l26vec5BarRData	l26vec5BarTBL. 6	DisplayString	R/O	R 最大値, R 最小値
l26vec5BarCmpData	l26vec5BarTBL. 7	DisplayString	R/O	CMP 最大値, CMP 最小値
l26vecDisplayTBL	l26vectorTBL. 7	Aggregate	–	–
l26vecDisplaySimul	l26vecDisplayTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = Mix 2 = Tile
l26vecDisplay2Map	l26vecDisplayTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Stream1 2 = Stream2 3 = Mix 4 = Tile
l26vecDisplayThumbAudio	l26vecDisplayTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26vecDisplayThumbPicture	l26vecDisplayTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26vecDisplayThumbHisto	l26vecDisplayTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26vecDisplayThumbHistoForm	l26vecDisplayTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = Luma 2 = Align 3 = Mix
l26vecDisplayThumbHistoMixY	l26vecDisplayTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26vecDisplayThumbHistoMixR	l26vecDisplayTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26vecDisplayThumbHistoMixG	l26vecDisplayTBL. 9	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26vecDisplayThumbHistoMixB	l26vecDisplayTBL. 10	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26vecMatixTBL	l26vectorTBL. 8	Aggregate	–	–
l26vecMatrix	l26vecMatixTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = Component 2 = Composite
l26vecMatrixCompositeFormat	l26vecMatixTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Auto 2 = NTSC 3 = PAL
l26vecMatrixCompositeSetup	l26vecMatixTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = 0% 2 = 7.5%
l26vecMatrixColorbar	l26vecMatixTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = 100% 2 = 75%
l26vecAnalogTBL	l26vectorTBL. 9	Aggregate	–	–

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l26vecAnalogPhase	l26vecAnalogTBL. 1	DisplayString	R/W	0. 0～359. 9
l26vecAnalogNtscDisplay	l26vecAnalogTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26vecSch	l26vecAnalogTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26vecSchData	l26vecAnalogTBL. 4	DisplayString	R/O	SCH
l26vecPosH	l26vecAnalogTBL. 5	INTEGER	R/W	-130～+130
l26vecPosV	l26vecAnalogTBL. 6	INTEGER	R/W	-130～+130
l21vecMarkerTBL	l21vectorTBL. 10	Aggregate	-	-
l21vecMarker	l21vecMarkerTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off

表 11-19 l26pictureTBL (5) グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l26picMonoColor	l26pictureTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = Mono 2 = Color
l26picChromaUp	l26pictureTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Normal 2 = Up
l26picBrightness	l26pictureTBL. 3	DisplayString	R/W	-50. 0～50. 0
l26picContrast	l26pictureTBL. 4	DisplayString	R/W	0. 0～200. 0
l26picGainTBL	l26pictureTBL. 5	Aggregate	-	-
l26picGainRed	l26picGainTBL. 1	DisplayString	R/W	0. 0～200. 0
l26picGainGreen	l26picGainTBL. 2	DisplayString	R/W	0. 0～200. 0
l26picGainBlue	l26picGainTBL. 3	DisplayString	R/W	0. 0～200. 0
l26picGainChroma	l26picGainTBL. 4	DisplayString	R/W	0. 0～200. 0
l26picBiasTBL	l26pictureTBL. 6	Aggregate	-	-
l26picBiasRed	l26picBiasTBL. 1	DisplayString	R/W	-50. 0～50. 0
l26picBiasGreen	l26picBiasTBL. 2	DisplayString	R/W	-50. 0～50. 0
l26picBiasBlue	l26picBiasTBL. 3	DisplayString	R/W	-50. 0～50. 0
l26picMarkerTBL	l26pictureTBL. 7	Aggregate	-	-
l26picMarkerFrame	l26picMarkerTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26picMarkerCenter	l26picMarkerTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26picMarkerAspect	l26picMarkerTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = 14:9 3 = 13:9 4 = 16:9 5 = 4:3 6 = 2. 39:1 7 = AFD
l26picMarkerAspectShadow	l26picMarkerTBL. 4	INTEGER	R/W	0～100
l26picMarkerSafetyAction	l26picMarkerTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = ARIB 2 = SMPTE 3 = User1

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				4 = Off
l26picMarkerSafetyTitle	l26picMarkerTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = ARIB 2 = SMPTE 3 = User2 4 = Off
l26picMarkerSafetyUser1W	l26picMarkerTBL. 7	INTEGER	R/W	0~100
l26picMarkerSafetyUser1H	l26picMarkerTBL. 8	INTEGER	R/W	0~100
l26picMarkerSafetyUser2W	l26picMarkerTBL. 9	INTEGER	R/W	0~100
l26picMarkerSafetyUser2H	l26picMarkerTBL. 10	INTEGER	R/W	0~100
l26picLineSelTBL	l26pictureTBL. 8	Aggregate	-	-
l26picLineSelect	l26picLineSelTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = On 2 = A-Ch 3 = B-Ch 4 = Both 5 = 3G-B 2Map Sream1 6 = 3G-B 2Map Stream2 7= Off
l26picLineField	l26picLineSelTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Field1 2 = Field2 3 = Frame
l26picLineNumber	l26picLineSelTBL. 3	INTEGER	R/W	1~1125
l26picCineliteTBL	l26pictureTBL. 9	Aggregate	-	-
l26picCineliteMode	l26picCineliteTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = fSTOP 3 = % 4 = CINEZONE
l26picCineliteFdFunc	l26picCineliteTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Line 2 = Sample
l26picCineliteMeasPos	l26picCineliteTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = p1 2 = p2 3 = p3
l26picCineliteMeasSize	l26picCineliteTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = 1x1 2 = 3x3 3 = 9x9
l26picCineliteLine	l26picCineliteTBL. 5	INTEGER	R/W	1~1125
l26picCineliteSample	l26picCineliteTBL. 6	INTEGER	R/W	0~2749
l26picCineliteFstop18pRefset	l26picCineliteTBL. 7	INTEGER	R/WO	1 = Set
l26picCineliteFstopGammaSel	l26picCineliteTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = 0. 45 2 = User1 3 = User2 4 = User3 5 = User-A 6 = User-B 7 = User-C 8 = User-D 9 = User-E

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l26picCinelitePercentUnit	l26picCineliteTBL. 9	INTEGER	R/W	1 = Y% 2 = RGB% 3 = RGB255
l26picCineliteData	l26picCineliteTBL. 10	DisplayString	R/O	CINELITE Data
l26picCineliteCinezoneForm	l26picCineliteTBL. 11	INTEGER	R/W	1 = Gradate 2 = Step 3 = Search
l26picCineliteCinezoneUpper	l26picCineliteTBL. 12	DisplayString	R/W	-6.3~109.4
l26picCineliteCinezoneLower	l26picCineliteTBL. 13	DisplayString	R/W	-7.3~108.4
l26picCineliteCinezoneLevel	l26picCineliteTBL. 14	DisplayString	R/W	-7.3~109.4
l21picCineliteAdvance	l21picCineliteTBL. 15	INTEGER	R/W	1 = OFF 2 = P-V 3 = P-W 4 = P-V-W
l26picDisplayTBL	l26pictureTBL. 10	Aggregate	-	-
l26picDisplaySize	l26picDisplayTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = Fit 2 = Real 3 = X2 4 = Full Frame
l26picDisplayGamutErr	l26picDisplayTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = White 3 = Red 4 = Mesh
l26picDisplayMode	l26picDisplayTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = 2D 2 = 3D Asist
l26picDisplaySimulDisp	l26picDisplayTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = Mix 2 = Tile
l26picDisplay2MapDisp	l26picDisplayTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = Stream1 2 = Stream2 3 = Mix 4 = Tile
l26picDisplayThumbAudio	l26picDisplayTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26picDisplayThumbWfm	l26picDisplayTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26picDisplayThumbHisto	l26picDisplayTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26picDisplayThumbHistoForm	l26picDisplayTBL. 9	INTEGER	R/W	1 = Luma 2 = Align 3 = Mix
l26picDisplayThumbHistoMixY	l26picDisplayTBL. 10	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26picDisplayThumbHistoMixR	l26picDisplayTBL. 11	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26picDisplayThumbHistoMixG	l26picDisplayTBL. 12	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l26picDisplayThumbHistoMixB	l26picDisplayTBL. 13	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26picDisplaySd	l26picDisplayTBL. 14	INTEGER	R/W	1 = display-4-3 2 = display-16-9
l26picSImpsTBL	l26pictureTBL. 11	Aggregate	-	-
l26picSImpsSmpte	l26picSImpsTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26picSImpsFormat	l26picSImpsTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = FMT-608-708 2 = FMT-608-608 3 = FMT-VBI 4 = FMT-708
l26picSImpsLanguage608	l26picSImpsTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = CC1 2 = CC2 3 = CC3 4 = CC4 5 = Text1 6 = Text2 7 = Text3 8 = Text4
l26picSImpsService708	l26picSImpsTBL. 4	INTEGER	R/W	1~63

表 11-20 l26statusTBL (6) グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l26status	l26statusTBL. 1	INTEGER	R/WO	1 = Error Display
l26staDataTBL	l26statusTBL. 2	Aggregate	-	-
l26staSignalData	l26staDataTBL. 1	INTEGER	R/O	Signal Data
l26staLinkData	l26staDataTBL. 2	INTEGER	R/O	Link Data
l26staFormatData	l26staDataTBL. 3	DisplayString	R/O	Format Data
l26staEmbChData	l26staDataTBL. 4	DisplayString	R/O	Audio Data
l26staLogTBL	l26statusTBL. 3	Aggregate	-	-
l26staLog	l26staLogTBL. 1	INTEGER	R/WO	1 = Log Display
l26staLogLog	l26staLogTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Start 2 = Stop
l26staLogClear	l26staLogTBL. 3	INTEGER	R/WO	1 = Log Clear
l26staLogMode	l26staLogTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = Over-Write 2 = Stop
l26staDumpTBL	l26statusTBL. 4	Aggregate	-	-
l26staDump	l26staDumpTBL. 1	INTEGER	R/WO	1 = Dump Display
l26staDumpMode	l26staDumpTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Run 2 = Hold
l26staDumpDisplay	l26staDumpTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = Serial 2 = Component 3 = Binary 4 = Link-A 5 = Link-B

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				6 = Link-AB 7 = Stream1 8 = Stream2 9 = Stream12 10 = S1 Serial 11 = S1 Component 12 = S1 Binary 13 = S2 Serial 14 = S2 Component 15 = S2 Binary
l26staDumpJump	l26staDumpTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = EAV 2 = SAV
l26staDumpLineNumber	l26staDumpTBL. 5	INTEGER	R/W	1~1125
l26staDumpSample	l26staDumpTBL. 6	INTEGER	R/W	0~2749
l26staExtrefTBL	l26statusTBL. 5	Aggregate	-	-
l26staExtref	l26staExtrefTBL. 1	INTEGER	R/WO	1 = ExtRef Display
l26staExtrefUserref	l26staExtrefTBL. 2	INTEGER	R/WO	1 = UserRef
l26staExtrefDefault	l26staExtrefTBL. 3	INTEGER	R/WO	1 = Default
l26staExtrefSelect	l26staExtrefTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = Ext 2 = Ch-A 3 = Link-A
l26staExtrefRefData	l26staExtrefTBL. 5	INTEGER	R/O	1 = UserRef 2 = Default
l26staExtrefStatData	l26staExtrefTBL. 6	INTEGER	R/O	1 = Int 2 = Ch-A 3 = Link-A 4 = HD 5 = BB 6 = No Signal
l26staExtrefHTimeData	l26staExtrefTBL. 7	DisplayString	R/O	H Phase [us]
l26staExtrefHPixData	l26staExtrefTBL. 8	DisplayString	R/O	H Phase [pixel/dot]
l26staExtrefVLinetData	l26staExtrefTBL. 9	DisplayString	R/O	V Phase
l26staExtrefTotalData	l26staExtrefTBL. 10	DisplayString	R/O	Total Phase
l26staAvPhaseTBL	l26statusTBL. 6	Aggregate	-	-
l26staAvPhase	l26staAvPhaseTBL. 1	INTEGER	R/WO	1 = AV Phase Display
l26staAvPhaseScale	l26staAvPhaseTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = 50ms 2 = 100ms 3 = 500ms 4 = 1000ms 5 = 2500ms
l26staAvPhaseCh1Data	l26staAvPhaseTBL. 3	DisplayString	R/O	Ch1 Data
l26staAvPhaseCh2Data	l26staAvPhaseTBL. 4	DisplayString	R/O	Ch2 Data
l26staAvPhaseCh3Data	l26staAvPhaseTBL. 5	DisplayString	R/O	Ch3 Data
l26staAvPhaseCh4Data	l26staAvPhaseTBL. 6	DisplayString	R/O	Ch4 Data

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l26staAvPhaseCh5Data	l26staAvPhaseTBL. 7	DisplayString	R/O	Ch5 Data
l26staAvPhaseCh6Data	l26staAvPhaseTBL. 8	DisplayString	R/O	Ch6 Data
l26staAvPhaseCh7Data	l26staAvPhaseTBL. 9	DisplayString	R/O	Ch7 Data
l26staAvPhaseCh8Data	l26staAvPhaseTBL. 10	DisplayString	R/O	Ch8 Data
l26staAvPhaseThumbnailAudio	l26staAvPhaseTBL. 11	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26staAvPhaseThumbnailPicture	l26staAvPhaseTBL. 12	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26staAvPhaseLine	l26staAvPhaseTBL. 14	DisplayString	R/W	0~100
l26staAvPhaseLeft	l26staAvPhaseTBL. 15	DisplayString	R/W	0~99
l26staAvPhaseRight	l26staAvPhaseTBL. 16	DisplayString	R/W	0~99
l26staAvPhaseVideo	l26staAvPhaseTBL. 17	DisplayString	R/W	25~100
l26staAvPhaseAudio	l26staAvPhaseTBL. 18	DisplayString	R/W	-30~0
l26staAvPhaseMesGate	l26staAvPhaseTBL. 20	INTEGER	R/W	1 = ON 2 = OFF
l26staAvPhaseMesGateTime	l26staAvPhaseTBL. 21	DisplayString	R/W	100~1500
l26staAncpacketTBL	l26statusTBL. 7	Aggregate	-	-
l26staAncpacket	l26staAncpacketTBL. 1	INTEGER	R/WO	1 = ANC Packet Display
l26staAncpacketAudioCtrlData	l26staAncpacketTBL. 2	INTEGER	R/O	1 = Detect 2 = Missing 3 = 測定不能
l26staAncpacketEdhData	l26staAncpacketTBL. 3	INTEGER	R/O	1 = Detect 2 = Missing 3 = 測定不能
l26staAncpacketLtcData	l26staAncpacketTBL. 4	INTEGER	R/O	1 = Detect 2 = Missing 3 = 測定不能
l26staAncpacketVltcData	l26staAncpacketTBL. 5	INTEGER	R/O	1 = Detect 2 = Missing 3 = 測定不能
l26staAncpacketPayload1Data	l26staAncpacketTBL. 6	INTEGER	R/O	1 = Detect 2 = Missing 3 = 測定不能
l26staAncpacketPayload2Data	l26staAncpacketTBL. 7	INTEGER	R/O	1 = Detect 2 = Missing 3 = 測定不能
l26staAncpacketEia708_708Data	l26staAncpacketTBL. 8	INTEGER	R/O	1 = Detect 2 = Missing 3 = 測定不能
l26staAncpacketEia708_608Data	l26staAncpacketTBL. 9	INTEGER	R/O	1 = Detect 2 = Missing 3 = 測定不能
l26staAncpacketEia608Data	l26staAncpacketTBL. 10	INTEGER	R/O	1 = Detect 2 = Missing

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				3 = 測定不能
l26staAncpacketProgramData	l26staAncpacketTBL. 11	INTEGER	R/O	1 = Detect 2 = Missing 3 = 測定不能
l26staAncpacketDataBroadcastData	l26staAncpacketTBL. 12	INTEGER	R/O	1 = Detect 2 = Missing 3 = 測定不能
l26staAncpacketVbiData	l26staAncpacketTBL. 13	INTEGER	R/O	1 = Detect 2 = Missing 3 = 測定不能
l26staAncpacketAfdData	l26staAncpacketTBL. 14	INTEGER	R/O	1 = Detect 2 = Missing 3 = 測定不能
l26staAncpacketJpnCc1Data	l26staAncpacketTBL. 15	INTEGER	R/O	1 = Detect 2 = Missing 3 = 測定不能
l26staAncpacketJpnCc2Data	l26staAncpacketTBL. 16	INTEGER	R/O	1 = Detect 2 = Missing 3 = 測定不能
l26staAncpacketJpnCc3Data	l26staAncpacketTBL. 17	INTEGER	R/O	1 = Detect 2 = Missing 3 = 測定不能
l26staAncpacketNetQData	l26staAncpacketTBL. 18	INTEGER	R/O	1 = Detect 2 = Missing 3 = 測定不能
l26staAncpacketTriggerData	l26staAncpacketTBL. 19	INTEGER	R/O	1 = Detect 2 = Missing 3 = 測定不能
l26staAncpacketUser1Data	l26staAncpacketTBL. 20	INTEGER	R/O	1 = Detect 2 = Missing 3 = 測定不能
l26staAncpacketUser2Data	l26staAncpacketTBL. 21	INTEGER	R/O	1 = Detect 2 = Missing 3 = 測定不能
l26staAncPktTBL	l26statusTBL. 8	Aggregate	-	-
l26staAncPktPayloadId	l26staAncPktTBL. 1	INTEGER	R/WO	1 = ANC Payload ID Display
l26staAncPktPayloadIdStream	l26staAncPktTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Stream1 2 = Stream2
l26staAncPktPayloadIdLink	l26staAncPktTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = Link-A 2 = Link-B
l26staAncPktPayloadIdData	l26staAncPktTBL. 4	DisplayString	R/O	Payload ID
l26staAncPktAudioCtrl	l26staAncPktTBL. 5	INTEGER	R/WO	1 = ANC Audio Ctrl Display
l26staAncPktAudioCtrlDisplay	l26staAncPktTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = Text 2 = Dump

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l26staAncPktAudioCtrlMode	l26staAncPktTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = Hex 2 = Binary
l26staAncPktAudioCtrlGroup	l26staAncPktTBL. 8	INTEGER	R/W	1~4
l26staAncPktAudioCtrlStream	l26staAncPktTBL. 9	INTEGER	R/W	1 = Stream1 2 = Stream2
l26staAncPktArbNetq	l26staAncPktTBL. 10	INTEGER	R/WO	1 = ANC Net-Q Display
l26staAncPktArbNetqBitQ1	l26staAncPktTBL. 11	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktArbNetqBitQ2	l26staAncPktTBL. 12	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktArbNetqBitQ3	l26staAncPktTBL. 13	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktArbNetqBitQ4	l26staAncPktTBL. 14	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktArbNetqBitQ5	l26staAncPktTBL. 15	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktArbNetqBitQ6	l26staAncPktTBL. 16	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktArbNetqBitQ7	l26staAncPktTBL. 17	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktArbNetqBitQ8	l26staAncPktTBL. 18	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktArbNetqBitQ9	l26staAncPktTBL. 19	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktArbNetqBitQ10	l26staAncPktTBL. 20	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktArbNetqBitQ11	l26staAncPktTBL. 21	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktArbNetqBitQ12	l26staAncPktTBL. 22	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktArbNetqBitQ13	l26staAncPktTBL. 23	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktArbNetqBitQ14	l26staAncPktTBL. 24	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktArbNetqBitQ15	l26staAncPktTBL. 25	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktArbNetqBitQ16	l26staAncPktTBL. 26	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktArbNetqBitQ17	l26staAncPktTBL. 27	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktArbNetqBitQ18	l26staAncPktTBL. 28	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktArbNetqBitQ19	l26staAncPktTBL. 29	INTEGER	R/W	1 = On

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitQ20	l26staAncPktTBL. 30	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitQ21	l26staAncPktTBL. 31	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitQ22	l26staAncPktTBL. 32	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitQ23	l26staAncPktTBL. 33	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitQ24	l26staAncPktTBL. 34	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitQ25	l26staAncPktTBL. 35	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitQ26	l26staAncPktTBL. 36	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitQ27	l26staAncPktTBL. 37	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitQ28	l26staAncPktTBL. 38	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitQ29	l26staAncPktTBL. 39	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitQ30	l26staAncPktTBL. 40	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitQ31	l26staAncPktTBL. 41	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitQ32	l26staAncPktTBL. 42	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitS1	l26staAncPktTBL. 43	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitS2	l26staAncPktTBL. 44	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitS3	l26staAncPktTBL. 45	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitS4	l26staAncPktTBL. 46	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitS5	l26staAncPktTBL. 47	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitS6	l26staAncPktTBL. 48	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitS7	l26staAncPktTBL. 49	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitS8	l26staAncPktTBL. 50	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitS9	l26staAncPktTBL. 51	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l26staAncPktAr ibNetqBitS10	l26staAncPktTBL. 52	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitS11	l26staAncPktTBL. 53	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitS12	l26staAncPktTBL. 54	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitS13	l26staAncPktTBL. 55	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitS14	l26staAncPktTBL. 56	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitS15	l26staAncPktTBL. 57	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqBitS16	l26staAncPktTBL. 58	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staAncPktAr ibNetqStationData	l26staAncPktTBL. 59	DisplayString	R/O	Station Code
l26staAncPktAr ibNetqVCurrData	l26staAncPktTBL. 60	DisplayString	R/O	Video Current
l26staAncPktAr ibNetqVNextData	l26staAncPktTBL. 61	DisplayString	R/O	Video Next
l26staAncPktAr ibNetqACurrData	l26staAncPktTBL. 62	DisplayString	R/O	Audio Current
l26staAncPktAr ibNetqANextData	l26staAncPktTBL. 63	DisplayString	R/O	Audio Next
l26staAncPktAr ibNetqDCurrData	l26staAncPktTBL. 64	DisplayString	R/O	Down Mix Current
l26staAncPktAr ibNetqDNextData	l26staAncPktTBL. 65	DisplayString	R/O	Down Mix Next
l26staAncPktSmpteAfd	l26staAncPktTBL. 66	INTEGER	R/WO	1 = ANC AFD Display
l26staAncPktSmpteAfdCodeData	l26staAncPktTBL. 67	DisplayString	R/O	AFD Code
l26staAncPktSmpteAfdFrameData	l26staAncPktTBL. 68	DisplayString	R/O	Coded Frame
l26staAncPktSmpteAfdBarFlgData	l26staAncPktTBL. 69	DisplayString	R/O	Bar Data Frags
l26staAncPktSmpteAfdBarVal1Data	l26staAncPktTBL. 70	DisplayString	R/O	Bar Data Value1
l26staAncPktSmpteAfdBarVal2Data	l26staAncPktTBL. 71	DisplayString	R/O	Bar Data Value2
l26staErrorSdiTBL	l26statusTBL. 9	Aggregate	–	–
l26staErrorSdiCounterMode	l26staErrorSdiTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = Sec. 2 = Field
l26staErrorSdiTrs	l26staErrorSdiTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staErrorSdiHdLine	l26staErrorSdiTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staErrorSdiHdCrc	l26staErrorSdiTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staErrorSdiSdEdh	l26staErrorSdiTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staErrorSdiIllegalCode	l26staErrorSdiTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staErrorSdiGamutDetails	l26staErrorSdiTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staErrorAncTBL	l26statusTBL. 10	Aggregate	–	–
l26staErrorAncParity	l26staErrorAncTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l26staErrorAncChecksum	l26staErrorAncTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staErrorAudTBL	l26statusTBL. 11	Aggregate	–	–
l26staErrorAudioBch	l26staErrorAudTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staErrorAudioDbn	l26staErrorAudTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staErrorAudioParity	l26staErrorAudTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staErrorAudioInhibit	l26staErrorAudTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staErrorAudioSample	l26staErrorAudTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staErrorGamutTBL	l26statusTBL. 12	Aggregate	–	–
l26staErrorGamutLpf	l26staErrorGamutTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = HD1MHz–SD1MHz 2 = HD2. 8MHz–SD1MHz 3 = Off
l26staErrorGamut	l26staErrorGamutTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staErrorGamutUpper	l26staErrorGamutTBL. 3	DisplayString	R/W	90. 8~109. 4
l26staErrorGamutLower	l26staErrorGamutTBL. 4	DisplayString	R/W	–7. 2~6. 1
l26staErrorGamutArea	l26staErrorGamutTBL. 5	DisplayString	R/W	0. 0~5. 0
l26staErrorGamutDuration	l26staErrorGamutTBL. 6	INTEGER	R/W	1~60
l26staErrorCGamut	l26staErrorGamutTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staErrorCGamutSetup	l26staErrorGamutTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = 0% 2 = 7. 5%
l26staErrorCGamutUpper	l26staErrorGamutTBL. 9	DisplayString	R/W	90. 0~135. 0
l26staErrorCGamutLower	l26staErrorGamutTBL. 10	DisplayString	R/W	–40. 0~20. 0
l26staErrorCGamutArea	l26staErrorGamutTBL. 11	DisplayString	R/W	0. 0~5. 0
l26staErrorCGamutDuration	l26staErrorGamutTBL. 12	INTEGER	R/W	1~60
l26staErrorFreezeTBL	l26statusTBL. 13	Aggregate	–	–
l26staErrorFreeze	l26staErrorFreezeTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staErrorFreezeUpper	l26staErrorFreezeTBL. 2	INTEGER	R/W	0~100
l26staErrorFreezeLower	l26staErrorFreezeTBL. 3	INTEGER	R/W	0~100
l26staErrorFreezeLeft	l26staErrorFreezeTBL. 4	INTEGER	R/W	0~100
l26staErrorFreezeRight	l26staErrorFreezeTBL. 5	INTEGER	R/W	0~100
l26staErrorFreezeDuration	l26staErrorFreezeTBL. 6	INTEGER	R/W	2~300
l26staErrorBlackTBL	l26statusTBL. 14	Aggregate	–	–
l26staErrorBlack	l26staErrorBlackTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staErrorBlackLevel	l26staErrorBlackTBL. 2	INTEGER	R/W	0~100
l26staErrorBlackArea	l26staErrorBlackTBL. 3	INTEGER	R/W	1~100
l26staErrorBlackDuration	l26staErrorBlackTBL. 4	INTEGER	R/W	1~300

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l26staErrorLevelTBL	l26statusTBL. 15	Aggregate	-	-
l26staErrorLevel	l26staErrorLevelTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staErrorLevelRumaUpper	l26staErrorLevelTBL. 2	INTEGER	R/W	-51~766
l26staErrorLevelRumaLower	l26staErrorLevelTBL. 3	INTEGER	R/W	-51~766
l26staErrorLevelChromaUpper	l26staErrorLevelTBL. 4	INTEGER	R/W	-400~399
l26staErrorLevelChromaLower	l26staErrorLevelTBL. 5	INTEGER	R/W	-400~399
l26staErrorLevelArea	l26staErrorLevelTBL. 6	DisplayString	R/W	0.0~5.0
l26staErrorLevelDuration	l26staErrorLevelTBL. 7	INTEGER	R/W	1~60
l26staErrorCableTBL	l26statusTBL. 16	Aggregate	-	-
l26staErrorCable	l26staErrorCableTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26staErrorCable3g	l26staErrorCableTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = LS-5CFB 2 = 1694A
l26staErrorCableHd	l26staErrorCableTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = LS-5CFB 2 = 1694A
l26staErrorCableSd	l26staErrorCableTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = L-5C2V 2 = 8281
l26staErrorCableErr3g	l26staErrorCableTBL. 5	INTEGER	R/W	10~105
l26staErrorCableWar3g	l26staErrorCableTBL. 6	INTEGER	R/W	10~105
l26staErrorCableErrHd	l26staErrorCableTBL. 7	INTEGER	R/W	5~130
l26staErrorCableWarHd	l26staErrorCableTBL. 8	INTEGER	R/W	5~130
l26staErrorCableErrSd	l26staErrorCableTBL. 9	INTEGER	R/W	50~300
l26staErrorCableWarSd	l26staErrorCableTBL. 10	INTEGER	R/W	50~300

表 11-21 l26eyeTBL (7) グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l26eyeMode	l26eyeTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = Eye 2 = Jitter
l26eyeIntenTBL	l26eyeTBL. 2	Aggregate	-	-
l26eyeIntenEye	l26eyeIntenTBL. 1	INTEGER	R/W	-128~127
l26eyeIntenScale	l26eyeIntenTBL. 2	INTEGER	R/W	-8~7
l26eyeColorTBL	l26eyeTBL. 3	Aggregate	-	-
l26eyeColorEye	l26eyeColorTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = White 2 = Yellow 3 = Cyan 4 = Green 5 = Magenta 6 = Red 7 = Blue
l26eyeColorScale	l26eyeColorTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = White 2 = Yellow 3 = Cyan 4 = Green 5 = Magenta

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				6 = Red 7 = Blue
l26eyeGainTBL	l26eyeTBL. 4	Aggregate	–	–
l26eyeGainVar	l26eyeGainTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = Cal 2 = Var
l26eyeGainVal	l26eyeGainTBL. 2	DisplayString	R/W	0.50~2.00
l26eyeSweepSweep	l26eyeTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = 2UI 2 = 4UI 3 = 16UI
l26eyeFilter	l26eyeTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = 100kHz 2 = 1kHz 3 = 100Hz 4 = 10Hz 5 = Timing 6 = Alignment
l26eyeSubItem	l26eyeTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = Jitter 2 = Off
l26eyeLinkSelect	l26eyeTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = Link-A 2 = Link-B
l26eyeJitterTBL	l26eyeTBL. 9	Aggregate	–	–
l26eyeJitterIntenTBL	l26eyeJitterTBL. 1	Aggregate	–	–
l26eyeJitterIntenEye	l26eyeJitterIntenTBL. 1	INTEGER	R/W	–128~127
l26eyeJitterIntenScale	l26eyeJitterIntenTBL. 2	INTEGER	R/W	–8~7
l26eyeJitterColorTBL	l26eyeJitterTBL. 2	Aggregate	–	–
l26eyeJitterColorEye	l26eyeJitterColorTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = White 2 = Yellow 3 = Cyan 4 = Green 5 = Magenta 6 = Red 7 = Blue
l26eyeJitterColorScale	l26eyeJitterColorTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = White 2 = Yellow 3 = Cyan 4 = Green 5 = Magenta 6 = Red 7 = Blue
l26eyeJitterGain	l26eyeJitterTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = X1 2 = X2 3 = X8
l26eyeJitterSweep	l26eyeJitterTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = 1H 2 = 2H 3 = 1V 4 = 2V
l26eyeJitterFilter	l26eyeJitterTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = 100kHz

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				2 = 1kHz 3 = 100Hz 4 = 10Hz 5 = Timing 6 = Alignment
l26eyeJitterPeakHold	l26eyeJitterTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeJitterPeakHoldClear	l26eyeJitterTBL. 7	INTEGER	R/WO	1 = Clear
l26eyeJitterSubItem	l26eyeJitterTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = Eye 2 = Off
l26eyeErrorTBL	l26eyeTBL. 10	Aggregate	-	-
l26eyeError3GTBL	l26eyeErrorTBL. 1	Aggregate	-	-
l26eyeError3GAmp	l26eyeError3GTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeError3GAmpUpper	l26eyeError3GTBL. 2	INTEGER	R/W	80~140
l26eyeError3GAmpLower	l26eyeError3GTBL. 3	INTEGER	R/W	40~100
l26eyeError3GRise	l26eyeError3GTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeError3GRiseMax	l26eyeError3GTBL. 5	INTEGER	R/W	40~140
l26eyeError3GFall	l26eyeError3GTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeError3GFallMax	l26eyeError3GTBL. 7	INTEGER	R/W	40~140
l26eyeError3GDelta	l26eyeError3GTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeError3GDeltaMax	l26eyeError3GTBL. 9	INTEGER	R/W	40~140
l26eyeError3GTimingJit	l26eyeError3GTBL. 10	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeError3GTimingJitMax	l26eyeError3GTBL. 11	INTEGER	R/W	10~200
l26eyeError3GCurrentJit	l26eyeError3GTBL. 12	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeError3GCurrentJitMax	l26eyeError3GTBL. 13	INTEGER	R/W	10~200
l26eyeError3GOverShootRise	l26eyeError3GTBL. 14	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeError3GOverShootRiseMax	l26eyeError3GTBL. 15	INTEGER	R/W	0~200
l26eyeError3GOverShootFall	l26eyeError3GTBL. 16	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeError3GOverShootFallMax	l26eyeError3GTBL. 17	INTEGER	R/W	0~200
l26eyeErrorHdTBL	l26eyeErrorTBL. 2	Aggregate	-	-
l26eyeErrorHdAmp	l26eyeErrorHdTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeErrorHdAmpUpper	l26eyeErrorHdTBL. 2	INTEGER	R/W	80~140
l26eyeErrorHdAmpLower	l26eyeErrorHdTBL. 3	INTEGER	R/W	40~100
l26eyeErrorHdRise	l26eyeErrorHdTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeErrorHdRiseMax	l26eyeErrorHdTBL. 5	INTEGER	R/W	40~140

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l26eyeErrorHdFall	l26eyeErrorHdTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeErrorHdFallMax	l26eyeErrorHdTBL. 7	INTEGER	R/W	40~140
l26eyeErrorHdDelta	l26eyeErrorHdTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeErrorHdDeltaMax	l26eyeErrorHdTBL. 9	INTEGER	R/W	40~140
l26eyeErrorHdTimingJit	l26eyeErrorHdTBL. 10	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeErrorHdTimingJitMax	l26eyeErrorHdTBL. 11	INTEGER	R/W	10~200
l26eyeErrorHdCurrentJit	l26eyeErrorHdTBL. 12	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeErrorHdCurrentJitMax	l26eyeErrorHdTBL. 13	INTEGER	R/W	10~200
l26eyeErrorHdOverShootRise	l26eyeErrorHdTBL. 14	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeErrorHdOverShootRiseMax	l26eyeErrorHdTBL. 15	INTEGER	R/W	0~200
l26eyeErrorHdOverShootFall	l26eyeErrorHdTBL. 16	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeErrorHdOverShootFallMax	l26eyeErrorHdTBL. 17	INTEGER	R/W	0~200
l26eyeErrorSdTBL	l26eyeErrorTBL. 3	Aggregate	-	-
l26eyeErrorSdAmp	l26eyeErrorSdTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeErrorSdAmpUpper	l26eyeErrorSdTBL. 2	INTEGER	R/W	80~140
l26eyeErrorSdAmpLower	l26eyeErrorSdTBL. 3	INTEGER	R/W	40~100
l26eyeErrorSdRise	l26eyeErrorSdTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeErrorSdRiseMax	l26eyeErrorSdTBL. 5	INTEGER	R/W	40~140
l26eyeErrorSdFall	l26eyeErrorSdTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeErrorSdFallMax	l26eyeErrorSdTBL. 7	INTEGER	R/W	40~140
l26eyeErrorSdDelta	l26eyeErrorSdTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeErrorSdDeltaMax	l26eyeErrorSdTBL. 9	INTEGER	R/W	40~140
l26eyeErrorSdTimingJit	l26eyeErrorSdTBL. 10	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeErrorSdTimingJitMax	l26eyeErrorSdTBL. 11	INTEGER	R/W	10~200
l26eyeErrorSdCurrentJit	l26eyeErrorSdTBL. 12	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeErrorSdCurrentJitMax	l26eyeErrorSdTBL. 13	INTEGER	R/W	10~200
l26eyeErrorSdOverShootRise	l26eyeErrorSdTBL. 14	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeErrorSdOverShootRiseMax	l26eyeErrorSdTBL. 15	INTEGER	R/W	0~200
l26eyeErrorSdOverShootFall	l26eyeErrorSdTBL. 16	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26eyeErrorSdOverShootFallMax	l26eyeErrorSdTBL. 17	INTEGER	R/W	0~200
l26eyeErrorDcTBL	l26eyeErrorTBL. 4	Aggregate	-	-

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I26eyeErrorDc	I26eyeErrorDcTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
I26eyeErrorDcUpper	I26eyeErrorDcTBL. 2	INTEGER	R/W	0~100
I26eyeErrorDcLower	I26eyeErrorDcTBL. 3	INTEGER	R/W	0~100
I26eyeMonTBL	I26eyeTBL. 11	Aggregate	–	–
I26eyeAmpData	I26eyeMonTBL. 1	DisplayString	R/O	Amp
I26eyeTrData	I26eyeMonTBL. 2	DisplayString	R/O	Tr
I26eyeTfData	I26eyeMonTBL. 3	DisplayString	R/O	Tf
I26eyeTJData	I26eyeMonTBL. 4	DisplayString	R/O	T. J
I26eyeCJData	I26eyeMonTBL. 5	DisplayString	R/O	C. J
I26eyeORData	I26eyeMonTBL. 6	DisplayString	R/O	Or
I26eyeOFData	I26eyeMonTBL. 7	DisplayString	R/O	Of
I26eyeDCData	I26eyeMonTBL. 8	DisplayString	R/O	Dc

表 11-22 I26audioTBL (8) グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I26audSourceTBL	I26audioTBL. 1	Aggregate	–	–
I26audSourceInput	I26audSourceTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = SDI 2 = Ext Digital 3 = Ext Analog
I26audSourceSdi1stGrp	I26audSourceTBL. 2	INTEGER	R/W	1~4
I26audSourceSdi2ndGrp	I26audSourceTBL. 3	INTEGER	R/W	1~4
I26audSourceExtDigiChSel	I26audSourceTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = Group-A 2 = Group-B
I26audDisplayMode	I26audioTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Lissajou 2 = Surround 3 = Status 4 = Loudness 5 = Meter
I26audMeterTBL	I26audioTBL. 3	Aggregate	–	–
I26audMeterDRange	I26audMeterTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = -60dBFS 2 = -90dBFS 3 = MAG
I26audMeterResponse	I26audMeterTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = True Peak 2 = PPM 3 = VU
I26audMeterResponsePPM	I26audMeterTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = PPM1 2 = PPM2
I26audMeterResponseVU	I26audMeterTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = TRUE 2 = PPM1 3 = PPM2
I26audMeterPeakHold	I26audMeterTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = 0.5Sec. 2 = 1Sec. 3 = 1.5Sec. 4 = 2Sec.

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				5 = 2.5Sec. 6 = 3Sec. 7 = 3.5Sec. 8 = 4Sec. 9 = 4.5Sec. 10 = 5Sec. 11 = Hold
l26audMeterOverLevel	l26audMeterTBL. 6	DisplayString	R/W	-40.0~0.0
l26audMeterWarningLevel	l26audMeterTBL. 7	DisplayString	R/W	-40.0~0.0
l26audMeterRefLevel	l26audMeterTBL. 8	DisplayString	R/W	-40.0~0.0
l26audLissajouTBL	l26audioTBL. 4	Aggregate	-	-
l26audLissajouIntenTBL	l26audLissajouTBL. 1	Aggregate	-	-
l26audLissajouIntenLissajou	l26audLissajouIntenTBL. 1	INTEGER	R/W	-8~7
l26audLissajouIntenScale	l26audLissajouIntenTBL. 2	INTEGER	R/W	-8~7
l26audLissajouDisplay	l26audLissajouTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Multi 2 = Single
l26audLissajouForm	l26audLissajouTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = X-Y 2 = Matrix
l26audLissajouAutoGain	l26audLissajouTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26audLissajouMapTBL	l26audLissajouTBL. 5	Aggregate	-	-
l26audLissajouMapSingleL	l26audLissajouMapTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16 17 = Lt
l26audLissajouMapSingleR	l26audLissajouMapTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16 17 = Rt
l26audLissajouMapMultiL1	l26audLissajouMapTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audLissajouMapMultiR1	l26audLissajouMapTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audLissajouMapMultiL2	l26audLissajouMapTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audLissajouMapMultiR2	l26audLissajouMapTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audLissajouMapMultiL3	l26audLissajouMapTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audLissajouMapMultiR3	l26audLissajouMapTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略)

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				16 = Ch16
l26audlissajouMapMultiL4	l26audLissajouMapTBL. 9	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audlissajouMapMultiR4	l26audLissajouMapTBL. 10	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audlissajouMapSingle16L	l26audLissajouMapTBL. 11	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16 17 = Lt
l26audlissajouMapSingle16R	l26audLissajouMapTBL. 12	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16 17 = Rt
l26audlissajouMapSingleMix16L	l26audLissajouMapTBL. 13	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 8 = Ch8 17 = Lt 18 = D1 (中略) 25 = D8
l26audlissajouMapSingleMix16R	l26audLissajouMapTBL. 14	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 8 = Ch8 17 = Rt 18 = D1 (中略) 25 = D8
l26audlissajouMapMulti16L1	l26audLissajouMapTBL. 15	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audlissajouMapMulti16R1	l26audLissajouMapTBL. 16	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audlissajouMapMulti16L2	l26audLissajouMapTBL. 17	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audlissajouMapMulti16R2	l26audLissajouMapTBL. 18	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audlissajouMapMulti16L3	l26audLissajouMapTBL. 19	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audlissajouMapMulti16R3	l26audLissajouMapTBL. 20	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略)

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				16 = Ch16
l26audlissajouMapMulti16L4	l26audLissajouMapTBL.26	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audlissajouMapMulti16R4	l26audLissajouMapTBL. 22	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audlissajouMapMulti16L5	l26audLissajouMapTBL. 23	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audlissajouMapMulti16R5	l26audLissajouMapTBL. 24	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audlissajouMapMulti16L6	l26audLissajouMapTBL. 25	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audlissajouMapMulti16R6	l26audLissajouMapTBL. 26	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audlissajouMapMulti16L7	l26audLissajouMapTBL. 27	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audlissajouMapMulti16R7	l26audLissajouMapTBL. 28	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audlissajouMapMulti16L8	l26audLissajouMapTBL. 29	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audlissajouMapMulti16R8	l26audLissajouMapTBL. 30	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audlissajouMapMultiD_MixL5	l26audLissajouMapTBL. 31	INTEGER	R/W	1 = D1 (中略) 8 = D8
l26audlissajouMapMultiD_MixR5	l26audLissajouMapTBL. 32	INTEGER	R/W	1 = D1 (中略) 8 = D8
l26audlissajouMapMultiD_MixL6	l26audLissajouMapTBL. 33	INTEGER	R/W	1 = D1 (中略) 8 = D8
l26audlissajouMapMultiD_MixR6	l26audLissajouMapTBL. 34	INTEGER	R/W	1 = D1 (中略) 8 = D8
l26audlissajouMapMultiD_MixL7	l26audLissajouMapTBL. 35	INTEGER	R/W	1 = D1 (中略) 8 = D8

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l26audlissajouMapMultiD_MixR7	l26audLissajouMapTBL. 36	INTEGER	R/W	1 = D1 (中略) 8 = D8
l26audlissajouMapMultiD_MixL8	l26audLissajouMapTBL. 37	INTEGER	R/W	1 = D1 (中略) 8 = D8
l26audlissajouMapMultiD_MixR8	l26audLissajouMapTBL. 38	INTEGER	R/W	1 = D1 (中略) 8 = D8
l26audSurroundTBL	l26audioTBL. 5	Aggregate	—	—
l26audSurroundIntenTBL	l26audSurroundTBL. 1	Aggregate	—	—
l26audSurroundIntenSurround	l26audSurroundIntenTBL. 1	INTEGER	R/W	−8〜7
l26audSurroundIntenScale	l26audSurroundIntenTBL. 2	INTEGER	R/W	−8〜7
l26audSurround5_1	l26audSurroundTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Normal 2 = Phantom
l26audSurroundAutoGain	l26audSurroundTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
l26audSurroundMapTBL	l26audSurroundTBL. 4	Aggregate	—	—
l26audSurroundMapL	l26audSurroundMapTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audSurroundMapR	l26audSurroundMapTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audSurroundMapC	l26audSurroundMapTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audSurroundMapLfe	l26audSurroundMapTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audSurroundMapLs	l26audSurroundMapTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audSurroundMapRs	l26audSurroundMapTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audSurroundMapLl	l26audSurroundMapTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audSurroundMapRr	l26audSurroundMapTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
l26audStatusTBL	l26audioTBL. 6	Aggregate	—	—
l26audStatusLog	l26audStatusTBL. 1	INTEGER	R/WO	1 = Log Display
l26audStatusLogLog	l26audStatusTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Start 2 = Stop

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I26audStatusLogClear	I26audStatusTBL. 3	INTEGER	R/WO	1 = Clear
I26audStatusLogLogMode	I26audStatusTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = Over Write 2 = Stop
I26audStatusDisplayChStatus	I26audStatusTBL. 5	INTEGER	R/WO	1 = Ch Status Display
I26audStatusChStatus	I26audStatusTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = Ch1 / A1 2 = Ch2 / A2 3 = Ch3 / A3 4 = Ch4 / A4 5 = Ch5 / A5 6 = Ch6 / A6 7 = Ch7 / A7 8 = Ch8 / A8 9 = Ch9 / A9 10 = Ch10 / A10 11 = Ch11 / A11 12 = Ch12 / A12 13 = Ch13 / A13 14 = Ch14 / A14 15 = Ch15 / A15 16 = Ch16 / A16 17 = B1 18 = B2 19 = B3 20 = B4 21 = B5 22 = B6 23 = B7 24 = B8 25 = B9 26 = B10 27 = B11 28 = B12 29 = B13 30 = B14 31 = B15 32 = B16
I26audStatusChStatusAlign	I26audStatusTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = LSB 1st 2 = MSB 1st
I26audStatusDisplayUserBit	I26audStatusTBL. 8	INTEGER	R/WO	1 = User Bit Display
I26audStatusUserBit	I26audStatusTBL. 9	INTEGER	R/W	1 = Ch1 / A1 2 = Ch2 / A2 3 = Ch3 / A3 4 = Ch4 / A4 5 = Ch5 / A5

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				6 = Ch6 / A6 7 = Ch7 / A7 8 = Ch8 / A8 9 = Ch9 / A9 10 = Ch10 / A10 11 = Ch11 / A11 12 = Ch12 / A12 13 = Ch13 / A13 14 = Ch14 / A14 15 = Ch15 / A15 16 = Ch16 / A16 17 = B1 18 = B2 19 = B3 20 = B4 21 = B5 22 = B6 23 = B7 24 = B8 25 = B9 26 = B10 27 = B11 28 = B12 29 = B13 30 = B14 31 = B15 32 = B16
I26audStatusUserBitAlign	I26audStatusTBL. 10	INTEGER	R/W	1 = LSB 1st 2 = MSB 1st
I26audStatusErrorLevelOver	I26audStatusTBL. 11	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
I26audStatusErrorClip	I26audStatusTBL. 12	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
I26audStatusErrorClipDuration	I26audStatusTBL. 13	INTEGER	R/W	1~100
I26audStatusErrorMute	I26audStatusTBL. 14	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
I26audStatusErrorMuteDuration	I26audStatusTBL. 15	INTEGER	R/W	1~5000
I26audStatusErrorParity	I26audStatusTBL. 16	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
I26audStatusErrorVardity	I26audStatusTBL. 17	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
I26audStatusErrorCrc	I26audStatusTBL. 18	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
I26audStatusErrorCode	I26audStatusTBL. 19	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
I26audStatusErrorReset	I26audStatusTBL. 20	INTEGER	R/WO	1 = Error Reset

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
l26audStatusLevelCh1Data	l26audStatusTBL. 21	DisplayString	R/O	Ch1 Level
l26audStatusLevelCh2Data	l26audStatusTBL. 22	DisplayString	R/O	Ch2 Level
l26audStatusLevelCh3Data	l26audStatusTBL. 23	DisplayString	R/O	Ch3 Level
l26audStatusLevelCh4Data	l26audStatusTBL. 24	DisplayString	R/O	Ch4 Level
l26audStatusLevelCh5Data	l26audStatusTBL. 25	DisplayString	R/O	Ch5 Level
l26audStatusLevelCh6Data	l26audStatusTBL. 26	DisplayString	R/O	Ch6 Level
l26audStatusLevelCh7Data	l26audStatusTBL. 27	DisplayString	R/O	Ch7 Level
l26audStatusLevelCh8Data	l26audStatusTBL. 28	DisplayString	R/O	Ch8 Level
l26audStatusLevelCh9Data	l26audStatusTBL. 29	DisplayString	R/O	Ch9 Level
l26audStatusLevelCh10Data	l26audStatusTBL. 30	DisplayString	R/O	Ch10 Level
l26audStatusLevelCh11Data	l26audStatusTBL. 31	DisplayString	R/O	Ch11 Level
l26audStatusLevelCh12Data	l26audStatusTBL. 32	DisplayString	R/O	Ch12 Level
l26audStatusLevelCh13Data	l26audStatusTBL. 33	DisplayString	R/O	Ch13 Level
l26audStatusLevelCh14Data	l26audStatusTBL. 34	DisplayString	R/O	Ch14 Level
l26audStatusLevelCh15Data	l26audStatusTBL. 35	DisplayString	R/O	Ch15 Level
l26audStatusLevelCh16Data	l26audStatusTBL. 36	DisplayString	R/O	Ch16 Level
l26audStatusDolbyLocationHData	l26audStatusTBL. 37	DisplayString	R/O	EMB Frame Location H
l26audStatusDolbyLocationVData	l26audStatusTBL. 38	DisplayString	R/O	EMB Frame Location V
l26audStatusDolbyLocationModeData	l26audStatusTBL. 39	DisplayString	R/O	EMB Mode
l26audStatusDolbyLocationEData	l26audStatusTBL. 40	DisplayString	R/O	AES Frame Location V
l26audLoudnessTBL	l26audioTBL. 7	Aggregate	-	-
l26audLoudPeriod	l26audLoudnessTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = 2Min. 2 = 10Min. 3 = 30Min. 4 = 1Hour 5 = 2Hour 6 = 6Hour 7 = 12Hour 8 = 24Hour 9 = 32Hour
l26audLoudChartClear	l26audLoudnessTBL. 2	INTEGER	R/WO	1 = Clear
l26audLoudMeasure	l26audLoudnessTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = Start 2 = Stop
l26audLoudMag	l26audLoudnessTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On
l26audLoudIntegMode	l26audLoudnessTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = BS1770-2 2 = ARIB 3 = EBU 4 = ATSC
l26audLoudIntegLevel	l26audLoudnessTBL. 6	DisplayString	R/O	Target Level
l26audLoudIntegBlkSize	l26audLoudnessTBL. 7	DisplayString	R/O	Block Size
l26audLoudIntegAbsGate	l26audLoudnessTBL. 8	DisplayString	R/O	Absolute Gating

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I26audLoudIntegOvlpSize	I26audLoudnessTBL. 9	DisplayString	R/O	Overlap Size
I26audLoudIntegRelGate	I26audLoudnessTBL. 10	DisplayString	R/O	Relative Gating
I26audLoudIntegLfeGain	I26audLoudnessTBL. 11	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
I26audLoudIntegLfeGainValue	I26audLoudnessTBL. 12	INTEGER	R/W	0~10
I26audLoudShortAvrgTime	I26audLoudnessTBL. 13	INTEGER	R/W	200~10000
I26audLoudMomentAvrgTime	I26audLoudnessTBL. 14	INTEGER	R/W	200~10000
I26audLoudResponse	I26audLoudnessTBL. 15	INTEGER	R/W	1 = ShortTerm 2 = Momentary
I26audLoudAutoTrigger	I26audLoudnessTBL. 16	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = Remote 3 = TimeCode
I26audLoudAutoStartH	I26audLoudnessTBL. 17	INTEGER	R/W	0~23
I26audLoudAutoStartM	I26audLoudnessTBL. 18	INTEGER	R/W	0~59
I26audLoudAutoStartS	I26audLoudnessTBL. 19	INTEGER	R/W	0~59
I26audLoudAutoEndH	I26audLoudnessTBL. 20	INTEGER	R/W	0~23
I26audLoudAutoEndM	I26audLoudnessTBL. 21	INTEGER	R/W	0~59
I26audLoudAutoEndS	I26audLoudnessTBL. 22	INTEGER	R/W	0~59
I26audLoudMapMode	I26audLoudnessTBL. 23	INTEGER	R/W	1 = Mono 2 = Stereo 3 = 5.1 4 = Custom
I26audLoudMapMonoLR	I26audLoudnessTBL. 24	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
I26audLoudMapStereoL	I26audLoudnessTBL. 25	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
I26audLoudMapStereoR	I26audLoudnessTBL. 26	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
I26audLoudMap51L	I26audLoudnessTBL. 27	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
I26audLoudMap51R	I26audLoudnessTBL. 28	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
I26audLoudMap51C	I26audLoudnessTBL. 29	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
I26audLoudMap51LFE	I26audLoudnessTBL. 30	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
I26audLoudMap51LS	I26audLoudnessTBL. 31	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略)

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				16 = Ch16
I26audLoudMap51RS	I26audLoudnessTBL. 32	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
I26audLoudMapCustomL	I26audLoudnessTBL. 33	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16 17 = NC
I26audLoudMapCustomR	I26audLoudnessTBL. 34	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16 17 = NC
I26audLoudMapCustomC	I26audLoudnessTBL. 35	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16 17 = NC
I26audLoudMapCustomLFE	I26audLoudnessTBL. 36	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16 17 = NC
I26audLoudMapCustomLS	I26audLoudnessTBL. 37	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16 17 = NC
I26audLoudMapCustomRs	I26audLoudnessTBL. 38	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16 17 = NC
I26audLoudShorttermDataMain	I26audLoudnessTBL. 39	DisplayString	R/O	Shortterm Main
I26audLoudIntegratedDataMain	I26audLoudnessTBL. 40	DisplayString	R/O	Integrated Main
I26audLoudMomentaryDataMain	I26audLoudnessTBL. 41	DisplayString	R/O	Momentary Main
I26audLoudShorttermDataSub	I26audLoudnessTBL. 42	DisplayString	R/O	Shortterm Sub
I26audLoudIntegratedDataSub	I26audLoudnessTBL. 43	DisplayString	R/O	Integrated Sub
I26audLoudMomentaryDataSub	I26audLoudnessTBL. 44	DisplayString	R/O	Momentary Sub
I26audLoudMapSubMode	I26audLoudnessTBL. 45	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = Mono 3 = Stereo
I26audLoudMapSubMonoLR	I26audLoudnessTBL. 46	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
I26audLoudMapSubStereoL	I26audLoudnessTBL. 47	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16
I26audLoudMapSubStereoR	I26audLoudnessTBL. 48	INTEGER	R/W	1 = Ch1 (中略) 16 = Ch16

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I26audLoudPeakholdDataL	I26audLoudnessTBL. 49	DisplayString	R/O	Ch L Peakhold
I26audLoudPeakholdDataR	I26audLoudnessTBL. 50	DisplayString	R/O	Ch R Peakhold
I26audLoudPeakholdDataC	I26audLoudnessTBL. 51	DisplayString	R/O	Ch C Peakhold
I26audLoudPeakholdDataLFE	I26audLoudnessTBL. 52	DisplayString	R/O	Ch LFE Peakhold
I26audLoudPeakholdDataLS	I26audLoudnessTBL. 53	DisplayString	R/O	Ch LS Peakhold
I26audLoudPeakholdDataRS	I26audLoudnessTBL. 54	DisplayString	R/O	Ch RS Peakhold
I26audLoudPeakholdDataSL	I26audLoudnessTBL. 55	DisplayString	R/O	Ch SUB-L Peakhold
I26audLoudPeakholdDataSR	I26audLoudnessTBL. 56	DisplayString	R/O	Ch SUB-R Peakhold
I26audLoudChartSetting	I26audLoudnessTBL. 57	INTEGER	R/W	1 = integrated 2 = shortterm 3 = momentary
I26audLoudOverMark	I26audLoudnessTBL. 58	INTEGER	R/W	1 = on 2 = off
I26audLoudRelativeGating	I26audLoudnessTBL. 59	INTEGER	R/W	1 = on 2 = off
I26audDolbyTBL	I26audioTBL. 8	Aggregate	-	-
I26audDolby	I26audDolbyTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = Dolby-E 3 = Dolby-D
I26audDolbyGroup	I26audDolbyTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Ch1-2 2 = Ch3-4 3 = Ch5-6 4 = Ch7-8 5 = Ch9-10 6 = Ch11-12 7 = Ch13-14 8 = Ch15-16
I26audDolbyE_Dialnorm	I26audDolbyTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
I26audDolbyE_Pulldown	I26audDolbyTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
I26audDolbyE_MetaPRM	I26audDolbyTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = PRM1 2 = PRM2 3 = PRM3 4 = PRM4 5 = PRM5 6 = PRM6 7 = PRM7 8 = PRM8
I26audDolbyEBI_MetaPRM	I26audDolbyTBL. 6	INTEGER	R/W	1 = PRM1 2 = PRM2 3 = PRM3 4 = PRM4 5 = PRM5 6 = PRM6 7 = PRM7

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				8 = PRM8
I26audDolbyD_Listening	I26audDolbyTBL. 7	INTEGER	R/W	1 = Full 2 = EX 3 = 3Stereo 4 = Phantom 5 = Stereo 6 = Mono
I26audDolbyD_Prologic	I26audDolbyTBL. 8	INTEGER	R/W	1 = On 2 = Off
I26audDolbyD_DRC	I26audDolbyTBL. 9	INTEGER	R/W	1 = Bypass 2 = Line 3 = Rf
I26audPhonesTBL	I26audioTBL. 9	Aggregate	–	–
I26audioPhonesVolume	I26audPhonesTBL. 1	INTEGER	R/W	0~63
I26audPhonesL	I26audPhonesTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Ch1 / A1 2 = Ch2 / A2 3 = Ch3 / A3 4 = Ch4 / A4 5 = Ch5 / A5 6 = Ch6 / A6 7 = Ch7 / A7 8 = Ch8 / A8 9 = Ch9 / A9 / DAUX 10 = Ch10 / A10 11 = Ch11 / A11 12 = Ch12 / A12 13 = Ch13 / A13 14 = Ch14 / A14 15 = Ch15 / A15 16 = Ch16 / A16 17 = Lt / B1 18 = B2 19 = B3 20 = B4 21 = B5 22 = B6 23 = B7 24 = B8 25 = B9 26 = B10 27 = B11 28 = B12 29 = B13 30 = B14 31 = B15

11. イーサネットコントロール

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
				32 = B16
I26audPhonesR	I26audPhonesTBL. 3	INTEGER	R/W	1 = Ch1 / A1 2 = Ch2 / A2 3 = Ch3 / A3 4 = Ch4 / A4 5 = Ch5 / A5 6 = Ch6 / A6 7 = Ch7 / A7 8 = Ch8 / A8 9 = Ch9 / A9 / DAUX 10 = Ch10 / A10 11 = Ch11 / A11 12 = Ch12 / A12 13 = Ch13 / A13 14 = Ch14 / A14 15 = Ch15 / A15 16 = Ch16 / A16 17 = Lt / B1 18 = B2 19 = B3 20 = B4 21 = B5 22 = B6 23 = B7 24 = B8 25 = B9 26 = B10 27 = B11 28 = B12 29 = B13 30 = B14 31 = B15 32 = B16
I26audPhonesDolbyDauxCh	I26audPhonesTBL. 4	INTEGER	R/W	1 = LtRt 2 = LoRo 3 = Mono 4 = Mute
I26audPhonesDolbyDauxDRC	I26audPhonesTBL. 5	INTEGER	R/W	1 = Line 2 = Rf
I26audSelectTBL	I26audioTBL. 10	Aggregate	–	–
I26audNumber	I26audSelectTBL. 1	INTEGER	R/W	1 = number8ch 2 = number16ch
I26audDolbyMix	I26audSelectTBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Off 2 = On

表 11-23 I26trapTBL (9) グループ

MIB	OID	SYNTAX	ACCESS	VALUE/RANGE
I26trapStrTBL	I26trapTBL. 1	Aggregate	–	– (Variable Binding List)
I26trapIpTBL	I26trapTBL. 2	Aggregate	–	–
I26trapIp1TBL	I26trapipTBL. 1	Aggregate	–	–
I26trapManagerIp1	I26trapIp1TBL. 1	IpAddress	R/W	Trap の送信先 マネージャ IP アドレス 1
I26trapManagerIp1Act	I26trapIp1TBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Enable 2 = Disable
I26trapIp2TBL	I26trapipTBL. 2	Aggregate	–	–
I26trapManagerIp2	I26trapIp2TBL. 1	IpAddress	R/W	Trap の送信先 マネージャ IP アドレス 2
I26trapManagerIp2Act	I26trapIp2TBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Enable 2 = Disable
I26trapIp3TBL	I26trapipTBL. 3	Aggregate	–	–
I26trapManagerIp3	I26trapIp3TBL. 1	IpAddress	R/W	Trap の送信先 マネージャ IP アドレス 3
I26trapManagerIp3Act	I26trapIp3TBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Enable 2 = Disable
I26trapIp4TBL	I26trapipTBL. 4	Aggregate	–	–
I26trapManagerIp4	I26trapIp4TBL. 1	IpAddress	R/W	Trap の送信先 マネージャ IP アドレス 4
I26trapManagerIp4Act	I26trapIp4TBL. 2	INTEGER	R/W	1 = Enable 2 = Disable

11.3.5 拡張 TRAP (Variable Binding List)

● index 1

OID : leader(20111).lv7770(26).lv7770ST1(1).trapTBL(9).trapStrTBL(1).1.0
 Syntax : Counter
 範囲 : 1~4294967295 (範囲を超えた場合はオーバーフローする)
 内容 : 起動してからの Enterprise Trap の送出累計数

● index 2

OID : leader(20111).lv7770(26).lv7770ST1(1).trapTBL(9).trapStrTBL(1).2.0
 Syntax : DisplayString
 範囲 : 最大 40 文字
 内容 : エラー発生時の日時と回線情報
 YYYY/MM/DD hh:mm:ss 入力チャンネル(A/B/-)
 例) 2007/07/02 11:30:11 A

● index 3

OID : leader(20111).lv7770(26).lv7770ST1(1).trapTBL(9).trapStrTBL(1).3.0
 Syntax : DisplayString
 範囲 : 最大 40 文字
 内容 : フォーマット情報
 例) 1080sF/30

● index 4

OID : leader(20111).lv7770(26).lv7770ST1(1).trapTBL(9).trapStrTBL(1).4.0
 Syntax : DisplayString
 範囲 : 最大 40 文字
 内容 : エラー情報 (下表参照)
 例) TRS_P_ERR

表 11-24 エラー情報一覧表

Specific Trap Type	表示	説明
1	FAN_STOP	FAN 停止の検出
3	なし (フォーマット情報で表示)	入力信号なし
6	LINE_ERR	ラインナンバーエラーの検出
7	CRC_ERR	CRC エラーの検出
9	CHK_ERR	チェックサムエラーの検出
10	A_BCH_ERR	(EMB AUDIO) BCH エラーの検出
11	EDH_ERR	EDH エラーの検出
12	ILLEGAL_ERR	イリーガルコードエラーの検出
13	PRTY_ERR	パリティエラーの検出
15	TRS_P_ERR	TRS Pos エラーの検出
16	TRS_C_ERR	TRS Code エラーの検出
17	FRZ_ERR	フリーズエラーの検出
18	BLK_ERR	ブラックエラーの検出
21	SDI_DELAY_ERR	SDI DELAY エラーの検出
23	GMUT_ERR	ガマットエラーの検出
24	CGMUT_ERR	コンボジットガマットエラーの検出

11. イーサネットコントロール

Specific Trap Type	表示	説明
25	LVL_Y_ERR	輝度レベルエラーの検出
26	LVL_C_ERR	色差レベルエラーの検出
27	なし（フォーマット情報で表示）	入力信号が非対応、または設定したフォーマットと異なる
37	なし（フォーマット情報で表示）	エラーなし（エラー復帰時、起動時）
40	A_PRTY_ERR	(EMB AUDIO) PARITY エラーの検出
41	A_DBN_ERR	(EMB AUDIO) DBN エラーの検出
42	A_INH_ERR	(EMB AUDIO) INH エラーの検出
43	A_SMP_ERR	(EMB AUDIO) SAMPLE エラーの検出
44	CABLE_ERR / CABLE_WAR	ケーブルエラーまたはケーブルウォーニングの検出
45	GMUT_R_UP	ガマットエラーの検出（ R UPPER ）
46	GMUT_R_LO	ガマットエラーの検出（ R LOWER ）
47	GMUT_G_UP	ガマットエラーの検出（ G UPPER ）
48	GMUT_G_LO	ガマットエラーの検出（ G LOWER ）
49	GMUT_B_UP	ガマットエラーの検出（ B UPPER ）
50	GMUT_B_LO	ガマットエラーの検出（ B LOWER ）
51	LVL_Y_UP	輝度レベルエラーの検出（ Y UPPER ）
52	LVL_Y_LO	輝度レベルエラーの検出（ Y LOWER ）
66	EYE_SD_AMP_ERR	(EYE) SD 振幅エラーの検出
67	EYE_SD_TR_ERR	(EYE) SD Rise Time エラーの検出
68	EYE_SD_TF_ERR	(EYE) SD Fall Time エラーの検出
69	EYE_SD_TR_TF_ERR	(EYE) SD Delta Time エラーの検出
70	EYE_SD_T_JIT_ERR	(EYE) SD Timing ジッタエラーの検出
71	EYE_SD_A_JIT_ERR	(EYE) SD Current ジッタエラーの検出
81	EYE_SD_OR_ERR	(EYE) SD Overshoot Rising エラーの検出
82	EYE_SD_OF_ERR	(EYE) SD Overshoot Falling エラーの検出
60	EYE_HD_AMP_ERR	(EYE) HD 振幅エラーの検出
61	EYE_HD_TR_ERR	(EYE) HD Rise Time エラーの検出
62	EYE_HD_TF_ERR	(EYE) HD Fall Time エラーの検出
63	EYE_HD_TR_TF_ERR	(EYE) HD Delta Time エラーの検出
64	EYE_HD_T_JIT_ERR	(EYE) HD Timing ジッタエラーの検出
65	EYE_HD_A_JIT_ERR	(EYE) HD Current ジッタエラーの検出
83	EYE_HD_OR_ERR	(EYE) HD Overshoot Rising エラーの検出
84	EYE_HD_OF_ERR	(EYE) HD Overshoot Falling エラーの検出
85	EYE_3G_AMP_ERR	(EYE) 3G 振幅エラーの検出
86	EYE_3G_TR_ERR	(EYE) 3G Rise Time エラーの検出
87	EYE_3G_TF_ERR	(EYE) 3G Fall Time エラーの検出
88	EYE_3G_TR_TF_ERR	(EYE) 3G Delta Time エラーの検出
89	EYE_3G_T_JIT_ERR	(EYE) 3G Timing ジッタエラーの検出
90	EYE_3G_A_JIT_ERR	(EYE) 3G Current ジッタエラーの検出
91	EYE_3G_OR_ERR	(EYE) 3G Overshoot Rising エラーの検出
92	EYE_3G_OF_ERR	(EYE) 3G Overshoot Falling エラーの検出
93	EYE_DCOFSET_ERR	(EYE) DC オフセットエラーの検出
100	AUD_OVER_ERR	(AUDIO) LEVEL エラーの検出
101	AUD_CLIP_ERR	(AUDIO) CLIP エラーの検出
102	AUD_MUTE_ERR	(AUDIO) MUTE エラーの検出

11. イーサネットコントロール

Specific Trap Type	表示	説明
103	AUD_PAR_ERR	(AUDIO) PARITY エラーの検出
104	AUD_VAL_ERR	(AUDIO) VALIDITY エラーの検出
105	AUD_CRC_ERR	(AUDIO) CRC エラーの検出
106	AUD_CODE_ERR	(AUDIO) CODE VIOLATION エラーの検出

11.4 HTTP サーバー機能

PC 上の汎用 WEB ブラウザから、パネル操作と同じ感覚で本器をコントロールできます。

11.4.1 動作環境

以下の WEB ブラウザで動作することを確認しています。

- Internet Explorer Ver. 8.0
- Mozilla Firefox Ver. 7.0.1

11.4.2 注意事項

- WEB ブラウザ上のキーを押した後は、画面が更新されるのを待ってから次の操作を行ってください。キーを連打すると画像生成が間に合わず、一時的に画面全体がグレーになることがあります。(数秒で元に戻ります)
- HTTP サーバー機能を使用している間は、できるだけ本体でのパネル操作は行わないでください。画像生成を行っている間は本体内部の処理負荷が上がるため、本体でパネル操作を行うと 1～2 秒程度の遅れが生じます。
- PC から HTTP サーバー機能への同時接続可能数は 1 つです。複数接続には対応していません。

11.4.3 使用方法

1. LV 7770 の ETHERNET SETUP 画面で、イーサネットの設定をします。

IP Address を設定し、HTTP Server Select を ON にします。

【参照】「7.2.2 イーサネットの設定」

SYS → **F.2** SYSTEM SETUP → **F.3** NEXT TAB →

GENERAL SETUP		ETHERNET SETUP	REMOTE SETUP	DATE&TIME
Ethernet Select	☐ DHCP ☒ IP			
TCP / IP				
IP Address	192	168	0	1
Subnet Mask	255	255	255	0
Default Gateway	0	0	0	0
SNTP Client Select	☒ OFF ☐ ON			
Server IP Address	0	0	0	0
Time Zone Adjust	+	9	:	0 [+/- hour : minutes]
TELNET Server Select	☒ OFF ☐ ON ☐ LV7770-01			
FTP Server Select	☒ OFF ☐ ON			
HTTP Server Select	☐ OFF ☒ ON			
SNMP READ	☒ OFF ☐ ONLY ☐ WRITE			
SNMP TRAP	☒ OFF ☐ ON			
MAC ADDRESS:	00:00:00:00:00:00			

図 11-4 ETHERNET SETUP 画面

2. **F.1** COMPLETE を押します。

メッセージ「Saving data - Please Wait.」が表示されます。

11. イーサネットコントロール

3. IP Address を変更した場合は、メッセージが消えてから LV 7770 を再起動します。
IP アドレスの値が有効になります。
4. LV 7770 のイーサネット端子と外部ネットワーク機器を接続します。
UTP ケーブル(カテゴリ 5)で接続してください。
5. PC 上で WEB ブラウザを起動します。
HTTP サーバー機能では、JavaScript を使用しています。
JavaScript の設定を有効にしてください。
6. アドレス欄に「http://(手順 1 で設定した IP アドレス)」を入力します。



図 11-5 IP アドレス入力

7. 表示サイズ選択画面が表示されたら、表示サイズを Half または Full から選択します。

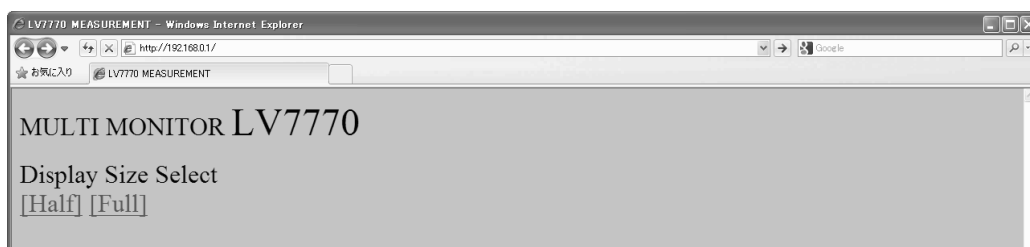


図 11-6 表示サイズ選択画面

表示サイズによる動作の違いは以下のとおりです。目的に応じて選択してください。

表 11-25 表示サイズの選択

	Half	Full
測定画面領域 [pixel] (アスペクト比が 4:3 の場合)	512 × 384	1024 × 768
操作に対する応答 [sec]	約 2～5	約 4～10
自動表示更新周期 [sec]	5	10
解説	LV 7770 の出力画面に対して 1/2 サイズで表示されるため、 文字などが一部読みにくくな りますが、操作に対する応答時 間が短いです。	LV 7770 の出力画面と同じサイ ズで表示されますが、操作に対 する応答時間がかかります。

8. メイン画面が表示されたら、WEB ブラウザ上のキーをクリックすることで、LV 7770 をコントロールできます。

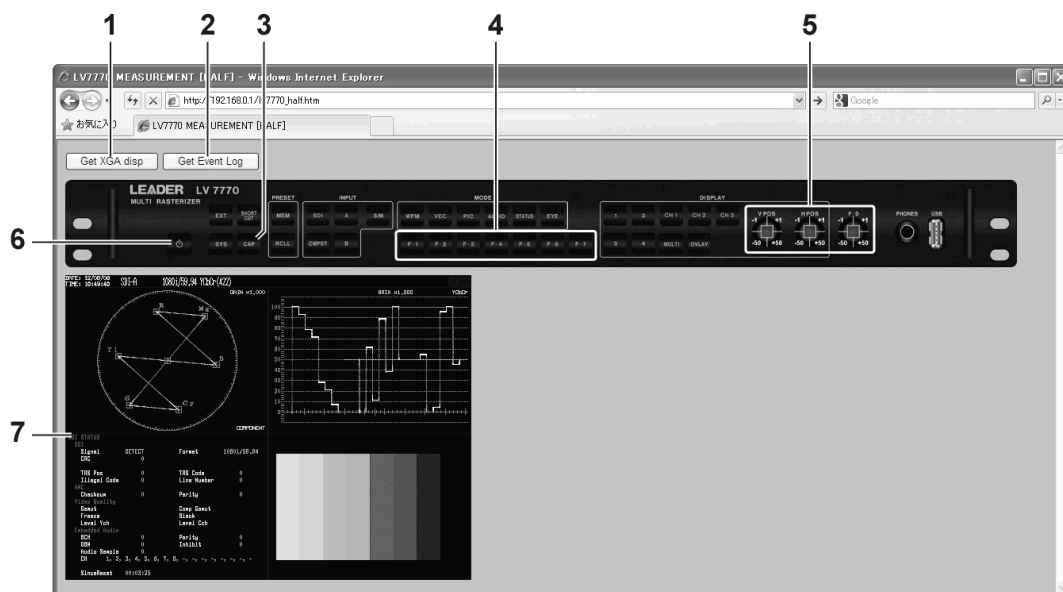


図 11-7 メイン画面

表 11-26 メイン画面の説明

番号	名称	説明
1	Get XGA disp	クリックすると現在の表示画面をキャプチャして、別ウインドウに表示します。ウインドウのメニューから、BMP 形式でファイルの保存ができます。
2	Get Event Log	クリックすると、イベントログを別ウインドウに表示します。ウインドウのメニューから、TXT 形式でファイルの保存ができます。あらかじめイベントログ機能を有効にしておいてください。
3	CAP	CAP キーによるキャプチャ機能は正しく動作しません。Get XGA disp ボタンを使用してください。
4	ファンクションキー	ファンクションキーで設定項目を選択するときは、WEB ブラウザ上でポップアップが表示されてから、2 秒以内に操作を行ってください。また、ファンクションメニューは自動で消えるため、表示と操作が合わなくなることがあります。このときは、システム設定で MENU Auto Off を長めに設定してください。 【参照】MENU Auto Off → 「7.2.1 一般的な設定」
5	V POS H POS F・D	-50、-1、+1、+50 が 4 分割で割り当てられ、中心の四角い部分がクリックと同じ動作となります。 タブメニューや一部の画面では、-50 は-5、+50 は+5 として動作します。また、設定分解能が 1 以外の箇所では、分解能にツマミによる設定値を掛けた値が設定されます。
6	電源スイッチ	電源スイッチは動作しません。
7	測定画面	クリックすると、画面の更新をします。 (クリックしなくても、Half のときは 5 秒、Full のときは 10 秒で自動更新します)

11.5 SNTP クライアント機能

ネットワーク上の NTP サーバーに同期した時刻表示ができます。

11.5.1 使用方法

1. LV 7770 の ETHERNET SETUP 画面で、イーサネットの設定をします。

SNTP Client Select を ON にし、IP Address、Server IP Address、Time Zone Adjust を設定します。Time Zone Adjust については、次項を参照してください。

【参照】 「7.2.2 イーサネットの設定」

[SYS] → **[F.2]** SYSTEM SETUP → **[F.3]** NEXT TAB →

GENERAL SETUP		ETHERNET SETUP		REMOTE SETUP		DATE&TIME	
Ethernet Select	☐ DHCP ☒ IP						
TCP / IP							
IP Address	192	168	0	1			
Subnet Mask	255	255	255	0			
Default Gateway	0	0	0	0			
SNTP Client Select	☐ OFF ☒ ON						
Server IP Address	192	168	0	2			
Time Zone Adjust	+	9	:	0	[+/- hour : minutes]		
TELNET Server Select	☒ OFF ☐ ON ☐ LV7770-01						
FTP Server Select	☒ OFF ☐ ON						
HTTP Server Select	☒ OFF ☐ ON						
SNMP READ	☒ OFF ☐ ONLY ☐ WRITE						
SNMP TRAP	☒ OFF ☐ ON						
MAC ADDRESS:	00:00:00:00:00:00						

図 11-8 ETHERNET SETUP 画面

2. **[F.1]** COMPLETE を押します。

メッセージ「Saving data - Please Wait.」が表示されます。

3. IP Address を変更した場合は、メッセージが消えてから LV 7770 を再起動します。

IP アドレスの値が有効になります。

4. LV 7770 のイーサネット端子と外部ネットワーク機器を接続します。

UTP ケーブル(カテゴリ 5)で接続してください。

以下のタイミングで、本器は NTP サーバーに接続します。

- ・ SYSTEM SETUP で **[F.1]** COMPLETE を押したとき
- ・ 約 10 分に 1 回

NTP サーバーに正しく接続できると、画面左上に日時が表示されます。

正しく接続できない場合は、DATE 欄に赤字で「SNTP:ERR」と表示され、TIME 欄にはそれまで設定していた時刻が表示されます。

正常接続

DATE: 12/05/11
TIME: 09:16:01

接続エラー

DATE: SNTP:ERR
TIME: 09:16:01

11.5.2 時刻補正值

NTP (SNTP) で送受信される日時は、基本的に協定世界時 (UTC - Coordinated Universal Time) となります。このため、実際に機器を使用する国や地域に合わせて時刻補正を行う必要があります。ETHERNET SETUP 画面の Time Zone Adjust に、以下の値を入力してください。

表 11-27 時刻補正值一覧表

使用する国や地域	Time Zone Adjust
エニウェトク、クエジェリン	-12:0
ミッドウェー島、サモア	-11:0
ハワイ	-10:0
アラスカ	-9:0
太平洋標準時(米国、カナダ)、ティファナ	-8:0
山地標準時(米国、カナダ)、アリゾナ	-7:0
中部標準時(米国、カナダ)、中央アメリカ、サスカチュワン、メキシコシティ	-6:0
東部標準時(米国、カナダ)、インディアナ東部、ボゴタ、リマ、キト	-5:0
大西洋標準時(カナダ)、ラパス、サンティアゴ	-4:0
ニューファンドランド	-3:30
グリーンランド、ブエノスアイレス、ジョージタウン、ブラジリア	-3:0
中央大西洋	-2:0
アゾレス諸島、ガーボベルデ諸島	-1:0
グリニッジ標準時(ダブリン、エジンバラ、リスボン、ロンドン)、 カサブランカ、モンロビア	-/+0:0
アムステルダム、ベルリン、ベルン、ローマ、ストックホルム、 サラエボ、スコピエ、ソフィア、ビリニュス、ワルシャワ、ザグレブ、 ブリュッセル、マドリード、コペンハーゲン、パリ、ベオグラード、 プラチスラバ、ブダペスト、リュブリャナ、ブラハ、西中央アフリカ	+1:0
アテネ、イスタンブール、ミンスク、エルサレム、カイロ、 ハラール、プレトリア、ブカレスト、ヘルシンキ、リガ、タリン	+2:0
クウェート、リヤド、ナイロビ、バクダット、モスクワ、ボルゴグラード、 サンクトペテルブルグ	+3:0
テヘラン	+3:30
アブダビ、マスカット、バグ、トビリシ、エレバン	+4:0
カブール	+4:30
イスラマバード、カラチ、タシケント、エカテリンバーグ	+5:0
カルカッタ、チェンナイ、ムンバイ、ニューデリー	+5:30
カトマンズ	+5:45
アスタナ、ダッカ、アルマティ、ノボシビルスク	+6:0
ラングール	+6:30
クラスノヤルスク、バンコク、ハノイ、ジャカルタ	+7:0
イルクーツク、ウランバートル、クアラルンプール、シンガポール、パース、 台北、北京、重慶、香港、ウルムチ	+8:0
ソウル、ヤクーツク、大阪、札幌、東京	+9:0
アデレード、ダーウィン	+9:30
ウラジオストク、キャンベラ、メルボルン、シドニー、グアム、 ポートモレスビー、ブリスベン、ホバート	+10:0
マガダン、ソロモン諸島、ニューカレドニア	+11:0

11. イーサネットコントロール

使用する国や地域	Time Zone Adjust
オークランド、ウェリントン、フィジー、カムチャッカ、マーシャル諸島	+12:0
ヌクアロファ	+13:0

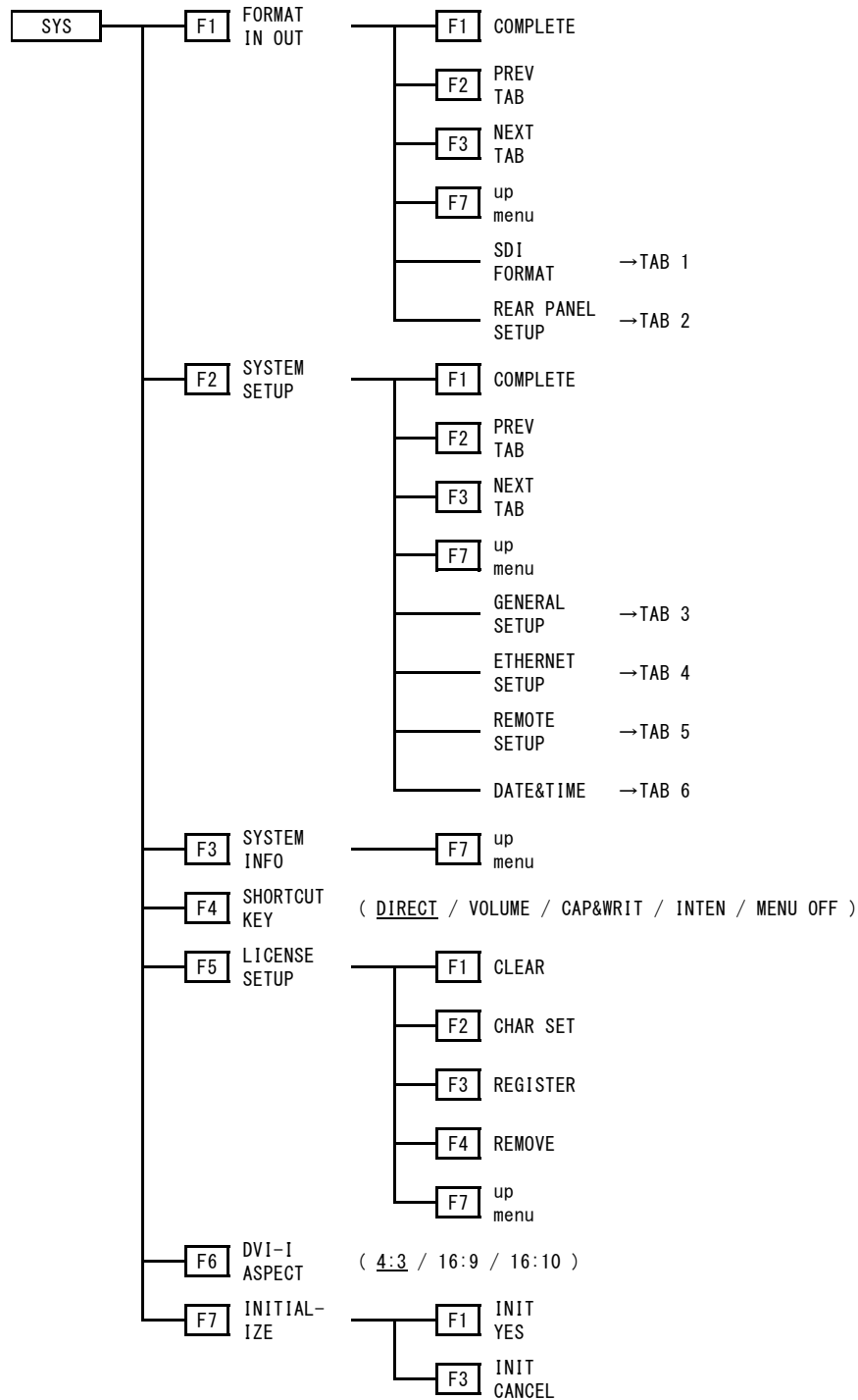
12. メニューツリー

各キーを押したときのメニューツリーを示します。

下線部()およびタブメニュー画面は初期値を表しています。

表示されるメニューは、本体の設定やUSBメモリーの接続状況によって異なります。

12.1 システムメニュー



12. メニューツリー

TAB 1 (SDI FORMAT)

SDI FORMAT		REAR PANEL SETUP	
Auto/Manual	☒ Auto ☐ Manual		
i/PsF Select	☒ Interlace ☐ Segmented Frame(PsF)		
Format			
Link Format	☒ HD ☐ SD ☐ HD-DualLink ☐ 3G-A ☐ 3G-B ☐ 3G-B(2map)		
Color System	☒ YCbCr(4:2:2) ☐ YCbCr(4:4:4) ☐ RGB(4:4:4)		
Pixel Depth	☒ 10bit ☐ 12bit		
Scanning	☒ 1080P ☐ 1080i ☐ 1080PsF ☐ 720P ☐ 525i ☐ 625i		
Active Sample	☒ 1920 ☐ 2048(2K)		
Frame Rate	☒ 60 ☐ 59.94 ☐ 50 ☐ 30 ☐ 29.97 ☐ 25 ☐ 24 ☐ 23.98	ex. 59.94p : F.R.= 59.94 59.94i : F.R.= 29.97	

TAB 2 (REAR PANEL SETUP)

SDI FORMAT		REAR PANEL SETUP	
SDI Select Output	☒ Ach/Bch ☐ Ach		
Audio BNC			
GROUP A	☒ INPUT ☐ OUTPUT		
GROUP B	☒ INPUT ☐ OUTPUT		
GROUP A OUT SEL	☒ Display Source ☐ SDI 1-8ch		
GROUP B OUT SEL	☒ Display Source ☐ SDI 9-16ch		
ANALOG AUDIO	☒ INPUT ☐ OUTPUT		
DVI-I Aspect	☒ 4:3 ☐ 16:9 ☐ 16:10		
PIC MONI Output			
Color Format	☐ Auto ☐ YCbCr 422 ☐ YCbCr 444 ☒ RGB 444		
Pixel Depth	☐ Auto ☒ 8bit ☐ 10bit ☐ 12bit		
2MAPPING SDI	☒ STREAM1 ☐ STREAM2		

TAB 3 (GENERAL SETUP)

GENERAL SETUP		ETHERNET SETUP		REMOTE SETUP		DATE&TIME	
GENERAL SETUP							
Multi Display	☐ 2Multi ☒ 4Multi						
Capture Mode	☒ Screen ☐ Video Frame(SDI Only)						
Memory Store Mode	☐ Loudness 2h ☒ Loudness 32h (No TIF/DPX Frame Capture)						
Information Display							
Format	☒ ON ☐ OFF						
Date	☐ OFF ☒ y/m/d ☐ m/d/y ☐ d/m/y						
Time	☐ OFF ☒ Real Time ☐ LTC ☐ VITC ☐ D-VITC						
Color System	☒ ON ☐ OFF						
Input	☒ ON ☐ OFF						
MENU Setup							
Auto Off	☐ OFF ☒ ON						
Time	5 sec(1-60)						

12. メニューツリー

TAB 4 (ETHERNET SETUP)

GENERAL SETUP	ETHERNET SETUP	REMOTE SETUP	DATE&TIME
Ethernet Select ☐ DHCP ☒ IP			
TCP / IP			
IP Address 192 168 0 1			
Subnet Mask 255 255 255 0			
Default Gateway 0 0 0 0			
SNTP Client Select ☒ OFF ☐ ON			
Server IP Address 0 0 0 0			
Time Zone Adjust + 9 : 0 [+/- hour : minutes]			
TELNET Server Select ☒ OFF ☐ ON ☐ LV7770-01			
FTP Server Select ☒ OFF ☐ ON			
HTTP Server Select ☒ OFF ☐ ON			
SNMP READ ☒ OFF ☐ ONLY ☐ WRITE			
SNMP TRAP ☒ OFF ☐ ON			
MAC ADDRESS: 00:00:00:00:00:00			

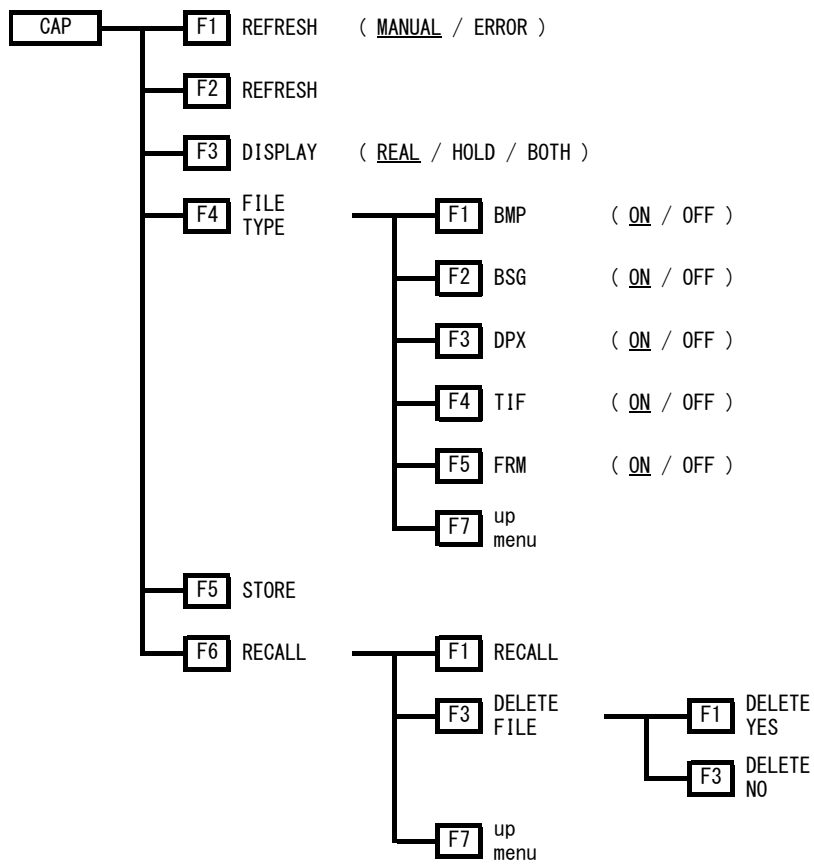
TAB 5 (REMOTE SETUP)

GENERAL SETUP	ETHERNET SETUP	REMOTE SETUP	DATE&TIME
Remote Setup			
Remote Mode ☒ BIT ☐ BINARY			
Remote Select ☒ Recall ☐ Recall and Loudness			
Alarm Polarity ☒ POSITIVE ☐ NEGATIVE			
Alarm Select ☒ A ☐ B ☐ AB			

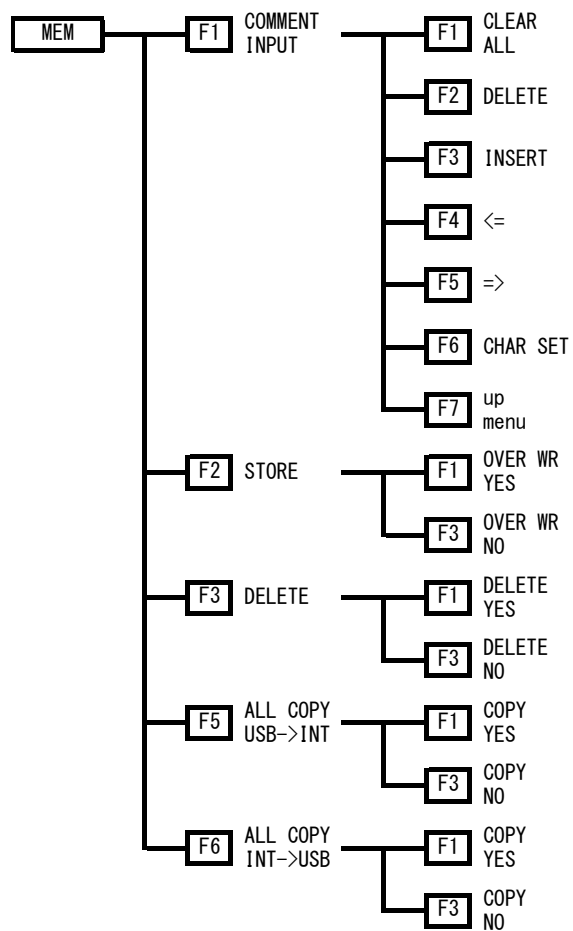
TAB 6 (DATE&TIME)

GENERAL SETUP	ETHERNET SETUP	REMOTE SETUP	DATE&TIME
DATE ADJUST			
DAY 9			
MONTH 6			
YEAR 2011			
TIME ADJUST			
HOUR 9			
MINUTE 59			
SECOND 56			

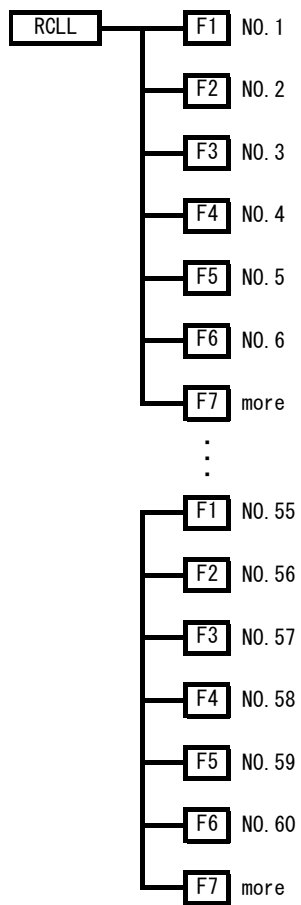
12.2 キャプチャメニュー



12.3 プリセット登録メニュー



12.4 プリセット呼び出しメニュー



13. ファームウェアの変更履歴

本書はファームウェアバージョン 4.0 に基づいて作成されています。

ファームウェアバージョンは、システムメニューの **F・3** SYSTEM INFO で確認できます。

●Ver. 4.0

[LV 5770SER08/LV 5770SER09A] ステータスのガマットエラー、レベルエラーで RGB/Y の Upper/Lower のどの閾値で検出したエラーかがわかるようイベントログで表示するよう改善。

●Ver. 3.4

[LV 5770SER08/LV 5770SER09A] ステータス表示のリップシンク測定に、音声信号のゲート設定機能を追加。

●Ver. 3.2

[LV 5770SER08/LV 5770SER09A] ステータス表示のリップシンク測定に、測定範囲の設定機能を追加。

●Ver. 3.1

[LV 7770] RCLL キーを押すごとに、リコールメニューが表示/非表示するように改善。

●Ver. 2.9

[LV 5770SER08/LV 5770SER09A] 3G-SDI のリップシンク測定に対応。

●Ver. 2.2

[LV 5770SER08/LV 5770SER09A] ビデオ信号波形表示にて、SCALE UNIT に 1023, 255 を追加。

[LV 5770SER08/LV 5770SER09A] ピクチャー表示にて、SD の 16:9 表示に対応。

[LV 7770] Dolby オプションにて、フレームロケーションのインジケータ表示に対応。(Dolby E のみ)

[LV 7770] Dolby オプションにて、Non-PCM フラグに対応。

●Ver. 2.1

[LV 7770] ラウドネス表示にて、相対ゲーティングがしきい値以下の場合に、アンダー表示する機能を追加。

[LV 7770] ラウドネス表示にて、トゥルーピークがしきい値を超えた場合に、オーバー表示する機能を追加。

[LV 7770] ラウドネス表示にて、2 系統(メイン、サブ)測定時のチャート表示内容を、インテグレートッド、モーメンタリ、ショートタームから選択できる機能を追加。

●Ver. 2.0

[LV 5770SER09A] SDI 入力/EYE オプションに対応。

●Ver. 1.9

[LV 7770] オーディオ 16ch 同時表示機能を追加。

●Ver. 1.4

[LV 5770SER08/LV 5770SER09] NET-Q 解析画面に、フォーマット ID 表示を追加。

●Ver. 1.3

[LV 5770SER08/LV 5770SER09] シネライトアドバンス機能を追加。

索引

A

ALL COPY INT->USB.....	94
ALL COPY USB->INT.....	95
ANALOG AUDIO.....	47

B

BMP.....	82
BSG.....	82

C

CAP.....	80
COMMENT INPUT.....	92

D

DELETE.....	93
DELETE FILE.....	84, 90
DIGITAL AUDIO IN/OUT.....	46
DISPLAY.....	81, 87
DPX.....	87
DVI-I ASPECT.....	78
DVI-I OUTPUT.....	40

E

EXT REF.....	43
--------------	----

F

FILE TYPE.....	82, 87
FORMAT IN OUT.....	66
FRM.....	87

I

INITIALIZE.....	78
-----------------	----

L

LICENSE SETUP	77
---------------------	----

M

MEM	91, 93
MULTI	55

P

PIC MONI OUTPUT	42
-----------------------	----

R

RCLL	91
RECALL	83, 89
REFRESH	81, 85
REMOTE	96

S

SDI INPUT	41
SDI OUTPUT	42
SHORTCUT	53
SHORTCUT KEY	77
STORE	82, 87, 92
SYS	66
SYSTEM INFO	76
SYSTEM SETUP	71

T

TIF	87
TRI SYNC/COMPOSITE	46
TRIGGER.....	85

所含有毒有害物质信息

部件号码: LV 7770



此标志适用于在中国销售的电子信息产品, 依据2006年2月28日公布的《电子信息产品污染控制管理办法》以及SJ/T11364-2006《电子信息产品污染控制标识要求》, 表示该产品在使用完结后可再利用。数字表示的是环境保护使用期限, 只要遵守与本产品有关的安全和使用上的注意事项, 从制造日算起在数字所表示的年限内, 产品不会产生环境污染和对人体、财产的影响。产品适当使用后报废的方法请遵从电子信息产品的回收、再利用相关法令。详细请咨询各级政府主管部门。

产品中有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称 Parts	有毒有害物质或元素 Hazardous Substances in each Part					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
实装基板	×	○	○	○	○	○
主体部	×	○	○	○	○	○
开关电源	×	○	○	○	○	○
风扇	×	○	○	○	○	○
外筐	○	○	○	○	○	○
线材料一套	○	○	○	○	○	○
附件	○	○	○	○	○	○
包装材	○	○	○	○	○	○
电池	○	○	○	○	○	○
选件						
OP70	×	○	○	○	○	○
5770SER03A	×	○	○	○	○	○
5770SER08	×	○	○	○	○	○
5770SER09	×	○	○	○	○	○
5770SER09A	×	○	○	○	○	○
5770SER42	×	○	○	○	○	○
备注)						
○: 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T11363-2006 规定的限量要求以下。 ×: 表示该有毒有害物质或元素至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。						

リーダー電子株式会社 <http://www.leader.co.jp>

本社・国内営業部 〒223-8505 横浜市港北区綱島東2丁目6番33号 (045) 541-2122 (代表)